GS450h / GS300h / GS350 / GS250 / GS F

ナビゲーションシステム取扱説明書

		・目次から検索する 8	
1	本機の操作	・スイッチなどの基本的な使い方 ..... 14 ・自宅を登録する 26	13
2	ナビゲーション	・最寄のガソリンスタンドなどを探す ..... 60 ・目的地を設定する 84	45
3	オーディオ＆ビジュアル	・Blu-ray Disc、DVD を楽しむ ..... 188 ・SD メモリーカードの音楽／写真／動画を楽しむ 210	171
4	音声操作システム	・基本的な使い方 ..... 296 ・目的地を設定する 298	293
5	情報	・燃費画面を表示する 314	313
6	周辺監視	・バックガイドモニターの使い方 ..... 324 ・クリアランスソナーの使い方 344	323
7	ETC2.0 システム	・ETC2.0 サービスについて ..... 358 ・ETC の基本的な使い方 ..... 364 ・インターネット接続サービスを使う 378	357
8	ハンズフリー	・Bluetooth 携帯電話の接続 ..... 397 ・電話をかける／受ける 401	389
9	G-Link	・利用手続きのしかた ..... 447 ・緊急通報サービス（ヘルプネット） 464	437
10	12.3 インチディスプレイ	・12.3 インチディスプレイの操作 545	541
	索引	・50 音さくいん ..... 552 ・アルファベットさくいん 560	551

次の装備は、「別冊 GS350/GS250/GS F 取扱説明書またはGS450h/GS300h取扱説明書」をご覧ください。

- エアコン
- エネルギーモニター（GS450h/GS300h）
- 燃費
- Harmonious Driving Navi.
- ユーザーカスタマイズ
- ドライブモード
- ブラインドスポットモニター

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

- 本書は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書とあわせてお読みください。
- レクサス販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の画面の色は印刷インクの関係で、実際の画面の色とは異なることがあります。
- 本書の画面と実際の画面は、装備や契約の有無・地図データの作成時期等によって異なります。
- 操作状況によっては、画面の切り替えに時間がかかったり、黒画やちらつきが生じることがあります。
- 1 章の「本機の操作」には、各機能共通の操作内容、およびはじめに設定しておくと便利なことがまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。

ナビゲーションについて

ナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データを SD メモリーカードに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、SD メモリーカードに保存されたデータ等が変化・消失することがあります。
お客様が SD メモリーカードに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

ダイアグレコーダーについて

お車の万一の故障発生に備えて、回転数や冷却水温度等の故障診断に有用な情報を G-Link システム内に常時記録します。

12V バッテリーの取りはずしについて

本機はエンジンスイッチ（GS350/GS250/GS F）またはパワースイッチ（GS450h/GS300h）を OFF にするごとに、各種データを本機に保存しています。各種データの保存が終わる前に 12V バッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保存できないことがあります。詳しくは、レクサス販売店にお問い合わせください。

本書の文章構成について

本書の見方

番号	項目	内容
1	**概要説明**	操作や機能の概要を説明しています。
2	**画面表示操作**	主要操作をする画面までの操作を記載しています。
3	**主要操作**	操作の手順を説明しています。
4	**関連操作**	主要操作の補足的な操作、応用操作を記載しています。
5	**知識**	知っておくと便利な情報を記載しています。

本書での表示について

表示	内容
MAP MENU	リモートタッチのスイッチを表しています。
AUDIO TV など	オーディオ操作パネルの操作スイッチを表しています。
○○○	画面のスイッチ名称を表しています。 （完了 ・ 消去 など）
┘○○○└	画面のタブ名称を表しています。 （┘ナビ└ ・ ┘オーディオ└ など）

知 識

● 1 つ前の画面に戻すときは、 を押すか、 を選択します。選択した画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないこともあります。）

警告、注意について

⚠ 警告

● ここに記載されていることをお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。

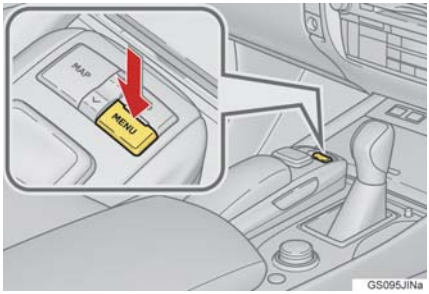
⚠ 注意

● ここに記載されていることをお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれや、正しい性能を確保できない場合があります。

イラスト内の表示について

セーフティーシンボル

“してはいけません”“このようにしないでください”“このようなことを起こさないでください”という意味を表しています。



操作を示す矢印

➡ スイッチなどの操作（押す、まわすなど）を示しています。

その他の表示について

→ P.000	参照するページを表しています。

1 本機の操作

1. 本機／リモートタッチ..... 14

ディスプレイと操作スイッチ 14
リモートタッチの操作 16

2. 文字／数字の入力のしかた 19

ソフトウェアキーボードを使う 19
ソフトウェアキーボードの設定を変更する 21

3. リスト画面 23

複数の候補から項目を選ぶ 23

4. はじめに設定しておくこと 26

初期設定をする..... 26
メンテナンス時期を案内する 28
Bluetooth機器を初期登録する..... 32

5. 画面の調整・設定..... 34

画面の調整・設定を変更する 34

6. 本機の設定 36

本機の設定を変更する 36
サーキットモードについて（GS Fのみ）..... 41

2 ナビゲーション

1. ナビをお使いになる前に..... 48

はじめに 48

2. ナビを使ってみましょう..... 49

地図画面を操作してみましょう 49
ルート案内をさせてみましょう 50
目的地案内中の現在地画面の見方について 52

3. 地図画面を操作する..... 54

地図の表示 54
地図表示画面を設定する 60
高速道路・都市高速道路の表示 65
地図を呼び出す..... 68
検索した地図を操作する 81

4. 目的地までの案内..... 84

目的地を設定してルートを探索する..... 84
目的地案内の開始 91
目的地への案内について 92
ルート案内中の操作 99
ルートを再探索する 100
ルートを変更する 103

5. 地点の登録..... 110

メモリ地点を登録する 110

6. ナビを使いこなす..... 119

自車位置マークがずれているとき 119
ナビの設定を記憶して使う（ユーザーカスタマイズ）..... 121
NAVI・AI-SHIFTについて（GS350/GS250/GS Fのみ）..... 122
ナビの詳細を設定する 124
安全・快適走行の設定をする..... 134
GPSについて..... 140
知っておいていただきたいこと..... 141

7. 地図データ情報..... 147

地図について 147

8. VICS・交通情報を使う..... 149

VICS・交通情報の表示について 149
VICS・交通情報を活用する..... 152
VICS 放送局を選択する 159
VICS について 160
交通ナビ関連情報について 169

3 オーディオ＆ビジュアル

1. はじめに 174

知っておいていただきたいこと 174
基本操作をする..... 177

2. ラジオを聞く 185

ラジオの操作..... 185

3. Blu-ray（CD/BD/DVD）プレーヤーの操作 188

はじめに 188
ディスクの出し入れ..... 189
音楽再生についての操作 190
映像再生についての操作 194
知っておいていただきたいこと 203

4. SDメモリーカードの操作..... 210

お使いになる前に..... 210
SDメモリーカードの出し入れ 212
SDメモリーカードに録音する 215
音楽ファイル再生についての操作 219
動画ファイル再生についての操作 223
本機で記録したデータを編集する 226
SDメモリーカードの初期化について 233

5. デジタルテレビを見る..... 234

地上デジタルテレビの操作について 234
テレビの操作..... 235
テレビの設定をする..... 241
知っておいていただきたいこと 248

6. AUXの操作..... 250

外部機器／AUXの操作..... 250

7. USBメモリーの操作..... 251

はじめに..... 251
音楽ファイル再生についての操作 252
動画ファイル再生についての操作 254
知っておいていただきたいこと..... 256

8. iPodの操作 257

はじめに..... 257
音楽ファイル再生についての操作 258
動画ファイル再生についての操作 261
iPodの設定をする..... 263

9. Bluetoothオーディオの操作 ... 264

はじめに..... 264
Bluetoothオーディオ再生中の操作 267
Bluetoothオーディオを設定する ... 270

10. Photo機能の操作 277

Photo機能を操作する..... 277

11. ステアリングスイッチの操作 279

ステアリングスイッチで操作する..... 279

12. リヤオーディオコントローラーの操作..... 281

リヤオーディオコントローラーで操作する..... 281

13. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて 283

オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて 283

4 音声操作システム

1. 音声操作システムを使う前に..... 294
はじめに 294
各部の名称 295
2. 基本操作について..... 296
基本操作を覚える..... 296
3. 代表的な音声操作..... 298
音声操作の使用例..... 298
4. 音声認識コマンド一覧..... 308
音声認識コマンド一覧..... 308
5. 音声認識の設定 312
音声認識の設定をする..... 312

5 情報

1. 情報について 314
情報画面について..... 314
ソフトウェア更新について 316

6 周辺監視

1. バックガイドモニター 324
バックガイドモニターについて..... 324
並列駐車をする（進路表示モード）..... 328
並列駐車をする（駐車ガイド線表示モード）..... 330
縦列駐車をする..... 332
バックガイドモニターの注意点について 338
知っておいていただきたいこと..... 342
2. クリアランスソナー 344
クリアランスソナーとは 344
クリアランスソナーが作動したとき..... 347
クリアランスソナーの設定 352
異常時の画面表示 353
クリアランスソナーの注意点..... 354

7 ETC2.0 システム

1. ETC2.0ユニット（VICS機能付）..... 358
ETC2.0サービスについて 358
ETCサービスについて 360
ETC2.0ユニットの操作 364
ETC 画面の操作 372
エラーコードについて 375
インターネット接続サービスについて 378
フルブラウザ..... 381

8 ハンズフリー

1. お使いになる前に..... 390

ハンズフリーについて 390
Bluetooth機器使用上の
注意事項について..... 396

2. ハンズフリーの基本操作..... 397

ハンズフリーの準備をする 397
ステアリングスイッチで
操作する 400
電話をかける／受ける 401

**3. ハンズフリーの
便利な使い方 403**

色々な方法で電話をかける 403
着信中画面の操作..... 408
通話中の操作..... 409
簡易画面について..... 412

**4. ハンズフリーの設定を
変更する..... 413**

設定・編集画面を表示する 413
音量の設定をする..... 414
ハンズフリーの詳細設定を
変更する 415
電話帳を編集する..... 417
Bluetooth設定をする 424

5. こんなときは 432

故障とお考えになる前に 432

9 G-Link

1. はじめに 440

ご利用の前に知っておいて
いただきたいこと..... 440
G-Linkについて 445

2. 各種手続きをする..... 447

利用手続きをする..... 447

3. G-Linkトップ画面..... 452

G-Linkトップ画面 452

**4. よく使う情報を登録する
（Gメモリ地点情報）..... 454**

Gメモリ地点情報..... 454

5. 画面操作の説明..... 455

G-BOOK Viewer 455
G情報マーク..... 462

**6. スマートフォンや携帯電話・
パソコンで利用する..... 463**

スマートフォンや携帯電話・
パソコンで利用する 463

7. サービスの使い方 464

ヘルプネット
（エアバッグ連動タイプ）..... 464
G-Security..... 480
eケア..... 487
G-カスタマイズ 488
レクサス緊急サポート24 489
マップオンデマンド
（地図差分更新）..... 490
Gルート探索（プローブ情報付）.... 502
レクサスオーナーズデスク 504
渋滞予測..... 507
WEB検索 511
エージェント 512
LEXUS Apps..... 520
CDタイトル情報取得..... 524

8. 各種登録・設定..... 525

G-Link詳細設定 525
プライバシー設定 529
Wi-Fi® 設定 530
通信設定..... 536
リモートセキュリティ設定 537
契約内容・契約者情報の
確認・変更..... 538

**9. こんなメッセージが
表示されたときは 539**

こんなメッセージが
表示されたときは 539

10 12.3 インチディスプレイ

1. 12.3インチディスプレイの操作..... 542
12.3インチディスプレイについて 542
メニュー画面について 544
サイド画面 545
割り込み画面..... 548

索引

50 音さくいん 552
アルファベットさくいん 560

1

本機の操作

1 本機／リモートタッチ

1. ディスプレイと操作スイッチ 14
2. リモートタッチの操作 16
   - リモートタッチノブの操作 17
   - メニュー画面の操作.....18

2 文字／数字の入力のしかた

1. ソフトウェアキーボードを使う.... 19
2. ソフトウェアキーボードの設定を変更する 21
   - 単語を編集する.....21
   - 定型文を修正する.....22
   - 入力履歴を削除する.....22
   - 予測変換候補の表示設定を変更する.....22

3 リスト画面

1. 複数の候補から項目を選ぶ.....23
   - 文字の表示範囲を変更する 25

4 はじめに設定しておくこと

1. 初期設定をする 26
   - 自宅を登録する 26
   - 音声案内の音量を設定する 27
   - 車両情報の設定をする 27
2. メンテナンス時期を案内する 28
   - メンテナンスの案内表示について..... 28
   - メンテナンス項目を設定する 28
   - 販売店の設定をする 30
3. Bluetooth機器を初期登録する.....32

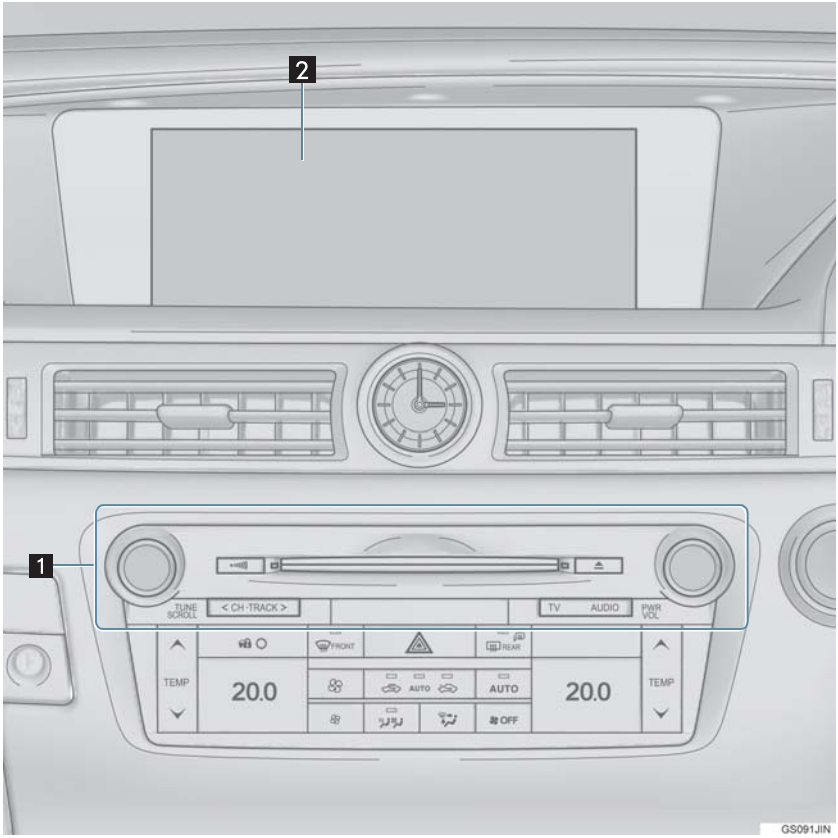
5 画面の調整・設定

1. 画面の調整・設定を変更する 34
   - 画質調整画面を表示する 34

6 本機の設定

1. 本機の設定を変更する.....36
   - 時計を調整する 39
2. サーキットモードについて（GS Fのみ）.....41
   - サーキットモードを使用する 41

1. ディスプレイと操作スイッチ



番号	名称	機能
1	オーディオ操作スイッチ	オーディオを操作することができます。
2	12.3 インチディスプレイ	全画面または左右分割して画面表示できます。

1. ディスプレイと操作スイッチ

知 識

- − 20 ℃以下の低温時には、ナビの動作ができなくなったり、SD メモリーカードへの書き込みができなくなります。
- PWR・VOL を 3 秒以上押し続けると、画面表示が消えて再起動します。本機の応答が極端に遅いときなどにご使用ください。
- 液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

警告

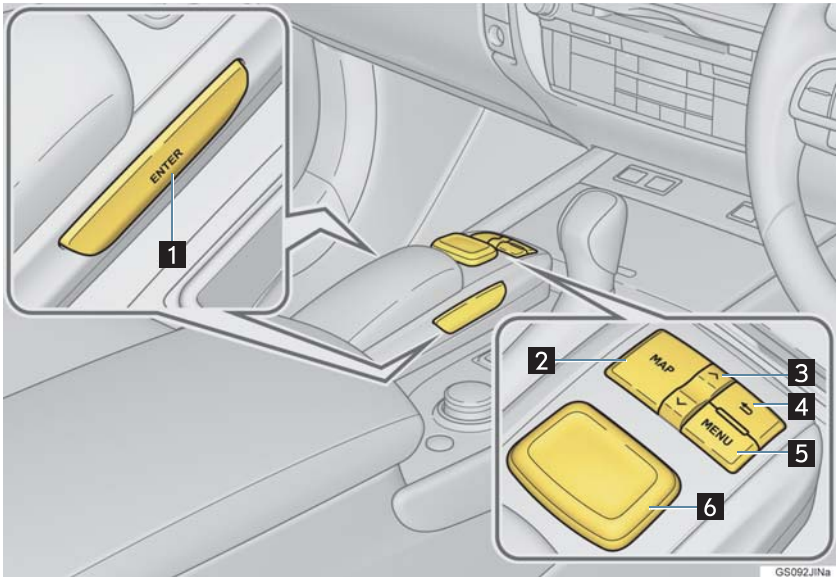
- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。

注意

- 12V バッテリー上がりを防ぐため、エンジン／ハイブリッドシステム停止中に長時間使用しないでください。
- 市販の SD カードを地図スロットに挿入しないでください。
- 他の車で使用していた地図 SD カードを使うことはできません。

2. リモートタッチの操作

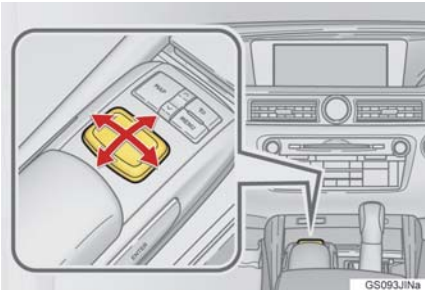
ナビゲーションシステムは、おもにリモートタッチで操作します。



番号	ノブ／スイッチ	機能
1	ENTER スイッチ	画面上のスイッチを決定する。
2	MAP スイッチ	現在地を表示する（→ P.49）、もう一度音声案内を聞く（→ P.93）など。
3	∧・∨スイッチ	地図縮尺（→ P.49）やフルブラウザコンテンツなど（→ P.381）の表示拡大／縮小、リスト画面でページを切り替える。
4	⮌（戻る）スイッチ	1 つ前の画面に戻す。
5	MENU スイッチ	メニュー画面（→ P.18）を表示する。
6	リモートタッチノブ	画面上のスイッチを選択または決定する。（→ P.17）

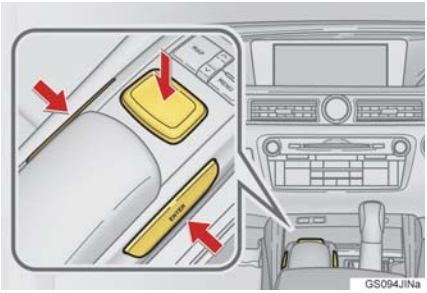
リモートタッチノブの操作

1 リモートタッチノブを操作して、ポインタをスイッチに合わせる。



- ポインタ※は、リモートタッチノブを 6 秒間操作がない場合、消えます。
  ※ リモートタッチの操作に合わせて画面上を動くマークです。
- 12.3 インチディスプレイ特有の操作については次のページをご覧ください。
  （→ P.543）

2 リモートタッチノブまたは ENTER スイッチを押して決定します。



- 1つ前の画面に戻すときは、 を押します。
  選択すると、選択した画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものもあります。）

知 識

- 低温時は、リモートタッチノブの動きが遅くなることがあります。
- を押したときの戻り先の画面は固定ではありません。

警告

- リモートタッチノブに指をはさんだり髪の毛を引っかけるなどして、思わぬけがをするおそれがあります。
- 環境によってリモートタッチが熱くなる、または冷たくなり、持てなくなることがあります。

注意

- リモートタッチの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
- リモートタッチに飲料水や雨水などをかけないでください。変色などの原因になります。

2. リモートタッチの操作

メニュー画面の操作

目的地設定、エアコン／オーディオなどはメニュー画面を表示させてから操作します。

1 MENU を押すと、メニュー画面が表示される。

番号	機能	ページ
1	目的地を設定する。	84
2	オーディオ操作画面を表示する。	177
3	デジタルテレビを表示する。	235
4	電話画面を表示する。	403
5	情報画面を表示する。	314
6	エアコン操作画面を表示する。	—※
7	設定・編集画面を表示する。	—
8	画質調整画面を表示する。	34

※ 詳細は、別冊 GS350/GS250/GS F 取扱説明書またはGS450h/GS300h取扱説明書をご覧ください。

知 識

● 割り込み画面がサイド画面に表示されたとき、メニュー画面はメイン画面に表示されます。（→ P.542）

1. ソフトウェアキーボードを使う

● 各スイッチの働きは、次のようになっています。
・特に説明のないスイッチは、各入力時とも共通です。
・ナビで文字入力するときは、専用のソフトウェアキーボードを使用します。
➡「名称で地図を検索する」（→ P.73）
➡「メモリ地点名称を入力する」（→ P.116）

▶ **画面例（かな・漢字入力）**

スイッチ	機能
定型	定型文入力画面を表示し、定型文を入力する。
履歴	履歴入力画面を表示し、前回までに入力した文字列の履歴から入力する。
文字入力	各種文字を入力する。
カーソル移動	カーソルを移動する。 • 続けて選択すると、連続してカーソルが移動します。 • 未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動します。 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
修正	文字を消去する。 • カーソルが文字の右にあるときは、カーソルの左の文字を消去します。 続けて選択すると、カーソルの位置から1文字ずつ順に消去します。

スイッチ	機能
改行	改行する。
スペース	カーソルの左に空白を入力する。
完了	ソフトウェアキーボードを終了する。 キーボードが表示される前の画面に戻り、文字が入力される。
無変換	かな入力時、ひらがなのままで確定する。
変換	かな入力時、漢字に変換する。 • そのままの状態でよいとき ➡ 全確定 を選択。 • 変換範囲のみ変換するとき ➡ 希望の候補を選択。 • 変換範囲（文節）が間違っているとき ➡ ＜ ・ ＞ を選択して変換範囲を修正する。
入力モード切り替え	文字の入力モードを切り替える。 かな ：ひらがな、漢字を入力 カナ ：カタカナを入力 英数字 ：アルファベット、数字を入力 数記号 ：数字、記号を入力 キーボード ：キーボードモードで入力 音声入力 ：文字を音声で入力
全角／半角	半角入力と全角入力を切り替える。
大文字／小文字	大文字入力と小文字入力を切り替える。
▲ 1/2 ▼（ページ切り替え）	ページを切り替える。
定型文入力／履歴入力	各文字列を入力する。

1. ソフトウェアキーボードを使う

知 識

- ここでは G-Link のソフトウェアキーボードで説明しています。
- ソフトウェアキーボードが表示される状況により、キーボード画面の意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。

予測変換候補を表示する

G-Link 詳細設定の予測変換候補の表示で「する」を選択しているとき、予測変換をすることができます。文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を画面左下に表示します。

1 かな入力状態で、文字を 1 文字以上入力する。

2 予測変換候補を選択する。

- 表示された候補でよいとき
  ➡ 予測変換候補を選択。
- 希望の候補でないとき
  ➡ ▼ を選択して希望の候補を表示させ、候補を選択。

知 識

- 予測変換候補は最大5候補まで表示されます。

2. ソフトウェアキーボードの設定を変更する

設定・編集の G-Link 詳細設定画面（→ P.525）から、次の設定をすることができます。

項目	ページ
単語の編集	21
定型文の修正	22
入力履歴の削除	22
予測変換候補の表示設定	22

単語を編集する

読みと単語を指定して、本機の辞書に変換候補対象となる単語を追加することができます。また、追加した単語を修正・削除することができます。

単語を追加する

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → G-Link 詳細設定 → 単語編集

2 追加 を選択。

3 読み および 単語 を選択して、それぞれ入力し、完了 を選択。

4 完了 を選択。

- 単語の最大登録数を超えたときは、登録済みの不要な単語を削除してください。（→ P.21）

単語を修正する

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → G-Link 詳細設定 → 単語編集 → 修正

2 修正したい読みを選択。

3 読み または 単語 を選択して修正し、完了 を選択。

4 完了 を選択。

- 引き続き単語の修正をするとき
  ➡ 手順 **2** ～ **4** の操作を繰り返す。

単語を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → G-Link 詳細設定 → 単語編集 → 削除

2 削除したい単語を選択。

- すべての単語を選択するとき
  ➡ 全選択 を選択。

3 削除 を選択。

4 はい を選択。

2. ソフトウェアキーボードの設定を変更する

定型文を修正する

定型文は、お好みにより内容を変更することができます。
ただし、新規に追加することはできません。

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → G-Link 詳細設定 → 定型文修正

2 修正したい定型文を選択。

3 定型文を修正する。

- ソフトウェアキーボードで入力します。

4 完了 を選択。

- 引き続き定型文の修正をするとき
  ➡ 手順 **2** ～ **4** の操作を繰り返す。

入力履歴を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → G-Link 詳細設定 → 入力履歴削除

2 削除したい履歴を選択。

- すべての履歴を削除するとき
  ➡ 全削除 を選択。

3 はい を選択。

予測変換候補の表示設定を変更する

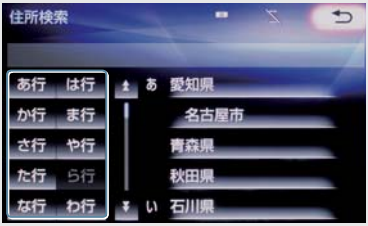
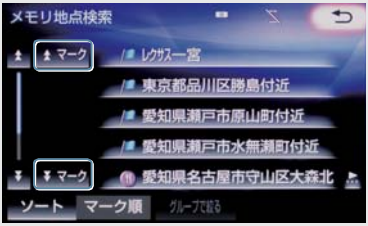
ソフトウェアキーボードを使用するとき、予測変換候補の表示／非表示を選択できます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → G-Link 詳細設定 → 予測変換候補表示

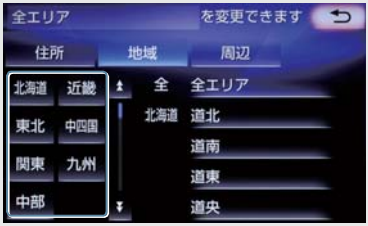
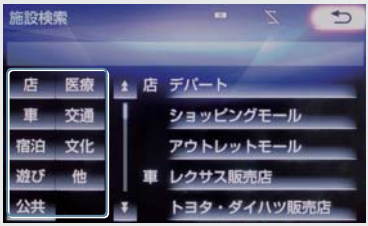
2 する または しない を選択。

1. 複数の候補から項目を選ぶ

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補がないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

スイッチ	機能
	行ごとにリストが切り替わります。 ＜例＞ あ行 を選択するとあ行のリストに切り替わります。
	続けて選択すると、行の中で「あ→い」と音ごとにリストが切り替わります。
	マークの種類ごとにリストが切り替わります。
	選択するごとに1ページずつリストが切り替わります。
	選択し続けている間、リストが切り替わります。
	種類ごとにリストが切り替わります。

1. 複数の候補から項目を選ぶ

スイッチ	機能
	地域ごとにリストが切り替わります。
	施設項目ごとにリストが切り替わります。
	全選択 を選択すると、リストの全ての項目を選択します。 全解除 または 全選択解除 を選択すると、選択してある項目を解除します。

知 識

● リスト画面の状況によっては、項目が選択できないことがあります。

文字の表示範囲を変更する

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、すべて表示されないことがあります。
次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

1 を選択。

● 先頭に戻すとき

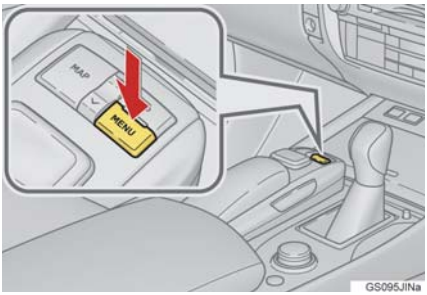
➡ を選択。

1. 初期設定をする

自宅を登録する

自宅を登録すると、目的地設定で 自宅に帰る を選択するだけで、自宅までのルート探索ができます。
例として、自宅「東京都文京区後楽 1 丁目 4 − 18」の地図を住所から呼び出し、登録します。

1 MENU を押す。



2 設定・編集 を選択。

3 メモリ地点登録・編集 を選択。

4 メモリ地点登録・編集の 自宅 を選択。

5 登録 を選択。

6 地図の呼び出す方法を選ぶ。
ここでは、住所 を選択。

7 都道府県名から順に、住所を選択する。
まず、東京 23 区 を選択。

8 文京区 を選択。

9 後楽 を選択。

10 1 丁目 を選択。

11 番地指定 を選択。

12 番地を入力する。

13 検索 を選択。

14 を選択して、自宅の位置に を合わせる。

15 セット を選択。

16 完了 を選択。

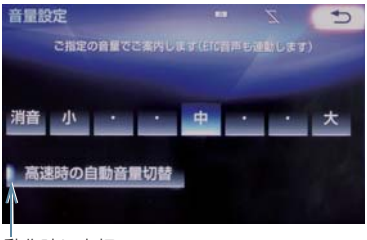
知 識

- 地図の呼び出し方法は、住所のほかにも呼び出すことができます。（→ P.68、P.81）

音声案内の音量を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 音量設定

2 設定したい音量を選択。



動作時に点灯

- 音声を OFF にするとき
  ➡ 消音 を選択。
- 高速走行時、自動的に音量を大きくするとき
  ➡ 高速時の自動音量切替 を選択。

知 識

- 高速走行時、自動的に音量を大きくする設定にしているときは、車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に上がります。（車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。）

車両情報の設定をする

お車の仕様（サイズなど）を登録しておくと、登録した情報をもとに料金案内の表示や提携駐車場の検索をします。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → 車両情報設定

2 全長 、全幅 、または 全高 を選択。

- 寸法を設定し、 ⮌ を選択。

> ：寸法を大きくする

< ：寸法を小さくする

3 ナンバー を選択。

- ナンバープレートの分類番号を選ぶ
  ➡ 1 ・ 3 ・ 5・7 のいずれかを選択。
- 初期状態 を選択すると、初期設定の状態（寸法が設定されていない状態）に戻ります。

知 識

- 目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。
- 車両寸法については、車検証をご覧ください。

2. メンテナンス時期を案内する

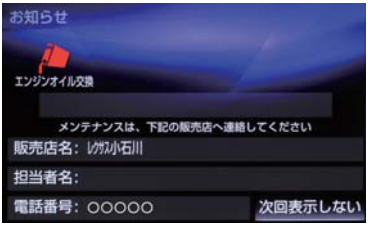
メンテナンス機能とは、GPS（→ P.140）のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期・免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。

（知 識）

- メンテナンスの内容や時期については、レクサス販売店にご相談ください。
- 車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

メンテナンスの案内表示について

設定をした日をすぎる、または設定した距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に 4 つまで案内されます。



- 5つ以上の項目があるときは、★が表示されます。
  ・任意文字入力のときは、入力した名称（→ P.29）を表示します。
- 次回表示しない を選択すると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。

メンテナンス項目を設定する

メンテナンスを知らせる時期／距離を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定

2 設定する項目を選択。

- パーソナル項目（パーソナル項目）を選択すると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。（→ P.29）
- すでに設定されているパーソナル項目を選択したときは、**2** の画面が表示されます。

3 お知らせ日 または お知らせ距離 を選択。

4 日付・距離を入力し、完了 を選択。

- 間違えたとき
  ➡ 修正 を選択。
- 「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、年 ・ 月 ・ 日 を選択して入力することができます。
  ・2 ～ 9 月と 4 ～ 9 日は 月 ・ 日 を選択して入力する必要はありません。
  〈例〉2015 年 9 月 25 日と入力するとき
  1 ・ 5 ・ 年 ・ 0 ・ 9 ・ 2 ・ 5 または 1 ・ 5 ・ 9 ・ 2 ・ 5 の順に選択します。

2. メンテナンス時期を案内する

知 識

- メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンスの自動通知を設定しないと、メンテナンス案内は行われません。（→ P.28）
- 未設定の項目は （白色）、すでに設定されている項目は （水色）、メンテナンス案内が行われる時期の項目は （橙色）で表示されます。

パーソナル項目を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定 → パーソナル項目

2 設定する項目を選択。

- （任意文字入力）を選択したとき
  ➡ 名称を入力する。（→ P.19）

3 お知らせ日 または お知らせ距離 を選択。

- 「メンテナンスを知らせる時期／距離を設定する」（→ P.28）手順 **3** へ。

メンテナンス設定を消去する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定

2 設定を消去する項目を選択。

- すべての設定を消去したいとき
  ➡ 設定全消去 を選択し、はい を選択。

3 設定消去 を選択。

4 はい を選択。

2. メンテナンス時期を案内する

メンテナンス設定を個別に更新する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定 → （設定を更新する項目）

2 自動更新 を選択。

3 はい を選択。

- 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。
- パーソナル項目の免許証更新を選択したとき
  ➡ 3 年後 または 5 年後 を選択。

- すべて更新するとき
  ➡「メンテナンス設定をすべて更新する」（→ P.30）

（知 識）

- 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。（項目により、計算方法は異なります。）

■メンテナンス設定をすべて更新する

1 自動全更新 を選択。

2 はい を選択。

- パーソナル項目の免許証更新の設定をしていたとき
  ➡「メンテナンス設定を個別に更新する」（→ P.30）手順 **3** へ。

販売店の設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定

2 販売店設定 を選択。

3 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。（→ P.68、P.81）

4 セット を選択。

- ⊕の位置に販売店が設定されます。
- 「施設で地図を検索する」（→ P.77）でレクサス販売店を呼び出し、そのまま位置を調整せずに セット を選択すると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

販売店の情報を修正・入力する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定 → 販売店設定

2 修正／入力をする。

- 修正・入力方法については以下のページをご覧ください。

項目	ページ
販売店名	116
スタッフ名前	116
位置	117
電話番号	117

- 販売店に行く を選択すると、販売店の地図が表示されます。
- 販売店を消去したいとき
  ➡ 販売店の消去 を選択し、 はい を選択。

3. Bluetooth 機器を初期登録する

ハンズフリーやBluetoothオーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機を本機に初期登録する必要があります。初期登録完了後は、エンジン／パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッションON モード／ONモードにするたびに自動でBluetooth接続します。

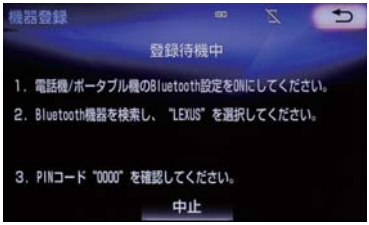
1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth

2 機器登録・接続 を選択。

3 追加 を選択。

- 複数の携帯電話／ポータブル機を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

4 Bluetooth 接続画面が表示されたら、携帯電話／ポータブル機から Bluetooth 登録する。



- 携帯電話側／ポータブル機側の登録操作は、必ずこの Bluetooth 接続画面を表示させて行ってください。
- 携帯電話／ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にしてください。
- 中止するとき
  ➡ 中止 を選択。

5 携帯電話本体／ポータブル機本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、PIN コード（パスキー）を入力する。

- 携帯電話／ポータブル機の機種により、PIN コード（パスキー）入力後に携帯電話／ポータブル機の操作が必要になる場合があります。
- SSP (Secure Simple Pairing) に対応している携帯電話は、PIN コード（パスキー）を入力する必要はありません。ただし、機種によっては携帯電話に確認メッセージが表示される場合があります。表示にしたがって操作してください。
- ポータブル機で PIN コード（パスキー）入力できないとき
  ➡ 本機の PIN コード（パスキー）をポータブル機の PIN コード（パスキー）に変更し（→ P.274）操作しなおす。

6 初期登録が完了すると、メッセージが表示されます。

- 失敗画面が表示されたとき
  ➡ 画面の案内に従い、操作してください。

3. Bluetooth 機器を初期登録する

知 識

- 携帯電話をBluetoothオーディオとしても使用したい場合は、同時に登録できます。
- Bluetooth機器は、5台まで本機に登録できます。
- Bluetooth機器側の操作は、Bluetooth機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 複数の Bluetooth 機器を使用する場合は、Bluetooth 機器の数だけ登録を繰り返します。
- PIN コード（パスキー）とは、Bluetooth 機器を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→ P.274、P.431）
- 一番新しく登録したBluetooth機器が本機で使用するBluetooth機器として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- HFP に対応していない携帯電話は、本機に携帯電話として登録ができません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPP、PBAP のみのサービスは利用できません。（→ P.390）
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- 携帯電話やポータブル機を接続しているときに、他の機器を登録する場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続を切断します。
- 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機側の登録が完了しない場合があります。
  その場合、携帯電話側から Bluetooth の接続を行ってください。

1. 画面の調整・設定を変更する

画質調整画面を表示する

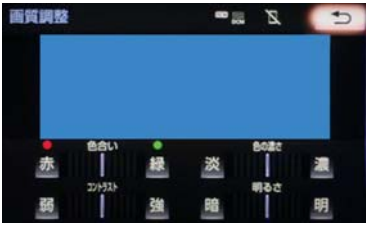
▶共通（映像、カメラ以外）

1 MENU ▶ 画質・消 → 共通

▶映像（DVD・Blu-ray・iPod ビデオ・SD ビデオ・USB ビデオ・TV・外部機器）

1 各操作画面 → 音設定 → 設定 → 画質調整

● BD/DVD 画面の表示例



▶カメラ

1 MENU ▶ 画質・消 → カメラ

画質を調整する

コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整できます。

1 画質を調整する。

● 画質調整では、次の項目を調整することができます。

項目	スイッチ	機能
コントラスト	強	強くする
	弱	弱くする
明るさ	明	明るくする
	暗	暗くする
色合い	緑	緑色を強くする
	赤	赤色を強くする
色の濃さ	濃	色を濃くする
	淡	色を淡くする

● 画質調整（共通）画面の場合、< または > を選択すると、サンプルを切り替えることができます。

知 識

- 昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。
- サイド画面はメイン画面と同様の画質に調整されます。

ライト点灯時に昼画表示にする

1 夜画表示のとき、昼画面 を選択。

- 選択するごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

知 識

- 昼画表示のときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 以下のようなとき、画質調整画面には 昼画面 が表示されません。
  - ・ライト消灯時
  - ・ライト点灯時で周囲が明るいとき

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

1 画面消 を選択。

- 画面を表示させるとき

➡ MAP や AUDIO などを押す。

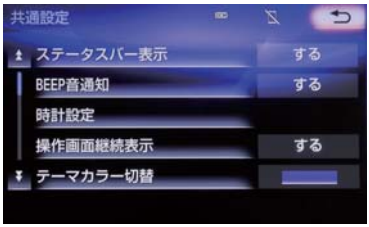
知 識

- 画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。

1. 本機の設定を変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定

2 各項目を設定する。



共通設定画面について

● 共通設定画面から、次の項目を設定できます。

ステータスバー表示

画面上部のステータスバーを表示する／しないを設定できます。

BEEP 音通知

ステアリングスイッチの MODE スイッチ、および CH・TRACK スイッチを長押ししたときなどの応答音出力のする／しないを設定できます。

時計設定

GPS の時刻情報（GPS 時計）を利用して、時刻を調整することができます。（→ P.39）

操作画面継続表示

する を選択すると、オーディオ操作画面、エアコン操作画面を表示したまま約 20 秒以上操作しなかったときに、表示を継続させることができます。しない を選択すると、継続させずに自動でもとの画面に戻ります。

テーマカラー切替

画面のテーマカラーを変更することができます。

スタートアップサウンド

ナビゲーションシステムの起動音を変更することができます。

スタートアップサウンド音量

スタートアップサウンド音量を変更することができます。

決定音通知

リモートタッチで選択したときの応答音出力のする／しないを設定できます。

選択音通知

リモートタッチノブでポインタをスイッチに合わせたときの応答音出力のする／しないを設定できます。

失敗音通知

ポインタをスイッチに合わせずにリモートタッチノブを押した場合など、ナビが操作を受け付けなかったときの応答音出力のする／しないを設定できます。

操作音音量設定

スイッチを選択したときの応答音の音量を設定できます。

操作反力設定

ポインタがスイッチに引き込まれる力の強さを設定できます。

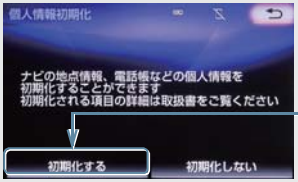
言語設定

ディスプレイに表示される言語および音声案内を日本語／英語に切り替えることができます。

- 日本語に設定するときは、日本語 を選択します。
- 英語に設定するときは、English を選択し、OK を選択します。

個人情報初期化

本機の設定や保存されている情報を初期化することができます。（→ P.40）



初期化する → する の順に選択

ソフトウェア更新設定

ソフトウェア更新の設定をすることができます。（→ P.322）

オープンソフトウェア情報

本製品に使用される第三者ソフトウェアに関するお知らせを表示します。（該当する場合、ソフトウェアの入手方法のご案内も含みます。）

1. 本機の設定を変更する

知 識

● 操作画面継続表示について

・ ハンズフリーの着信時などの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、もとの画面に戻らないことがあります。

● 言語設定について

・ 言語設定を英語に変更した場合、すべての表示および音声案内が英語に変更されるわけではありません。

・ 英語に変更することによって、いくつかの案内がされない場合があります。

時計を調整する

GPS の時刻情報（GPS 時計）を利用して、時刻を調整することができます。
GPS 補正を使用しない場合は、手動で時計を調整することができます。

GPS を利用して時計を調整する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → 時計設定 → GPS 補正 → する

2 時刻を調整する。

- 実際の時刻より進めたいとき
  ➡ ＋ を選択
- 実際の時刻より遅らせたいとき
  ➡ － を選択

手動で時計を調整する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → 時計設定 → GPS 補正 → しない

2 時刻を調整する。

- H の ∨ または ∧ を選択すると“時”、M の ∨ または ∧ を選択すると“分”を調整することができます。
- 時報と同時に ：00 を選択すると、時報に合わせることができます。
  ・0 ～ 29 分は切り下げられます。
  （1:00 ～ 1:29 は、1:00 になります。）
  ・30 ～ 59 分は切り上げられます。
  （1:30 ～ 1:59 は、2:00 になります。）

1. 本機の設定を変更する

個人情報の初期化について

● 次の情報を、削除または初期設定の状態にすることができます。

項目	情報
ソフトウェアキーボード	入力履歴
	追加した単語
	編集した定型文
	ソフトウェアキーボード関連の設定・編集項目
ナビゲーション	走行軌跡
	目的地履歴
	メモリ地点
	迂回メモリ地点
	ユーザーカスタマイズ
	安全・快適走行設定の項目※
	メンテナンス機能の各種設定項目
	メンテナンス自動通知の設定
	販売店の設定
	Web 検索の設定情報
	赤信号案内や一時停止案内の設定
	ルート学習結果
	車両情報設定
オーディオ＆ビジュアル	ラジオ、デジタルテレビでプリセットスイッチに記憶した周波数およびチャンネル情報
	ポータブル機の登録情報
	ボリュームレベル
ハンズフリー	電話帳データ
	発信または着信の履歴データ
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth 電話機の登録情報
	ハンズフリー関連の設定・編集項目
G-Link	Harmonious Driving Navigator 画面のポイント、ステータス
	G メモリ地点情報
	G-BOOK.com コンテンツで取得した G 情報マーク
	メインメニュー画面に G-Link センターが追加したスイッチ
	ブックマーク
	閲覧履歴
	My リクエストのメニュー
	G-Link 関連の設定・編集項目

※ 踏切案内、合流案内、カーブ案内、レーン警告、事故多発地点案内の設定は初期化されません。

2. サーキットモードについて（GS F のみ）

サーキットモードを使用する

サーキットモードにすると、サーキットにおいて特殊な走行を可能にすることができます。

警告

- サーキットモードを使用する場合、高度な運転技能を必要とする場合があります。路面・周囲の状況を確認しながら、慎重に運転してください。
- 一般公道では、サーキットモードを使用しないでください。

知 識

- サーキットモードはエンジンをかけた状態で、自車が完全に停止しているときに設定できます。
- 以下のようなときは、サーキットモードを設定することはできません。
  - ・自車位置が利用可能エリア外のとき
  - ・利用可能エリア内であっても、ピット内やトンネル内など GPS の受信状態が悪いとき
  - ・自車が完全に停止していないとき
  - ・ナビゲーションシステム、エンジンシステムに異常があるとき
- サーキットモード利用可能エリアについては、レクサス販売店にお問い合わせください。

サーキットモードを設定する

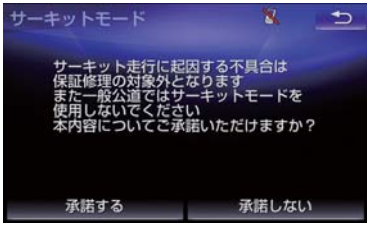
1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援

2 サーキットモード を選択。

- 利用可能エリア内で サーキットモード が選択できるようになります。

3 サーキットモード ON を選択。

4 画面内容をよく確認し、承諾できる場合は 承諾する を選択。

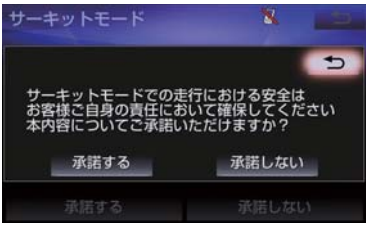


画面に表示される「サーキット走行」とは、保証書に記載する「仕様の限度を超える過酷な使用（レース、ラリー等による走行、エンジン過回転等）」を意味します。

- 承諾しない を選択すると、手順 **3** に戻ります。

2. サーキットモードについて（GS F のみ）

5 画面内容をよく確認し、承諾できる場合は 承諾する を選択。



● 承諾しない を選択すると、手順 **3** に戻ります。

▶ **設定変更が正常に行われたとき**

・音声案内
「ポーン、サーキットモードを ON にしました」

・メーター内
サーキットモードインジケーター点灯。

▶ **設定変更が正常に行われなかったとき**

・音声案内
「ポーン、サーキットモードを ON にできませんでした
再度操作してください」

➡ 手順 **3** へ

サーキットモードを解除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援

2 サーキットモード を選択。

3 サーキットモード OFF を選択。

▶ **設定変更が正常に行われたとき**

・音声案内
「ポーン、サーキットモードを OFF にしました」

・メーター内
サーキットモードインジケーター消灯。

▶ **設定変更が正常に行われなかったとき**

・音声案内
「ポーン、サーキットモードを OFF にできませんでした
再度操作してください」

➡ 手順 **3** へ

知 識

● サーキットモードが自動的に解除される場合

・自車位置が利用可能エリア外に移動したとき

・エンジンを停止したとき

・GPS の受信状態が悪いとき

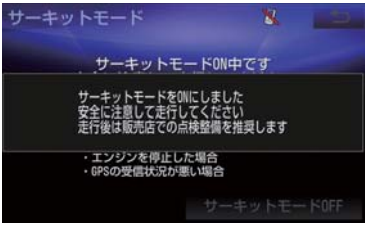
・地図画面の 地図更新 を選択して更新が完了したとき（→ P.497）

・ナビゲーションシステム、エンジンシステムに異常が発生したとき

2. サーキットモードについて（GS F のみ）

■走行後の点検整備について

- サーキットモードが設定されると、点検整備をおすすめするメッセージが表示されます。



- サーキットモードが正常に設定された後、モードON情報を整備提案の参考として販売店に送付するかどうかの画面が出てきた場合は、お好みに合わせて 送付する 送付しない のどちらかを選択してください。
- 以下の場合、上記画面は表示されません。
  - ・G-Link 契約がない場合
  - ・G-Link センターとの通信が行えない場合

知 識

- 点検手続きについては担当レクサス販売店にご相談ください。

1 ナビをお使いになる前に

1. はじめに..... 48
ナビゲーションについて 48
知っておいていただきたいこと..... 48
ナビゲーション用アンテナ
（GPS アンテナ）..... 48

2 ナビを使ってみましょう

1. 地図画面を操作してみましょう.... 49
地図に現在の車の位置を表示する..... 49
地図を動かす 49
地図を拡大／縮小する 49

2. ルート案内をさせてみましょう.... 50
目的地を決める 50
ルート案内を中止する 51
目的地を消去する 51

3. 目的地案内中の現在地画面の
見方について 52

2

ナビゲーション

3 地図画面を操作する

1. 地図の表示 54
現在地を表示する 54
地図を動かす 55
地図縮尺を切り替える 55
地図記号・地図表示について 56
地図の向きを切り替える 58
市街図を表示する 59
施設の内容を表示する 59

2. 地図表示画面を設定する 60
施設記号を表示する 60
近くの施設を検索する 60
立体ランドマークの施設情報を表示する 61
DSSS（Driving Safety Support Systems）運転支援機能を使用する 62
走行した経路を表示する（走行軌跡）..... 63

3. 高速道路・都市高速道路の表示 65
ハイウェイモード表示の操作 65
高速分岐案内表示の操作 67

4. 地図を呼び出す 68
地図を検索する 68
名称で地図を検索する 73
住所で地図を検索する 76
施設で地図を検索する 77
電話番号で地図を検索する 77
ジャンルで地図を検索する 78
マップコードで地図を検索する 79
履歴で地図を検索する 80

5. 検索した地図を操作する 81
ピンポイント検索について 81
提携駐車場を検索する 82
住所で絞り込む 82

4 目的地までの案内

1. 目的地を設定してルートを探索する 84
目的地の設定について 84
目的地画面から目的地を設定する 84
地図画面から目的地を設定する 84
自宅を目的地に設定する 85
ルート探索について 85
ルート探索後の全ルート図表示について 86

2. 目的地案内の開始.....91
目的地案内を開始する 91
目的地案内を中止する 91

3. 目的地への案内について 92
音声案内について 92
交差点案内について 94
到着予想時刻について 98
料金案内について 98

4. ルート案内中の操作.....99
全ルート図を表示する 99
到着予想時刻・残距離表示を
切り替える..... 99

5. ルートを再探索する.....100
ルートを自動で再探索する 100
ルートの再探索方法を選ぶ 100

6. ルートを変更する.....103
ルート変更画面を表示する 103
探索条件を変更する 104
目的地を追加する..... 104
目的地の順番を並び替える 105
目的地を消去する..... 105
出入口 IC（インターチェンジ）を
指定する 107
通過する道路を設定する 107

5 地点の登録

1. メモリ地点を登録する 110
地点の登録について 110
地図画面から登録する 110
メモリ地点登録・編集画面を
表示する..... 110
自宅を登録する 111
特別メモリを登録する 111
メモリ地点を登録する 112
迂回メモリを登録する 113
メモリ地点の情報を修正する..... 115
メモリ地点をグループで絞り込む..... 117

6 ナビを使いこなす

1. 自車位置マークが
ずれているとき 119
補正について 119
現在地を修正する 119
距離を補正する 119

2. ナビの設定を記憶して使う
（ユーザーカスタマイズ)..... 121
ナビ設定を記憶する 121
ナビ設定を呼び出す 121

3. NAVI・AI-SHIFTについて
（GS350/GS250/
GS Fのみ）..... 122

4. ナビの詳細を設定する 124
地図表示設定をする.....125
案内表示設定をする.....127
ルート系設定をする.....128
自動表示切替設定をする 130
音声設定をする.....131
その他の設定をする.....132

5. 安全・快適走行の設定をする 134

6. GPSについて 140

7. 知っておいて
いただきたいこと 141
こんなメッセージが
表示されたとき.....141
故障とお考えになる前に 143
ナビの精度について.....145

7 地図データ情報

1. 地図について 147
データベースの情報を見る 147
地図データについて.....147
地図データの更新について 148

8 VICS・交通情報を使う

1. VICS・交通情報の表示に
ついて 149
VICS・交通情報について 149
タイムスタンプについて 150
VICS 記号の内容を表示する..... 150
VICS・交通情報の表示設定..... 151

2. VICS・交通情報を活用する.....152
渋滞・規制音声案内について 152
VICS 図形情報・文字情報を
表示する..... 152
緊急情報を表示する 153
気象・災害情報を表示する 153
割込情報（ビーコン即時案内）を
表示する..... 154
割込情報の表示設定を変更する..... 156
新旧ルートを比較して表示する..... 157

3. VICS 放送局を選択する.....159

4. VICS について 160
知っておいていただきたいこと..... 161
VICS の用語について 162
VICS センター著作権について 162
VICS・ETC2.0（ITS スポット）・
DSSS の問い合わせ先について..... 163
道路管理者からの
お知らせとお願い 164
VICS 過去データについて..... 166
VICS 記号・表示について 167

5. 交通ナビ関連情報について 169
交通ナビ関連情報を表示する 169

1. はじめに

ナビゲーションについて

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

知っておいていただきたいこと

- 走行するときは、実際の交通規制に必ずしたがってください。
- 安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。
- 目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。
  - ・必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。
- 道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。(→ P.119)
  - ・このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- 自車位置マークは、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。
  - ・このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。
- 実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。
  - ・人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。
    ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチング※やGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
    「ナビの精度について」もあわせてご覧ください。（→ P.145）

※マップマッチングとは、GPS 情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自車位置マークを表示させるシステムです。

ナビゲーション用アンテナ（GPS アンテナ）

インストルメントパネル中央付近に設置されています。

⚠ 注意

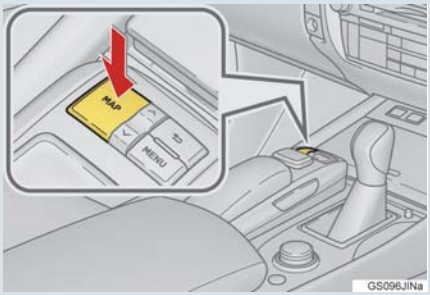
- インストルメントパネル上やウインドウガラス面には、次の物を設置しないでください。ナビゲーションシステム本来の性能が発揮できないおそれがあります。
  - ・金属を含有するウインドウフィルム
  - ・その他の金属物（レクサス純正品以外の電子機器やアンテナなど）

  詳しくは「GPS について」（→ P.140）をご覧ください。

1. 地図画面を操作してみましょう

地図に現在の車の位置を表示する

1 を押す。



現在の車の位置 が表示されます。

現在の位置（自車位置マーク ）

地図画面の表示について

次のような表示をすることもできます。

地図の表示	ページ
地図の向きをかえる	58
地図を立体的に表示する	58
地図の表示色をかえる	125
市街図を表示する	59

地図を動かす

1 地図を選択。

例えばここを選択すると

選択した位置が画面の中央に移動します。

選択した位置

地図を拡大／縮小する

地図を拡大する

1 + を選択、または を押す。

地図を縮小する

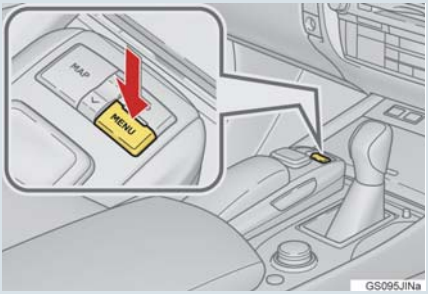
1 - を選択、または を押す。

2. ルート案内をさせてみましょう

目的地を決める

例として、「名称」から「上野動物園」を探して、目的地に設定してみましょう。

1 MENU を押す。



2 目的地 を選択。

3 名称 を選択。

4-1 「うえのどうぶつえん」と入力する。

4-2 検索 を選択。

4-3 上野動物園／東京都台東区 を選択。

5 を選択して、目的地に設定したい場所に を合わせる。

6 目的地セット を選択。

7 案内開始 を選択。

検索方法について

次の方法で検索することもできます。

検索方法	ページ
住所検索	76
施設検索	77
電話番号検索	77
ジャンル検索	78
マップコード検索	79
WEB 検索	511

全ルート図について

案内を開始する前に、全ルート図から次のことができます。

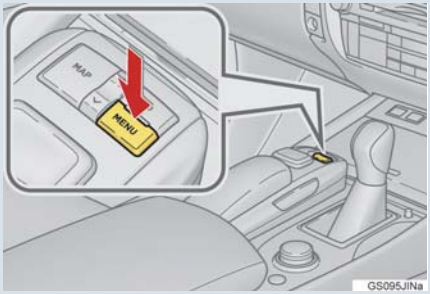
項目	ページ
ルート情報を表示する	89
別のルートを表示する	90
探索条件を変更する	104
目的地を追加する	104
目的地を並び替える	105
目的地を消去する	105
出入口 IC の指定・解除をする	107
通過道路を指定する	107
通過道路を修正する	108
通過道路指定を解除する	109
季節規制区間を迂回するルートを探索する	109
G ルート探索する	502

2. ルート案内をさせてみましょう

ルート案内を中止する

ルート案内中に寄り道をしたいときなどには、ルート案内を中止することができます。中止しても目的地は消去されません。

1 MENU を押す。



2 設定・編集 を選択。

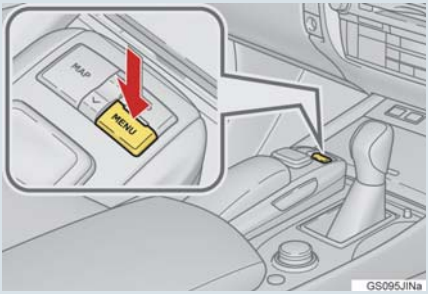
3 案内中止 を選択。

● 案内を再開するとき
➡ 案内再開 を選択。

目的地を消去する

目的地までの道がわかるときなど、ルート案内が不要になったときには、目的地を消去することができます。

1 MENU を押す。



2 目的地 を選択。

3 目的地消去 を選択。

4 はい を選択。

3. 目的地案内中の現在地画面の見方について

番号	表示	機能	ページ
1	方位マーク	地図の方角を表示する。 ：ノースアップ時 ：ヘディングアップ時 ：3D 時 • 地図向きの切り替えについて ➡「地図の向きを切り替える」	58
2	ルート表示	目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示する。 • ルートの表示色の設定について ➡「地図表示設定をする」	84、125
3	案内ポイント	目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示する。	—
4	自車位置マーク	現在位置と車が向いている方角を表示する。	54
5	レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線を表示する。（地図データに情報のある交差点のみ） • 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。	—
6	名称表示	状況により次のものを表示する。（地図データに情報のある地点のみ） • 通過・分岐する交差点の名称 • 走行している道路の名称 • 通過する IC・SA・PA の名称（高速道路を走行しているときのみ） • 分岐する IC・JCT の方面名称（高速道路を走行しているときのみ）	—

3. 目的地案内中の現在地画面の見方について

番号	表示	機能	ページ
7	残距離表示	現在地から目的地までの距離を表示する。 • 表示されているルートを通っての距離を表示します。ルートからはずれたときは、直線距離を表示します。 • 残距離表示の切り替えについて ➡「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」	99
8	到着予想時刻表示／目的地方向マーク	状況により次のマークを表示する。 ■到着予想時刻表示 (アナログ) 17:36 (デジタル) 目的地への到着予想時刻を表示する。 • 到着予想時刻表示の切り替えについて ➡「到着予想時刻表示（アナログ／デジタル）の設定」、「到着予想時刻・残距離表示を切り替える」 ■目的地方向マーク ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示する。	99、127
9	VICS タイムスタンプ	VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示する。 • ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色がかわります。	150
10	GPS マーク	人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに表示する。 • GPS マークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。	140
11	スケール表示	表示させている地図の縮尺を表示する。 • スケール表示について ➡「地図縮尺を切り替える」	55

知 識

● 本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、GPS マーク非表示、VICS 非表示の画面を使用しています。

1. 地図の表示

現在地を表示する

地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。

現在地以外の地図表示中、または地図以外を表示中

1 MAP を押す。

- 現在地画面で、MAP を押すと、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。

知 識

- 走行中は表示される道路が制限されます。（幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。）ただし、幅 5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。
- 新車時、および 12V バッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。
  ただし、地図の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→ P.119）
- 地図データに情報がないときは、路線名・路線番号は表示されません。
- 200m図より広域な地図を表示しているときは、路線名は表示されません。

地図を動かす

選択した地点が画面の中心になるように地図を動かすことができます。地図データに情報があるときは、画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。

現在地からの直線距離

1 地図上を選択。

- 選択し続けると、地図が動く速度が速くなります。（このとき、⊕が黄色になります。）

知 識

- 走行中は安全のため、一定の速度でしか移動しません。また、走行中で市街図（→ P.59）を表示しているときは、地図を移動することはできません。
- 地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、MAP を押し現在地の表示にすると、地図が動くようになります。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（→ P.58）ができないことがあります。
- 地名の表示は、地図の移動をやめると、約 6 秒後自動的に消えます。
- 路線名は、200m 図より広域な地図を表示しているときは、表示されません。

地図縮尺を切り替える

地図を 1/2048 万図～ 1/5 千図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

スケールバー

地図を拡大表示する

1 ＋ を選択、または ∧ を押す。

地図を縮小表示する

1 － を選択、または ∨ を押す。

- 13 段階に切り替えることができます。
- 選択するごとに、1 段階ずつ切り替わります。
- － ・ ＋ を選択、または ∧ ・ ∨ を押したあと、スケールバーの数字を選択すると、縮尺が切り替わります。また、約 1 秒以上操作し続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。希望の縮尺になったら手をはなします。

- 縮尺切り替えメッセージの表示／非表示を設定できます。（→ P.127）

知 識

- 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字を選択して縮尺を切り替えることはできません。

1. 地図の表示

地図のスケール表示について

地図左上に表示される 100m の ____ の長さが約 100m であり、表示されている地図が1/1万縮尺であることを示しています。

スケール表示	縮尺
25m	1/2500
50m	1/5 千
100m	1/1 万
200m	1/2 万
400m	1/4 万
800m	1/8 万
1.6k	1/16 万
3k	1/32 万
7k	1/64 万
13k	1/128 万
26k	1/256 万
50k	1/512 万
100k	1/1024 万
200k	1/2048 万

知 識

- 1/2500 図は市街図表示（→ P.59）に切り替えたとき、表示することができます。

地図記号・地図表示について

表示	内容
	高速道路 （都市高速道路・有料道路を含む）
	国道
	主要道・都道府県道
	一般幹線道
	トンネルまたは整備計画区間 （各道路で表示色は異なります。）
	私鉄
	JR
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地

知 識

- 選択した地図色によって、道路の表示色は異なります。（→ P.125）
- VICS･交通情報を表示する設定になっているときは、道路の表示色が異なります。（→ P.167）

記号	内容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京 23 区役所
	町村役場・東京以外の区役所

1. 地図の表示

記号	内容
	警察署
	消防署
	郵便局
	IC（インターチェンジ）
	SA（サービスエリア）
	PA（パーキングエリア）
	スマート IC （ETC 専用インターチェンジ）
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会

記号	内容
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリーナ・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り※
	レクサス販売店

※ 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

知 識

- 地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成しています。
- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して 1 つのマークで表示されることがあります。

1. 地図の表示

地図の向きを切り替える

▶ ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示します。

▶ ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。

▶ 3D 表示

地図を立体的に表示させることができます。3D 表示に切り替えているときは、車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示します。

1 、 または を選択。

- 選択するごとに、ノースアップ表示・ヘディングアップ表示・3D 表示に切り替わります。

- 3D 表示の角度を調整することができます。(→ P.125)

知 識

- ヘディングアップ表示と 3D 表示は、現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示または 3D 表示に復帰します。

3D 表示の地図を回転する

1 地図上を選択。

2 、 を選択し、地図を回転する。

：時計まわり

：反時計まわり

知 識

- 現在地画面にすると、もとの表示状態（回転前の状態）に復帰します。

市街図を表示する

地図データに市街図の情報がある地域では、1/5 千図を表示すると「市街図」が表示され、市街図表示に切り替えることができます。

1/5 千図表示中（スケール表示が 50m のとき）

1 市街図 を選択。

- 市街図表示には 1/5 千市街図と 1/2500 市街図があります。
  - ・ を選択、または ・ を押して切り替えます。
- 市街図の表示を解除する
  - ➡ 1/5 千市街図表示中、 - を選択、または を押す。

知 識

- 市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。
- 1/2500市街図にすると （一方通行）を表示します。

施設の内容を表示する

市街図表示中

1 施設 を選択。

2 を選択して、内容を表示する施設がある建物に地図を動かし、施設情報 を選択。

- 選んだ建物の階数・施設の件数が表示されます。
- 選んだ建物に 1 つしか施設がないときは、その施設の内容が表示されます。

3 施設名称を選択。

知 識

- 地図データに情報のない建物は、内容が表示されません。

2. 地図表示画面を設定する

施設記号を表示する

ガソリンスタンドなどの施設記号を地図上に表示することができます。

施設記号

知 識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 1/8万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- 表示することができる施設は、⊙または⊕から半径約10km 以内にある施設のみです。（最大 200 件まで）

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設

2 施設のジャンルを選択。

- 5 つまで選択することができます。
- 表示されている以外のジャンルを選択するとき
  ➡ 全ジャンル を選択。
- 全ジャンル を選択したとき
  ➡ 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順に選択。
- 施設記号の表示を消去するとき
  ・個別に消去
  ➡ 選択済みの施設のジャンルを選択
  ・すべて消去
  ➡ 表示解除 を選択

- 施設記号の表示／消去はナビ詳細設定画面でも設定できます。（→ P.125）

知 識

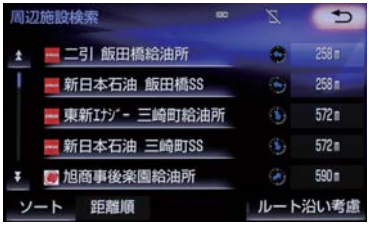
- G 情報マーク表示 は、G-Link を利用しているときのみ使用できます。（→ P.462）

近くの施設を検索する

現在地周辺にある施設記号の名称と距離を知ることができます。

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設 → 施設検索

2 施設名称を選択。



- 表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
  ・地図を動かしたとき、矢印は表示されません。
- 情報 を選択すると、施設の内容が表示されます。（→ P.81）

● ソート を選択するごとに、以下の並べ方をすることができます。

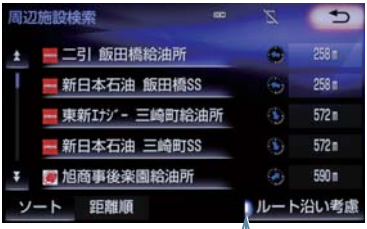
スイッチ	並べ方
距離順	または から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順

知 識

● 検索することができる施設は、または から半径約 10km 以内にある施設のみです。（最大 200 件まで）
● 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

ルート・距離を考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、ルート沿いにある施設のリストを表示することができます。



作動表示灯

1 地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設 → 施設検索 → ルート沿い考慮

● 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右のどちらの方向にあるかを表示します。
● ルートを考慮したリストを表示しているときは、作動表示灯が点灯します。

知 識

● 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

立体ランドマークの施設情報を表示する

地図上に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示させることができます（→ P.125）

1 立体ランドマークを選択。

● 名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 情報 を選択。

● 施設の内容が表示されます。（→ P.81）

2. 地図表示画面を設定する

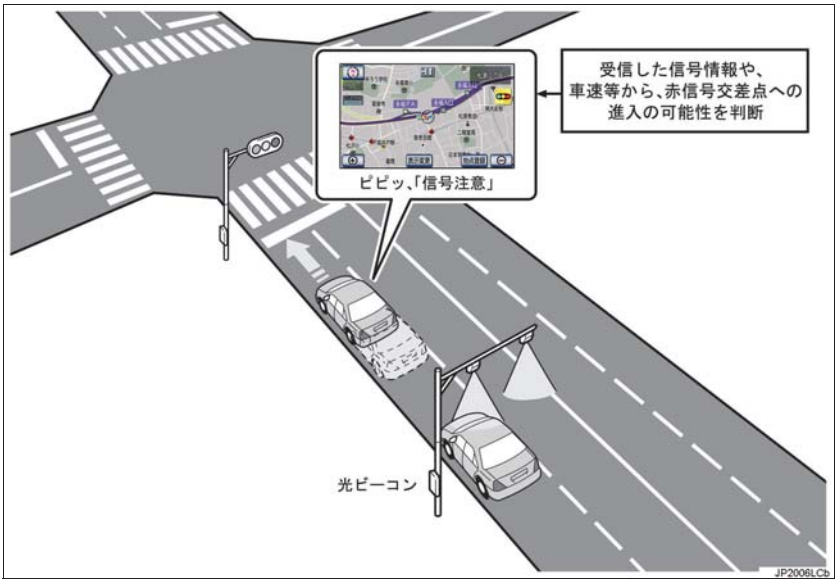
DSSS（Driving Safety Support Systems）運転支援機能を使用する

DSSS（Driving Safety Support Systems）は、ドライバーの認知・判断の遅れや誤りを低減するための運転支援機能です。

見通しの悪い周辺の状況や、信号または標識などの交通管制情報を、道路上に設置された DSSS 用光ビーコンから受信し、車の走行状態や受信情報から、必要に応じてドライバーに周辺の危険要因に対する注意を促します。

DSSS では、次のような案内・注意喚起を行います。

(1) 一時停止注意喚起
(2) 赤信号注意喚起
(3) 信号待ち発進準備案内
(4) 前方停止車両存在案内
(5) わき道車両存在案内



- DSSS は警察庁が推進しているプロジェクトです。2011 年 7 月より、東京都と神奈川県の交差点でサービスが始まり、順次全国展開される予定です。
- 本サービスの対象交差点などの DSSS プロジェクトに関するお問い合わせについては、「VICS・ETC2.0（ITS スポット）・DSSS の問い合わせ先について」（→ P.163）をご覧ください。
- DSSS に関する規格は、一般社団法人 UTMS 協会によって策定されています。また、DSSS のシステム定義は DSSS 有識者懇談会によって策定されています。本製品はそれらに基づいて作られています。

⚠ 警告

● DSSS運転支援機能はあくまでも補助機能です。
案内・注意喚起を過信せず、常に道路標識・表示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知 識

● 運転支援情報を受信したときは、ナビゲーション画面の右上に案内マークが表示されます。
● ナビゲーション画面の右上に表示される案内マークは、一定時間経過または支援対象区間通過後に消えます。
● 表示中の画面によっては、案内マークが表示されない場合があります。
● 以下のような場合は、DSSS 機能が作動しないことや、案内・注意喚起の内容が実際の道路状況と異なる場合があります。
・ ビーコンユニットの上に物を置いたり、窓が汚れたりして、DSSS 用光ビーコンとの通信が遮られたとき
・ DSSS用光ビーコンに木の葉や雪などが付着して、通信が遮られたとき
・ 雨天時等、ワイパーが作動して DSSS用光ビーコンの通信が遮られたとき
・ DSSS用光ビーコンやビーコンユニットに太陽光などが差し込んだとき
・ DSSS用光ビーコンの通信エリアに駐停車車両があり、通信できないとき
・ DSSS用光ビーコンの通信エリアに他の車両と並走して進入したとき
・ DSSS用光ビーコンや感知器、信号機など路側装置の機器メンテナンス作業や故障などによって、通信ができないとき、または誤った情報が本機に提供されたとき
・ DSSS用光ビーコン通過時の速度が著しく速いとき
・ DSSS　用光ビーコンの近くに他の光ビーコンが設置されているとき
・ DSSS用光ビーコンヘッドの向きが変わってしまっているとき（台風等）

知 識

・ 車両始動直後にDSSS用光ビーコンを通過したとき
・ 本機に故障等があり、受信した情報を正しく処理できないとき
・ システムの誤差などでナビゲーションが現在地を特定できないとき
・ 遅い速度で走行しているとき
・ サービス対象地点の地図データがないとき
・ 自車位置が特定できないとき

走行した経路を表示する（走行軌跡）

走行した道路を約1000km分保存し、軌跡を表示することができます。

走行軌跡

2. 地図表示画面を設定する

走行軌跡を表示／解除する

1 地図表示中 → 表示変更

2 走行軌跡表示 を選択。

● 走行軌跡を消去するとき
➡ 走行軌跡解除 、 はい の順に選択。

知 識

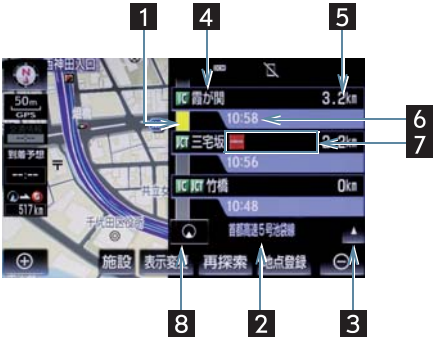
● 保存できる距離を超えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
● 1/2500 図 ～ 1/512 万図で表示することができます。
● 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

3. 高速道路・都市高速道路の表示

ハイウェイモード表示の操作

高速道路（都市高速を除く）にはいると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

目的地案内中は、都市高速または一部の有料道路にはいっても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。



番号	機能
1	VICS・交通情報を受信したとき、赤色（渋滞）、黄色（混雑）を表示。 • 「VICS・交通情報の表示設定」（→P.151）で、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。
2	道路の名称を表示。
3	▲ または ▼ を選択すると、表示区間が切り替わる。
4	施設の名称を表示。 （目的地案内をさせていないときは、最大 10 カ所まで）
5	現在地からの距離を表示。
6	通過予想時刻を表示。
7	施設（SA・PA のみ）にある設備を、ガソリンスタンドを除き最大6つまで表示。 • ガソリンスタンドは先頭に表示されます。 • 6つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。
8	表示区間を切り替えているときに を選択すると、自車が走行している区間に戻る。

3. 高速道路・都市高速道路の表示

設備のマークについて

記号	内容
—※	ガソリンスタンド
	レストラン
	ドラッグストア
	仮眠休憩施設
	お風呂
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便ポスト
	FAX サービス
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	トイレ
	ハイウェイオアシス
	スマート IC (ETC 専用インターチェンジ)

※ 固有のロゴマークが表示されます。

知 識

- 反対車線の情報は表示されません。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（→ P.127）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- SA・PA にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
- 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面（→ P.67）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。

ハイウェイモード表示を解除する

1 地図表示中 → 表示変更

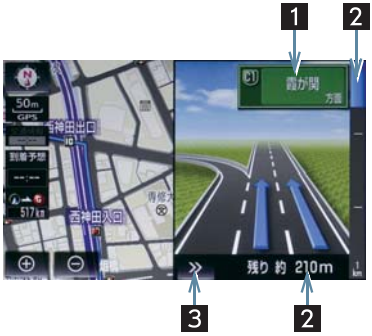
2 高速略図解除 を選択。

- ハイウェイモードに戻すとき
  ➡ 高速略図表示 を選択。

3. 高速道路・都市高速道路の表示

高速分岐案内表示の操作

目的地案内中、分岐点（出口 IC・SA・PA・JCT）が近づくと、高速分岐案内が表示されます。



番号	機能
1	IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。
2	分岐点までの距離を表示。 （分岐点に近づくとともに ■ が短くなります。）
3	高速分岐案内画面を解除。 • 高速分岐案内画面に戻すとき ➡ MAP を押す。

知 識

- 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- 目的地案内直後や目的地周辺では、高速分岐案内が行われない場合があります。
- 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。

4. 地図を呼び出す

地図を検索する

目的地の設定・目的地の追加・メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所の地図をさまざまな方法で呼び出し、表示させることができます。

- 表示された画面で、地図の呼び出し方法を選びます。各呼び出し方法については、表（→ P.69）をご覧ください。

目的地の設定のとき

1 MENU ▶ 目的地 → 目的地画面（→ P.84）

目的地の追加のとき

1 ルート変更画面（→ P.103）→ 目的地・通過目的地の 追加 → 目的地追加画面（→ P.104）

4. 地図を呼び出す

● 目的地の設定と追加画面では、次の表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	73
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	76
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	77
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	77
メモリ地点	メモリ地点を選択すると、その地点の地図を表示する。 • メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。（→ P.112）	—
WEB	G-Link センターを経由し、インターネットの検索エンジンを使用して地図を表示する。	511
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	78
G で設定	ドライブプランや G メモリ地点情報を使用して地図を表示する。 • 目的地の設定を行うときのみ使用できます。	—
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	79
特別メモリに行く 1 / 2 / 3 / 4 / 5	特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。（→ P.111） • 目的地の設定を行うときのみ使用できます。	—

4. 地図を呼び出す

項目（スイッチ）	機能	ページ
特別メモリ周辺 1 / 2 / 3 / 4 / 5	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。（→ P.111） • 目的地の追加を行うときのみ使用できます。	—
履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 • 目的地履歴が登録されているときのみ使用できます。 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 • 一度目的地案内を行ったときのみ使用できます。	80
自宅に帰る	自宅を目的地としてルート探索を開始する。 • 自宅を登録していない場合は、ここから登録することができます。（→ P.85） • 目的地の設定を行うときのみ使用できます。	—
自宅周辺	自宅周辺の地図を表示する。 • 自宅を登録しているときのみ使用できます。（→ P.111） • 目的地の追加を行うときのみ使用できます。	—

目的地の設定・追加以外のとき※

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅 → 登録 →
自宅登録画面（→ P.26）

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 特別メモリ → 登録 →
特別メモリ登録画面（→ P.111）

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 登録 →
メモリ地点登録画面（→ P.112）

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 迂回メモリ → 登録 →
迂回メモリ登録画面（→ P.113）

1 MENU ▶ 設定・編集 → メンテナンス → 項目設定 → 販売店設定 →
販売店設定画面（→ P.30）

※画面はメモリ地点の登録時のものです。

4. 地図を呼び出す

- 目的地の設定と追加以外の地図呼び出し画面では、次の表にある方法で地図を表示することができます。

項目（スイッチ）	機能	ページ
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示する。	—
目的地履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 • 目的地履歴が登録されているときのみ使用できます。 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 • 一度目的地案内を行ったときのみ使用できます。	80
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	73
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	76
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	77
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	77
メモリ地点	メモリ地点を選択すると、その地点の地図を表示する。 • メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。 （→ P.112）	—
WEB	G-Link センターを経由し、インターネットの検索エンジンを使用してスポット検索を行う。	511
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	78
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	79
特別メモリ周辺	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 • 特別メモリ地点を登録しているときのみ使用できます。 （→ P.111）	—

名称で地図を検索する

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。
また全国リスト画面（→ P.74）に表示された件数が多い場合は、エリア（→ P.75）・ジャンル（→ P.76）を指定することにより件数を絞り込むことができます。

知 識

- 入力中に検索先の候補が 5 件以下になり、約 10 秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

名称の読みで検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ 名称

2 名称を入力し、検索 を選択。

- 入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。
- 漢字・カタカナ・英数字・記号で入力するとき
  ➡ 漢字入力 を選択。（→ P.73）

3 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→P.74）

名称の文字入力で検索する

名称読み検索に比べ、検索する施設名称または地名の件数を絞り込むことができます。

- 読み入力 を選択すると、入力していた文字は消去され、名称読み検索の画面に戻ります。（→ P.73）

■ひらがな・漢字入力

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ 名称 → 漢字入力

2 かな を選択し、入力画面を切り替える。

3 名称を入力し、変換 を選択。

- 入力したままの状態で確定したいとき
  ➡ 無変換 を選択。

4 入力したい熟語を選択。

- 変換範囲を修正するとき
  ➡ ＜ ・ ＞ を選択。
- そのままの状態でよいとき
  ➡ 全確定 を選択。

5 検索 を選択。（手順 **3** の画面）

6 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。（→P.74）

4. 地図を呼び出す

■カタカナ、英数字・記号入力

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ 名称 → 漢字入力

2 カナ ・ 英数字 のいずれかを選択し、入力画面を切り替える。

3 名称を入力し、検索 を選択。

▶カタカナ入力時

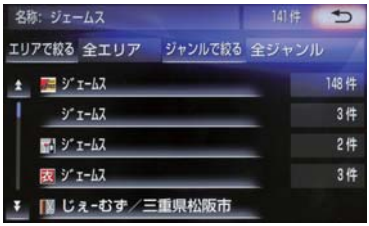
▶英数字・記号入力時

4 検索された施設名称または地名の全国リスト画面が表示されます。(→P.74)

全国リストから検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ 名称 → （名称入力） → 検索

2 表示させる施設名称または地名を選択すると、選択した施設の地図が表示されます。



- エリア (→ P.75) またはジャンル (→ P.76) を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。
- 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。
- まとめて表示されたリストを選択したとき
  ➡ 施設名称を選択。
  ・施設名称のリストは、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
距離順※	ⓘから近い施設または地名の順
名称順	50 音順

※検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に並び替えできない場合があります。

エリア別に絞り込む

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 全国リスト画面（→ P.74）→ エリアで絞る

2 エリアの指定方法を選択。

- 次の方法で、エリアを指定することができます。

スイッチ	項目	ページ
住所	住所で絞り込む	75
地域	地域で絞り込む	75
周辺	周辺で絞り込む	75

■住所選択時

1 都道府県名を選択。

- リスト画面に戻すとき
  ➡ 全エリア を選択。

2 市区町村名を選択。

- 都道府県を指定してリスト画面を表示するとき
  ➡ ○○全域 を選択。

■地域選択時

1 地域名を選択。

- リスト画面に戻すとき
  ➡ 全エリア を選択。

■周辺選択時

1 現在地周辺 または 目的地周辺 を選択。

- リスト画面に戻すとき
  ➡ 全エリア を選択。
- 目的地を複数設定している場合に、目的地周辺 を選択したとき
  ➡ 目的地を選択。

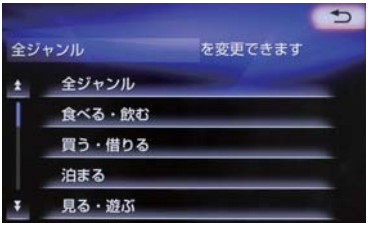
4. 地図を呼び出す

施設のジャンル別に絞り込む

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

1 全国リスト画面（→ P.74）→ ジャンルで絞る

2 施設のジャンル、さらに詳細な施設のジャンルの順に選択。



- リスト画面に戻すとき
  ➡ 全ジャンル を選択。
- 地名を入力したときは、 その他 → 住所 の順に選択すると、地名のリストが表示されます。

（知 識）

- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

住所で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ 住所

2 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順に選択。

- ○○主要部 を選択すると、広域図が表示されます。

3 番地指定 を選択。

4 番地を入力し、検索 を選択。

- 入力した番地に該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。

4. 地図を呼び出す

施設で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ 施設

2 施設のジャンルを選択。

- 表示されている以外のジャンルを表示するとき
  ➡ その他 を選択し、施設のジャンルを選択。

3 都道府県名（路線名）を選択。

- さらに市区町村名（または路線名・販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）を選択します。
- 施設のジャンルによっては、全国施設リストが表示されることがあります。
  このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
  全国の○○ を選択すると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が 50 音順に表示されます。

4 施設名称を選択。

電話番号で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ 電話番号

2 電話番号を入力し、検索 を選択。

- 市外局番から入力します。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 該当する施設がないときや個人住宅などのときは、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 同じ電話番号で複数の地点があるとき
  ➡ 施設名称を選択。

4. 地図を呼び出す

知 識

- 同じ名前の施設が、複数表示されることがあります。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
  - ・デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
  - ・一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。
- 施設の電話番号や所在地、名前などは 1 年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
- 収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
  記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

ジャンルで地図を検索する

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ ジャンル

2 施設のジャンル、さらに詳細な施設のジャンル、検索 の順に選択。

- 5 つまで選択することができます。
- 間違えたとき
  ➡ 選択解除 または選択済みの施設のジャンルを選択。

3 施設名称を選択。

- 施設のリストは、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
距離順	または から近い施設の順
種類順	施設の記号の種類順

知 識

- ルート沿い考慮 を選択すると、ルート沿いの施設のみリストに表示されます。（→ P.61）

施設検索するエリアを変更する

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ ジャンル → エリア

2 施設を検索したい地域を選択。

● 住所指定 を選択すると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。
・選択方法について
➡「住所で地図を検索する」（→ P.76）
手順 **2** へ。

マップコードで地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ マップコード

2 マップコードを入力し、 検索 を選択。

知 識

● マップコード※とは、特定の位置の位置データをコード化し、1 ～ 13 桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

※「マップコード」は、株式会社 デンソーの登録商標です。

● マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
http://www.e-mapcode.com

● マップコードは、メモリ地点（→P.112）・迂回メモリ地点（→ P.113）を登録すると、位置の名称の下に表示されます。

4. 地図を呼び出す

履歴で地図を検索する

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ 履歴

2 希望の目的地履歴を選択。

- 前回出発地 を選択すると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

履歴を消去する

1 地図の呼び出し画面（→ P.68）→ 履歴 → 履歴消去 → （地点名称） → 消去 → はい

（知 識）

- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。

5. 検索した地図を操作する

ピンポイント検索について

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

▶ピンポイント検索されたとき

▶ピンポイント検索されなかったとき

知 識

- 検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に が表示されます。

地図の位置を変更・調整する

1 地図検索後、目的地セットを行う前に を選択して、地図の中心位置を動かし、目的地の位置を変更・調整する。

施設の内容を表示する

1 情報 を選択。

▶情報付き施設表示

- 画面をスクロールするとき
  ➡ を選択。
- ワンタッチスクロールによる移動もできます。
- 住所 ・ 写真 などを選択すると、それぞれの情報が書かれている部分に画面を移動します。

知 識

- 呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。
- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

5. 検索した地図を操作する

提携駐車場を検索する

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 提携 P を選択。

- 提携駐車場のリストが表示されます。

2 駐車場名称を選択。

- 選択した駐車場の地図が表示されます。
- 専用駐車場は P、提携駐車場は P で表示されます。

知 識

- 提携 P を選択しても、駐車場が検索されないことがあります。
- 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
- 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
- 検索される駐車場は、設定した車両情報（→ P.27）により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

住所で絞り込む

住所一覧から検索する

次のときに、検索することができます。
（1）「名称で地図を検索する」のリスト画面で、地名を選択したとき
（2）「電話番号で地図を検索する」で、該当する施設がなかったとき

1 住所一覧 を選択。

2 地名を選択。

- 選択した地名の地図が表示されます。
- 詳細がわからないとき
  ➡ ○○主要部 を選択し、広域図を表示。

周辺住所から検索する

次のときに、検索することができます。
(1)「住所一覧から検索する」で、該当する住所がなかったとき
(2)「住所で地図を検索する」で、該当する住所がなかったとき

1 周辺住所 を選択。

2 番地を選択。

1. 目的地を設定してルートを探索する

目的地の設定について

知 識

- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。(最大 100 カ所まで) 100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴は、消去することもできます。(→ P.132)

目的地画面から目的地を設定する

1 MENU ▶ 目的地

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。(→ P.68、P.81)

3 目的地セット を選択。

- の位置に目的地が記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→ P.85)
- 設定した目的地を消去するとき
  ➡「目的地を消去する」(→ P.106)
- すでに目的地が設定されているとき
  ➡ 次のいずれかを選択。

新規目的地 : 新しく目的地を設定する

追加目的地 : 目的地を追加する※

※以降の設定方法について

➡「目的地を追加する」(→ P.104) 手順 **4** へ。

地図画面から目的地を設定する

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 地図上を選択し、 目的地セット を選択。

2 を選択して、目的地を設定する位置に地図を動かし、目的地セット を選択。

- の位置に目的地が記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→ P.85)
- すでに目的地が設定されているときに、地図画面から目的地を設定した場合、その目的地が一番初めの目的地になり、ルート探索を開始します。

1. 目的地を設定してルートを探索する

自宅を目的地に設定する

1 MENU ▶ 目的地

2 自宅に帰る を選択。

自宅が登録されていないときは

1 MENU ▶ 目的地

2 自宅登録 を選択。

3 自宅の登録方法を選択する。

- 次の方法で、地図を呼び出すことができます。

機能	ページ
現在地周辺	—
目的地履歴	80
住所指定	76

4 セット を選択。

5 自宅に帰る を選択。

ルート探索について

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。（→ P.86）

知識

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- 高速道路や有料道路の IC・SA・PA 内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（→ P.100）を行ってください。
- 私有地などは、その土地の所有者であっても、進入を規制するルートが探索されます。
- 歩行者天国が行われる場所などは、開催日以外の日でも、進入を規制するルートが探索されます。
- 車両制限（車高・車幅・車長など）のある道路は、ルート探索時に考慮されません。

1. 目的地を設定してルートを探索する

ルート探索後の全ルート図表示について

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

- 全ルート図が表示されたあと、MAP を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。（→ P.91）
- 目的地案内開始後にも全ルート図表示画面を表示することができます。（→ P.99）

画面の表示について

下の画面はすべて最終の目的地までのものです。

番号	表示	機能
1	IC マーク	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC と、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の位置に表示する。
2	IC 名称表示	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称を下に、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称を上に表示する。
3	有料道路距離表示	目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示する。 • 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の種類が表示されます。
4	料金案内	目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示する。 • 有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。 • 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したときは、現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示します。
5	距離表示	出発地点から目的地までの距離を表示する。

番号	表示	機能
6	残距離表示	表示されているルートの自車位置から目的地までの距離を表示する。 • ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。
7	到着予想時刻表示	目的地への到着予想時刻を表示する。 • ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。

全ルート図画面の操作

全ルート図表示画面で、次のことができます。

番号	スイッチ	機能	ページ
1	情報	案内道路情報を表示する。	89
2	IC 名称	出入口 IC を指定する。	107
3	案内開始／案内に戻る	目的地案内またはデモンストレーションを開始する。 目的地案内中は、現在地画面に戻る。	91
4	ルート変更	ルート変更画面を表示する。	103
5	5 ルート	別のルートを表示して選択する。 • 目的地案内開始後は表示されません。	90
6	G ルート／元ルート	G-Link センターから交通情報を入手してルート検索する。	502
7	到着予想時刻・ 残距離表示	各目的地までの到着予想時刻･残距離に切り替える。（目的地を複数設定しているとき）	99

1. 目的地を設定してルートを探索する

知 識

- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定した車両情報（→ P.27）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した平均車速（→ P.127）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に✕が表示されることがあります。
- 地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。

ルートの表示について

● ルートの表示は、次の 4 種類あります。

表示色	内容
青色	目的地を 1 カ所、または複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）の表示
白色	目的地を複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示
水色	幅 5.5m 未満の道路表示（→ P.89）
橙色	季節規制区間の表示（→ P.128）

● ルートの表示色の設定を変更することができます。（→ P.125）

● ここでは、初期設定の表示色（青色）で説明しています。

■幅 5.5m 未満の道路表示について

現在地または目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路を通るルートも探索します。

知 識

● 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

ルート情報を表示する（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

1 全ルート図表示画面（→ P.86）→ 情報

2 ルート情報画面が表示される。

● 入口 IC・出口 IC・JCT・目的地・道路の種別の変わり目などでルートを分割して表示します。

● 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。
・それぞれの地点の地図を表示するとき
➡ 地図 を選択。

● 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に が表示されます。

知 識

● 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。

1. 目的地を設定してルートを探索する

5 つのルートから希望のルートを選ぶ

5 つのルートが 5 色に色分けされて表示されます。

1 全ルート図表示画面（→ P.86）→ 5 ルート

2 表示したいルート名称を選択。

● 選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。

スイッチ	内容
推奨	一般的なルートで案内できます。
有料優先	有料道路を優先して案内できます。
一般優先	一般道路を優先して案内できます。
距離優先	距離の短いルートで案内できます。
別ルート	他の 4 つのルートとは別のルートで案内できます。

（知 識）

● 以下のときは、5 ルートを表示できません。
- 目的地を複数設定しているとき
- 通過する地点（IC・通過道路）を指定しているとき
- 目的地案内開始後

5 つのルートの詳細情報を表示する

5 つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間を確認することができます。

探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
推奨	518km	515km	14090円	6時間 56分
有料優先	518km	515km	14090円	6時間 56分
一般優先	555km	0.0km		17時間 21分
距離優先	499km	322km	8540円	9時間 44分
別ルート	562km	558km	14620円	7時間 29分

1 全ルート図表示画面（→ P.86）→ 5 ルート → 全行程一覧

● ルート名称を選択すると、選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。

2. 目的地案内の開始

目的地案内を開始する

全ルート図表示画面（→ P.86）

1 案内開始 を選択。

- 全ルート図が表示されたあと、MAP を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

デモンストレーション（デモ）を見る

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。

全ルート図表示画面（→ P.86）

1 案内開始 を約 3 秒以上選択。

- デモを終了するとき
  ➡ MAP を押す、または走行する。

知 識

- 目的地案内を開始したあとは、デモを見ることはできません。

目的地案内を中止する

1 MENU ▶ 設定・編集

2 案内中止 を選択。

- 再開するとき
  ➡ 案内再開 を選択。

知 識

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。

3. 目的地への案内について

音声案内について

目的地案内中の音声案内の例

■分岐交差点手前

700m 手前
「ポーン およそ 700m 先 ○○を右方向です」
300m 手前
「ポーン およそ 300m 先 ○○を右方向です」
100m 手前
「ポーン まもなく右方向です」
交差点直前
「右方向です」

ポーン まもなく
右方向です

● ○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。

▶信号機案内の例
「ポーン およそ 300m 先 次の信号を右方向です」
「ポーン 次の信号を右方向です」
「ポーン 2 つ目の信号を右方向です」

▶目印案内の例
リアル交差点（→ P.96）を表示したときに音声案内されます。
「ポーン まもなく右方向 高架を登ります」

■有料道路への進入時

「ポーン まもなく右方向です
その先 高速道路です」
「ポーン この先 料金所です」

■連続車線変更案内時

連続車線変更案内（→ P.96）を表示したときに音声案内されます。
「ポーン すぐに左に車線変更が必要です」

■幅 5.5m 未満の道路への進入時

「実際の交通規制や道幅に注意して走行してください」

■首都高速の車線変更案内時

1km 手前
「およそ 1km 先、右（左）方向○○方面です
右（左）側 1 車線を走行してください」
500m 手前
「まもなく右（左）方向、○○方面です
右（左）側 1 車線を走行してください」

■首都高速の車線変更禁止区間案内時

1km 手前
「およそ 1km 先、右（左）方向○○方面です
車線変更禁止区間にご注意ください」
500m 手前
「まもなく右（左）方向、○○方面です
車線変更禁止区間にご注意ください」

3. 目的地への案内について

目的地周辺に到着したときの音声案内の例

■目的地の手前

「ポーン まもなく目的地です」

■目的地の直前

「ポーン 目的地は右（左）側にあります」

音声案内はあくまでも参考としてください。

- 音声案内の音量は調節することができます。（→ P.27）
- MAP を押すと、音声案内が出力されます。

知 識

- 音声案内の例は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- 地図データに情報のある地点で案内されます。
- 首都高速の車線変更禁止区間案内は、車線変更禁止区間の端までの距離が短いとき出力されない場合があります。
- 信号機案内は、以下のようなとき出力されない場合があります。
  - ・信号機のある交差点を走行しているとき
  - ・分岐する交差点までの距離が短いとき
  - ・分岐する交差点までの間に別の信号機があるとき

幅 5.5m 未満の道路での音声案内について

目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

- 細街路での音声案内をする／しないを設定できます。（→ P.131）

知 識

- 実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- 出発地点が幅 5.5m 未満の道路にある場合、幅 5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

他モードでの音声案内について

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

- 他モードに切り替えたときに音声案内のする／しないを設定できます。（→ P.131）

知 識

- 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

3. 目的地への案内について

交差点案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図（→ P.94）または交差点拡大図（→ P.95）に切り替わります。また、ターンリスト図（→ P.97）を表示させることもできます。

レーン（車線）リスト図の表示／解除

分岐する交差点の手前（約 700m 以内）では、レーンリスト図を表示させることができます。
レーンリスト図は、走行する交差点の名称とレーンを４つまで表示させることができ、走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

警告

- レーン案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

■レーンリスト

- レーンリスト図を解除するとき
  ➡ レーン解除 を選択。
  ・レーンリスト図に戻すとき
  ➡ レーン表示 を選択。

知 識

- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ P.95）が自動的に表示されます。

■高精度レーンリスト

高精度レーンリストでは、実際の車線状況に応じたレーンリスト（右側・左側車線の増減を画面にそのまま反映したもの）が表示されます。
また、バックカメラを利用して走行しているレーンを認識することにより、レーンリストに自車位置マーク を表示します。

- レーンリスト図を解除するとき
  ➡ レーン解除 を選択。
  ・レーンリスト図に戻すとき
  ➡ レーン表示 を選択。

■高精度レーンリストを表示できる地域について

2014 年 12 月時点の東京 23 区・政令指定都市※1・中核市※2 における片側 3 車線以上の道路

※1 京都市、福岡市、静岡市、横浜市、神戸市、広島市、堺市、大阪市、北九州市、仙台市、新潟市、名古屋市、札幌市、千葉市、浜松市、川崎市、さいたま市、岡山市、相模原市、熊本市

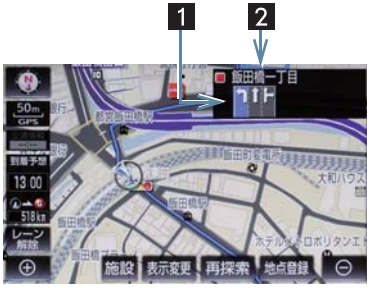
※2 宇都宮市、長崎市、旭川市、東大阪市、金沢市、大分市、松山市、富山市、岐阜市、豊田市、横須賀市、函館市、姫路市、福山市、奈良市、下関市、高知市、倉敷市、青森市、宮崎市、川越市、鹿児島市、いわき市、船橋市、秋田市、長野市、郡山市、豊橋市、岡崎市、和歌山市、高松市、高槻市、盛岡市、柏市、西宮市、久留米市、尼崎市、前橋市、大津市、高崎市、豊中市、那覇市、枚方市

＊2015 年 10 月時点のものであり、変更される場合があります。

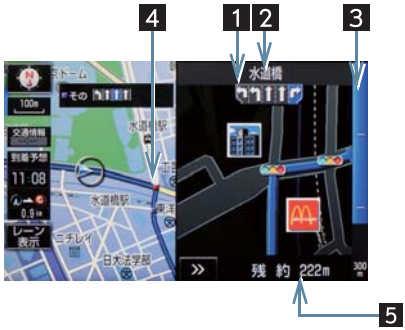
交差点拡大図について

分岐する交差点に近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図が表示されます。

▶分岐しない交差点



▶分岐する交差点（交差点拡大図）



番号	機能
1	通過・分岐する交差点のレーンが表示されます。 • 走行を推奨するレーンが青色で表示されます。
2	通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
3	交差点までの距離が表示されます。 • 交差点に近づくとともに ■ が短くなります。
4	通過・分岐する交差点に表示されます。
5	交差点までの距離が表示されます。

3. 目的地への案内について

● 交差点拡大図の 3D 表示する／しないを設定できます。(→ P.127)

知 識

- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
- レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。
- 交差点拡大図上の残距離とマルチインフォメーションディスプレイ表示上の残距離は異なることがあります。
- ナビ画面上とマルチインフォメーションディスプレイ上の交差点拡大図の表示は異なります。

連続車線変更案内について

分岐する交差点までの距離が短く、複数回車線変更が必要な場合に表示されます。

知 識

- 地図データに情報のある地点で表示します。

立体的な拡大図の表示／解除

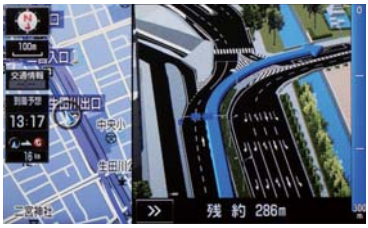
目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

▶都市高速 IC 入口

▶立体交差点

3. 目的地への案内について

▶リアル交差点



▶側道案内

- 拡大図表示を解除するとき
  ➡ » を選択。
  ・拡大図に戻すとき
  ➡ MAP を押す。
- 地図データに情報のある地点で表示されます。
- リアル交差点拡大図は、都市部の交差点で分岐が分かりづらい交差点で表示されます。

ターンリスト図の表示

分岐する交差点・IC・JCT などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号を表示させることができます。

番号	機能
1	分岐する交差点・IC・JCT 名称が表示されます。 現在地から次に分岐する交差点・IC・JCT までは、現在走行中の路線名が表示されます。
2	案内ポイント区間の距離、案内ポイント通過後の路線番号が表示されます。
3	案内ポイントでの案内する方向が表示されます。

- ターンリスト図の自動表示のする／しないを設定できます。（→ P.130）
- ターンリスト自動表示を「しない」に設定していても、地図画面の 表示変更 → 地図表示 からターンリスト図を表示することができます。

知 識

- 一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約 700m 手前では、レーンリスト図（→ P.94）・交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ P.95）が自動的に表示されます。
- 地図データに情報のない交差点・IC・JCT 名称、路線名、路線番号は表示されません。

3. 目的地への案内について

■ターンリスト図表示の解除

1 地図表示中 → 表示変更

2 ターンリスト解除 を選択。

● ターンリスト図に戻すとき
➡ ターンリスト表示 を選択。

到着予想時刻について

全ルート図表示画面（→ P.86）と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、到着予想時刻を表示させることができます。

到着予想時刻表示

● 到着予想時刻の表示（アナログ／デジタル）を設定できます。（→ P.127）

知 識

● 到着予想時刻は設定した平均車速（→ P.127）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
● ルートからはずれたときは、目的地方向マーク（ ）になります。

料金案内について

目的地案内中の現在地画面で、料金通知がある場合、地図左上に料金が表示され、音声案内されます。

知 識

● 地図データに情報のない料金所では、料金案内は行われません。
● 料金は設定した車両情報（→ P.132）のナンバープレートの分類番号から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
● 有料道路と一般道路が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道路へずれることがあります。このとき再探索が行われると、実際と異なる料金が案内されることがあります。

4. ルート案内中の操作

全ルート図を表示する

1 地図表示中 → 表示変更

2 全ルート を選択。

● 全ルート図表示画面について
➡「ルート検索後の全ルート図表示について」（→ P.86）

全ルート図表示縮尺を切り替える

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルートを、現在地を地図表示画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。

1 - または + を選択。

2 を選択。

知 識

● 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

到着予想時刻・残距離表示を切り替える

目的地を複数設定しているとき、目的地ごとの到着予想時刻・残距離表示に切り替えることができます。

到着予想時刻・残距離表示

1 到着予想時刻・残距離表示を選択。

● 目的地が 2 カ所のときは、選択するごとに各目的地までの到着予想時刻・残距離表示に切り替わります。

2 表示させたい目的地までの到着予想時刻・残距離表示を選択。

知 識

● 状況により目的地までの表示が異なります。
・現在地がルート上にあるとき
➡ 到着予想時刻と表示されているルートを通っての距離
・ルートからはずれたとき
➡ 目的地の方向と直線距離

5. ルートを再探索する

ルートを自動で再探索する

ルートからはずれたときに、自動的に再探索させることができます。
再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

(知 識)

- 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。
- 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

ルートの再探索方法を選ぶ

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。

1 MAP ▶ 再探索

2 再探索する項目を選択。

5. ルートを再探索する

項目（スイッチ）	機能
次の消去	現在地の次の目的地を消去して、再探索をする。
次の解除	現在地の次の通過道路（）を解除して、再探索をする。IC を指定している場合、 指定IC解除 を選択すると IC の指定を解除して、再探索をする。
スマート IC 考慮	目的地周辺や現在地周辺に適当なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索される。適当なスマート IC がない場合は、通常の IC を通るルートが探索される。
推奨	現在地から次の目的地※4の間で、一般的なルートを探索する。
有料優先	現在地から次の目的地※4 の間で、有料道路を優先してルートを探索する。
一般優先	現在地から次の目的地※4 の間で、一般道路を優先してルートを探索する。
距離優先	現在地から次の目的地※4の間で、距離の短いルートを探索する。
別ルート	現在地から次の目的地※4 の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。
周辺迂回※1	現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。（探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。） • 目的地案内開始前にはできません。
有料道から探索／一般道から探索※2	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。 • 目的地案内開始前にはできません。
G ルート探索／取得中止※3	G-Linkセンターから交通情報を入手してルートの再探索を行う。ルート探索中、 取得中止 を選択すると、G ルート探索情報の取得を中止する。
回避ルート探索※5	気象・災害情報エリアを回避するルートを探索する。

※1 ルートからはずれたときは表示されません。

※2 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

※3 G-Link を利用しているときのみ使用できます。

※4 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートを探索します。

※5 目的地案内中に気象・災害情報を受信したときのみ表示されます。

5. ルートを再探索する

知 識

- 通常のルート探索では、スマート IC を通らないルートが探索されます。
- 「〇〇優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、有料優先 を選択しても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、一般優先 を選択しても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへ戻るルートではなく、設定している目的地または指定している IC・通過道路に向かうルートが再探索されます。

6. ルートを変更する

ルート変更画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 設定・編集画面
または
全ルート図表示画面（→ P.86）

2 ルート変更 を選択。

▶設定・編集画面

▶全ルート図表示画面

3 ルート変更画面が表示される。

● ルート変更画面では、次のことができます。

機能	ページ
探索条件の変更	104
目的地の追加	104
目的地の並び替え	105
目的地の消去	105
出入口 IC の指定・解除	107
通過道路の指定	107
通過道路の修正	108
通過道路指定の解除	109
季節規制区間の迂回ルート探索	109
G ルート探索	502

● 探索開始 を選択すると、スマートICを通らないルートが探索されます。

● スマート IC 考慮 を選択すると、目的地周辺や現在地周辺に適当なスマート IC がある場合は、スマート IC を通るルートが探索されます。適当なスマート IC がない場合は、通常の IC を通るルートが探索されます。

6. ルートを変更する

探索条件を変更する

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

1 ルート変更画面（→ P.103）→ 探索条件変更

2 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）、探索開始 の順に選択。

知 識

- 探索条件の特徴について
  - ➡「ルートの再探索方法を選ぶ」（→ P.100）
- 最初の目的地までの区間のみ、「別ルート」が表示されます。

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

1 ルート変更画面（→ P.103）→ 目的地・通過目的地の 追加

2 地図の呼び出し方法を選び、追加したい地点の地図を表示する。（→ P.68、P.81）

3 目的地セット を選択。

- ⊕の位置に目的地が G 記号で表示されます。
- ここまでの操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。（→ P.84）

4 目的地を追加する区間の 設定 を選択。

- ルート変更画面に戻ったとき
  - ➡ 探索開始 を選択。
- さらに追加して目的地を設定するとき
  - ➡ 追加 を選択。（手順 **2** の画面へ）

知 識

- 10 カ所まで追加することができます。
- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地履歴を選択して消去することもできます。（→ P.132）
- IC・通過道路（→ P.107）を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

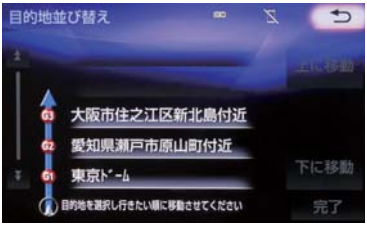
6. ルートを変更する

目的地の順番を並び替える

1 ルート変更画面（→ P.103）→ 目的地・通過目的地の 並び替え

- IC・通過道路（→ P.107）を指定しているときは、メッセージが表示されます。はい を選択すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

2 順番を変更したい目的地を選択。



3 上に移動 または 下に移動 を選択。

- 上に移動 を選択すると、選択した目的地を上に移動します。（目的順としては後ろに移動します。）
- 下に移動 を選択すると、選択した目的地を下に移動します。（目的順としては前に移動します。）

4 完了 を選択。

- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 を選択。

目的地を消去する

次の方法で、目的地を消去することができます。

消去方法	ページ
ルート変更画面から消去する	106
目的地画面から消去する	106
地図画面から消去する	106

知 識

- すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。
- 複数目的地を設定し、IC・通過道路（→ P.107）を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によって IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。
- 複数目的地を設定時に中間の目的地を削除すると、前ルートの探索条件でルート探索されます。

6. ルートを変更する

ルート変更画面から目的地を消去する

ルート変更画面（→ P.103）

1 目的地・通過目的地の 消去 を選択。

● 1 カ所のみ設定されていたとき
➡ 手順 **3** へ

2 消去したい目的地、 消去 の順に選択。

3 はい を選択。

● ルート変更画面に戻ったとき
➡ 探索開始 を選択。

目的地画面から目的地を消去する

1 MENU ▶ 目的地

2 目的地消去 を選択。

●「ルート変更画面から目的地を消去する」（→ P.106）手順 **2** へ。

● 1 カ所のみ設定されていたとき
➡「ルート変更画面から目的地を消去する」（→ P.106）手順 **3** へ。

地図画面から目的地を消去する

1 地図上の消去したい目的地を選択。

2 情報 を選択。

3 消去 を選択。

●「ルート変更画面から目的地を消去する」（→ P.106）手順 **3** へ。

出入口 IC（インターチェンジ）を指定する

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1 カ所ずつ指定することができます。

1 全ルート図表示画面（→ P.86）またはルート変更画面（→ P.103）→ (IC 名称表示)

2 次のいずれかの操作をする。

▶左画面で指定する

- 指定したい IC 付近に地図を動かし、探索開始 を選択。

▶右画面で指定する

- ▲ ・ ▼ または 次路線 を選択して IC を切り替え、指定したい IC 名称 → 探索開始 の順に選択。
- 次路線 は JCT があり分岐するときのみ表示されます。
- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 を選択。

知 識

- スマート IC（ETC 専用インターチェンジ）を選択することもできます。
  このとき、ETC 車載器の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

IC の指定を解除する

1 全ルート図表示画面（→ P.86）またはルート変更画面（→ P.103）→ (IC 名称表示)

2 出口解除 または 入口解除 を選択。

通過する道路を設定する

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

知 識

- 2 カ所まで指定することができます。
- IC を指定しているとき（→ P.107）、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

6. ルートを変更する

通過する道路を指定する

1 ルート変更画面（→ P.103）→ 通過点（通過道路指定）の 指定

2 通過道路を指定する位置に地図を動かし、通過道路セット を選択。

3 セット を選択。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
  ➡ 次候補 を選択。
- 目的地を複数設定しているとき、またはIC・通過道路を指定しているとき
  ➡ 通過道路を指定する区間の 設定 を選択。
- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 を選択。

知 識

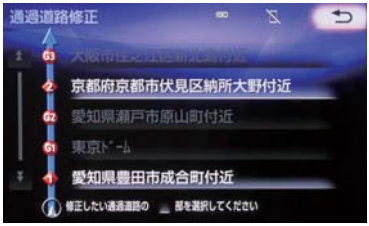
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、次候補 を選択しても、道路が選べないことがあります。

通過する道路を修正する

1 ルート変更画面（→ P.103）→ 通過点（通過道路指定）の 修正

2 通過道路を指定する位置に地図を動かし、通過道路セット を選択。

- 通過道路が複数指定されていたとき
  ➡ 道路または地名を選択。



3 セット を選択。

- 通過道路が◆記号で指定されます。
- 希望の通過道路でないとき
  ➡ 次候補 を選択。
- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 を選択。

知 識

- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、次候補 を選択しても、道路が選べないことがあります。

通過する道路指定を解除する

1 ルート変更画面（→ P.103）→ 通過点（通過道路指定）の 解除

2 はい を選択。

- 通過道路が複数指定されていたとき
  ➡ 道路または地名を選択。

- すべての通過道路指定を解除するとき
  ➡ 全解除 を選択。
- ルート変更画面に戻ったとき
  ➡ 探索開始 を選択。

季節規制区間の迂回ルートを探索する

1 ルート変更画面（→ P.103）→ 季節規制回避

知 識

- 季節規制回避 または 季節規制通過 は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
- 規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、季節規制回避 を選択しても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

1. メモリ地点を登録する

地点の登録について

検索した地点を本機に登録することができます。
地点を登録しておくと、
(1) 地図にマークで表示されます。
(2) 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
(3) 目的地の設定のときなどに、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。(→ P.68)

地図画面から登録する

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

1 地図表示中、登録したい位置に地図を動かし 地点登録 を選択。

メモリ地点登録・編集画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集

2 メモリ地点登録・編集 を選択。

3 メモリ地点登録・編集画面が表示される。

● 以下の方法で地点の登録・編集をすることができます。

番号	機能	ページ
1	自宅の登録と編集を行う。	111
2	特別メモリの登録と編集を行う。	111
3	メモリ地点の登録と編集を行う。	112
4	迂回メモリの登録と編集を行う。	113

知 識

● 1/8万図より詳細な地図で登録することができます。(現在地画面(地図画面)から登録するときを除く)
● 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同時に表示されることがあります。

自宅を登録する

自宅の登録方法は、「自宅を登録する」（→ P.26）をご覧ください。

自宅を修正／消去する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅

2 修正 を選択。

● 自宅を消去するとき
➡ 消去 、はい の順に選択。

3 自宅修正画面で各項目を修正する。

● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	115
名称	116
地図への名称表示	116
名称読み	117
位置	117
電話番号	117

4 完了 を選択。

特別メモリを登録する

特別メモリとは、走行中でも呼び出すことが可能なメモリ地点です。5 カ所まで登録することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 特別メモリ → 登録

2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→ P.68、P.81）

3 セット を選択。

4 未登録の番号を選択。

● 特別メモリを差し替えたいとき
➡ 差し替えたい特別メモリ、はい の順に選択。

5 完了 を選択。

1. メモリ地点を登録する

特別メモリを修正する

1 特別メモリ画面（→ P.111）→ 修正

2 修正したい特別メモリを選択。

3 特別メモリ修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	115
名称	116
地図への名称表示	116
名称読み	117
位置	117
電話番号	117

4 完了 を選択。

特別メモリを消去する

1 特別メモリ画面（→ P.111）→ 消去

2 消去したい特別メモリを選択。

3 消去 を選択。

4 はい を選択。

メモリ地点を登録する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 登録

2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→ P.68、P.81）

3 セット を選択。

4 完了 を選択。

メモリ地点を修正する

1 メモリ地点画面（→ P.112）→ 修正

2 修正したいメモリ地点を選択。

- グループで絞る を選択すると、メモリ地点を指定したグループで絞り込むことができます。
  ・絞り込みを解除したいとき
  ➡ 絞り込み解除 を選択。
- メモリ地点のリストは、以下の並べ方をすることができます。

スイッチ	並べ方
マーク順	マークの種類別
登録順	メモリ地点の登録順

3 メモリ地点修正画面で各項目を修正する。

- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
マーク	115
名称	116
地図への名称表示	116
名称読み	117
位置	117
電話番号	117
グループ	117

4 完了 を選択。

メモリ地点を消去する

1 メモリ地点画面（→ P.112）→ 消去

2 消去したいメモリ地点を選択。

3 消去 を選択。

4 はい を選択。

迂回メモリを登録する

工事や通行止め、よく渋滞する場所などが分かっているとき、迂回メモリとして登録しておくと、そのエリアを迂回するルートを探索します。

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 迂回メモリ → 登録

2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→ P.68、P.81）

3 セット を選択。

- 迂回範囲が黄色の四角で表示されます。

1. メモリ地点を登録する

4 迂回範囲を設定し、セット を選択。

▲ ：迂回範囲を広くする

▼ ：迂回範囲を狭くする

● ▲ ・ ▼ の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。

5 完了 を選択。

知 識

● 1/8万図より詳細な地図で登録することができます。

● 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。

● 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。

● 迂回範囲を最小にすると、✖（迂回メモリ地点）に切り替えることができます。高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。

● 迂回メモリ地点は専用のマーク（✖）で表示され、マークを変更することはできません。

迂回メモリを修正する

迂回メモリの修正、および解除、迂回エリアの変更ができます。

1 迂回メモリ画面（→ P.113）→ 修正

2 修正したい迂回メモリを選択。

3 迂回メモリ修正画面で各項目を修正する。

● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
名称	116
地図への名称表示	116
位置	117

● 登録した迂回メモリを解除したいとき
➡ 無効 を選択。

● 迂回エリアを変更したいとき
➡ 迂回エリア変更 を選択。
▲ ▼ で迂回範囲を設定し、
セット を選択。

4 完了 を選択。

迂回メモリを消去する

1 迂回メモリ画面（→ P.113）→ 消去

2 消去したい迂回メモリを選択。

3 消去 を選択。

4 はい を選択。

メモリ地点の情報を修正する

メモリ地点のマーク・名称などの地点情報は、メモリ地点修正画面から変更できます。

メモリ地点修正画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → 自宅 、特別メモリ または メモリ地点

2 修正 、または修正・入力したい地点を選択するとメモリ地点修正画面が表示される。

マークを変更する

1 メモリ地点修正画面（→ P.115）→ マーク

2 ⌋マーク 1⌊、⌋マーク 2⌊、⌋マーク 3⌊ または 音声付 を選択し、希望のマークを選ぶ。

● マークが不要なとき
➡ ⌋マーク 3⌊ の マーク無し を選択。

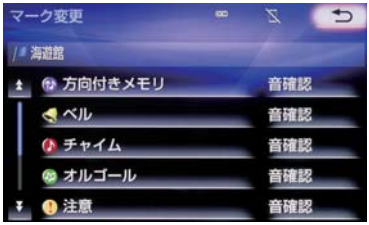
3 完了 を選択。

音声付きメモリを設定する

設定した地点の約500m付近で音が鳴ります。

1 メモリ地点修正画面の マーク（→ P.115）→ 音声付

2 鳴らしたい音を選択。



● 鳴る音を確認するとき
➡ 音確認 を選択。

3 完了 を選択。

1. メモリ地点を登録する

■音声／方向付きメモリを設定する

指定した方向から約500m付近に近づくと音が鳴ります。

1 メモリ地点修正画面の マーク（→ P.115）→ 音声付 → 方向付メモリ

2 方向を指定し、セット を選択。

：反時計回り

：時計回り

3 完了 を選択。

メモリ地点名称を入力する

1 メモリ地点修正画面（→ P.115）→ 名称

2 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、完了 を選択。

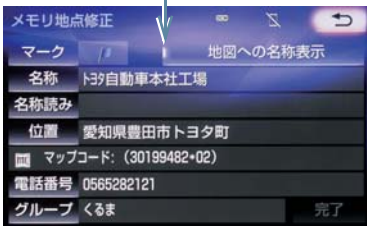
3 完了 を選択。

地図にメモリ地点名称を表示する

メモリ地点修正画面（→ P.115）

1 地図への名称表示 を選択。

名称が表示されているときに点灯



● 解除するとき

➡ 地図への名称表示 を選択。

知 識

● 1/8万図より詳細な地図で名称を表示することができます。

メモリ地点の名称読みを入力する

名称読みを入力しておくと、音声操作で地図を呼び出すことができます。(→ P.305)

1 メモリ地点修正画面（→ P.115）→ 名称読み

2 ソフトウェアキーボードを使用して名称読みを入力し、完了 を選択。

3 完了 を選択。

メモリ地点の位置を修正する

1 メモリ地点修正画面（→ P.115）→ 位置

2 を選択して地点の位置を修正し、セット を選択。

3 完了 を選択。

メモリ地点の電話番号を入力する

電話番号を入力しておくと、電話番号で地図を呼び出すことができます。(→ P.77)

1 メモリ地点修正画面（→ P.115）→ 電話番号

2 市外局番から電話番号を入力し、完了 を選択。

3 完了 を選択。

メモリ地点をグループで絞り込む

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 修正 または 消去 → グループで絞る

2 絞り込みたいグループを選択。

- 絞り込みを解除したいとき
  ➡ 絞り込み解除 を選択。

- 地図呼び出し画面のメモリ地点検索でも、グループで絞り込むことができます。(→ P.68)

1. メモリ地点を登録する

グループを指定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → メモリ地点登録・編集 → メモリ地点 → 修正 → （グループを指定したい地点を選択） → グループ

2 指定したいグループを選択。

● グループ指定をしないとき
➡ グループなし を選択。

3 ⮌ を選択。

■グループを作成・修正する

1 新規グループ作成 を選択。

● グループ名を修正したいとき
➡ 修正したいグループ名、グループ名修正 の順に選択。

2 ソフトウェアキーボードを使用してグループ名を入力し、完了 を選択。

■グループを削除する

1 グループ削除 を選択。

2 削除したいグループ、削除 の順に選択。

3 はい を選択。

1. 自車位置マークがずれているとき

補正について

地図上の自車位置マークがずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。
GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

知 識

- 現在地の自動補正は、数分かかることがあります。
- 1/8万図より詳細な地図で補正することができます。

現在地を修正する

実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）とき、自車位置マークの位置と向いている方向を修正することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ補正 → 現在地修正

2 を選択して現在地を修正し、セット を選択。

3 方向を修正し、セット を選択。

：反時計回り

：時計回り

距離を補正する

走行中、地図上の自車位置マークの進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自車位置マークの進み方を修正することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ補正 → 距離補正

2 補正をして、 を選択。

- 実際より遅く進むとき
  ➡ ＞ （進める）を選択。
- 実際より早く進むとき
  ➡ ＜ （遅らせる）を選択。

初期状態の位置

- 自動補正 を選択すると、GPS 情報を利用しながら、しばらく走行し、自動的に補正を行います。

1. 自車位置マークがずれているとき

- 初期状態 を選択すると、自車位置マークを適切な位置に表示できるように自動で補正します。（の位置が初期状態（0の位置）に戻ります。）

知 識

- タイヤ交換を行ったときは自動補正を行ってください。
- 自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自車位置マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 自動補正モード中は、補正をすることはできません。

⚠ 注意

- TVキットを装着すると、GPS遮断／車速遮断が発生し、自車位置がずれたり、フリーズすることがあります。

2. ナビの設定を記憶して使う（ユーザーカスタマイズ）

ナビの各種設定を記憶しておくと、その設定状態を呼び出して使うことができます。設定状態は 3 パターンまで記憶できるため、ナビをお使いになる方ごとに登録しておくと便利です。

● 次の設定項目を記憶することができます。

項目	ページ
地図向きの設定	58
地図表示縮尺の設定	55
周辺施設　走行中呼出ジャンルの設定	132
音量設定	27
メンテナンス自動通知の設定	28
ナビ詳細設定一覧の設定※	124
安全・快適走行設定一覧の設定	134
VICS・交通情報の表示設定	151
VICS 割込情報の表示設定	156

※ ルート学習、車両情報設定は記憶することができません。

ナビ設定を記憶する

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → ユーザーカスタマイズ

2 記憶 を選択。

● 設定 1 ～ 3 の名称を変更したいとき
➡ 名称変更 を選択して名称を入力し、完了 を選択。

● 設定を消去したいとき
➡ 消去 、はい の順に選択。

3 はい を選択。

● 手順 **2** ですでに記憶されている設定を選んだときは、はい を選択すると上書きされます。

● 新規で記憶するとき
➡ ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、完了 を選択。

ナビ設定を呼び出す

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → ユーザーカスタマイズ → 設定 1 、設定 2 または 設定 3

3. NAVI・AI-SHIFT について（GS350/GS250/GS F のみ）

NAVI・AI-SHIFT が作動すると、以下の情報を元にオートマチックトランスミッションを 6 速から 3 速（GS350 [AWD]/GS250）、8速から3速（GS350 [FR] /GS F）の間でより適切なシフトレンジに自動的に切り替えます。

- ナビゲーションの道路形状（コーナー、交差点など）
- 道路勾配
- 運転者のアクセル・ブレーキ操作
- バックカメラを利用した道路上のペイントの認識※

※ バックカメラを利用した道路上のペイントの認識は、高速道路の合流・退出時のみです。

- NAVI・AI-SHIFT のする／しないを設定できます。（→ P.134）

警告

- NAVI・AI-SHIFT を過信しないでください。
  - ・NAVI・AI-SHIFT は状況により作動しないときがあるため、常に道路状況に気を付け、安全な速度で通行してください。
  - ・応急用タイヤ装着時は、NAVI・AI-SHIFT を「しない」に設定することをお勧めします。

NAVI・AI-SHIFT が作動するとき

シフトレバーがDで車速が約20～100km/hのとき作動します。

知識

- 以下のときは、NAVI・AI-SHIFT は作動しません。
  - ・NAVI・AI-SHIFT を「しない」に設定したとき
  - ・レーダークルーズコントロールを使用しているとき
  - ・シフトレバーが D 以外のとき
  - ・ECT の SNOW モードを選択しているとき
  - ・車速が約　20km/h　以下、または約 100km/h 以上のとき
  - ・ナビゲーションの地図の道路上に自車位置マークがのっていないとき
- 目的地案内をしていないときは、作動頻度が少なくなります。
- 状況によりエンジン回転数の高い状態が続くことがあります。これは走行状況に合わせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行っているためで急加速を示すものではありません。
- 高速道路のインターチェンジ・サービスエリア・パーキングエリアの合流と退出時、および本線上の料金所・検札所の手前で行う支援対象路線は、制限速度 80km/h 以上の区間が 1ヵ所以上存在する都市間高速道路と有料道路（都市高速道路は除く）です。ジャンクションの合流と退出は対象外です。

3. NAVI・AI-SHIFT について（GS350/GS250/GS F のみ）

知 識

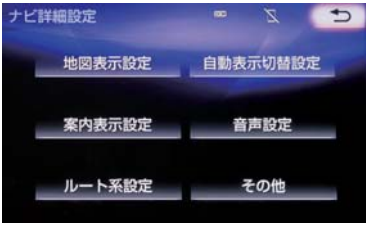
- 以下のようなときは、高速道路の合流、退出、料金所支援が行われない場合があります。
  - ・自車推定位置が正しくないとき（道路間違い、自車位置前後ずれ）
  - ・地図データと実際の道路状態が変わったとき
  - ・道路上のペイントを認識できなかったとき（→ P.145）
  - ・自車位置推定に自信がないとき（並走道路がある、トンネル退出直後、エンジンスイッチを操作した直後など）
  - ・合流、退出、料金所支援の実施に必要な信号を本機が取得できていないとき
  - ・スマート IC を走行するとき
  - ・手前に料金所のない合流路を走行するとき
- 以下のようなときは、誤って高速道路の合流、退出、料金所支援を行う場合があります。
  - ・自車推定位置が正しくないとき（道路間違い、自車位置前後ずれ）
  - ・地図データと実際の道路状態が変わったとき

4. ナビの詳細を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集

2 ナビ詳細設定 を選択。

3 設定したい項目を選択。



4 各項目を設定する。

● 詳しくは、次の表をご覧ください。

項目	ページ
地図表示設定	125
案内表示設定	127
ルート系設定	128
自動表示切替設定	130
音声設定	131
その他	132

● 初期設定の状態に戻すとき
➡ 初期状態 を選択。

地図表示設定をする

3D 地図表示設定

地図を 3D 表示するときの角度設定ができます。

- 設定後に選択
- 角度を上げる
- 角度を下げる
- 初期設定の状態に戻す

地図色設定

地図表示色を フレッシュ 、ナチュラル 、スタイリッシュ 、クッキリ 、カラフル の中から選択できます。

- 明るい色使いの画面や、すっきりとしたシャープな色使いの画面など、お好みに合わせて選択できます。

ルート色設定

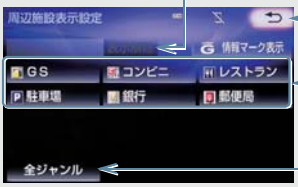
目的地まで案内するルートの表示色を 5 色から選択できます。

地図の文字サイズ変更

地図上に表示される地名などの文字サイズを 大 、中 、小 の中から選択できます。

周辺施設表示

ガソリンスタンドなどの施設記号を地図上に表示することができます。



- 選択した施設を全て解除
- 設定後に選択
- 施設のジャンルを選択
  - ・5 つまで選択できます。
  - ・再度選択すると、解除されます。
- 表示されている以外のジャンルを選択
  - ・全ジャンル →施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンルの順に選択

- 施設記号

4. ナビの詳細を設定する

立体ランドマーク表示

立体的な施設マークの表示する／しないを選択できます。

- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）

シーズンレジャーランドマーク表示

桜や紅葉などの季節名所の表示する／しないを選択できます。

- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- マークが表示される時期は、名所ごとに異なります。

知 識

● 立体ランドマーク表示／シーズンレジャーランドマーク表示について
・ 地図データに情報のない施設／名所は、表示されません。

● ルート色設定について
・ ルート色が変更されるのは地図上のルート色のみです。ルート情報画面、探索条件変更画面、交差点拡大図などのルート色は変更されません。

案内表示設定をする

縮尺切替メッセージ表示

縮尺切替中に『市街図を表示します』などのメッセージを画面に表示する／しないを選択できます。

- 縮尺切替メッセージ表示を「しない」に設定したときは、以下のメッセージは表示されなくなります。
  - ・「施設情報 VICS・交通情報は広域の地図には表示されません」
  - ・「施設情報は 800m 図より広域の地図には表示されません」
  - ・「VICS・交通情報は 1.6km 図より広域の地図には表示されません」
  - ・「市街図を表示します」

県境案内

都道府県境を通過したとき、案内マークと音声で案内する／しないを選択できます。

3D 交差点拡大図

交差点拡大図を立体的（3D）に表示する／しないを選択できます。

到着予想時刻用速度設定

ルート案内するときの、到着予想時刻・通過予想時刻・所要時間を計算する基準である平均車速を自動、または手動で設定できます。

▶ 手動で設定するとき

設定後に選択
下げる
上げる
初期設定の状態に戻す

到着予想時刻表示

到着予想時刻の表示を、アナログまたはデジタルに設定できます。

G 情報マーク連動サービス

レクサスケアコミュニケーターに目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合に、目的地に近づくと最新の満空情報に自動で更新する／しないを選択できます。（→ P.512）

知 識

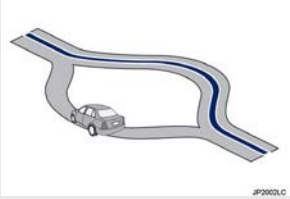
- 県境案内について
  - ・ 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

4. ナビの詳細を設定する

ルート系設定をする

ルート学習

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内する／しないを選択できます。「する」に設定した場合、目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。



- ルート学習する区間に、一部でも幅 5.5m 未満の道路が含まれている場合は、ルート学習をすることができません。（自宅登録時の自宅周辺を除く）
- ルート学習は、ルート探索時の推奨ルートに反映されます。

ルート学習結果の消去

はい を選択すると、ルート学習結果を消去できます。

季節規制メッセージ表示

冬期通行止めになる道路など、長期間に渡り規制される区間を含むルートが探索されたとき、メッセージを表示する／しないを選択できます。規制区間は、全ルート図表示画面にルートが ▬▬ で表示されます。

- 季節規制区間を迂回するルートを探索したいとき
  ➡「季節規制区間の迂回ルートを探索する」（→ P.109）

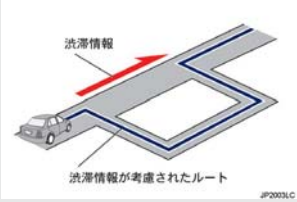
フェリールート利用

フェリーを利用するルートを探索する／しないを選択できます。フェリーの航路は ------（破線）で表示されます。

- フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

渋滞考慮探索

ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報を考慮したルートを探索する／しないを選択できます。



- プローブコミュニケーション交通情報が取得されたときは、取得された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索ができます。(→ P.502)
- 現在地から約 10km 以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。

新旧ルート比較表示

ビーコンまたは G-Link センターから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示する／しないを選択できます。(→ P.157)

プローブ交通情報自動取得

2 つのタイミングで自動的に G ルート情報を取得する／しないを選択できます。(→ P.503)

知 識

● ルート学習について
- 学習した道が使われない場合もあります。
- 自車位置マーク が実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。(高速道路、またはバイパスのような高架道路と並行している道路がある場合など。)
- 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

● 季節規制メッセージ表示について
- 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色は変わらず、メッセージも表示されません。

4. ナビの詳細を設定する

自動表示切替設定をする

一般道方面看板表示

一般道と同等の方面看板を自動で表示する／しないを選択できます。

ターンリスト自動表示

ターンリスト（分岐する交差点・IC・JCT などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号）を表示する／しないを選択できます。（→ P.97）

← ターンリスト

- 一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約 700m 手前では、レーンリスト図（→ P.94）・交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ P.95）が自動的に表示されます。

知 識

- 一般道方面看板表示について
  - ・地図データに情報のない地点では表示されません。
- ターンリスト自動表示について
  - ・地図データに情報のない交差点・IC・JCT 名称、路線名、路線番号は表示されません。

音声設定をする

VICS 渋滞・規制音声自動発声

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内する／しないを選択できます。**（→ P.152）**

細街路での音声案内

目的地周辺で、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートで音声案内する／しないを選択できます。**（→ P.93）**

他モード時の案内

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときに、音声案内する／しないを選択できます。**（→ P.93）**

ハートフル音声

通常の目的地案内中の音声案内とは、異なった音声を出力する／しないを選択できます。

▶ ハートフル音声の例

- 自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき
  「お疲れさまでした」
- ナビゲーション画面が表示されるとき
  「今日は○月○日○曜日です」

予報音

音声案内の予報音（ポーン）を、BEEP1（低音）、BEEP2（高音）、消音から選択できます。

- 消音を選択すると、予報音の出力をしません。

知 識

● VICS 渋滞・規制音声自動発声について
- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

● ハートフル音声について
- 状況などにより異なった音声が出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

4. ナビの詳細を設定する

その他の設定をする

自動ボタン消し

地図画面下部の「+」（拡大）／「−」（縮小）スイッチなどを常に表示する／しないを設定できます。

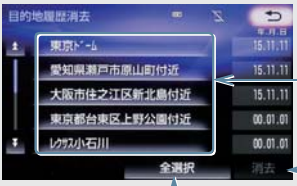
- 「する」に設定したときは、数秒後にスイッチが消えます。

車両情報設定

料金の計算、および提携駐車場を検索するときの基準である車両情報を変更することができます。**（→ P.27）**

目的地履歴の消去

目的地設定した地図の地点を削除できます。



消去する地点名称を選択

消去 → はい の順に選択

すべての目的地履歴を選択

- 目的地設定した地図の地点が 100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

画面切り替え時の動画表現

画面の切り替わるスイッチを選択したときや、 を押したとき、アニメーションのように表現されて画面を表示する／しないを選択できます。

- 「しない」に設定してもメニュー画面から画面を切り替えるときの動画は表現されます。

ナビ補正

自車位置マーク の位置と方向、進み方を修正できます。**（→ P.119）**

VICS ／ ETC2.0 設定

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。**（→ P.156）****また、現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。****（→ P.159）**

4. ナビの詳細を設定する

ユーザーカスタマイズ

ナビの各種設定を記憶し、その設定状態を呼び出して使うことができます。設定状態は、3 パターンまで記憶できます。**（→ P.121）**

周辺施設 走行中呼出ジャンル

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

設定後に選択

変更したい施設のジャンル→走行中呼出ジャンルに登録したい施設のジャンル→さらに詳細な施設のジャンルの順に選択

知 識

● 画面切り替え時の動画表現について
　・ 動画表現することのできない画面もあります。

5. 安全・快適走行の設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援

2 安全・快適走行設定 を選択。

3 各項目を設定する。

● 詳しくは、次の表をご覧ください。

知 識

● ブラインドスポットモニターとドライブモードセレクトの設定については、別冊 GS350/GS250/GS F 取扱説明書または GS450h/GS300h 取扱説明書をご覧ください。

一時停止案内

一時停止交差点に近づいたときに、案内マーク（ ）と音声で案内する／しないを選択できます。

一時停止注意喚起（DSSS）

一時停止交差点に近づいてもアクセルペダルを踏んでいる状況など、ドライバーが一時停止を見落としているとシステムが判断した場合、喚起マーク（ ）と音声で「ピピッ、一時停止です」と注意喚起する／しないを選択できます。

一時停止注意喚起タイミング（DSSS）

一時停止注意喚起をするタイミングの早い／遅いを設定できます。

赤信号注意喚起（DSSS）

赤信号交差点に近づいてもアクセルペダルを踏んでいる状況など、ドライバーが赤信号を見落としているとシステムが判断した場合、喚起マーク（ ）と音声で「ピピッ、信号注意」と注意喚起する／しないを選択できます。

赤信号注意喚起タイミング（DSSS）

赤信号注意喚起をするタイミングの早い／遅いを設定できます。

信号待ち発進準備案内（DSSS）

赤信号で停車したとき、信号待ち時間の目安をナビゲーション画面に表示する／しないを選択できます。待ち時間が短くなると、周囲の状況確認を促すメッセージを表示します。

- » を選択すると、信号待ち時間表示を消すことができます。再度表示するには、地図画面で 表示変更 → 信号待ち発進準備案内 の順に選択します。

前方停止車両存在案内（DSSS）

前方が見えにくい場所に停止車両または低速車両が存在する場合、案内マーク（前方注意）と音声で「ポーン、この先、前方の車にご注意ください」と案内する／しないを選択できます。

わき道車両存在案内（DSSS）

見通しが悪い交差点のわき道に車が存在する場合、案内マーク（わき道注意）と音声で「ポーン、この先、わき道からの車にご注意ください」と案内する／しないを選択できます。

逆走注意案内

サービス対象道路※にて、逆走状態を検知し、画面表示と音声で「ポーン、逆走のおそれがあります。進行方向をご確認ください」と案内する／しないを選択できます。

※ サービス対象道路は、都市間高速道路・都市高速道路・一部の有料道路の本線および IC・JCT・SA・PA 施設です。

踏切案内

踏切に近づくと、案内マーク（）と音声で案内する／しないを選択できます。

合流案内

合流道路に近づくと、案内マーク（、）と音声で案内する／しないを選択できます。

カーブ案内

急カーブに近づくと、案内マーク（、、、）と音声で案内する／しないを選択できます。

5. 安全・快適走行の設定をする

レーン案内

都市高速道路走行中、レーン数減少地点に近づくと、案内マーク（ 、 ）と音声で案内する／しないを選択できます。

- 右折・左折専用レーンでは、案内マークは表示されません。

▶ 右折・左折専用レーン案内の例

- 直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折・左折専用レーン案内はされません。この場合は「ポーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。

事故多発地点案内

交通事故が多発している地点を案内する／しないを選択できます。

- 一般道路上では、交通事故が多発している地点に案内マーク（ ）が表示されます。1/5 千図～ 1/8 万図の地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- 高速道路上では、交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク（ ）が表示され、音声で案内します。

学校存在案内

学校に近づくと、案内マーク（ ）と音声で案内する／しないを選択できます。

- 案内できる学校は、全国の小学校・中学校・養護学校（聾学校・盲学校含む）・外国人学校※の小学校・中学校です。

※ 専有校舎物件のみ。

NAVI・AI-SHIFT *

NAVI・AI-SHIFT（→ P.122）を作動する／しないを設定できます。

トンネル連動内気

エアコンの内外気切り替えが AUTO モードのとき、トンネルに入ると自動的に内気循環に切り替えする／しないを選択できます。

*：GS350/GS250/GS F のみ

警告

● 安全・快適走行設定の案内は、あくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知 識

● 一時停止案内について
- 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
  - 地図データに情報のない地点
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
  - 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - 一時停止交差点が連続するとき
  - 他のナビ音声案内などと重なるとき
- 以下のようなときは、誤って一時停止案内を行う場合があります。
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - 地図データと実際の道路状態が変わったとき（信号機付き交差点に変わったなど）

● DSSS について
- DSSS については、「DSSS（Driving Safety Support Systems）運転支援機能を使用する」（→ P.62）をご覧ください。

知 識

● 赤信号注意喚起について
- 以下のようなときは、赤信号注意喚起が作動しない、または実際の信号表示と異なる場合があります。
  - DSSS 用光ビーコンを通過後、信号情報が変化し、受信した信号情報が実際の信号表示と異なるとき
  - 信号機に矢印信号が点灯しているとき
  - 信号機の制御方式等により、DSSS 用光ビーコンから送信される信号情報が不確定なとき

● 信号待ち発進準備案内について
- 以下のようなときは、信号待ち発進準備案内が作動しない、または実際の信号表示と異なる場合があります。
  - 停車時点で赤信号の待ち時間が少ないとき
  - 信号機に矢印信号が点灯しているとき
  - 信号機の制御方式等により、DSSS 用光ビーコンから送信される信号情報が不確定なとき

5. 安全・快適走行の設定をする

知 識

● 前方停止車両存在案内について

・以下のようなときは、前方停止車両存在案内が作動しない、または実際の道路状況と異なる場合があります。

・DSSS 用光ビーコンを通過後、支援対象地点に進むまでに、停止車両や渋滞などの状況が変化し、受信した検知情報が実際の交通状況と異なるとき

・停止車両がセンサーの検知範囲外に存在しているとき

・車両を検出する路上に設置されたセンサーが、車両の特徴や環境条件、経年変化などによって、車両の未検知や誤検知を起こすとき

● わき道車両存在案内について

・以下のようなときは、わき道車両存在案内が作動しない、または実際の道路状況と異なる場合があります。

・DSSS 用光ビーコンを通過後、支援対象地点に進むまでに、前方のわき道に存在する車両の状況が変化し、受信した検知情報が実際の交通状況と異なるとき

・車両がセンサーの検知範囲外に存在しているとき

・路上に設置された車両を検出するセンサーが、車両の特徴や環境条件、経年変化などによって、車両の未検知や誤検知を起こすとき

知 識

● 逆走注意案内について

・以下のようなときは、逆走注意案内が行なわれない場合があります。

・サービス対象道路以外を走行している場合

・「本線、または本線に繋がる区間でのＵターン、SA・PA 進入路からの逆走」以外の方法で逆走する場合（一般道から高速道出口へ進入し逆走する場合など）

・ナビゲーション、またはナビゲーションの各種センサーが故障している場合

・ナビゲーションが、サービス対象道路を走行中であることを特定できていない場合

・地図データに情報のない道路を走行している場合

・急激な回転をした場合

・自車位置補正、方位補正が行われた直後

・地図更新が行われた直後

・料金所付近を走行している場合

・本線への合流区間が短い場合

・スマート IC 付き SA・PA、その他特定の SA・PA である場合

・以下のようなときは、誤って逆走注意案内が行なわれる場合があります。

・自車位置を逆走対象道路上と誤認識し、U ターン動作をした場合

・自車位置マーク の位置が正しくない場合

・料金所手前などのUターンが禁止されている場所で、逆走とはならないＵターンを行った場合

・SA・PA 内で交通規制に従わない走行を行った場合（SA・PA 内での一方通行違反等）

・重大事故発生時などの警察・道路管理会社の誘導によりUターンを行った場合

知 識

● 道路形状案内について
- 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
- 以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
  - 目的地案内開始直後
  - 再探索直後
  - 目的地周辺
- 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
- 道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

● 学校存在案内について
- 以下のようなときは、学校存在案内が行われない場合があります。
  - 地図データに情報のない地点
  - 土曜日、日曜日
  - 午後 7 時～午前 7 時
  - 自宅登録時の自宅周辺
  - 一部の有料道路や自動車専用道路を走行中
- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - 案内表示中に別の学校に近づいたとき
  - 他のナビ音声案内などと重なるとき

6. GPS について

GPS（Global Positioning System：汎地球測位システム）は、米国が開発・運用しているシステムで、通常 4 個以上、場合により 3 個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置（緯度・経度など）を知ることができるものです。
このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。

GPS 情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS 情報を利用できないことがあります。

- ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- GPS アンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- 人工衛星が電波を出していないとき（米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）を GPS アンテナ付近で使用したとき

システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。

この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

7. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、自宅周辺 を選択したため。	自宅を登録してからお使いください。（→ P.26）
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺 1 ～ 5 または特別メモリに行く 1 ～ 5 を選択したため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。 （→ P.111）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を表示したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8 万図より広域の地図で、目的地・メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。（現在地画面（地図画面）から地点登録するときを除く）	目的地・メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（1/8 万図以下）で行ってください。
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	• 目的地を変更する場合、はい を選択したあと、地図を道路付近に移動して、セット を選択し、目的地を設定してください。 • 表示されている位置に目的地を設定するときは、いいえ を選択してください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	

7. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。（→ P.112）
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点（自宅・特別メモリ地点含む）400 カ所・G メモリ地点情報 100 カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。 （→ P.113）
セットで◆を乗降 IC に設定します 次候補で別の出入口を探します	指定した IC に出口（入口）が複数あるため。	希望の出口（入口）のときは、セット を選択してください。 希望の出口（入口）でないときは、次候補 を選択してください。
指定したICは時間規制によりご利用できない場合があります IC 指定を続けますか？	指定した IC に時間規制があるため。	指定を続けるとき、はい を選択してください。 指定をやめるとき、いいえ を選択してください。
指定された出入口 IC は規制があります ご注意下さい	時間規制のある IC を利用時間内に通過できないおそれがあるため。	指定している前後のICから乗降してください。
○○○○上に目的地を設定しますか？ （高速道路、有料道路など）	高速道路、有料道路上などで目的地を設定しようとしたため。	そのまま設定するときは、設定する を選択してください。 別の道路に設定するときは、他の道路 を選択してください。
指定された区間の前後に乗降 IC または通過道路が決定済みです 指定を解除しますか？	乗降 IC または通過道路を指定してある前後に目的地を追加しようとしたため。	乗降ICまたは通過道路の指定を解除して目的地の追加を続けるときは、はい を選択してください。 乗降ICまたは通過道路の指定を解除せず目的地の追加を続けるときは、いいえ を選択してください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。
該当する施設がありません	施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	条件を変更して、再度検索してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。（→ P.54）
自車位置マークが表示されない。		
GPS マークが表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPS アンテナ上部（→ P.48）に物が置いてあるときは、移動させてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。（→ P.91）
	案内の音量が小さく（音声 OFF に）なっていませんか。	音量を大きくしてください。（→ P.27）
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99％以上の有効画素がありますが、0.01％以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ON モードにしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。（→ P.34）

7. 知っておいていただきたいこと

症状	考えられること	処置
実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている。 （自車位置マークがずれている。）	人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車位置マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車位置マークがずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。） GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→ P.119）

ナビの精度について

次のようなときは、故障ではありません。

知 識

- このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
- タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。（→ P.119）

■以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車位置マークが表示されている（自車位置マークがずれている）ことがあります。

- 角度の小さな Y 字路を走行しているとき、他方の道に自車位置マークが表示されることがあります。
- 隣の道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自車位置マークやルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車位置マークが表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車位置マークが移動前の位置になっていることがあります。
- 自車位置マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき
- 12V バッテリーターミナルを脱着したあと
- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出たとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が 4 輪とも指定の空気圧でないとき
- 摩耗したタイヤに交換したとき（2 シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ビルの近くを走行したとき
- ルーフキャリヤを取りつけたとき
- 高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

■このシステムは、GPS 情報・各種センサーなどのほかにバックカメラの画像認識機能を使い、道路上のペイントを認識し、地図データベースの情報と比較することで、より精度の良い自車位置の特定を行っています。したがって以下のような場合、一時停止線までの距離、走行しているレーンの位置、高速道路の本線への合流・退出が正しく認識されないことがあります。

- 明るさ、外乱光や影の影響
  - ・街灯などの光源が無く暗い道路を夜間走行するとき
  - ・夜間に番号灯の消灯・バルブの切れ・よごれ、光学式ナンバーなどにより、車両後方が暗いとき
  - ・夜間、後続車が接近しているときや、後続車のヘッドライトが上向きになっているとき
  - ・降雨時や雨上がりなど、路面が濡れて光っていたり、水たまりがあるとき
  - ・自車・他の車両・ガードレール・街路樹など、道路構造物の陰の中や近くに道路上のペイントがあるとき

7. 知っておいていただきたいこと

・朝日や夕日など、太陽の光がカメラに入るとき
・トンネルの出入口など明るさが急激に変化するとき

● 道路上のペイントや路面の状態（カスレ、よごれ、隠れ）の影響
・道路上のペイントが存在しない
・道路上のペイント周辺に積雪や融雪剤があるとき
・道路上のペイント周辺に道路上のペイントを隠す障害物があるとき、路面の色や明るさが一様でないとき
・コンクリート路のように道路上のペイントと路面のコントラスト差が少ない道路
・カスレやよごれにより、はっきり見えないとき
・路面補修痕、タイヤのスリップ痕、道路の継ぎ目などがあるとき
・道路上のペイントの寸法や形状が規格外のとき
・マフラーからの煙がカメラ視野に入ってくるとき

● 車両・走行状態の影響
・車高が著しくかわったとき
・タイヤを交換した直後
・キャンピングカーなどをけん引しているとき
・車が停車しているときや、微速走行しているとき
・凹凸がある路面の走行や、障害物回避などの動作によりジグザグ走行をしたとき
・著しく速度が速いとき

● カメラの状態の影響
・カメラのレンズがよごれたり、水滴が付着していたり、曇っているとき
・トランクが開いたまま走行しているとき
・車両後部をぶつけたりして、カメラの位置や方向がずれたとき
・カメラの視野を遮るものを装着したとき

● その他
・地図と現地の状況が合わなくなったとき（道路工事で道路上のペイント状況が変わったなど）
・測位性能が低下したときや道路上のペイントの種類、配置状況などにより画像認識が困難なとき

■探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

● 直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
● 交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。
● 案内が行われない交差点があります。
● U ターン禁止の場所で、U ターンするルートの案内が行われることがあります。
● 実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路、道幅が狭い道路など）の案内が行われることがあります。
● 目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
● ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。
● 実際の現在地と異なる場所に自車位置マーク が表示されている場合、誤った案内をすることがあります。

■ルート再探索時、以下のようなことがあります。

● 再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。
● 高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
● 再探索時に、ルートが遠まわり（大まわり）になることがあります。
● 通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へ戻るルートが表示されることがあります。
● 再探索しても、ルートがかわらないことがあります。
● ルートが探索されないことがあります。

1. 地図について

データベースの情報を見る

1 MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新

2 使用データ を選択。

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。

なお、このナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

(知 識)

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が 3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

1. 地図について

地図データの更新について

地図データは、以下の方法で更新することができます。

全更新：最新版地図ソフトを購入いただき、全ての地図データを更新します。詳しくは、レクサス販売店にご相談ください。

※ 最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了する場合があります。

差分更新：通信またはパソコン（ディスク、USB メモリー、SD メモリーカード）を使用して、部分的に地図データを更新します。詳しくは、「マップオンデマンド（地図差分更新）」（→ P.490）をご覧ください。

知 識

- 全更新するときは、それまでの差分更新のデータと比較し、古い情報のみ更新され、最新の情報はそのまま保存されます。

地図データベースについて

■交通規制データの出典

- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、(株) トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

■道路交通規制の優先

- このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

■交通事故多発地点

- 地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁及び国土交通省のデータを基に作成してあります。

■渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索

- JARTIC/VICS の情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が作成したデータを使用しています。

■統計交通情報

- 統計交通情報データは、JARTIC/VICS 及び独自で収集した交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

1. VICS・交通情報の表示について

地図上に VICS 記号（→ P.167）を表示することができます。以下は表示例です。

▶通常の地図

▶ハイウェイモード

	渋滞情報の表示例		
	渋滞	混雑	すいている道路
現況情報	▬	▬	▬
統計情報	▬▬▬▬	▬▬▬▬	▬▬▬▬

VICS・交通情報について

VICS・交通情報には、現況情報と統計情報があります。

知 識

- 現況情報と統計情報を同時に表示する設定にしている場合は、現況情報を優先して表示します。
- 現況交通情報・統計情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新（→ P.490）などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。

知 識

- 提供される現況交通情報・統計情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。
- 交通情報量が多い場合は、表示までに時間がかかります。

現況情報について

■現況 VICS 情報

VICS センターから提供される現況の情報です。

知 識

- 現況情報は、1/16 万図より詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっては、1/16 万図では表示できない記号もあります。
- 現況交通情報は、Gルート探索（→ P.502）すると取得することができます。

■現況交通情報

G-Link センターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報です。（→ P.502）

統計情報について

過去の交通情報を統計処理した情報です。

知 識

- この情報は、地図データに収録されています。現況情報が受信できないときでも、日時・時間帯に応じた情報を表示できます。
- 統計情報は、1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。

1. VICS・交通情報の表示について

タイムスタンプについて

タイムスタンプを選択すると、現況情報の提供時刻や渋滞情報、渋滞・規制音声案内を出力することができます。（→ P.152）

タイムスタンプ

知 識

- タイムスタンプはメイン画面の地図上にのみ表示されます。

時刻表示について

- 現況情報が提供された時刻を示しています。（現況情報が受信された時刻ではありません。）
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、[- - : - -] の表示になります。
  現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が [- - : - -] になります。
- エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ ON モードにした直後など、現況情報が受信されるまでは、[- - : - -] の表示になります。

色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）に現況情報があると色がかわります。

スイッチ	内容
赤色（ 8:00 ）	渋滞情報
橙色（ 8:00 ）	混雑情報
黄色（ 8:00 ）	交通規制情報

文字表示について

現況 VICS 情報を受信すると「VICS」、現況交通情報を受信すると「交通情報」と表示します。

知 識

- 現況VICS情報･現況交通情報の両方が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- 1/32 万図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにした直後など、現況情報が受信されるまでは「交通情報」と表示します。
- 現況 VICS 情報と現況交通情報を同時に表示できるときは、「VICS」と表示します。

VICS 記号の内容を表示する

1 地図上の規制情報、または施設情報（→ P.167）の記号を選択。

知 識

- VICS記号によっては、内容が表示されないこともあります。

VICS・交通情報の表示設定

1 地図表示中 → 表示変更 → VICS・交通情報

2 VICS・交通情報を表示する道路を選択する。

スイッチ	内容
1	高速道路・一般道路に表示
2	高速道路のみに表示
3 ※	一般道路のみに表示
4	交通情報を表示しない

※ハイウェイモード（→ P.65）では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報が表示されます。

● VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されます。

表示する VICS・交通情報を選択する

1 地図表示中 → 表示変更 → VICS・交通情報 → 表示設定

2 表示する VICS・交通情報、完了 の順に選択。

スイッチ	内容
渋滞・混雑 ※1	渋滞・混雑している道路の表示
空き道 ※1	空いている道路の表示
規制情報	事象・規制がある道路の表示
駐車場	駐車場情報の表示
充電施設 ※2	充電施設情報の表示

※1 渋滞・混雑、空き道は統計情報を表示することができます。また、現況情報と統計情報を同時に表示することもできます。ただし、同じ地点に両方の情報があるときは、現況情報を優先して表示します。

※2 充電施設情報は 2015 年 10 月現在、提供されていません。

● 作動表示灯が点灯している項目が表示されます。

2. VICS・交通情報を活用する

渋滞・規制音声案内について

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内させることができます。

音声案内の例

▶VICS 表示がある地点

「およそ 1km 先 渋滞があります」

▶VICS 記号のある地点

「およそ 5km 先 電気工事のため 車線規制中です」

● 渋滞・規制音声自動発声の出力する／しないを設定できます。（→ P.131）

（知 識）

● 音声案内はあくまでも参考としてください。
● 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
● 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内を再出力する

1 タイムスタンプを選択。（→ P.150）

● 一度音声案内が出力されるとタイムスタンプが点灯し、操作することができます。

（知 識）

● VICS 渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプが点灯していれば、選択すると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

VICS 図形情報・文字情報を表示する

1 MENU ▶ 情報・G → （ 情報 ）→ VICS → FM 図形
または FM 文字

2 情報の番号（ 1 · 2 · 3 … ）を選択。

● 文字情報または図形情報に切り替えるとき
➡ 文字 または 図形 を選択。

3 ▲ · ▼ または 自動送り を選択。

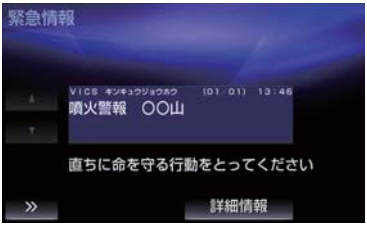
● 前回情報を表示させたときに「自動送り」を選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
● 情報のページを送るとき
➡ ▲ · ▼ を選択。
● 自動送り を選択すると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。
走行中は自動送りできません。
● 情報の自動送りを中止するとき
➡ 停止 を選択。
● 自動送り中に ▲ · ▼ を選択して、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
● 文字情報または図形情報に切り替えるとき
➡ 文字 または 図形 を選択。
● 目次 を選択すると、VICS 情報目次画面が表示されます。（手順 **2** の画面）

2. VICS・交通情報を活用する

緊急情報を表示する

緊急情報※を受信すると自動的に表示します。

※ 気象・津波・火山噴火（地震を除く）の特別警報



緊急情報を切り替えるとき

1 ▲・▼ を選択。

- 詳細文字情報に切り替えるとき
  ➡ 詳細情報 を選択。
- » を選択する、または約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。
  ・表示時間は調整することができます。（→ P.157）

緊急情報を再表示する

一度表示した緊急情報を再表示することができます。

■地図画面から表示する

1 地図上部の 確認 を選択。

■情報画面から表示する

1 MENU ▶ 情報・G → （ 情報 ）→ VICS

2 FM 緊急 を選択。

気象・災害情報を表示する

気象・災害情報を受信すると地図上に自動的に該当エリアがハイライト表示されます。

- 気象・災害情報エリアを回避するルートを探索することができます。（→ P.100）

2. VICS・交通情報を活用する

割込情報（ビーコン即時案内）を表示する

割込情報の表示設定をすると、ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、VICS 文字情報または図形情報を自動的に表示させることができます。

割込情報を切り替えるとき

1 図形情報上の ▲・▼ を選択。

- 文字情報または図形情報に切り替えるとき
  ➡ 文字 または 図形 を選択。
- 割込情報が複数ページある場合は、ページ送りできます。
- » を選択する、または約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。
  表示時間は調整することができます。（→ P.157）
- 音声停止： 割込情報の音声を停止できます。（→ P.156）

知 識

- 表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

ETC2.0 サービスで受けられる割込情報について

ETC2.0 サービスでは、VICS 文字情報・図形情報以外に、以下のサービスが受けられます。

- ETC2.0 サービスについては、「ETC2.0 サービスについて」（→ P.358）をご覧ください。

知 識

- 以下の割込情報の音量は、ナビの音量設定で調整することができます。（→P.27）
  - ・安全運転支援情報
  - ・前方状況情報提供サービス
  - ・施設情報提供サービス

■安全運転支援（注意警戒情報）案内サービス

見通しの悪いカーブ先の渋滞などを、高速道路などに設置された ITS スポットから受信して、音声と画面で案内します。

知 識

- ETC2.0 サービスにより提供される情報にはいくつかの種類があります。この種類は、情報画面上に表示される情報種別で判別できます。

代表例として以下のような情報が提供されます。

▶前方障害物情報提供

見通しの悪いカーブの先の停止車両や渋滞情報をカーブへの侵入前に音声や画面表示で案内します。

知 識

- 割込情報内に表示されるボタンで下記操作ができます。
  [≫]：現在表示されている割込情報を消すことができます。
- 割込情報内のボタンについては、自動ボタン消しの設定に従います。（→ P.132）
- 自動ボタン消し設定を「する」にした場合、割込情報内のボタンが表示されていないことがありますが、地図エリア内でカーソルを移動させれば再度表示されます。（再表示後数秒間操作が無かった場合にはボタンが消えます）
- 以下のようなときは、安全運転支援案内が行われない場合があります。
  - ・アンテナ付近に障害物があるとき
  - ・大型車と並んで走行しているとき
  - ・他のナビ音声案内、画面表示などと重なるとき
  - ・低速度で走行しているとき
  - ・自車位置が正確に特定できないとき
  - ・ITS スポット、車両検知センサ・カメラ等の路側システムが稼動していないとき
- 表示させている画面により、安全運転支援情報が画面に表示されないことがあります。
- 実際の音声や画面表示はITSスポットから提供されるものと異なることがあります。
- その他の安全運転支援情報については、「VICS・ETC2.0（ITS スポット）・DSSS の問い合わせ先について」（→ P.163）をご覧ください。

■道路交通情報

代表例として以下のような情報が提供されます。

▶前方状況情報提供サービス

進行方向先の交通状況を模式図画面と音声、または音声で案内します。

▶長文読上げサービス

ハイウェイラジオなどの情報を音声で案内します。 「現在の○○高速上り方向の情報をお知らせします。・・・・・」

1 [はい] を選択。

- 読上げ中、[中止] を選択すると、読上げを中止します。

知 識

- 読上げ情報は、2 回読上げると終了します。
- 約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面に戻ります。
- 再度読上げ情報を聞くときは、「割込情報を呼び出す」（→ P.156）をご覧ください。
- 長文読上げサービスの音量は、オーディオの音量調整ツマミで調整することができます。（→ P.177）

▶施設情報提供サービス

進行方向先のサービスエリアやパーキングエリアの混雑情報や施設情報を画面や音声で案内します。

2. VICS・交通情報を活用する

割込情報を呼び出す

割込情報の表示を「しない」に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。
また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

1 MENU ▶ 情報・G → （ 情報 ）→ VICS

2 VICS 呼出、または ETC2.0 呼出の 割込情報 を選択。

3 ▲・▼ を選択して、割込情報を切り替える。

- 画面は、図形情報を使用しています。文字情報（ETC2.0 呼出のときは、表示情報、読上げ情報）を表示したときも操作方法は同じです。
- VICS 呼出の文字情報または図形情報に切り替えるとき
  ➡ 文字 または 図形 を選択。
- ETC2.0 呼出の表示情報または読み上げ情報に切り替えるとき
  ➡ 表示情報 または 読上げ情報 を選択。

知 識

- 提供時刻より約 30 分以上経過した割込情報は、表示させることができません。

割込情報の表示設定を変更する

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → VICS/ETC2.0 設定

自動割込を設定する

1 各項目の する または しない を選択。

割込設定	内容
VICS 注意警戒情報自動割込	VICS 注意警戒情報を表示します。
VICS 文字情報自動割込	VICS 文字情報を表示します。
VICS 図形情報自動割込	VICS 図形情報を表示します。
ETC2.0表示情報自動割込	ETC2.0 情報、長文読上げ情報確認画面を表示します。
ETC2.0注意警戒情報自動割込	ETC2.0 注意警戒情報、安全運転支援情報を表示します。
ETC2.0 音声案内	長文読上げ情報以外の音声情報の発話を設定します。

2 ↩ を選択。

知 識

- 自動割込情報を「しない」に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。
- ETC2.0 サービスにより提供される自動割込は、注意警戒情報と ETC2.0 表示情報の設定項目でする／しないを設定できます。
  各々の設定項目は割込み画面上部の情報種別と同じです。
- ETC2.0 音声案内を「する」に設定した場合でも、割込み画面下の 音声停止 を選択すると、音声案内を中止できます。
- 同一割込み中において、発話中止後の再読み上げはできません。音声停止 で中止した発話は次回割込み時に復帰します。

自動割込表示時間を調整する

1 VICS ／ ETC2.0 設定画面で、
自動割込みの表示時間 を選択。

2 表示時間を調整し、 ⮌ を選択。

- 長くするとき
  ➡ ＞ を選択。
- 短くするとき
  ➡ ＜ を選択。

知 識

- 音声案内中は表示時間が経過しても表示は消えません。音声案内終了後に消えます。

ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする

走行履歴などの情報（走行位置の履歴や車両に関する情報など）を ETC2.0 ユニットを通じて、ITS スポットへ送ることができます。詳しくは、「道路管理者からのお知らせとお願い」をご覧ください。（→ P.164）

1 VICS ／ ETC2.0 設定画面で、
ETC2.0 走行情報のアップリンク の
する または しない を選択。

新旧ルートを比較して表示する

ビーコンまたは G-Link センターから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。

- 渋滞考慮探索・新旧ルート比較表示を「する」に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。（→ P.128）

新ルートで案内するとき

1 新ルート を選択。

- 約10秒以上操作しなかったときも、新ルートで案内します。

2. VICS・交通情報を活用する

元ルートで案内するとき

1 元ルート を選択。

知 識

- 新旧ルート比較表示を「しない」に設定していても、渋滞考慮探索（→ P.128）を「する」に設定していて、渋滞を考慮したルートが新たに見つかったときは自動的に新しいルートで案内します。
- 新旧ルート比較表示では、VICS・交通情報の表示設定（→ P.151）に関わらず渋滞情報が表示されます。
  ただし、地図の縮尺によっては表示されないことがあります。（→ P.149）
- 交通情報を受信する度に、新旧ルート比較が表示されます。

3. VICS 放送局を選択する

現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → VICS/ETC2.0 設定 → VICS 選局

● 表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。

▶ 自動選択時

▶ 手動選択時

自動で放送局を選択する

現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

1 自動 を選択。

● 通常は、 自動 にしておいてください。「自動」で受信されないときのみ、 手動 で放送局または放送エリアを選択してください。

知識

● 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

手動で放送局を選択する

▶ エリア選択

選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

▶ 周波数選択

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 手動 を選択。

2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名を選択。
周波数選択時は、 ∧ ・ ∨ を選択して、放送局の周波数を選ぶ。

● 放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。

3 ↩ を選択。

4. VICS について

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS リンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与されたVICSのロゴマークは一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「VICSWIDE」について

本機は「VICSWIDE」に対応しています。従来の VICS に加えて、次のようなサービスを利用することができます。

- プローブ情報に対応した渋滞情報の提供拡大
- 緊急情報（特別警報（地震を除く））の提供
- 気象・災害情報エリアの表示

VICS のメディアについて

VICS は、FM 多重放送・電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）・光ビーコンの 3 つのメディアを受信することができます。

- 3 つのメディアはそれぞれ特長が異なります。
- 電波ビーコン（2.4GHz）は、本機では受信しません。

■FM 多重放送

FM 多重放送は、VICS 提供 FM 放送局（NHK-FM）から電波の届く範囲の車両に VICS 情報の提供が行われます。

■電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）

電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）は、おもに高速道路の路側に設置されており、その地点を通過する車両にETC2.0 サービス情報の提供が行われます。また、ITS スポットにて受信した情報をナビゲーションに蓄積し、高速道路上の任意の場所でタイミングよく情報提供が行われる場合もあります。

■光ビーコン

光ビーコンは、おもに一般道路の各車線ごとに設置されており、その車線を通過する車両に VICS 情報および DSSS 情報の提供が行われます。

VICS の運用時間について

24 時間運用されています。

ただし、FM 多重放送は、第 1・第 3 月曜日の AM1：00 ～ 5：00 の間はメンテナンスのため休止する場合があります。

- 休止時間については、VICS FM多重放送の「お知らせ」で案内します。
- VICS の運用時間は予告なく変更・廃止されることがあります。

VICS FM 多重放送を受信できないとき

本機は、以下のようなとき VICS FM 多重放送の情報を受信できません。

- VICS FM 多重放送を受信できない状態から、VICS 情報を表示させようとした場合、VICS 情報が表示されない、または地図画面上の VICS タイムスタンプが更新されません。

4. VICS について

知っておいていただきたいこと

- 提供される VICS 情報はあくまでも参考としてください。（提供される VICS 情報は、最新ではないことがあります。）
- 電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがありますが、新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
- VICS 情報は、発信されている地域により、情報の内容が異なります。
- VICS による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図への表示は、毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により、一部の情報が表示されなくなることがあります。

FM 多重放送特有の事項について

- FM 多重放送は、一定周期で情報が更新されますので、情報が揃うまでに時間がかかることがあります。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことがあります。
  - ・トンネルの中にいるとき
  - ・高層ビルの谷間にいるとき
  - ・高架道路の下にいるとき
  - ・盆地にいるとき
  - ・大型車とすれちがったとき

電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）特有の事項について

- 電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）は、直線的にしか電波が届きません。
- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
  - ・電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）を発信する路側に街路樹が茂っているとき
  - ・トンネルの中にいるとき
  - ・高架道路の下にいるとき
  - ・大型車と並んで走行しているとき
  - ・アンテナ付近に障害物があるとき
  - ・高速道路の下の一般道路を走行しているとき、高速道路の電波ビーコン（ETC2.0/5.8GHz）が受信されることがあります。

光ビーコン特有の事項について

- 以下のようなときは、VICS 情報が受信されないことや誤って受信されることがあります。
  - ・太陽と重なったとき
  - ・雪が積もっているときやフロントウインドウガラスがよごれているとき
  - ・アンテナ付近に障害物があるとき

4. VICS について

VICS の用語について

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

緊急情報について

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

交通情報関連の用語について

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

駐車場・SA・PA 関連の用語について

- 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- 不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS センター著作権について

1 お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構が所有しまたは管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権を一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有しまたは管理することに同意する。

2 お客様は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。

VICS・ETC2.0（ITS スポット）・DSSS の問い合わせ先について

レクサス販売店への問い合わせについて

■以下の内容はレクサス販売店にご相談ください。

- VICS 車載機、ETC2.0 ユニットの調子・機能・使用方法・その他に関するもの
- VICS 情報の表示に関するもの
- ETC2.0　サービスにて提供される道路交通情報／インターネット接続に関するもの
- ETC2.0　サービスにて提供される安全運転支援案内に関するもの
- VICS のサービスエリアに関するもの
- DSSS 運転支援機能に関するもの
- その他上記に類するもの

VICS センターへの問い合わせについて

■以下の内容はVICS センターにご相談ください。

- VICS 文字情報・VICS 図形情報に関するもの
- ETC2.0　サービスにて提供される道路交通情報／インターネット接続に関するもの
- ETC2.0　サービスにて提供される安全運転支援案内に関するもの
- VICS の概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの
- DSSS の概念・事業計画に関するもの

VICS センター

電話番号（受け付け時間…9：30 ～ 17：45、土曜・日曜・祝日を除く）

0570－ 00－ 8831
（全国共通・PHS、IP 電話等を除く）

FAX 番号（受け付け時間…24 時間）

03－ 3562－ 1719

ホームページ

次のアドレスでも連絡先をご覧いただけます。

http://www.vics.or.jp/

連絡先およびアドレスは、予告なしに変更・休止することがあります。ご了承ください。

4. VICS について

道路管理者からのお知らせとお願い

プローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0 及び ITS スポット対応カーナビ※1 からプローブ情報を収集する場合における情報の利用や取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。

※1: 製品により、ITS 車載器、DSRC ユニット、DSRC 車載器等と呼ばれていることがあります。

1. プローブ情報

(1) ここで「プローブ情報」とは、ETC2.0 及びITSスポット対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理する ITS スポット（DSRC 路側無線装置）※2 と無線通信を行うことによりETC2.0 及びITSスポット対応カーナビから収集される情報を言います。
なお、このプローブ情報から車両又は個人を特定することはできません。
プローブ情報として収集する情報は次の通りです。

- ETC2.0 及びITSスポット対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカ、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカ、型番等））
- 車両に関する情報※3
- 走行位置の履歴※4
- 急な車両の動きの履歴※4

※2: 道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理するITSスポットを含みます。

※3: 車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の 4 桁の一連番号は含まれないため、車両又は個人を特定することはできません（例：「品 川500あ1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※4: 走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

2. プローブ情報の利用目的

(1) 道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※5

※5: 例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

(2) 道路管理者は、(1) の目的以外でプローブ情報を利用しません。

3. プローブ情報の収集

(1) 道路管理者は、道路管理者が管理するITS スポット※2 によって、プローブ情報を収集する場合があります。

(2) ETC2.0 及び ITS スポット対応カーナビ利用者は、設定により、1.(1) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができます。※6
選択の方法は、「ETC2.0 走行情報のアップリンクの設定をする」(→ P.157) をご覧ください。

※6: カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは該当しません。

(3) ETC2.0 及び ITS スポット対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

4. プローブ情報の第三者への提供

(1) 道路管理者は、2.(1) の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。

(2) 道路管理者は、ETC2.0 及び ITS スポット対応カーナビ、ITS スポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。

(3) 道路管理者は、(1) 及び (2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

5. プローブ情報の取り扱い

(1) 道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。

(2) 道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。

(3) 道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

4. VICS について

6. 問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室

03-5253-8111（代）

東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社保全・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国連絡高速道路株式会社保全計画部保全管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島高速道路公社

2014 年 10 月改定

2010 年 10 月現在

VICS 過去データについて

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

甲＝一般財団法人道路交通情報通信システムセンター

1 契約者は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を甲、一般社団法人 UTMS 協会及び一般財団法人道路新産業開発機構が所有し又は管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外のVICS技術情報等の著作権その他知的所有権及び使用許諾権を 甲が所有し又は管理することに同意する。

2 契約者は、甲、一般社団法人 UTMS 協会及び一般財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに甲の共通ネットワーク仕様書以外のVICS技術情報等の著作権その他知的所有権及び使用許諾権の保護に努める。

4. VICS について

VICS 記号・表示について

記号	道路の種類・状況
	VICS 対象道
	VICS 非対象道
※	通行止めの区間
	渋滞している道路
	混雑している道路
	すいている道路

※ 夜画のときは白色で表示されます。

記号	施設情報
／	駐車場／臨時駐車場（空車）
／	駐車場／臨時駐車場（混雑）
／	駐車場／臨時駐車場（満車）
／	駐車場／臨時駐車場（不明）
／	駐車場／臨時駐車場（閉鎖）
	SA・PA（空車）
	SA・PA（混雑）
	SA・PA（満車）
	SA・PA（不明）
	SA・PA（閉鎖）
	充電施設（空車）
	充電施設（混雑）
	充電施設（満車）
	充電施設（不明）
	充電施設（閉鎖）

記号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント
	気象速報
	災害速報

4. VICS について

知 識

- 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数のVICS・交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。

5. 交通ナビ関連情報について

交通ナビ関連情報を表示する

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。
また、登録されているメモリ地点（→P.110）や設定されている目的地（→P.84）に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

1 MENU ▶ 電話

2 交通ナビ を選択。

3 項目を選択。

● 目的地が 1 カ所のみ設定されているとき
➡ 目的地 を選択すると、名称と電話番号を表示する。

4 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

JAF または道路交通情報センターの情報を表示する

1 都道府県名、施設名称の順に選択。

メモリ地点の情報を表示する

1 メモリ地点を選択。

● 地図を表示するとき
➡ 地図 を選択。

● リストの並べ方をかえるとき
➡「メモリ地点を修正する」（→ P.113）手順 **2** へ。

目的地の情報を表示する

● 目的地が複数設定されているとき
➡ 目的地を選択。

5. 交通ナビ関連情報について

3

オーディオ＆ビジュアル

1 はじめに

1. 知っておいて いただきたいこと 174
使用できるメディアについて 174
Blu-ray プレーヤーについて 176
文字情報の表示について 176
ラジオ用アンテナ.....176
デジタルテレビ用アンテナ 176

2. 基本操作をする 177
基本操作スイッチ.....177
オーディオソース画面の操作 179
ブレーキホールド作動中の 動画視聴 180
音や映像の設定をする 180
AUX/USB 端子について.....183
画面モードについて.....184

2 ラジオを聞く

1. ラジオの操作..... 185

3 Blu-ray（CD/BD/DVD）プレーヤーの操作

1. はじめに 188

2. ディスクの出し入れ.....189
ディスクを入れる 189
ディスクを取り出す 189

3. 音楽再生についての操作.....190

4. 映像再生についての操作.....194
設定画面について 197

5. 知っておいて いただきたいこと.....203
Blu-ray Disc、DVD 再生中の 操作について 203
Blu-ray Disc、DVD について 203

4 SDメモリーカードの操作

1. お使いになる前に 210
SD メモリーカードについて 210

2. SDメモリーカードの出し入れ....212
SD メモリーカードを入れる 213
SD メモリーカードを取り出す..... 213

3. SDメモリーカードに録音する ... 215
データベースについて 215
録音についての注意.....217
録音する 217
録音を中止する.....218
録音の設定を変更する.....218

4. 音楽ファイル再生についての操作..... 219

5. 動画ファイル再生についての操作..... 223

6. 本機で記録したデータを編集する..... 226
サウンドライブラリ編集メニュー画面について 226
お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する.....226
マイベストを編集する 227
アルバム情報を編集する 229
アルバムを削除する.....231
トラックを削除する.....232
SD 空き容量を確認する（詳細情報の表示）.....232

7. SDメモリーカードの初期化について..... 233
SD メモリーカードを初期化する 233

5 デジタルテレビを見る

1. 地上デジタルテレビの操作について 234
初回起動時の設定 234

2. テレビの操作 235
EPG(電子番組表) を見る 237
データ放送の操作について 238
放送局からのお知らせについて..... 240
緊急警報放送（EWS) について 240

3. テレビの設定をする.....241
設定画面について 241

4. 知っておいていただきたいこと.....248

6 AUXの操作

1. 外部機器／AUXの操作 250

7 USBメモリーの操作

1. はじめに 251
USB メモリーについて 251

2. 音楽ファイル再生についての操作 252

3. 動画ファイル再生についての操作 254

4. 知っておいていただきたいこと.....256

8 iPodの操作

1. はじめに..... 257

2. 音楽ファイル再生についての操作..... 258

3. 動画ファイル再生についての操作..... 261

4. iPodの設定をする 263

iPod カバーアートを表示する 263

ビデオ音声入力の設定を変更する 263

9 Bluetoothオーディオの操作

1. はじめに..... 264

Bluetooth オーディオについて 264

各種表示について 264

Bluetooth 機器使用上の注意事項について.....265

2. Bluetoothオーディオ再生中の操作..... 267

3. Bluetoothオーディオを設定する..... 270

ポータブル機を接続する 270

使用するポータブル機を選択する 272

ポータブル機の詳細情報を表示する 273

本機の Bluetooth 設定を変更する 274

ポータブル機の登録を削除する 276

10 Photo機能の操作

1. Photo機能を操作する.....277

写真を見る..... 277

表示画像を操作する 278

11 ステアリングスイッチの操作

1. ステアリングスイッチで操作する 279

12 リヤオーディオコントローラーの操作

1. リヤオーディオコントローラーで操作する 281

13 オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

1. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて.....283

メディアについて 283

データの仕様について 288

Bluetooth について 292

1. 知っておいていただきたいこと

使用できるメディアについて

オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディアについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。

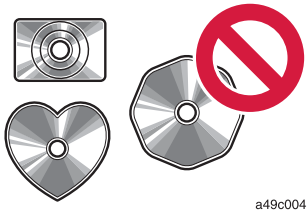
ディスクについて

注意

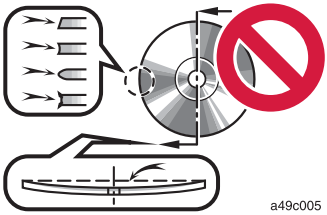
- ディスクには指紋、よごれ、キズ等をつけないように取り扱ってください。
- ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持つか、両端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ディスクのよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスク取り出しスイッチを押して、ディスクが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそるなど変形し、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそるなど変形し、使用できなくなるおそれがあります。
- DualDiscには対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。

注意

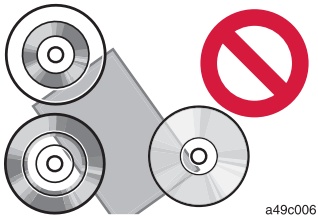
- 直径12cmの円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



- 低品質または変形したディスクは機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



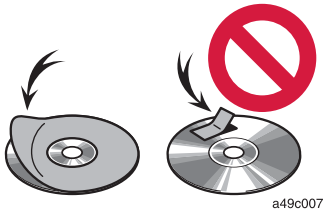
- 記録部分に透明または半透明部分があるディスクは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。



1. 知っておいていただきたいこと

⚠ 注意

- セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。



- プリンタブルディスク（ラベル印刷面に対応したディスク）は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

SD メモリーカードおよびアダプタについて

⚠ 注意

- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープが貼ってある SD メモリーカードおよびアダプタは使用しないでください。
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。SD メモリーカードおよびアダプタが使用できなくなることがあります。
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 静電気や電気的ノイズを受ける恐れのある場所に、SD メモリーカードを放置しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- SD メモリーカードの再生中、録音中は、SD メモリーカードを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。SD メモリーカードの取り出し方法については、「SD メモリーカードを取り出す」（→ P.213）をご覧ください。
- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

1. 知っておいていただきたいこと

Blu-ray プレーヤーについて

- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでレクサス販売店で点検を受けてください。
- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音跳びをすることがあります。

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

ラジオ用アンテナ

リヤウインドウガラスに設置されています。

注意

- アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。
- リヤウインドウガラスのアンテナ線部に以下のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）がはいるおそれがあります。
  - ・金属を含有するウインドウフィルム
  - ・その他の金属物（レクサス純正品以外のアンテナなど）

デジタルテレビ用アンテナ

フロントウインドウガラスおよびリヤウインドウガラスに設置されています。

注意

- アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。
- フロントウインドウガラスおよびリヤウインドウガラスのアンテナ線部に次の物を貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）がはいるおそれがあります。
  - ・金属を含有するウインドウフィルム
  - ・その他の金属物（レクサス純正品以外のアンテナなど）

2. 基本操作をする

基本操作スイッチ

オーディオはエンジン／パワースイッチがアクセサリーモード、またはイグニッション ON モード／ ON モードのときに使用できます。

▶ 画面スイッチ

オーディオ選択

オーディオソースを切り替えることができます。

希望するオーディオソースを選択

ページを切り替える

スイッチの配置を変更する（→ P.179）

音設定

音や映像の設定を変更することができます。（→ P.180）

2. 基本操作をする

▶オーディオ操作パネル

PWR・VOL

押すごとに電源が ON と OFF に切り替わります。

回すと音量が切り替わります。

AUDIO

押すとオーディオ操作画面を表示します。

オーディオ操作画面表示中に押すと、オーディオソース選択画面を表示します。オーディオソースを切り替えることができます。

希望するオーディオソースを選択

ページを切り替える

スイッチの配置を変更する（→ P.179）

TV

押すとデジタルテレビを受信します。

⚠注意

- 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

知 識

- オーディオソース選択画面でオーディオソースを選択する場合、ディスク、SD メモリーカードが挿入されていないときや USB メモリー、iPod が接続されていないときなどはスイッチを操作しても選択できません。
- オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。
- 各リスト画面は、SCROLL ツマミや < CH·TRACK > スイッチでも操作することができます。

オーディオソース画面の操作

オーディオソースを再生／受信するには、オーディオソースを選択します。オーディオソースを選択するときは、オーディオソース画面を表示させてから操作します。

スイッチ	内容
AM	AM ラジオを受信する。
FM	FM ラジオを受信する。
DISC	CD、DVD または Blu-ray ディスクを再生する。
SDREC	本機でCDからSDメモリーカードに録音した音楽ファイルを再生する。
SD	パソコンなどで SD メモリーカードに記録した音楽ファイルや動画ファイルを再生する。
iPod1/USB1/iPod2/USB2	USB メモリーに記録した音楽ファイルや動画ファイルを再生する。
	iPod の音楽ファイルや動画ファイルを再生する。
Bluetooth	Bluetooth オーディオを再生する。
AUX	外部機器を再生する。
TV	デジタルテレビを受信する。

知 識

- 次のようなときは、スイッチを操作しても選択することができません。
  - ・ディスクが挿入されていないとき（DISC モード）
  - ・再生するデータのない（録音されていない）とき（SDREC モード）
  - ・SD メモリーカードが挿入されていないとき（SDREC、SD モード）
  - ・USB 端子に機器が接続されていないとき（USB/iPod モード）
- 接続した機器に名称が登録されている場合は、その名称でスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

スイッチの配置を変更する

1 オーディオソース画面 → 配置変更

2 移動したいオーディオソースを選択。

3 << または >> を選択して、スイッチを移動させる。

- ページを切り替えるとき
  ➡ > または < を選択。

2. 基本操作をする

ブレーキホールド作動中の動画視聴*

ブレーキホールド作動中の動画視聴できる／できないを選択することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → 映像設定 → ブレーキホールド作動中の動画視聴

2 ON または OFF を選択。

警告

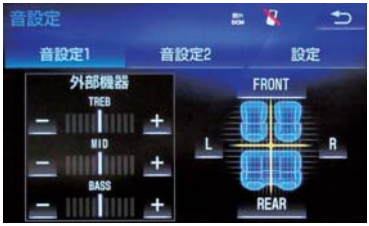
- 運転者は周辺の安全を確認したうえで視聴を行ってください。

音や映像の設定をする

1 各オーディオ操作画面（→ P.177）→ 音設定

2 各項目を設定する。

▶音設定 1 画面



▶音設定 2 画面

▶設定画面

- 音設定画面には 3 つの画面があります。
  - ・画面を切り替えるとき
    ➡ 音設定 1 、 音設定 2 または 設定 を選択。
- 音設定画面から次の項目が設定できます。

＊：GS450h/GS300h/GS350/GS250 のみ

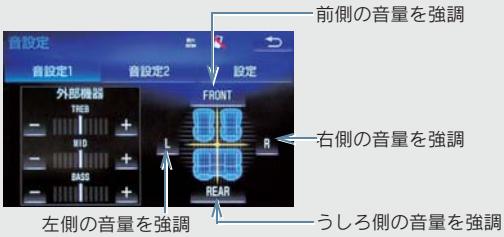
▶音設定 1 画面

TREB/MID/BASS

TREB（高音）、MID（中音）、BASS（低音）の調整をします。

音量バランス

前後左右の音量バランスを調整します。



▶音設定 2 画面

ASL

ON に設定すると、走行時の車速に応じて音質や音量を自動的に補正します。
- OFF のときは補正されません。
- ASL は Automatic Sound Levelizer の略です。

SURROUND

ON に設定すると、臨場感のある音質に切り替えます。

2. 基本操作をする

▶設定画面

映像信号の切替
接続した外部機器の映像方式（NTSC ／ PAL）に合わせて切り替えることができます。
初期設定
Blu-ray(CD/BD/DVD) プレーヤーをお好みの設定に変更します。（→ P.200）
ブレーキホールド作動中の動画視聴＊
ブレーキホールド作動中の動画視聴できる／できないを選択することができます。（→ P.180）
Wide
BD/DVD などの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。（→ P.184）
画質調整
コントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整できます。（→ P.34）
録音音質／自動録音／選んで録音
録音の設定を変更することができます。（→ P.218）

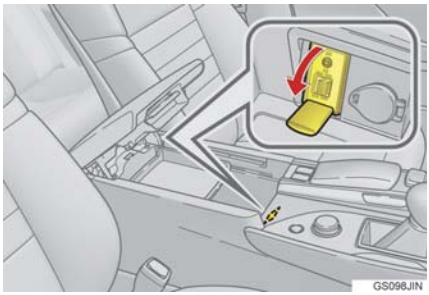
知 識

- ソースによって設定できる項目が異なります。
- TREB/MID/BASS スイッチについて
  - ・各オーディオソースごとに独立して調整することができます。
- オーディオソースごとにボリュームレベルは異なりますが、ソースごとにボリュームレベルを保持することはできません。

＊：GS450h/GS300h/GS350/GS250 のみ

AUX/USB 端子について

ポータブルオーディオなどの機器を接続して、車両のスピーカーで聞いたり、外部機器を接続して、映像を見ることができます。



⚠ 注意

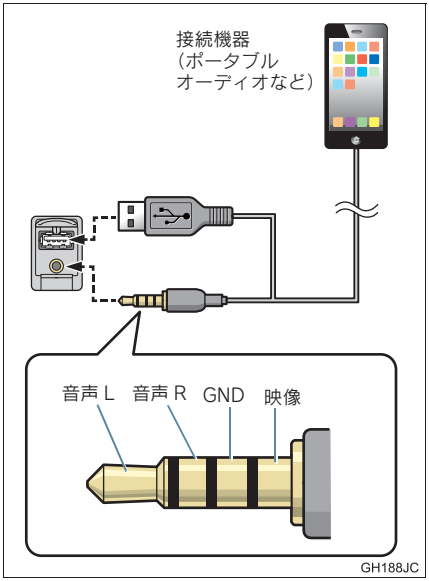
- 接続する機器の形状によっては、周辺部品と干渉し、本体もしくは接続機器が破損する可能性がありますのでご注意ください。

知 識

- ミニプラグケーブル（3.5Φ）、USB 端子が接続できます。
- ミニプラグケーブル、USB 端子、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。
（アクセサリーソケットについては、別冊 GS350/GS250/GS F 取扱説明書またはGS450h/GS300h 取扱説明書をご覧ください。）

ミニプラグケーブルについて

iPod ビデオや外部機器の映像を見るには、イラストにある配列のミニプラグケーブルを使用して、AUX 端子に機器を接続します。



知 識

- 配列が異なるミニプラグケーブルを使用した場合、音声や映像が正しく出力されないことがあります。
- iPod ビデオ使用時は、AUX 端子に加えUSB 端子の接続が必要です。
- ミニプラグケーブルは抵抗が入っていないステレオタイプのものを使用してください。

2. 基本操作をする

画面モードについて

BD/DVD などの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

標準画モード（Normal）

入力映像をよこ 4：たて 3（デジタルテレビは、よこ 16：たて 9）の割合で表示します。

ワイド 1 画モード（Wide1 ／ Wide）

メイン画面いっぱいに表示します。

ワイド 2 画モード（Wide 2）

入力映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

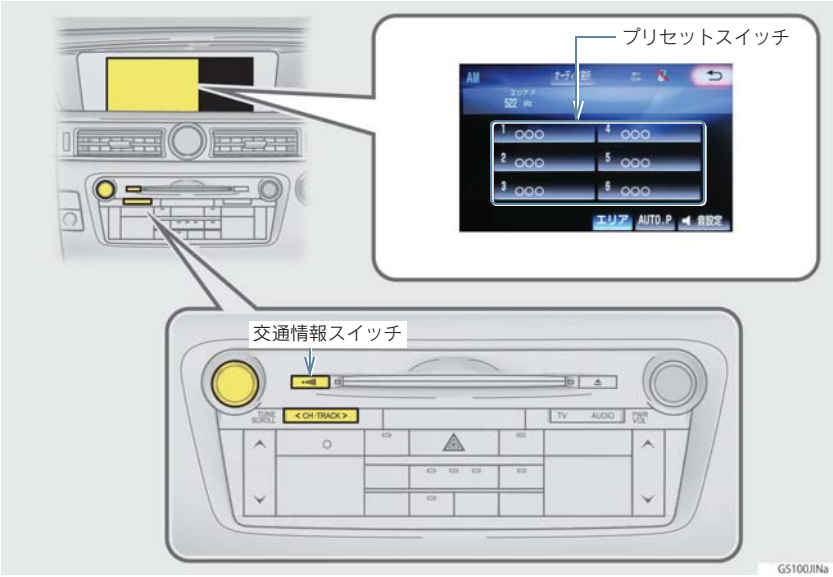
お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面モードを切り替える

各映像の画面モードの切り替え方法については、次のページをご覧ください。

映像	ページ
DVD、Blu-ray	197
SD ビデオ	223
外部機器	250
USB ビデオ	254
iPod ビデオ	261

1. ラジオの操作



知 識

- 走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。
- 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

1. ラジオの操作

プリセットスイッチ

記憶されている放送局を受信します。

記憶したい周波数に切り替え、“ピー” と音がするまで選択すると、その周波数を記憶します。

AUTO.P

“ピー” と音がするまで選択すると、自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶します。再度選択すると、解除されます。

- AUTO.P　スイッチによりプリセットスイッチに放送局が記憶されているときは、画面に「AUTO.P」の表示が出ます。

エリア

ナビゲーションがエリアごとに記憶している放送局を表示します。（GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。）再度選択すると、解除されます。

- エリアスイッチによりプリセットスイッチに放送局が記憶されているときは、画面に「エリア .P」の表示が出ます。

CH・TRACK スイッチ

プリセットスイッチに記憶されている放送局が切り替わります。

“ピッ” と音がするまで押すと、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。再度スイッチを押すと、止まります。

交通情報スイッチ

交通情報を受信します。再度押すと、解除されます。

AM 放送の周波数を選択して、“ピッ” と音がするまで押すと、その周波数が記憶されます。

TUNE ツマミ

回すと周波数が切り替わります。

知 識

● AUTO.P スイッチについて
- 自動で周波数を記憶させても、AUTO.P スイッチを選択する前（「AUTO.P」の表示が出ていないとき）に記憶させたチャンネルは消去されません。
- 受信感度の良い周波数を低い順に 6 局まで自動的に記憶します。受信周波数が 6 局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、TUNE ツマミまたは < CH·TRACK > スイッチで選択し、記憶させた周波数と AUTO.P スイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- AUTO.P スイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

● エリアスイッチについて
- プリセットスイッチを選択し続けても、周波数を記憶させることはできません。
- AM 放送の場合、昼画表示（ライト消灯時）と夜画表示（ライト点灯時）で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

● CH・TRACK スイッチについて
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選局できないことがあります。

● 交通情報スイッチについて
- 新車時には 1620kHz にセットしてあります。
- 交通情報スイッチを押して、ラジオを受信しているときは、TUNE ツマミ・< CH·TRACK > スイッチを操作しても、周波数は切り替わりません。

1. はじめに

この項目では、以下の操作方法を説明しています。

- 音楽ディスク（音楽 CD、MP3/WMA/AAC ディスク）
- 映像ディスク（DVD ビデオ、DVD-VR、BD ビデオ、BDAV、AVCREC、AVCHD で記録したディスク）

警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

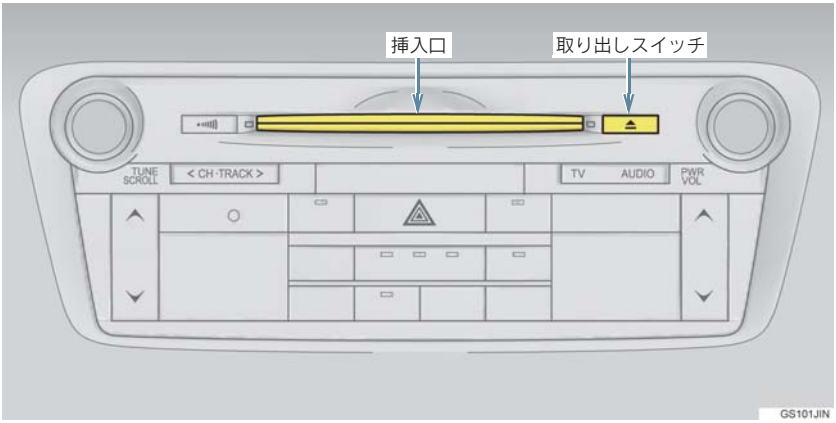
知 識

- ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

- ブレーキホールド作動中の動画視聴できる／できないを選択できます。（→ P.180）

2. ディスクの出し入れ

本機で使用できるディスクについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。



ディスクを入れる

1 ラベル面を上にして、挿入口に挿入する。

● 途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、再生を開始します。

⚠ 注意

● ディスクを挿入するときは、2 枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

● 挿入口にディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

ディスクを取り出す

1 ⏏ を押す。

3. 音楽再生についての操作

本機で使用できるディスクや MP3/WMA/AAC 音楽データについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。

知 識

● 再生している CD にアーティスト名などの情報が収録されていなくても、地図 SD カードのデータベースに該当する情報がある場合は表示されます。

3. 音楽再生についての操作

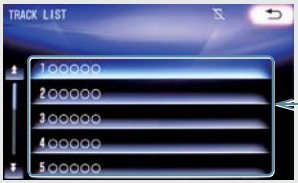
⏮／⏭

ファイル／トラックが切り替わります。

- 選択し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

選曲

▶音楽 CD の場合
トラックリストを表示します。



再生したいトラックを選択

- トラックリストを次ページにスクロールさせると、ページ先頭の曲が再生されます。

▶MP3/WMA/AAC ディスクの場合
フォルダリストを表示します。

再生したいファイルを選択

- フォルダを選択すると、ファイルリストを表示します。

完了：オーディオ操作画面に戻ります。

＜ / ＞（フォルダ名）（MP3/WMA/AAC ディスクのみ）

フォルダが切り替わります。

録音開始（音楽 CD のみ）

SD メモリーカードへの録音を開始します。**（→ P.217）**

（ランダム）

▶音楽 CD の場合
選択するたびに、ランダム再生（RAND）→ランダム解除が切り替わります。

▶MP3/WMA/AAC ディスクの場合
選択するたびに、フォルダ内でランダム再生（RAND）→全フォルダからランダム再生（FLD.RAND）→ランダム解除の順に切り替わります。

3. 音楽再生についての操作

（リピート）

▶音楽 CD の場合
選択するたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→リピート解除が切り替わります。

▶MP3/WMA/AAC ディスクの場合
選択するたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中のフォルダをリピート再生（FLD.RPT）→リピート解除の順に切り替わります。

❚❚（一時停止）／▶（再生）

再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

CH・TRACK スイッチ

ファイル／トラックが切り替わります。

押し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

SCROLL ツマミ

トラック／ファイルリスト画面を表示しているとき、回すと、ファイルが切り替わります。

▶MP3/WMA/AAC ディスクのみ
操作画面またはフォルダリスト画面を表示しているとき、回すと、フォルダが切り替わります。

音設定

音設定を変更することができます。（→ P.180）

▶音楽 CD の場合
音楽 CD を SD カードに録音する際、音の設定を変更することができます。（→ P.218）

3. 音楽再生についての操作

MP3/WMA/AAC の再生について

MP3/WMA/AAC ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA/AAC ファイルを再生します。

ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

音楽データと MP3、WMA または AAC 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。

注意

- MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a”の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a”の拡張子をつけないでください。

知識

- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数を推奨します。
- CD-R、DVD-R、DVD-RW、シースルーディスクはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMA/AAC は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクに MP3/WMA/AAC 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。

4. 映像再生についての操作

以下の映像を再生することができます。
- DVD ビデオ（ビデオフォーマットで記録した DVD-R/RW 含む）
- DVD-VR（ビデオレコーディングフォーマットで記録した DVD-R/RW）
- BD ビデオ（BDMV フォーマットで記録された BD-ROM）
- 録画した Blu-ray Disc（BDAV フォーマットで記録した BD-R/RE、AVCREC フォーマットで記録した DVD-R ／ RW）
- AVCHD ビデオ（録画機器を使用し、AVCHD フォーマットで記録した DVD-R ／ RW）

詳しくは、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。

- 画面のスイッチを選択したとき、画面に⃠が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

- ブレーキホールド作動中の動画視聴できる／できないを選択できます。（→ P.180）

警告

- DVD ビデオや Blu-ray ビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンや DVD ビデオ以外のモードにしたとき、音量が大きすぎることがありますので、注意してください。
  音量が大きすぎると運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

4. 映像再生についての操作

（知 識）

- ディスクを挿入する、またはディスクが挿入されているときにディスクモードにすると、ディスク読込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。
- ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。
- ディスクによっては読込み中の画面の表示時間が長い場合があります。
- メニュー項目の画面など音声が収録されていない場面があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生などの操作を行ってください。
- BD ビデオによっては、ローカルストレージにディスクの付加情報（レジューム情報やPinP 映像など）を保存して、再生時に利用することができます。本機は、ローカルストレージを内蔵し、この機能に対応しています。

拡大／映像
選択するごとに、操作画面と拡大画面が切り替わります。
▶▶I
選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。
II（一時停止）／▶（再生）
映像の再生を一時停止します。再度選択すると、停止した位置から再生します。
■（停止）／▶（再生）
映像の再生を停止します。再度選択すると、再生します。
I◀◀
選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。
CH・TRACK スイッチ
DVD ビデオおよび BD ビデオ再生時に押すと、チャプターが切り替わります。
DVD ビデオおよび BD ビデオ再生時に押し続けると、映像を早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。
DVD-VR、BDAV および AVCREC 再生時に押し続けると、プログラムまたはプレイリストが切り替わります。
各種切替
各種設定の切り替えをします。（→ P.197）
暗証番号入力（BDAV および AVCREC 再生時のみ）
暗証番号入力画面を表示します。（→ P.203）

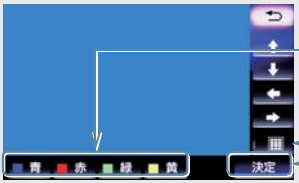
4. 映像再生についての操作

トップメニュー（DVD ビデオ、BD ビデオおよび AVCHD 再生時のみ）

メニュー（DVD ビデオ再生時のみ）

ポップアップメニュー（BD ビデオ再生時のみ）

ディスク特有のメニュー項目を操作できます。



メニュー項目を選択

キーアイコン

選んだ項目を実行

- ディスクによっては、再生がはじまると、メニューが表示されます。
- メニュー画面を表示中に、操作スイッチが表示されていないとき
  ➡ 選択 を選択。
- ディスクによっては、メニュー項目を直接選択できるものもあります。
- BD ビデオの本編再生時、 ポップアップメニュー を選択すると、本編を再生しながらメニュー画面を表示することができます。
- BD ビデオ再生時、 青 、 赤 、 黄 、 緑 が表示されます。
- BD ビデオ再生時、キーアイコンを選択すると、番号スイッチ（ 0 ～ 9 ）が表示されます。

音設定

音や映像の設定を変更することができます。**（→ P.180）**

（知 識）

● CH・TRACK スイッチについて
・ ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

● トップメニュー／メニュースイッチ／ポップアップメニューについて
・ 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。（表内の画面は一例です。）

● ❚❚（一時停止）／ ▶（再生）スイッチについて
・ BD ビデオの中には、自動で一時停止になる機能（Still 機能）があります。この場合、▶（再生）スイッチを選択すると、通常再生することができます。

● ■（停止）／ ▶（再生）スイッチについて
・ ディスクにより、停止位置から再生する機能（レジューム再生）に対応していない場合があります。

設定画面について

DVD ／ Blu-ray に関する設定は、各種切替画面、初期設定画面から変更できます。

各種切替画面について

DVD 操作画面または Blu-ray 操作画面表示中（→ P.194）

1 各種切替 を選択。

2 各項目を設定する。

▶DVD ビデオ再生時

▶DVD-VR 再生時

▶BD ビデオ再生時

● 初期設定 を選択すると、初期設定画面が表示されます。（→ P.200）

4. 映像再生についての操作

サーチ／タイトルサーチ

タイトル番号を入力し 完了 を選択すると、そのタイトル番号の映像を再生します。

チャプターサーチ（BD ビデオ、BDAV、AVCREC、AVCHD のみ）

チャプター番号を入力し 完了 を選択すると、そのチャプター番号の映像を再生します。

リターン（DVD ビデオ、BD ビデオ、AVCHD のみ）

ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生します。

ページ送り（DVD-VR のみ）

静止画が収録されているディスクの場合、選択するごとに静止画が切り替わります。

音声

音声が複数収録されているディスクの場合、 音声切替 を選択するごとに、音声が切り替わります。

- 現在選択中の音声は、DVD-VR、BDAV、AVCREC 再生時には表示されません。

字幕（DVD ビデオ、DVD-VR、BD ビデオ、AVCHD のみ）

字幕が複数収録されているディスクの場合、 字幕切替 を選択するごとに、字幕言語が切り替わります。

- 字幕消し を選択すると、字幕が消えます。再度選択すると、表示されます。
- 字幕消し および現在選択中の字幕は、DVD-VR 再生時には表示されません。
- BD ビデオ再生時、複数の字幕スタイルがディスクに収録されている場合、 字幕スタイル を選択すると、字幕スタイルを切り替えることができます。

アングル（DVD ビデオ、BD ビデオ、BDAV、AVCREC のみ）

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、 アングル切替 を選択するごとに、アングルが切り替わります。複数のアングルが収録されているときは、マルチアングルマーク（→ P.200）が表示されます。

PinP（BD ビデオのみ）

ピクチャーインピクチャー（子画面）が複数収録されているディスクを再生中 PinP 切替 を選択するごとに映像が切り替わります。

- PinP 消し を選択すると、ピクチャーインピクチャー（子画面）の映像が消えます。

4. 映像再生についての操作

PinP 音声（BD ビデオのみ）

ピクチャーインピクチャー（子画面）が複数収録されているディスクを再生中、PinP 音声切替 を選択するごとに、ピクチャーインピクチャーの音声が切り替わります。

- PinP 音声消し を選択すると、ピクチャーインピクチャー（子画面）の音声が消えます。

音声モード（DVD-VR、BDAV、AVCREC のみ）

音声多重で収録されているディスクを再生中、主／副 を選択するごとに、主音声→副音声→主・副音声→主音声の順に切り替わります。

再生モード（DVD-VR、BDAV、AVCREC のみ）

ディスク内にプレイリストやプログラムが作成されているときにプレイリストやプログラムを再生します。

- プレイリスト または プログラム を選択します。

知 識

● ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

4. 映像再生についての操作

初期設定画面について

音設定画面で、 設定 を選択し、初期設定 を選択すると表示されます。

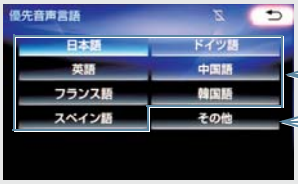
● 初期設定の状態に戻すとき

➡ 初期状態 を選択。

※視聴制限以外の項目が初期設定の状態に戻ります。

音声

優先して聞きたい音声の言語を設定します。



出力させる音声言語を選択

言語コード（→ P.202）を指定する場合は、その他 → 言語コードを入力→ 完了 の順に選択

字幕

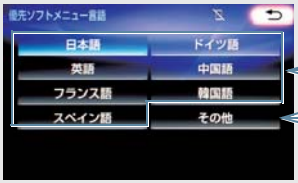
優先して表示したい字幕の言語を設定します。

表示させる字幕言語を選択

言語コード（→ P.202）を指定する場合は、その他 → 言語コードを入力→ 完了 の順に選択

ソフトメニュー

ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定します。

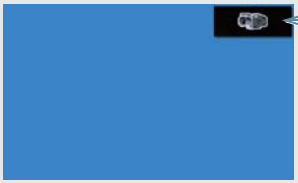


表示させるメニュー言語を選択

言語コード（→ P.202）を指定する場合は、その他 → 言語コードを入力→ 完了 の順に選択

マルチアングルマーク

マルチアングル（→ P.207）で記憶されているディスクを再生させているときに、マルチアングルマークを表示する／しないを選択できます。



視聴制限レベル（DVD のみ）

視聴制限年齢（BDビデオのみ）

視聴制限レベル、視聴制限年齢（→ P.207）を設定します。

- 暗証番号が未設定のとき（「ーーーー」が表示されているとき）は、入力した番号が暗証番号として登録されます。
- 暗証番号入力時、修正 を連続して 10 回選択すると、暗証番号を初期化（未設定の状態に）することができます。

オートスタート（DVD ビデオのみ）

メニュー画面表示中に走行を開始したとき、選択されているメニュー項目を自動的に再生する／しないを選択できます。

クイック再生（BD ビデオのみ）

BD ビデオのディスク挿入後に最初に再生する箇所を飛ばし、本編をすぐに再生する／しないを選択できます。

音声ダイナミックレンジ

音声の最大値と最小値の比を、MAX ・ STD ・ MIN の中から選択できます。

- MAX ：最大ダイナミックレンジ
- STD ：標準ダイナミックレンジ
- MIN ：最小ダイナミックレンジ

BD 履歴クリア

選択後、はい を選択すると、本機に記録されたレジューム機能などの情報を削除します。

4. 映像再生についての操作

BD データクリア

選択後、はい を選択すると、本機に記録された PinP 映像などの情報を削除します。

知 識

● オートスタートスイッチについて
・ ディスクにより自動的に再生することができないことがあります。

■言語コード一覧

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0520	エストニア語	1214	リンガラ語	1911	スロバキア語
0514	英語	0521	バスク語	1215	ラオス語	1912	スロベニア語
0618	フランス語	0601	ペルシア語	1220	リトアニア語	1913	サモア語
0405	ドイツ語	0609	フィンランド語	1222	ラトビア語	1914	ショナ語
0920	イタリア語	0610	フィジー語	1307	マダガスカル語	1915	ソマリ語
0519	スペイン語	0615	フェロー語	1309	マオリ語	1917	アルバニア語
1412	オランダ語	0625	フリジア語	1311	マケドニア語	1918	セルビア語
1821	ロシア語	0701	アイルランド語	1312	マラヤーラム語	1919	スワティ語
2608	中国語	0704	スコットランドゲール語	1314	モンゴル語	1920	ソト語
1115	韓国語	0712	ガリシア語	1315	モルダビア語	1921	スンダ語
0512	ギリシャ語	0714	グァラニ語	1318	マラーティー語	1922	スウェーデン語
0101	アファル語	0721	グジャラート語	1319	マレー語	1923	スワヒリ語
0102	アブハズ語	0801	ハウサ語	1320	マルタ語	2001	タミル語
0106	アフリカーンス語	0809	ヒンディー語	1325	ビルマ語	2005	テルグ語
0113	アムハラ語	0818	クロアチア語	1401	ナウル語	2007	タジク語
0118	アラビア語	0821	ハンガリー語	1405	ネパール語	2008	タイ語
0119	アッサム語	0825	アルメニア語	1415	ノルウェー語	2009	ティグリニア語
0125	アイマラ語	0901	国際語	1503	プロバンス語	2011	トルクメン語
0126	アゼルバイジャン語	0905	Interlingue	1513	オロモ語	2012	タガログ語
0201	バシキール語	0911	イヌピアック語	1518	オリヤー語	2014	ツワナ語
0205	ベラルーシ語	0914	インドネシア語	1601	パンジャブ語	2015	トンガ語
0207	ブルガリア語	0919	アイスランド語	1612	ポーランド語	2018	トルコ語
0208	ビハーリー語	0923	ヘブライ語	1619	パシュトー語	2019	ツォンガ語
0209	ビスラマ語	1009	イディッシュ語	1620	ポルトガル語	2020	タタール語
0214	ベンガル語	1023	ジャワ語	1721	ケチュア語	2023	トウィ語
0215	チベット語	1101	グルジア語	1813	レトロマンス語	2111	ウクライナ語
0218	ブルトン語	1111	カザフ語	1814	ルンディ語	2118	ウルドゥー語
0301	カタロニア語	1112	グリーンランド語	1815	ルーマニア語	2126	ウズベク語
0315	コルシカ語	1113	カンボジア語	1823	ルワンダ語	2209	ベトナム語
0319	チェコ語	1114	カンナダ語	1901	サンスクリット語	2215	ボラピューク語
0325	ウェールズ語	1119	カシミール語	1904	シンド語	2315	ウォルフ語
0401	デンマーク語	1121	クルド語	1907	サンゴ語	2408	コサ語
0426	ブータン語	1125	キルギス語	1908	セルビアクロアチア語	2515	ヨルバ語
0515	エスペラント語	1201	ラテン語	1909	シンハラ語	2621	ズールー語

5. 知っておいていただきたいこと

Blu-ray Disc™、Blu-ray™、BD-Live™、BDXL™、AVCREC™ 及びその関連のロゴは、ブルーレイディスクアソシエーションの商標です。

Blu-ray Disc、DVD 再生中の操作について

Blu-ray Disc や DVD ではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この Blu-ray プレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに添付の取扱説明書もあわせてご覧ください。

BD ビデオには 2 枚以上のセットになっているディスクにおいて、1 枚目を見終わってディスクを取り出した後も、次のディスクを入れるよう表示し続けるものがあります。このようなビデオは、ディスクを入れ替えるとすぐに続きを見ることができます。

暗証番号入力画面が表示されたときは

▶ DVD ビデオ、BDAV、AVCREC

再生保護や視聴年齢制限が設定されているディスクは、挿入時や操作画面で 拡大 、 暗証番号入力 を選択したときに再生プロテクト解除画面が表示されます。

1 暗証番号を入力し、 完了 を選択。

● 間違えたとき

➡ 修正 を選択。

Blu-ray Disc、DVD について

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域（国）を表す地域番号が表示されているものがあります。

地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」（DVD ビデオ）、「A」（Blu-ray ビデオ）（日本を含む番号）が含まれていない、または「ALL」（DVD ビデオ）、「ABC」（BD ビデオ）（全世界向け）と表示されていないディスクは、この Blu-ray プレーヤーで再生させることができません。

このようなディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。

また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この Blu-ray プレーヤーで再生させることができないことがあります。

5. 知っておいていただきたいこと

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク		意味
NTSC/PAL		カラーテレビの方式。
2		音声のトラック数。 • 数字が収録されている音声数。
2		字幕の言語数。 • 数字が収録されている言語数。
3		アングルの数。 • 数字が収録されているアングル数。
16:9 LB	4:3	選択することができる画面モード。 •「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面。
ALL 2	（DVD ビデオ）	再生可能な地域番号。 • ALL は全世界向け、数字は地域番号。
A A B C	（BD ビデオ）	再生可能な地域番号。 • アルファベットは地域記号。

5. 知っておいていただきたいこと

ディスクの構成について

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

【例】

タイトル 1		タイトル 2			タイトル 3
チャプター 1	チャプター 2	チャプター 1	チャプター 2	チャプター 3	チャプター 1

■タイトル

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトでは、アルバム 1 枚（あるいは 1 曲）にあたります。それぞれのタイトルに順につけられた番号をいいます。

■チャプター

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1 つのタイトルは、複数のチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順につけられた番号をいいます。

知 識

- ディスクによっては、再生中にタイトル番号、チャプター番号、再生時間が表示されないものもあります。

5. 知っておいていただきたいこと

Blu-ray プレーヤーの用語について

より正しく有効に DVD や Blu-ray Disc 利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

■DVD ビデオ

動画の記憶されている DVD ビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」（エムペグ 2）が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

■BD ビデオ

BDMV（Blu-ray Disc Movie）フォーマットで、読み込み専用の Blu-ray Disc（BD-ROM）で記録されています。市販の映画などはこれに該当します。

DVD ビデオ同様にマルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されています。

■BDAV (Blu-ray Disc Audio/Visual)

BDAV とは、BDA（Blu-ray DISC Association）により規格化されたフォーマットです。著作権保護機能に対応し、デジタル放送の番組を記録することができます。本機では BD-R、BD-RE に記録した BDAV フォーマット映像を再生することができます。

■AVCHD

デジタルビデオカメラにおいて、高精細なハイビジョン映像を DVD 記録用ディスクやハードディスクドライブ、メモリーカードなどに撮影記録できるように開発された新しい記録フォーマット（規格）の名称です。

本機では DVD-R、DVD-RW に記録した AVCHDフォーマット映像を再生することができます。

“AVCHD”、および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

AVCHD ™

■AVCREC

AVCREC とは、BDA（Blu-ray Disc Association）により規格化されたフォーマットです。著作権保護機能に対応し、デジタル放送の番組を記録することができます。

本機では、DVD-R、DVD-RW に記録した AVCREC フォーマット映像を再生することができます。

AVCREC™

■BD-J (Blu-ray Disc java)

Java アプリケーションを含んだ BD ビデオを BD-J といいます。通常の BD ビデオに比べて色々な機能を楽しむことができます。

- BD-Live には対応していません。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

■視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」という DVD ビデオや BD ビデオの機能の 1 つです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

DVD ビデオでは、1 から 8 のレベルで視聴制限を設定することができます。

- レベル 1：子ども向けのディスクのみを再生させることができます。
（一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル2～7：子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。
（成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル 8：すべてのディスクを再生させることができます。

BD ビデオの年齢制限は、年齢を入力することにより設定することができます。視聴対象が設定年齢以上の BD ビデオを再生しようとすると視聴制限がかかり、再生することはできません。視聴制限年齢の設定で、BD ビデオの制限年齢以上まで視聴対象年齢を上げると再生することができます。

■マルチアングル

DVD ビデオや BD ビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラの位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

■マルチランゲージ（多言語）

DVD ビデオや BD ビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

■地域番号（リージョンコード）

Blu-ray プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンコード）が設けられています。

再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていない場合は、ディスクを再生させることはできません。地域番号については、「再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について」をご覧ください。（→ P.203）

音声について

この Blu-ray プレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニア PCM・ドルビーデジタル・DTS・MPEG オーディオ・AAC に対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

■ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大 6ch に分解して記録、再生する（ウーハー ch は通常 0.1ch で表現するため、5.1ch）完全ディスクリート（分割）方式です。

5. 知っておいていただきたいこと

■ドルビーデジタルプラス

ドルビーデジタルプラスは、ドルビーデジタル技術を拡張した多機能デジタル音声コーディング技術です。最大7.1チャンネルのサラウンドサウンドを再現するドルビーデジタルプラスは、音声伝達方式の拡張性が高く幅広いビットレートに対応しているので、利用可能な帯域幅に合わせた最適な音質と効率を実現します。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「ドルビー」、「Dolby」及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY DIGITAL PLUS

■DTS

DTS, Inc. が開発したデジタル音声の圧縮技術です。1.5Mbps のフル・ビット・レートを実現することにより、高品位なサラウンド再生をすることができます。

For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS Digital Surround is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

dts™ Digital Surround

■サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換する時、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1 秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でその時のデータ量の大きさが量子化ビット数です。

これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

■リニア PCM

音楽CDに用いられている信号記録方式です。

音楽 CD では 44.1kHz ／ 16bit で記録されているのに対し、DVD ビデオでは 48kHz ／ 16bit ～ 96kHz ／ 24bit で記録されているので、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

■AAC（Advanced Audio Coding）

衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。CD 並みの音質データを約 1/12 まで圧縮できます。また、5.1 ch のサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

（ｉ）画像情報を AVC 規格及び VC-1 規格に準拠して（以下、AVC/VC-1 ビデオ）記録すること。

（ii）個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手した AVC/VC-1 ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ（http://www.mpegla.com）をご参照ください。

5. 知っておいていただきたいこと

本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。

WMA（Windows Media® Audio）、Microsoft、Windows、Widows Media は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標および商標です。
本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comのCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

この製品は Verance Corporation（ベランス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。Cinavia は Verance Corporation の商標です。Copyright 2004-2014 Verance Corporation. すべての権利は Verance が保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

1. お使いになる前に

SD メモリーカードについて

SD メモリーカードで次のファイルを再生することができます。

- パソコン／本機で記録した音楽ファイル
- 家庭用レコーダーなどで録画した動画ファイル

パソコンで記録した音楽ファイルの再生について

SD メモリーカードに記録された音楽ファイル（MP3、WMA、AAC）を再生することができます。

本機で使用できる音楽ファイル（パソコンで記録した場合）については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。

知 識

- 本機で音楽 CD を録音すると、SD メモリーカード内に録音用フォルダ（.SDRIP）ができます。録音用フォルダ（.SDRIP）内にパソコンで記録した音楽ファイルを入れると、その音楽ファイルは再生することができません。また、録音用フォルダ（.SDRIP）内のデータをパソコンなどで編集すると、再生できなくなったり、データが破損する恐れがあります。

本機で記録した音楽ファイルの再生について

音楽 CD を SD メモリーカードに録音することができます。また、録音したアルバムにアルバム名やアーティスト名などの情報を自動で付けるので、聞きたいアルバムをアルバム名やアーティスト名などから簡単に探し出し再生することができます。

本機で使用できる SD メモリーカードについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。

知 識

- 本機は、音楽 CD を AAC（Advanced Audio Coding）圧縮技術で圧縮して、SD メモリーカードに録音することができます。
- SD メモリーカードに録音することができるデータは、CD（アルバム／ 8cm ディスクを除くシングルディスク）の音楽データのみです。
- SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しているため、次の CD からは録音できません。
  - ・オーディオ機器を使用して録音した CD-R や CD-RW（パソコンを使用して作成、または複製した CD-R や CD-RW は、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます。）
  - ・録音が禁止されている音楽 CD
- MP3・WMA・AAC を記録した CD-R や CD-RW からは録音できません。
- DTS-CD からは録音できません。

知 識

- 録音可能な曲の総数は、最大 9999 曲です。ただし、録音する SD メモリーカードの容量や曲の長さによっては、最大 9999 曲まで録音することができません。
- SD メモリーカードに録音すると、録音データ管理用として約200MBが使用されます。そのため、実際の容量よりも録音可能なデータが少なくなることがあります。
- 録音された音楽は暗号化されて SD メモリーカードに記録されるため、パソコンや他の機器では再生できません。
- 録音したデータは、パソコンに保存することができます。保存したデータは、録音時に使用した SD メモリーカードであれば、同じフォルダ構成で再度データを保存することができます。
- 地図 SD カードには録音できません。

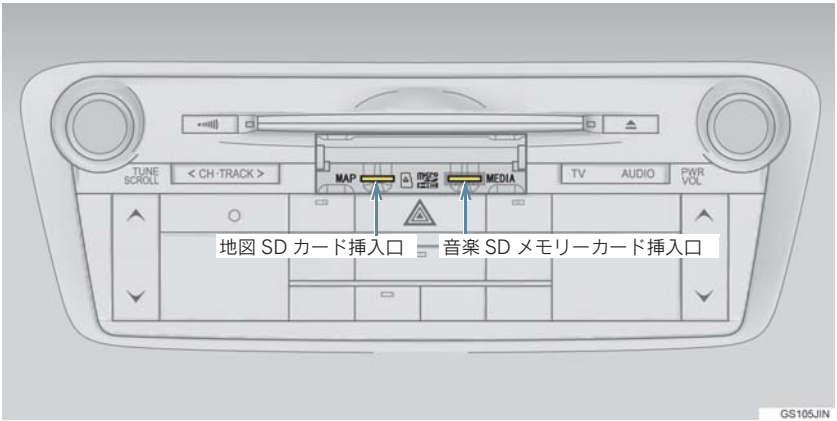
家庭用レコーダーなどで録画した動画ファイルの再生について

家庭用レコーダーで録画したテレビ番組を SD メモリーカードで持ち出して再生することができます。また、拡張子 MP4（MPEG-4 AVC/H.264）などで記録した動画を再生することも可能です。

本機で使用できる SD ビデオ規格については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。

2. SD メモリーカードの出し入れ

本機で使用できる SD メモリーカードについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。



警告

- SD メモリーカードは、お子さまに触れられないようにご注意下さい。誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

注意

- 安全上の配慮から車を完全に停止したときのみ、SD カードの挿入・取り出しを行うことができます。

2. SD メモリーカードの出し入れ

SD メモリーカードを入れる

1 カバーを開け、挿入口に SD メモリーカードを挿入する。

● microSD ロゴ面を上にして、挿入口にまっすぐ奥まで挿入します。

2 カバーを閉める。

⚠ 注意

● SD メモリーカードは ▶ マークを奥にして、“カチッ” と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
● microSD カードは小さな部品のため、飛び出しや落下による紛失にご注意ください。
● 挿入口に SD メモリーカード以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

知 識

● 地図 SD カードを挿入していない状態で、使用した場合、ナビゲーション機能など一部機能が動作しません。地図 SD カードを挿入した状態でご使用ください。

SD メモリーカードを取り出す

1 カバーを開ける。

2 MENU を押す。

3 情報・G を選択。

● G-Link 画面が表示されたとき
➡ 情報 を選択。

4 メディアの取り外し を選択。

5 地図 SD または AUDIO SD を選択。

6 メッセージが表示された後、SD メモリーカードを押すと、カードが押し出される。

7 カバーを閉める。

⚠ 注意

● microSD カードは小さな部品のため、飛び出しや落下による紛失にご注意ください。

2. SD メモリーカードの出し入れ

知 識

- SD　メモリーカードを取り出すときは、手順にそって操作を行ってください。パソコンでの読み込みができなくなる恐れがあります。
- 取り出した地図 SD カードを地図更新などでパソコンへ接続する際、microSD カード非対応のパソコンを使用するときは、同梱のアダプターを使用してください。
  また、同梱のアダプターを使用するときは、誤消去防止スイッチの LOCK が解除の状態になっていることを確認してください。

3. SD メモリーカードに録音する

データベースについて

CD アルバムを再生または録音した場合、地図SDカードに収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名を検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。

Gracenote®メディアデータベースについて

- 音楽認識技術と関連情報は Gracenote®社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページ www.gracenote.com をご覧下さい。
- Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ：copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および “Powered by Gracenote” ロゴは、米国および／またはその他の国における Gracenote, Inc. の登録商標または商標です。

gracenote

知 識

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を 100%保証するものではありません。

Gracenote®メディアデータベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

- 本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」とする）を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenote データ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」とする）から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。
お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

3. SD メモリーカードに録音する

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© 2000 to present Gracenote, Inc.

3. SD メモリーカードに録音する

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音されなかった録音内容、および消失した録音データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音する

1 SD メモリーカードを挿入する。（→ P.213）

2 録音したい CD を挿入する。

3 CD 操作画面を表示する。（→ P.190）

4 録音開始 を選択。

- 再生している CD の録音を開始します。

自動で録音する

CD を再生すると同時に、自動的に録音を開始することができます。

1 録音設定の自動録音を「する」に設定する。（→ P.218）

2 録音したい CD を挿入する。

- 再生と同時に、自動的に録音を開始します。

曲を選んで録音する

希望の曲だけを選んで録音することができます。

1 録音設定の自動録音を「しない」、選んで録音を「する」に設定する。（→ P.218）

2 録音したい CD を挿入する。

3 CD 操作画面を表示する。（→ P.190）

4 録音開始 を選択。

5 録音したい曲を選択。

- 走行中は曲を選択することはできません。
- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲を選択。

6 完了 を選択。

知 識

- 録音中は録音された音楽を時間差で再生するため、CD 再生時と異なって聞こえることがあります。
- 録音中に他のオーディオソースに切り替えることができます。オーディオソースを切り替えても録音は継続されます。

3. SD メモリーカードに録音する

知 識

- 録音が完了した後、エンジン／パワースイッチを OFF にしたり、他のオーディオに切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して再生します。
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 音跳びなどが発生した場合、録音をやり直します。
- 音跳びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、音跳びアイコンが表示されます。
- 録音の開始時や終了時は、約 5 秒間音楽が停止します。
- SD メモリーカードの容量がなくなった場合、録音が中止され録音途中の曲は削除されます。
- 通常の速さで再生しながら、最大 4 倍の速さで録音するため、再生している曲と録音している曲は異なります。
- 録音中は、操作画面に「REC」と赤字で表示されます。
- 録音中は、 、 、 選曲 の各スイッチは操作できません。また、選曲、早送り・早戻しもできません。
- CD 以外のモードに切り替えても、録音は継続されます。ただし以下のときは、録音を中止または中断し、録音途中の曲を削除します。
  - ・エンジン／パワースイッチを OFF にしたとき
  - ・オーディオの電源を OFF にしたとき
  - ・CD を取り出したとき
  - ・録音した曲数が9999曲になったとき
  - ・SD メモリーカードの容量がいっぱいになったとき
- CDを録音しながら再生しているときに、録音が終了すると、CD の再生が一瞬途切れる場合があります。

録音を中止する

1 CD 操作画面を表示する。（→ P.190）

2 録音停止 を選択。

録音の設定を変更する

CD の再生と同時に自動的に録音を開始する「自動録音」と、希望の曲を選んで録音する「選んで録音」の切り替えや録音音質を切り替えることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → CD ⇒ SD 録音設定

2 録音音質、録音方法を選択。

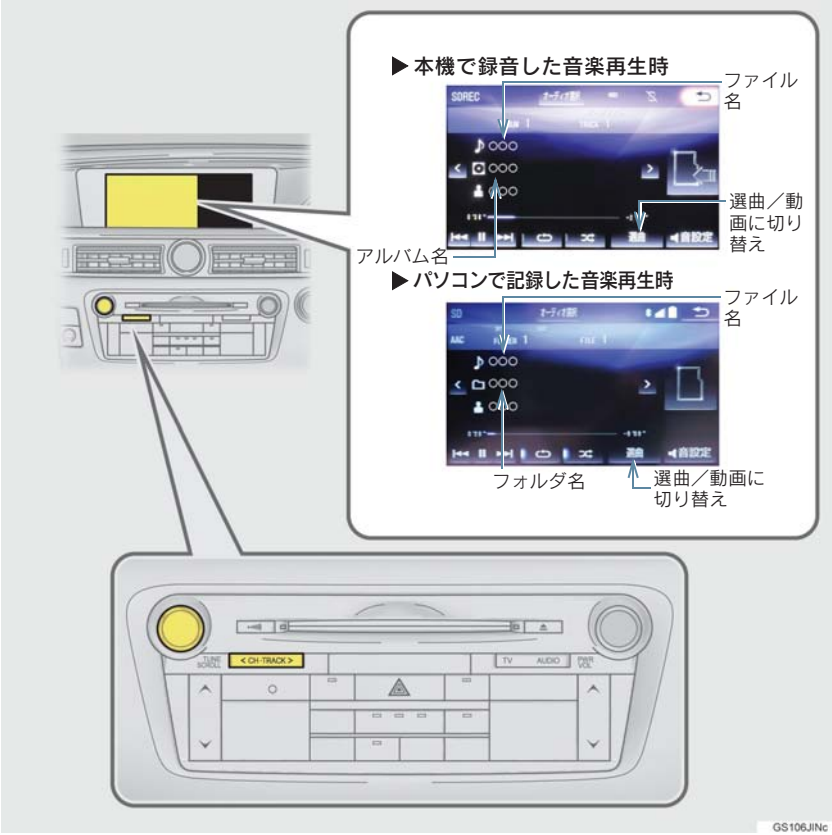
- 録音音質を切り替えるとき
  ➡ 録音音質 を選択し、 高音質 または 普通 を選択。
- 自動録音を設定するとき
  ➡ 自動録音 を選択し、 する または しない を選択。
- 選んで録音を設定するとき
  ➡ 自動録音 を選択し、 しない を選択。
  選んで録音 を選択し、 する を選択。

知 識

- 音楽 CD の 音設定 からも録音の設定ができます。
- 走行中および録音中は、録音設定をすることができません。

4. 音楽ファイル再生についての操作

本機で使用できる音楽ファイル（パソコンで記録した場合）については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。



知 識

● 本機で録音した CD の情報がデータベースにない場合、アーティスト名には「NO DATA」、アルバムタイトルには録音した日時、トラックタイトルには TRACK1、TRACK2…と表示されます。

4. 音楽ファイル再生についての操作

⏮／⏭

ファイル／トラックが切り替わります。

- 選択し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

< / >（フォルダ／アルバム名）

フォルダ／アルバムが切り替わります。

選曲（パソコンで SD メモリーカード内に記録した音楽再生時のみ）

フォルダリストを表示します。

フォルダ／アーティスト／アルバム／ビデオごとに分類して、並び替え

- フォルダ選択後、再生したいファイルを選択すると、選択したファイルが再生されます。
  完了 を選択すると、操作画面に戻ります。
- ビデオ：SD メモリーカード内の動画ファイルの再生に切り替わります。（→ P.223）

選曲（本機で SD メモリーカード内に録音した音楽再生時のみ）

アルバムリストを表示します。

アーティスト／録音日時／ジャンル／マイベストごとに分類して、並び替え

- アルバム選択後、再生したいトラックを選択すると、選択したトラックが再生されます。
  完了 を選択すると、操作画面に戻ります。

（ランダム）

選択するたびにフォルダ／アルバム内でランダム再生（RAND）→全フォルダ／アルバムからランダム再生（FLD.RAND/ALB.RAND）→ランダム解除の順に切り替わります。

（リピート）

選択するたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生（FLD.RPT/ALB.RPT）→リピート解除の順に切り替わります。

❚❚（一時停止）／ ▶（再生）

再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

4. 音楽ファイル再生についての操作

CH・TRACK スイッチ
ファイル／トラックが切り替わります。
押し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。
SCROLL ツマミ
ファイル／トラックリスト画面を表示しているとき、回すと、ファイル／トラックが切り替わります。
フォルダ／アルバムリスト画面を表示しているとき、回すと、フォルダ／アルバムが切り替わります。
ファイル／トラック／フォルダ／アルバムリスト画面以外を表示しているとき、回すと、フォルダ／アルバムが切り替わります。
音設定
音の設定を変更することができます。（→ P.180）

知 識

● アルバムリストについて

・「マイベスト」は、オリジナルの楽曲集が作成されていないときは選べません。（→ P.226）

・トラックはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（「アーティスト」、「録音日順」、「ジャンル」）を変更すると再生順が変わります。

4. 音楽ファイル再生についての操作

MP3/WMA/AAC の再生について

SD メモリーカードに MP3/WMA/AAC 以外のファイルを保存した場合、再生するまでに時間がかかったり、MP3/WMA/AAC ファイルを表示できないことがあります。

⚠ 注意

- MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけないでください。

知 識

- MP3/WMA/AAC ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。（VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）

5. 動画ファイル再生についての操作

この項目では、家庭用レコーダーなどで SD メモリーカードに録画した動画ファイルの操作方法を説明しています。

本機で使用できる SD ビデオ規格については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。

● ブレーキホールド作動中の動画視聴できる／できないを選択できます。（→ P.180）

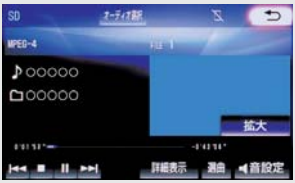
警告

● 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

5. 動画ファイル再生についての操作

選曲

フォーマットを選択後、ファイル／番組リストを表示します。



SD カード内に CPRM 対応の動画と CPRM 非対応の動画がある場合、フォーマット選択でリストを切り替えます。

拡大／映像

選択するごとに、操作画面と拡大画面が切り替わります。

⏭

ファイル／番組が切り替わります。
- 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
- 一時停止中は、選択し続けている間、スロー再生します。

⏸（一時停止）／ ▶（再生）

映像の再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

■（停止）

映像の再生を停止します。

⏮

ファイル／番組が切り替わります。
- 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

音設定

音や映像の設定を変更することができます。（→ P.180）

詳細表示／番組情報表示

タイトル／番組（動画ファイル）の情報を表示します。

CH・TRACK スイッチ

ファイル／番組が切り替わります。
- チャプターが存在する場合、チャプターが切り替わります。押し続けると、映像を早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

5. 動画ファイル再生についての操作

SCROLL ツマミ
ファイル／番組リスト画面を表示しているとき、回すと、ファイル／番組が切り替わります。
ファイル／番組リスト画面を表示していないとき、回すと、ファイル／番組が切り替わり、チャプターが存在する場合は、チャプターが切り替わります。

6. 本機で記録したデータを編集する

本機で SD メモリーカードに音楽を録音すると、アーティスト名やジャンルなどの情報を自動で付与しグループ分けしますが、お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成することもできます。また、アルバム情報の編集などをすることができます。

サウンドライブラリ編集メニュー画面について

SDメモリーカードの編集をするときは、サウンドライブラリ編集メニュー画面から行います。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集

2 各項目の編集・確認をする。

● サウンドライブラリ編集メニュー画面から次のことができます。

項目	ページ
マイベストの作成	226
マイベストの編集	227
・マイベストの名称修正	227
・トラックの追加	227
・トラックの並び替え	228
・トラックの削除	228
・マイベストの削除	228
アルバム情報の修正	229
・アルバムタイトル、アルバム読み修正	229
・アーティスト名、アーティスト読み修正	229、230
・ジャンル修正	230
・トラックタイトル、トラック読み修正	230
・タイトル情報の再取得	230
アルバムの削除	231
トラックの削除	232
SD 詳細情報の表示	232

知 識

● 走行中および録音中は、サウンドライブラリの編集をすることができません。

お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する

作成した楽曲集は、アルバムリスト画面のマイベストから簡単に呼び出すことができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 新規作成

2 マイベストの名称を入力する。

3 完了 を選択。

4 登録したい曲の含まれているアルバムを選択する。

● アーティスト 、録音日順 、ジャンル 、マイベスト から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

5 登録したい曲を選択。

● 選択を解除するとき
➡ 選択されている曲を選択。

6 登録 を選択。

7 完了 を選択。

● 続けて曲を追加するとき
➡ 追加 を選択。（手順 **4** へ）
・同様の手順で追加できます。

知 識

● 同じ名称は重複して登録できません。
● マイベストは 999 個作成できます。また、1 つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

マイベストを編集する

作成したマイベストの修正や削除をすることができます。

マイベストの名称を修正する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 名称修正 → （修正したいマイベスト）

2 名称を入力する。

3 完了 を選択。

知 識

● 同じ名称は重複して登録できません。

曲を追加する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 編集 → （追加したいマイベスト） → トラックを追加

6. 本機で記録したデータを編集する

2 追加したい曲が含まれているアルバムを選択する。

- アーティスト 、録音日順 、ジャンル 、マイベスト から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 追加したい曲を選択。

- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲を選択。

4 登録 を選択。

5 完了 を選択。

- 続けて曲を追加するとき
  ➡ 追加 を選択。（手順 **2** へ）
- 同様の手順で追加できます。

知 識

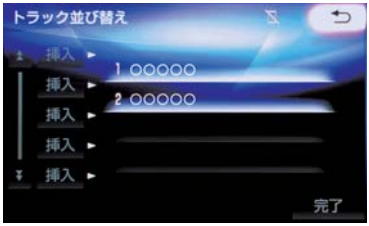
- 1 つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

曲を並べ替える

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 編集 → （並べ替えをしたいマイベスト） → トラックを並び替え

2 移動したい曲を選択。

3 移動したい場所の 挿入 を選択し、完了 を選択。



曲を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 編集 → （消去したい曲の含まれているマイベスト） → トラックを削除

2 削除したい曲を選択し、削除 を選択。

- 選択を解除するとき
  ➡ 選択されている曲を選択。

3 はい を選択。

マイベストを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → マイベストの 編集 → （消去したいマイベスト） → このマイベストを削除

2 はい を選択。

アルバム情報を編集する

アルバム名やアーティスト名、ジャンル、トラック名などを変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正

2 編集したいアルバムを選択する。

- アーティスト 、録音日順 、ジャンル から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 各項目を編集する。

アルバムタイトル、アルバム読みを変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバム または アルバム読み

2 アルバムまたはアルバム読みを入力し、完了 を選択。

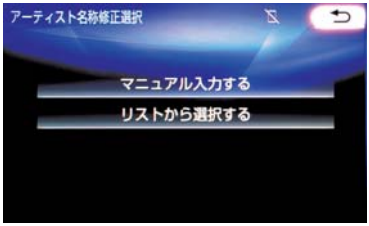
知 識

- 読みは半角カタカナのみ入力できます。

アーティスト名を変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバムアーティスト

2 編集方法を選択する。



■マニュアル入力するときは

1 マニュアル入力する を選択。

2 アーティスト名を入力し、完了 を選択。

■リストから選ぶときは

1 リストから選択する を選択。

2 アーティスト名を選択。

知 識

- リストに表示されるアーティストはすでに登録されているアーティストのみです。

6. 本機で記録したデータを編集する

アーティスト読みを変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → アルバムアーティスト読み

2 アーティスト読みを入力し、完了 を選択。

知 識

● 読みは半角カタカナのみ入力できます。

ジャンルを変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → ジャンル

2 ジャンルを選択し、完了 を選択。

トラックタイトル、トラック読みを変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → トラック名を修正 → (修正したいトラック) → トラック または トラック読み

2 トラックまたはトラック読みを入力し、完了 を選択。

知 識

● 読みは半角カタカナのみ入力できます。

タイトル情報を再取得する

録音時に地図 SD カードのデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用した CD のタイトル情報と違っているときには、再度、データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 修正 → アルバムを選択 → SD で検索

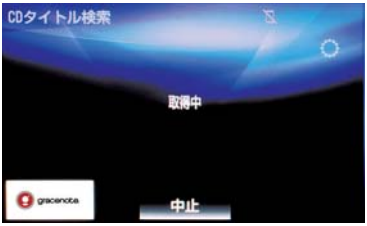
● 複数候補があるとき
➡ タイトルを選択

2 登録 を選択。

知 識

- Gで検索 は、G-Linkを利用されているときに使用することができます。G-Linkを利用すると、最新のCDタイトル情報をG-Linkセンター経由でGracenoteメディアデータベースから取得することができます。(→ P.524)
- 再生している曲の録音に使用したCDのタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に、必ずタイトル情報を確認してください。

- CD タイトル検索画面は、CD タイトルを検索しているときに表示されます。



・検索が終わると自動的に画面が切り替わります。
・中止するとき
➡ 中止 を選択。

アルバムを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 削除

2 削除したいアルバムを選択する。

- アーティスト 、録音日順 、ジャンル から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 このアルバムを削除 を選択。

4 はい を選択。

知 識

- 削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

6. 本機で記録したデータを編集する

トラックを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → アルバムの 削除

2 削除したい曲の含まれているアルバムを選択する。

● アーティスト 、録音日順 、ジャンル から、アルバムを分類したり並び替えて、絞り込むことができます。

3 トラックを削除 を選択。

4 削除したい曲を選択。

● 選択を解除するとき
➡ 選択されている曲を選択。

5 削除 を選択。

6 はい を選択。

知 識

● 削除する曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

SD 空き容量を確認する（詳細情報の表示）

データベースのバージョン情報や SD の空き容量を確認することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → サウンドライブラリ編集 → SD 詳細情報

7. SD メモリーカードの初期化について

SD メモリーカードを初期化する

音楽用 SD メモリーカードを初期化することができます。初期化すると、SD メモリーカード内のデータがすべて削除されます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → SD カード初期化

2 初期化する を選択。

3 はい を選択。

1. 地上デジタルテレビの操作について

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面とTV局リスト画面から行います。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションをPにいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

知 識

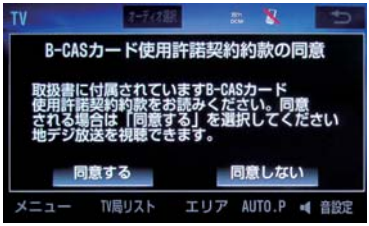
- デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機には、地上デジタルテレビ放送の著作権保護方式に対応するため、B-CASカードが内蔵されています。このカードの所有権は、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「B-CAS 社」）に帰属しており、その使用に関する事項は「B-CAS カード使用許諾契約約款」によります。「B-CAS カード使用許諾契約約款」は巻末に記載されています。（→ P.568）より詳しい情報は、B-CAS 社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）をご覧ください。
なお、この B-CAS カードを取りはずすことはできません。

初回起動時の設定

地上デジタルテレビを見るためには、B-CAS カード使用許諾契約約款に同意する必要があります。

1 TV を押す。

2 同意する を選択。



3 はい を選択。

知 識

- B-CAS カード使用許諾契約約款は巻末（→ P.568）をご覧ください。

居住地域の設定について

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。居住地域の設定については「設定画面について」（→ P.241）をご覧ください。

2. テレビの操作

● ブレーキホールド作動中の動画視聴できる／できないを選択できます。（→ P.180）

（知 識）

● 本機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
この関係の主な例を次に説明します。
・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
・ ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
・ トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
・ 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。

● 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。また、双方向通信には対応していません。

プリセットスイッチ

記憶されているチャンネル放送局を受信します。

記憶したいチャンネルを選択し、“ピー”と音がするまで選択すると、そのチャンネルを記憶します。

● エリアスイッチ選択中は、チャンネルを記憶できません。

2. テレビの操作

拡大／映像

選択するごとに、操作画面と拡大画面が切り替わります。

AUTO.P

“ピー” と音がするまで選択すると、自動で受信可能なチャンネルを、一時的にプリセットスイッチに記憶します。再度押すと、解除されます。

エリア

ナビゲーションがエリアごとに記憶しているチャンネルを表示します。（GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名とチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。）再度選択すると、解除されます。

TV 局リスト

TV 局リスト画面を表示します。

サービスリスト画面から、見たい番組→ 拡大 の順に選択

EPG（電子番組表）を見る（→P.237）

プリセットスイッチ：
・選択：見たいチャンネルを選択
・長押し：受信中のチャンネルを記憶する

メニュー

各種設定や放送局のバージョンなどの情報を表示します。（→ P.241）

TV

映像または操作画面を表示します。

CH ・TRACK スイッチ

プリセットスイッチに記憶されている順にチャンネルが切り替わります。

“ピー” と音がするまで押すと、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近いチャンネルを選択します。再度押すと、選択を停止します。

TUNE ツマミ

回すと、チャンネルが切り替わります。

音設定

音や映像の設定を変更することができます。（→ P.180）

知 識

- プリセットスイッチについて
  - ・すべてのプリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていない場合、チャンネル設定が行われていません。初期スキャンを行ってください。（→ P.241）
- ワンセグ放送のサービス番号は、611 ～ 728 に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。
- ワンセグ自動切替が ON（する）に設定されている場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送に戻ります。（→ P.241）
- 地上デジタルテレビ放送では1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- 1 つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。

EPG（電子番組表）を見る

EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。

1 デジタルテレビ操作画面
（→ P.235）→ TV 局リスト → 番組表

知 識

- TV 番組表画面からお好みの地上デジタルテレビ映像（番組）に切り替えることはできません。
- TV 番組表画面は現在から最大 7 日分表示することができます。

2. テレビの操作

見たい番組を探す（別のサービスの番組表に切り替える）

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.235）→ TV 局リスト → 番組表

2 表示切替 を選択。

- 選択するごとに、以下の順に表示が切り替わります。

複数サービス → 1 サービス → プライマリーサービス

・複数サービスは、1 チャンネルの全番組を表示します。
・1 サービスは、1 チャンネルの 1 番組を表示します。
・プライマリーサービスは、3 チャンネルを 1 番組ずつ表示します。

- 番組の情報を見たいとき
  ➡ 番組を選択。

■前後の時間帯の番組情報に切り替える

1 ∧ または ∨ を選択。

- 前の放送時間帯の番組を表示するとき
  ➡ ∧ を選択。
- 次の放送時間帯の番組を表示するとき
  ➡ ∨ を選択。

■チャンネルを切り替える

1 「ch」の ＜ または ＞ を選択。

- チャンネルを大きい方へ選択するとき
  ➡ ＞ を選択。
- チャンネルを小さい方へ選択するとき
  ➡ ＜ を選択。

データ放送の操作について

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。
操作方法は受信したデータ放送により異なります。

1 デジタルテレビ操作画面（→ P.235）→ メニュー

2 データ放送操作 を選択。

3 d を選択。

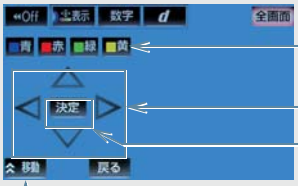
- データ放送が表示されます。
- データ放送画面を解除するとき
  ➡ 再度 d を選択。

Off

スイッチの表示を消します。

表示

色ボタンとカーソルでデータ放送を操作します。



色ボタン
カーソル
カーソルを操作して選択した項目を実行
色ボタン・カーソルの表示位置を左下または右上に移動

数字

10 キー（テンキー）で数字を入力し、データ放送を操作します。

数字を入力
入力した数字を決定
10 キーの表示位置を左下または右上に移動

戻る

データ放送操作画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻します。

知 識

- 本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- データ放送を受信可能な場合、デジタルテレビ操作画面に d が表示されます。
- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。

2. テレビの操作

放送局からのお知らせについて

番組をご覧になっているときに放送局からお知らせを受信することがあります。
放送局からお知らせを受信すると、画面にメッセージが表示されます。

1 表示 を選択。

● もとの映像に戻すとき
➡ OK を選択。

知 識

● 受信したお知らせによっては消去できないことがあります。

緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送（EWS: Emergency Warning System）は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組に戻ります。

3. テレビの設定をする

設定画面について

テレビに関する設定は、TV メニュー画面、各種切替画面、機能設定画面から変更できます。

TV メニュー画面について

デジタルテレビ操作画面表示中
(→ P.235)

1 メニュー を選択。

2 各項目を設定する。

- 各種切替 を選択すると、各種切替画面が表示されます。(→ P.244)
  - ・各種切替画面で 機能設定 を選択すると、機能設定画面が表示されます。(→ P.245)

地デジ・ワンセグ受信設定

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ放送を切り替えます。

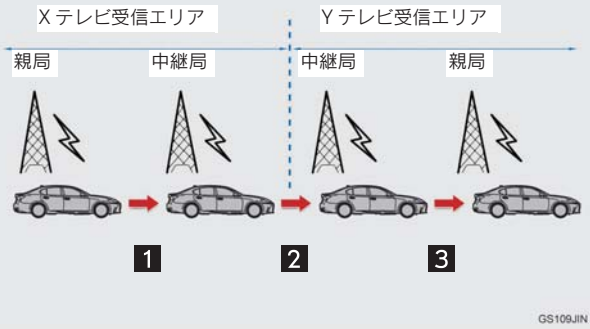
- ワンセグ自動切替 ：地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ方法に切り替えます。地上デジタルテレビが受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。
- 地デジ ：地上デジタルテレビ放送に固定します。
- ワンセグ ：ワンセグ放送に固定します。

3. テレビの設定をする

系列局サーチ

走行中に、地上デジタルテレビ放送の受信状態が不安定になった場合、より受信感度が良い中継局や系列局を自動的にサーチして受信することができます。

- する ：中継局、系列局を自動的にサーチして受信します。
- しない ：中継局のみ自動的にサーチして受信します。



- 中継局サーチ 1 ：親局の受信エリアから外れても、中継局を自動でサーチし、切り替えます。
- 系列局サーチ 2 ：X テレビの受信エリアを外れても、隣接する系列局の Y テレビを自動でサーチし、切り替えます。
- 中継局サーチ 3 ：受信状態の良い親局や中継局を自動でサーチし、切り替えます。

TV 局リスト表示数

TV 局リスト画面での放送局リスト表示数を選局できます。

- 12（番組名なし）を選択した場合は、番組名は表示されません。

各種切替

音や映像の設定を変更することができます。**（→ P.244）**

3. テレビの設定をする

知 識

● 地デジ・ワンセグ受信設定スイッチについて
- ワンセグ放送を受信しているときは、画面左上に「ワンセグ」と表示されます。
- 放送が切り替わるとき、一時的に画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切替をON（する）にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

● 系列局サーチスイッチについて
- 同じ中継局／系列局を探し出し、受信するまでの約 10 秒間は受信できません。
- 系列局を受信した場合、自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。

3. テレビの設定をする

各種切替画面について

TV メニュー画面で 各種切替 を選択すると表示されます。次の項目を設定することができます。

映像

地上デジタルテレビ放送では、マルチビュー放送で複数の映像を提供する場合があります。
選択するごとに、映像が切り替わります。

音声

地上デジタルテレビ放送では、複数の音声を提供している場合があります。
選択するごとに、音声が切り替わります。

主／副

選択するごとに、主音声→副音声→主／副音声の順に切り替わります。

文字スーパー

地上デジタルテレビ放送では、放送と独立して文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を行っています。
選択するごとに、日本語→英語→表示なしの順に文字スーパーが切り替わります。

字幕

地上デジタルテレビ放送では、複数の字幕を提供している場合があります。
選択するごとに、日本語→英語→字幕なしの順に字幕が切り替わります。

機能設定

各種機能の設定やメールの閲覧などを行います。（→ P.245）

知 識

- 映像スイッチについて
  - ・映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。
- 主／副スイッチについて
  - ・副音声または主／副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声が頻繁に切り替わることがあります。

機能設定画面について

各種切替画面で 機能設定 を選択すると表示されます。次の項目を設定することができます。

イベントリレーの受信

視聴中の番組から、異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動で切り替えする／しないを選択できます。

- イベントリレーを受信すると、例えば、野球の延長放送を、視聴中の番組とは異なるサービス番号で放送するときに、自動で切り替えます。

TV 局データ自動更新

本機の放送局データを、自動または手動で更新します。

- 手動で更新する場合は、TV 局データバージョン を設定します。

TV 局データバージョン

本機の放送局データを手動で更新するときに設定します。

TV 局データを更新
- 中止するとき
  ➡ 中止 を選択。

初期スキャン

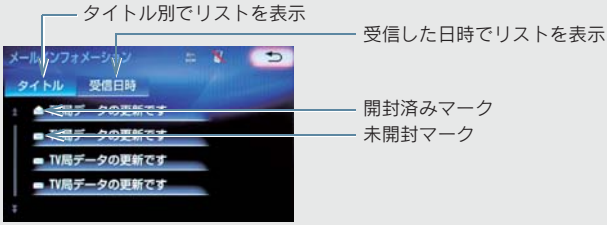
プリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていないときや、地域を移動したとき、現在地で受信可能なチャンネルを自動で設定します。

- 設定が終了すると機能設定画面に戻ります。
- 中止するとき
  ➡ 中止 を選択。

3. テレビの設定をする

メールインフォメーション

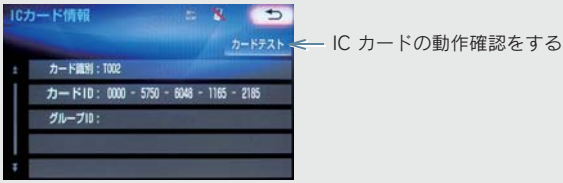
放送局から受信したメールを確認できます。



- 見たいメールを選択すると、メール詳細画面が表示されます。

IC カード情報

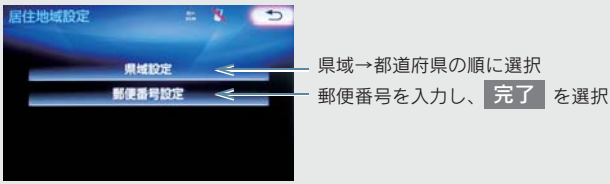
IC カード（B-CAS カード）の情報を確認できます。



- 動作確認後、OK を選択します。
- 異常を検出したときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

居住地域の登録

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。初めて起動したときや、引越したときは必ず設定してください。



3. テレビの設定をする

知 識

● イベントリレーの受信スイッチについて
- 地域によっては、同じ番組を放送している放送局に切り替わらない場合があります。
- 受信電波の弱い地域では放送局が切り替わらない場合があります。
- 山を境に放送区域が変わる所では、トンネルを出ても放送局が切り替わらない場合があります。
- ご覧になっている放送局と移動先の放送局の受信状態が同じようなときは、頻繁に切り替わることがあります。

● メールインフォメーションスイッチについて
- 受信したメールのタイトルは、受信メールの先頭から全角 20 文字（メール詳細画面では 16 文字）をタイトルとして表示します。
- メールの保存件数は最大 7 件です。7 件を超えたときは、一番古いメールが自動で削除されます。（未読メール含む）

● 居住地域の設定スイッチについて
- 県域から設定するとき、東京都島部（伊豆・小笠原諸島）または鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住いの場合は、沖縄地方・その他 を選択してください。
- 郵便番号から設定するとき、郵便番号は 7 桁で入力してください。

4. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
IC カードが正常に動作しませんでした 販売店へお問い合わせ下さい	IC（B-CAS）カードとの通信で異常を検出したため。受信機の故障が考えられます。	レクサス販売店で点検を受けてください。
放送を受信できません	地上デジタル放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
データを受信できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。
データを表示できませんでした	本機で対応していないデータを受信したため。	故障ではありません。

4. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

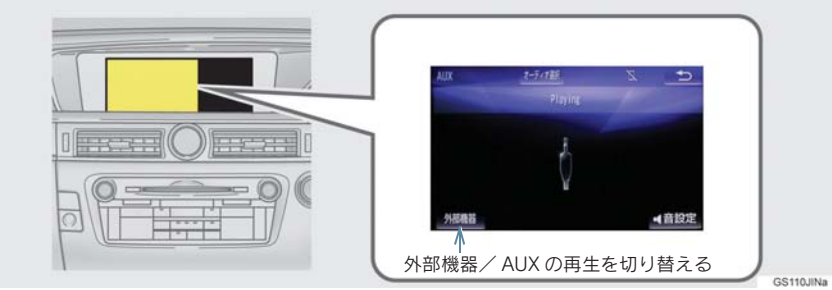
ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリア外で使用していませんか。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
映像は出るが、音が出ない。	音量が小さくなっていませんか。	音量を大きくしてください。（→ P.177）
映像が止まって、音が出ない。	地上デジタル放送の受信状態が良くない。	受信エリア内でも環境により受信できない場合があります。（→ P.235） 受信できる場所に移動してください。
画面上部のチャンネル番号の表示が 13 ～ 62 のままで、プリセットスイッチにチャンネル番号が表示されない。		
青い画面が表示され、音が出ない。 地上デジタル放送が受信できない。	チャンネルの設定がされていない。	チャンネル設定を行ってください。 • オートプリセット／エリアプリセット（→ P.235） • 初期スキャン（→ P.245）
	チャンネル（放送局）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わったため。	

1. 外部機器／ AUX の操作

ミニプラグケーブルを使用して、AUX 端子（→ P.183）に接続した外部機器を再生することができます。

● 接続後、接続した機器の電源を入れてください。



● ブレーキホールド作動中の動画視聴できる／できないを選択できます。（→ P.180）

警告

● 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

知 識

● 外部機器／AUXモード中にAUX 端子側のミニプラグを抜いたり、接続する機器側のミニプラグケーブルを抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
● 外部機器と AUX を切り替える際、音切れが発生することがあります。
● 外部機器／ AUX を選択中でも、映像信号が未入力の場合は、AUX と認識されます。

拡大／映像（外部機器モードのみ）

選択するごとに、操作画面と拡大画面が切り替わります。

音設定

音や映像の設定を変更することができます。（→ P.180）

1. はじめに

USB メモリーについて

USB 端子(→ P.183)に接続した USB メモリー内のデータを再生することができます。

USB メモリーを 2 つ同時に接続すると、オーディオソース画面には USB1 、USB2 のスイッチが表示されます。また、USB メモリー に機器名が登録されている場合は、その名称でスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

「USB メモリーについて」(→ P.287)に該当していても、ご利用の USB メモリーによっては、本機で再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

知 識

- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- USB メモリーが接続されている状態で、他モードより USB メモリーモードに切り替えたとき、最初のファイルが再生されます。もし、同じ USB メモリー(内容が変更されていないもの)が再び差し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。

音楽ファイルの再生について

USB メモリーに記録された音楽ファイル(MP3、WMA、AAC)を再生することができます。再生可能な音楽ファイルについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.283)をご覧ください。

動画ファイルの再生について

拡張子 MP4(MPEG-4 AVC/H.264)などで記録した動画を再生することができます。再生可能な動画ファイルについては、「オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア/データについて」(→ P.283)をご覧ください。

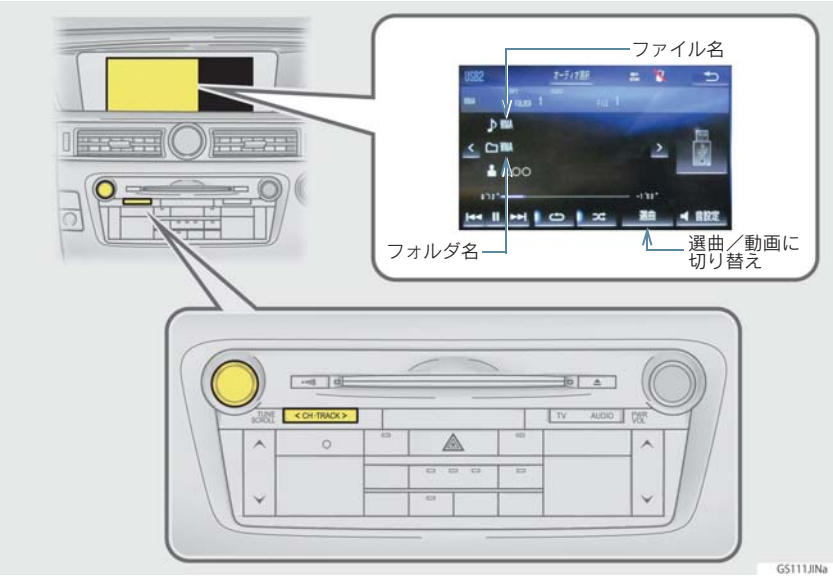
警告

- 安全のため、運転者は運転中に USB メモリーを操作しないでください。

注意

- USB メモリーを車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB メモリーが接続されているときに、USB メモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
- USB メモリー端末の差込口に USB メモリー端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

2. 音楽ファイル再生についての操作



⏮／⏭

ファイルが切り替わります。

- 選択し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

< / >（フォルダ名）

フォルダが切り替わります。

選曲

フォルダリストを表示します。

- フォルダ選択後、再生したいファイルを選択すると、選択したファイルが再生されます。
  完了 を選択すると、操作画面に戻ります。
- ビデオ：動画ファイルの再生に切り替わります。（→ P.254）

（ランダム）

選択するたびにフォルダ／アルバム内でランダム再生（RAND）→全フォルダ／アルバムからランダム再生（FLD.RAND/ALB.RAND）→ランダム解除の順に切り替わります。

2. 音楽ファイル再生についての操作

（リピート）
選択するたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生（FLD.RPT/ALB.RPT）→リピート解除の順に切り替わります。
❚❚（一時停止）／ ▶（再生）
再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。
CH・TRACK スイッチ
ファイルが切り替わります。
押し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。
SCROLL ツマミ
ファイル／フォルダリスト画面を表示しているとき、回すと、ファイル／フォルダが切り替わります。
ファイル／フォルダリスト画面以外を表示しているとき、回すと、フォルダが切り替わります。
音設定
音の設定を変更することができます。（→ P.180）

3. 動画ファイル再生についての操作

この項目では、USB メモリーに録画した動画ファイルの操作方法を説明しています。

本機で使用できる USB メモリーや USB メモリーに記録できる動画ファイルについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。

● ブレーキホールド作動中の動画視聴できる／できないを選択できます。（→ P.180）

警告

● 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

（知 識）

● 本機で対応していないフォーマットのファイルを読み込んだ場合、動作に影響がでることがあります。

3. 動画ファイル再生についての操作

選曲

ビデオ 選択後、ビデオ選択リストを表示します。

再生したいフォーマットを選択後、
ファイルを選択

拡大／映像

選択するごとに、操作画面と拡大画面が切り替わります。

▶▶|

ファイルが切り替わります。
- 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
- 一時停止中は、選択し続けている間、スロー再生します。

❚❚（一時停止）／▶（再生）

映像の再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

■（停止）

映像の再生を停止します。

|◀◀

ファイルが切り替わります。
- 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

詳細表示

タイトル（動画ファイル）の情報を表示します。

CH・TRACK スイッチ

ファイルが切り替わります。

押し続けると、映像を早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

SCROLL ツマミ

回すとファイルが切り替わります。

音設定

音や映像の設定を変更することができます。（→ P.180）

4. 知っておいていただきたいこと

MP3/WMA/AAC の再生について

MP3/WMA/AAC ファイルが収録されているUSBメモリーを接続すると、最初にUSBメモリー内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA/AAC ファイルを再生します。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

⚠ 注意

- MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a”の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”/“.m4a”の拡張子をつけないでください。

知 識

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- MP3/WMA/AAC は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。

1. はじめに

USB 端子／ AUX 端子（→ P.184）に接続した iPod の音楽ファイルや動画ファイルを再生することができます。

iPod を接続すると、オーディオソース画面には、その機器名称のスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

本機で使用できる iPod については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。

警告

- 安全のため、運転者は運転中に iPod を操作しないでください。
- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションをPにいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

注意

- iPod を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPod が接続されているときに、iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
- iPod 端末の差込口に iPod 端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

知 識

- iPodモード中にiPod端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- iPod が接続されている状態で、他モードより iPod モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していた曲から再生されます。

商標・設計認証情報

Made for iPod iPhone

- “Made for iPod”, “Made for iPhone” and “Made for iPad” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.
- iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Lightning is a trademark of Apple Inc. The trademark “iPhone” is used with a license from Aiphone K.K.
- The Lightning connector works with iPhone 5s, iPhone 5c, iPhone 5, iPod touch (5th generation), and iPod nano (7th generation).
- The 30-pin connector works with iPhone 4S, iPhone 4, iPhone 3GS, iPhone 3G, iPhone, iPod touch (1st through 4th generation), iPod classic, and iPod nano (1st through 6th generation).

2. 音楽ファイル再生についての操作

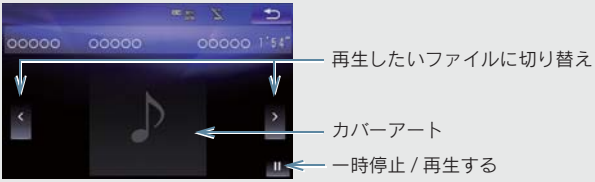
この項目では、USB 端子（→ P.183）に接続した iPod（ミュージック）の操作方法を説明しています。
本機で使用できる iPod については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。

⏮／⏭

ファイルが切り替わります。
- 選択し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

カバーアート

拡大表示画面を表示します。



2. 音楽ファイル再生についての操作

選曲

選曲リストを表示します。

プレイモードを選択

- リスト選択後、再生したいファイルを選択すると、選択したファイルが再生されます。完了 を選択すると、操作画面に戻ります。
- ビデオ：動画ファイルの再生に切り替わります。（→ P.261）

（ランダム）

選択するたびに、アルバム内でシャッフル再生（Shuffle）→全アルバムからシャッフル再生（ALB.Shuffle）→シャッフル解除の順に切り替わります。

（リピート）

選択するたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→リピート解除が切り替わります。

❚❚（一時停止）／ ▶（再生）

再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

CH・TRACK スイッチ

ファイルが切り替わります。

押し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

SCROLL ツマミ

ファイルリスト画面を表示しているとき、回すと、ファイルが切り替わります。

選曲リスト画面を表示しているとき、回すと、リストが切り替わります。

音設定

音の設定を変更することができます。（→ P.180）

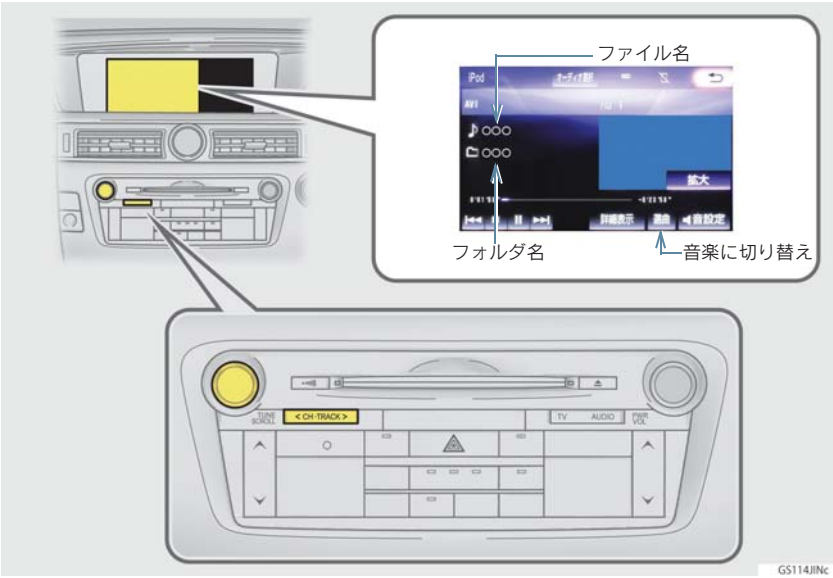
2. 音楽ファイル再生についての操作

知 識

● 選曲スイッチについて
・ ファイルはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストのプレイモード（**プレイリスト**、**アーティスト**、**アルバム**、**曲**、**Podcasts**、**オーディオブック**、**ジャンル**、**作曲者**）を変更すると再生順が変わります。
● カバーアートについて
・ 接続する iPod の世代や機種によって、画像が粗くなることがあります。
● 接続機器によっては、リストスクロールの表示が遅くなる場合があります。

3. 動画ファイル再生についての操作

この項目では、ミニプラグケーブルを使用して USB 端子および AUX 端子（→ P.183）に接続した iPod（ビデオ）の操作方法を説明しています。
本機で使用できる iPod については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。



● ブレーキホールド作動中の動画視聴できる／できないを選択できます。（→ P.180）

警告

● 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトポジションを P にいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

選曲

ビデオ **選択後、ビデオ選択リストを表示します。**

- リスト選択後、再生したいビデオを選択すると、選択したビデオが再生されます。完了 を選択すると、映像を表示します。

拡大／映像

選択するごとに、操作画面と拡大画面が切り替わります。

3. 動画ファイル再生についての操作

⏭
ビデオが切り替わります。 ● 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。
⏸（一時停止）／ ▶（再生）
映像を一時停止します。再度選択すると、再生します。
⏮
ビデオが切り替わります。 ● 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。
CH・TRACK スイッチ
ビデオが切り替わります。
押し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。
SCROLL ツマミ
ビデオリスト画面を表示しているとき、回すと、ファイルが切り替わります。
ビデオ選曲リスト画面を表示しているとき、回すと、リストが切り替わります。
音設定
音や映像の設定を変更することができます。**（→ P.180）**

（知 識）

● 接続機器によっては、リストスクロールの表示が遅くなる場合があります。
● YouTube アプリ、サイトからの動画再生はできません。

4. iPod の設定をする

iPod カバーアートを表示する

iPod カバーアート表示のする／しないを設定できます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → iPod 設定 → カバーアート表示

2 する を選択。

知 識

- カバーアートは、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより表示できない場合があります。
- カバーアートの表示には時間がかかることがあり、その間操作はできません。
- JPEG 形式で保存されたカバーアートのみ表示できます。

ビデオ音声入力の設定を変更する

iPod ビデオ再生時の音声入力を「外部機器」または「USB」に変更することができます。映像を表示したいときは、設定を「外部機器」にする必要があります。

1 MENU ▶ 設定・編集 → オーディオ → iPod 設定 → ビデオ音声入力

2 USB または 外部機器 を選択。

1. はじめに

Bluetooth オーディオについて

動作確認済の Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー※（以下「ポータブル機」）を本機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。
本システムに接続するポータブル機が対応していなければならない仕様については、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→ P.283）をご覧ください。ただし、ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。
Bluetooth オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。
本機で動作確認済みの携帯電話の機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp でご確認ください。

Bluetooth®

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG,inc が所有する登録商標であり、「アイシン・エィ・ダブリュ株式会社」は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび称号は、各所有権者が所有する財産です。

警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。

注意

- ポータブル機は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- ポータブル機を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

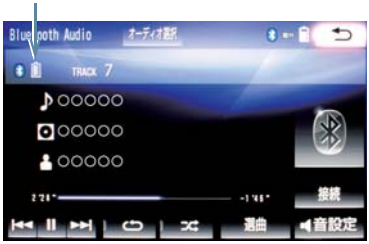
知 識

- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。

各種表示について

電池残量表示について

電池残量表示



表示				
残量	無	少	←→	多

知 識

- 接続した機器によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 電池残量表示はポータブル機の表示と一致しないことがあります。
- 外部電源が接続されているときは残量表示は ▯ で表示されます。
- Bluetooth 接続により、ポータブル機の電池が早く消耗します。

Bluetooth 接続状態表示について

Bluetooth 接続状態表示

表示	接続状態
	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態でご使用ください。
	この状態では再生時に音質が劣化することがあります。表示が青色になるまで、ポータブル機を移動してご使用ください。
	Bluetooth 接続されていない状態を示しています。 この状態では使用できませんので、再度、ポータブル機の選択をご確認ください。(→ P.272) ポータブル機の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(→ P.32)

知 識

● Bluetooth 通信用の車両側アンテナが本機内に内蔵されています。
次のような場所や状態でポータブル機を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が灰色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
・ ポータブル機がディスプレイから隠れる場所にあるとき（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
・ ポータブル機が金属製のものに接したり、覆われているとき
ポータブル機を使用するときは、青色の表示が出るように、ポータブル機の場所を移動させてください。

Bluetooth 機器使用上の注意事項について

● この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
● この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

1. はじめに

(知 識)

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。
  シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

警告

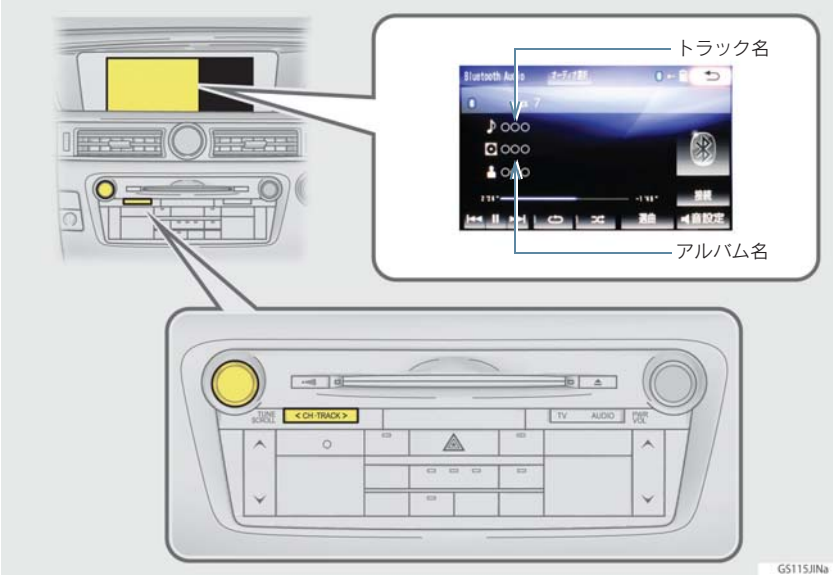
- Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

ハンズフリーと同時に使用するとき

- Bluetoothオーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を使用するときは、次のようになります。
  - ・ポータブル機のBluetooth接続が切断されることがあります。
  - ・ポータブル機の再生音声にノイズが発生することがあります。
  - ・ポータブル機の動作が遅くなることがあります。
- 再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。
- ハンズフリーの電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。
  この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。

2. Bluetooth オーディオ再生中の操作

ポータブル機を接続したときに、接続した機器を再生することができます。
Bluetooth オーディオを使用するためには、まず本機にポータブル機を登録することが必要です。(→ P.32)



知 識

- 接続した機器によっては、アーティスト名、アルバム名、トラック名、電池残量などの表示や ALBUM の > ・ < などのスイッチが表示されないことがあります。
- 接続した機器によっては、次のような場合があります。
  - ・本機で操作できない。
  - ・動作や音量が異なる。
  - ・本機とポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
  - ・再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。(→ P.270)
- 長時間再生した場合、音飛びすることがあります。
- 接続時のボリュームレベルは、Bluetooth 機器によって異なります。

2. Bluetooth オーディオ再生中の操作

選曲

選曲リストを表示します。

- 項目選択後、再生したいトラックを選択すると、選択したトラックが再生されます。

接続

ポータブル機が Bluetooth 接続されてないときに接続します。**（→ P.270）**

（ランダム）

選択するたびに、アルバム内でランダム再生（RAND）→ 全アルバムからランダム再生（ALB.RAND）→ ランダム解除の順に切り替わります。

（リピート）

選択するたびに、再生中の曲をリピート再生（RPT）→再生中のフォルダ／ アルバムをリピート再生（FLD.RPT/ALB.RPT）→ リピート解除の順に切り替わります。

トラックが切り替わります。
- 選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

（再生）

一時停止中に選択し続けると、スロー再生します。
- 接続した機器によっては、再生中に ▶ を選択することで、一時停止する場合があります。

（一時停止）

再生を一時停止します。
- 接続した機器によっては、一時停止時に ❚❚ を選択することで、再生する場合があります。

トラックが切り替わります。
- 選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

CH・TRACK スイッチ

トラックが切り替わります。

押し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。
- 接続した機器によっては、手を離したあとも早送り、早戻しが継続される場合があります。この場合、再度 < CH·TRACK > を押すことで、再生が再開されます。

2. Bluetooth オーディオ再生中の操作

SCROLL ツマミ
トラックリスト画面を表示しているとき、回すと、トラックが切り替わります。
アルバムリスト画面を表示しているとき、回すと、アルバムが切り替わります。
音設定
音の設定を変更することができます。（→ P.180）

3. Bluetooth オーディオを設定する

ポータブル機を接続する

ポータブル機の本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

知 識

- ポータブル機側の操作については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

自動で接続する

ACC ON 時の自動接続が「する」に設定されているとき（→ P.274）、エンジン／パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにするたびに、本機は登録（選択）したポータブル機と自動的に Bluetooth 接続します。

- 接続確認表示が「する」に設定されているとき（→ P.274）、Bluetooth 接続されると、接続完了の表示を画面上部に表示させることができます。
  使用するときは、表示をご確認ください。
- ポータブル機はBluetooth接続可能な状態にしておいてください。

知 識

- Bluetooth 接続状態は、Bluetooth オーディオ操作画面でも確認できます。（→ P.265）
- 接続完了の表示は、エンジン／パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにした後、初めて Bluetooth 接続完了したときに 1 回のみ表示されます。
- ポータブル機の機種によっては、次のような場合があります。
  - ・自動接続しない。
    この場合、手動で接続してください。（→ P.270）
  - ・エンジン／パワースイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードのときに表示部の照明がついたままになる。
    この場合、ポータブル機本体で照明を OFF に設定してください。
    （設定については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。）
  - ・「外部からの接続」、「ポータブル機からの接続」などの切り替え設定がある場合があります。ポータブル機の設定をご確認ください。

■自動接続できなかった場合

ACC ON時の自動接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ P.270）

手動で接続する

自動接続が失敗したときや ACC ON 時の自動接続を「しない」に設定しているとき（→ P.274）、Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中（→ P.267）

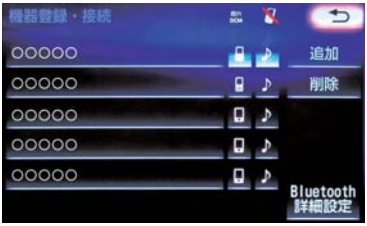
1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。

3. Bluetooth オーディオを設定する

2 接続 を選択。

- Bluetooth 接続状態表示を確認します。良好な状態であれば使用できます。

3 接続したいポータブル機を選択。



4 全接続 または ポータブル機の接続 を選択。

知 識

- ポータブル機の状態によっては、一度で接続できないことがあります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

ポータブル機から接続するとき

ポータブル機側から Bluetooth 接続をするように設定しているとき（→ P.274）は、ポータブル機を操作して接続します。

1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 接続 を選択。

3 ポータブル機を操作して、接続する。

- ポータブル機側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。

Bluetooth 接続の再接続について

エンジン／パワースイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードのときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。

- 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ P.270) ポータブル機の機種によっては、自動的に再接続しない場合があります。

■Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

ポータブル機側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

- 再接続は次のいずれかの方法で行ってください。
  - ・手動で接続する（→ P.270）
  - ・改めてポータブル機を選択する（→ P.272）

3. Bluetooth オーディオを設定する

使用するポータブル機を選択する

一番新しく登録したポータブル機が本機で使用する機器として選択されます。複数のポータブル機を使用するときは、必要に応じて機器を選択します。

知 識

- ポータブル機は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのはポータブル機選択で選択された機器のみです。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 ポータブル機を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用するポータブル機を選択。

4 全接続 または ポータブル機の接続 を選択。

- Bluetooth接続中のポータブル機または携帯電話がある場合は、確認のメッセージが表示されます。
  切断してよければ、はい を選択します。

知 識

- Bluetooth 接続中のポータブル機には、作動表示灯が点灯します。

■ポータブル機から接続するとき

ポータブル機側から Bluetooth 接続をするように設定しているとき（→ P.273）は、ポータブル機を操作して接続します。

1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 接続 を選択。

3 ポータブル機を操作して、接続する。

- ポータブル機側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。

ポータブル機の詳細情報を表示する

本機に登録されているポータブル機に関する情報の表示と機器名称や、本機との接続方法を変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → （詳細情報を表示したいポータブル機）→ 機器詳細情報

2 各項目を確認／変更する。

- 機器詳細情報画面から次の項目の確認／変更ができます。

機器名称

本機に表示されるポータブル機の名称です。任意の名称に変更することができます。

- ソフトウェアキーボードで入力します。
- 本機で機器名称を変更しても、ポータブル機に登録されている機器名称は変更されません。

接続方法

ポータブル機と本機の接続を、本機側から接続する方法（車載機から）、またはポータブル機側から接続する方法（ポータブル機から）に切り替えることができます。

- 「車載機から」か「ポータブル機から」のどちらで接続すればいいかは、接続するポータブル機により異なります。接続方法についてはポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 接続方法を「ポータブル機から」に設定した場合、「自動接続」（→ P.274）を「する」にしていても自動接続は行いません。

機器アドレス

機器固有のアドレスで、変更することはできません。

スマートフォン連携

スマートフォン連携のする／しないを設定できます。

対応プロファイル

ポータブル機が対応しているプロファイルで、変更することはできません。

- 表示されている対応プロファイルが本機で使用できないことがあります。詳しくはポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

3. Bluetooth オーディオを設定する

本機の Bluetooth 設定を変更する

Bluetooth 設定は、本機に関する機器情報の表示と設定の変更をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → Bluetooth 詳細設定

2 各項目を確認／変更する。

- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 を選択。

- Bluetooth詳細設定画面から次の項目の確認／変更ができます。

ACC ON 時の自動接続

する を選択すると、エンジン／パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにするたびに、本機は登録（選択）したポータブル機と自動的に Bluetooth 接続します。

- 通常は自動接続「する」の状態で使用してください。

優先接続設定

登録しているポータブル機から優先して接続する機器を選択できます。

Bluetooth 機器の情報を表示・変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → Bluetooth 詳細設定 → 機器情報

2 各項目を確認／変更する。

機器名称

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。

- ソフトウェアキーボードで入力します。
- 機器名称を変更した場合、ハンズフリーのBluetooth設定の機器名称も同時に変更されます。

PIN コード（パスキー）

ポータブル機を本機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

- ハンズフリーと、同一の数字を設定することができます。

機器アドレス

本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

対応プロファイル

ポータブル機が対応しているプロファイルで、変更することはできません。

- 表示されている対応プロファイルが本機で使用できないことがあります。詳しくはポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

ポータブル機の接続確認表示

する を選択すると、Bluetooth 接続されたとき、接続完了の表示を画面上部に表示することができます。

3. Bluetooth オーディオを設定する

ポータブル機の登録を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 削除

2 削除するポータブル機を選択。

3 はい を選択。

- 削除するポータブル機がデータ通信中のときは、確認のメッセージが表示されます。中止してよければ、はい を選択します。

1. Photo 機能を操作する

Photo 機能とは、SD メモリーカードまたは USB メモリーに記録されている写真を本機で表示する機能です。

本機で使用できる SD メモリーカードや USB メモリー、画像データについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／ データについて」（→ P.283）をご覧ください。

（知 識）

● 走行中は写真やスライドショーの表示はできません。

写真を見る

1 SD メモリーカード挿入（→ P.213）または USB メモリー接続

（→ P.183）→ MENU ▶ 情報・G →（ 情報 ）→ Photo

2 SD Photo または USB Photo を選択。

● SD メモリーカードの音楽や動画を再生中に、SD Photo を選択すると、再生中の音声が停止されます。　また、CD の録音中は、SD Photo を選択できません。

● USB メモリーの動画を再生中に USB Photo を選択すると、再生中の音声が停止されます。

3 見たい写真を選択。

● サムネイル上に見たい写真がないとき
➡ ＜ または ＞ を選択。

● リストから写真を選びたいとき
➡ リスト →見たいファイル名→見たい画像の順に選択。

● サムネイル画面に戻りたいとき
➡ サムネイル を選択。

番号	内容
1	スライドショーが開始されます。 • 画像を選択すると、スライドショーが終了します。
2	スライドショーの表示切り替わりタイミングを設定できます。

1. Photo 機能を操作する

表示画像を操作する

拡大表示や画像の回転表示などができます。

拡大

選択すると、メイン画面全体に写真が表示されます。

回転

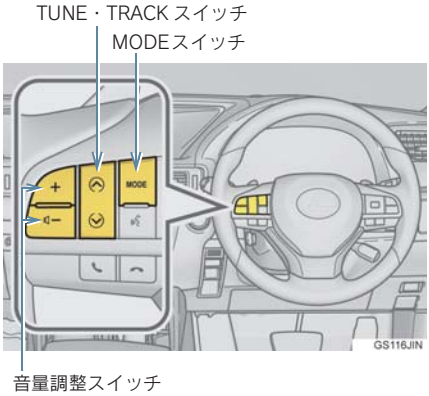
選択するごとに、右に 90°ずつ回転します。

詳細表示

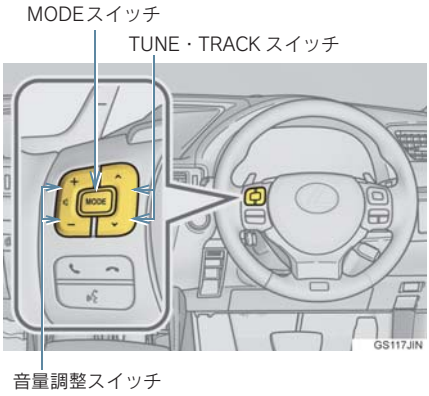
選択すると、表示している写真の情報が表示されます。

1. ステアリングスイッチで操作する

▶GS450h/GS300h/GS350/GS250



▶GS F



スイッチ	モード	機能
音量調整スイッチ	全モード	＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。 • 1 秒以上押し続けると、連続して調整できます。
TUNE・TRACK スイッチ	ラジオ（AM・FM） デジタルテレビ	プリセットスイッチに登録されている周波数・チャンネルが順番に切り替わります。
		“ピッ” と音がするまで押すと、受信感度が良く、現在受信している周波数／チャンネルに一番近い周波数／チャンネルを選択します。 再度押すと、選択を停止します。
	Blu-ray プレーヤー SDREC SD USB iPod Bluetooth オーディオ	ファイル・トラック・チャプターが切り替わります。
		1 秒以上押し続けると、早送り／早戻しできます。
		“ピッ” と音がするまで押すと、フォルダ・アルバムが切り替わります。 • フォルダ・アルバム・プログラム・プレイリストがある場合のみ切り替わります。
MODE	全モード	押すとラジオやテレビなどのオーディオソースが順番に切り替わります。 • オーディオソース画面のスイッチの配置を変更（→P.179）すると、切り替わる順番も変わります。
		1 秒以上押し続けると、消音または再生を一時停止します。再度、1 秒以上押し続けると解除されます。

1. ステアリングスイッチで操作する

⚠ 注意

● 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

知 識

● TUNE・TRACK スイッチについて

・ 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数／チャンネルの受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

・ ディスクや接続している機器により、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

1. リヤオーディオコントローラーで操作する★

スイッチ	モード	機能
CH/FLD	ラジオ（AM・FM） デジタルテレビ	プリセットスイッチに登録されている周波数・チャンネルが順番に切り替わります。
	MP3/WMA/AAC SDREC USB（音楽ファイル） Bluetooth オーディオ	フォルダ・アルバムが切り替わります。 • フォルダ・アルバムが作成されている場合のみ切り替わります。
TUNE/TRACK	ラジオ（AM・FM） デジタルテレビ	周波数・チャンネルが切り替わります。
		“ピッ” と音がするまで押すと、受信感度が良く、現在受信している周波数／チャンネルに一番近い周波数／チャンネルを選択します。 再度押すと、選択を停止します。
	Blu-ray プレーヤー SDREC SD USB iPod Bluetooth オーディオ	ファイル・トラック・チャプターが切り替わります。
		“ピッ” と音がするまで押すと、フォルダ・アルバム・プログラム・プレイリストが切り替わります。
VOL	全モード	∧：音量が大きくなります。 ∨：音量が小さくなります。 • 1 秒以上押し続けると、連続して調整できます。
PWR	全モード	電源の ON と OFF が切り替わります。
		3 秒以上押し続けると、リヤコントローラーの照明を消すことができます。再度、3 秒以上押し続けると解除されます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

1. リヤオーディオコントローラーで操作する

スイッチ	モード	機能
MODE	全モード	押すとラジオやテレビなどのオーディオソースが順番に切り替わります。 • オーディオソース画面のスイッチの配置を変更（→ P.179）すると、切り替わる順番も変わります。
		3 秒以上押し続けると、リヤコントローラーでのすべてのスイッチの操作を無効にできます。 再度、3 秒以上押し続けると解除されます。 • 操作が無効（キーロック）状態の時は、表示部にカギのマークが表示されます。

1. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

メディアについて

使用できるディスク、SD メモリーカードなどの仕様は、下記の通りです。

ディスクについて

次のマークが表示されているディスクが使用できます。

	市販ディスク	記録されたディスク
CD	音楽 CD	CD-R/RW
DVD	DVD ビデオ DVD Logo is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U.S., Japan and other countries.	DVD -R/RW
Blu-ray	BD-ROM/BD-R/BD-RE	

1. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

知 識

- ビデオフォーマットまたは VR フォーマット（ビデオレコーディングフォーマット）で記憶された DVD-R/RW の再生に対応しています。また、CPRM 対応の DVD-R/RW の再生にも対応しています。
- BDMV フォーマットで記録された BD-ROM（1.1）、BD-R（1.0/2.0）、BD-RE（2.0/3.0）の再生に対応しています。
- BDAV フォーマットで記録した BD-R（1.0/2.0）、BD-RE（2.0/3.0）の再生に対応しています。
- 8cm ディスクには対応していません。
- カートリッジ付きの BD-RE（1.0）の再生には対応していません。
- Blu-ray ／ CD ハイブリッドディスクの Blu-ray Disc 層は再生できません。
- BD-XL には対応していません。
- BD-Live および Blu-ray 3D には対応していません。
- コピーコントロールCDなどの正式なCD規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。
- CD-R/RW、DVD-R/RW は、記録状態、記録方法やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。
- CD-R、CD-RW は通常の音楽 CD に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部の CD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。
- 一部の CD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■Blu-ray Disc、DVD について

- カラーテレビ方式は、NTSC および PAL 方式に対応しています。
  SECAM 方式に対応したディスクは再生することができません。
- ドルビーは 5.1ch 対応です。

1. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

SD メモリーカードについて

本機は、SD 規格に準拠した次の SD メモリーカードに対応しています。下記以外の SD メモリーカードは使用できない場合があります。

▶使用できる SD メモリーカード

使用できる SD メモリーカード	容量
microSD	8MB ～ 2GB
microSDHC	4GB ～ 32GB

▶制限事項

SD スピードクラス	Class4 以上を推奨
最大フォルダ数	3000（ルート含む）
最大フォルダ階層	8
最大ファイル数	9999 （1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）

知 識

- microSD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

1. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

iPod について

本機は下記の iPod®、iPod nano®、iPod classic®、iPod touch®、iPhone® を使用することができます。

Made for

- iPod touch（5th generation）※
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPod classic
- iPod with video
- iPod nano（7th generation）※
- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPhone 5s ※
- iPhone 5c ※
- iPhone 5 ※
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

※ビデオは再生できません。

知 識

● 使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

USB メモリーについて

使用できる USB メモリーのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

USB コミュニケーションフォーマット	USB2.0 FS（12MBPS)/HS（480MBPS)
ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class
最大フォルダ数	3000（ルート含む）
最大フォルダ階層数	8
最大ファイル数	9999 （1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）

知 識

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

1. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

データの仕様について

使用できる音楽データの仕様は、次の通りです。

MP3/WMA/AAC について

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

AAC（Advanced Audio Coding）は MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機では、MPEG2、MPEG4 で作成された AAC ファイルを再生できます。

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA/AAC ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

■MP3 ファイルの規格

対応規格	MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3）
対応サンプリング周波数（kHz）	MPEG1 LAYER3：32、44.1、48 MPEG2 LSF LAYER3：16、22.05 、24
対応ビットレート（kbps）	MPEG1 LAYER3：32-320 MPEG2 LSF LAYER3：8-160 ※ VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。
対応チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3（文字数は各 Ver. に準拠）

1. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

■WMA ファイルの規格

対応規格	WMA Ver.7、8、9 （9.1、9.2） ※DRM ファイルには対応していません。
対応サンプリング周波数（kHz）	32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）	Ver.7、8：CBR（Constant Bit Rate）48、64、80、96、128、160、192 Ver.9（9.1、9.2）：CBR（Constant Bit Rate）48、64、80、96、128、160、192、256、320 ※VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。 ※2ch 再生のみに対応しています。

■AAC ファイルの規格

対応規格	MPEG4 AAC-LC、MPEG2 AAC-LC ※DRM ファイルには対応していません。
対応サンプリング周波数（kHz）	16、22.05、24、32、44.1、48
対応ビットレート（kbps）	8 ～ 320 ※VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。
対応チャンネルモード	1ch、2ch ※デュアルチャンネルには対応していません。

1. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

■ディスク に記録する場合のフォーマット

ファイルフォーマット	ISO9660: LEVEL1、LEVEL2	拡張フォーマット：ROMEO 形式、JOLIET 形式
最大フォルダ名（最大文字数）	半角 32 文字（全角 16 文字）	
最大ファイル名（最大文字数）	半角 32 文字（全角 16 文字）	
文字コード	英数字（ASCII コード）	ROMEO 形式：英数字（ASCII コード）日本語（S-JIS コード） JOLIET 形式：英数字（ASCII コード）日本語（unicode）
ディスクフォーマット	CD-ROM Mode1、CD-ROM Mode2、CD-ROM XA Mode2 Form1、Form 2、DVD-ROM	
最大ディレクトリ階層	8 階層	
最大書き込みフォルダ数	192（ルート含む）	
最大書き込みファイル数	255	

■ファイル名について

MP3/WMA/AAC と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC の拡張子 “.mp3” / “.wma” / “.m4a” がついたものだけです。MP3/WMA/AAC ファイルには、“.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけて保存してください。

■ID3 タグ /WMA タグ /AAC タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト、アルバム名を保存することができます。

1. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA/AAC ファイルを追記した CD-R および CD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

■マルチボーダーについて

マルチボーダーに対応しており、MP3/WMA/AAC ファイルを追記した DVD-R および DVD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストボーダーのみ再生します。

SD メモリーカード／ USB メモリーから再生できる動画データについて

本機は、家庭用のレコーダーなどで SD メモリーカードに録画した動画ファイルについては、SD-Video 規格（ISDB-T Mobile Video Profile/H.264 Mobile Video Profile）に準拠した動画ファイルに対応しています。

ビデオカメラなどで SD メモリーカードに記録した動画ファイルやパソコンから USB メモリーに記録した動画ファイルについては、次のフォーマットに対応しています。

フォーマット	コーデック
MPEG4 拡張子：.mp4 .m4v	• 動画コーデック：MPEG-4、H.264 (AVC) • オーディオコーデック： AAC
AVI コンテナ 拡張子：.avi	• 動画コーデック：MPEG-4、WMV9、H.264 • オーディオコーデック： MP3、AAC
Windows Media Video 拡張子：.wmv	• 動画コーデック：WMV9、WMV9 Advanced Profile • オーディオコーデック： WMA9.2 (7、8、9.1、9.2)

- 対応画像サイズは、最大 1920 X 1080 ピクセルです。
- 対応フレームレートは最大 60i ／ 30p です。
- 録画機器の種類や記録条件、使用するSDメモリーカードやUSBメモリーによっては、SD ビデオを再生できない場合があります。

1. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

画像データについて

Photo 機能に使用できる画像データは次のとおりです。

ファイル形式	JPEG
画像サイズ	横 5120 X 縦 3840
フォルダ名／ファイル名文字数	最大半角 32 文字
取り込み対象となる画像データ	最大 8 階層
最大読み込みフォルダ数	3000
最大読み込みファイル数	9999 （1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）

Bluetooth について

使用できる Bluetooth の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

項目	Bluetooth オーディオ
対応 Bluetooth 仕様	Bluetooth Specification Ver.2.0 以上
	Ver.3.0+EDR 以上を推奨
対応 Profile	• A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） 音楽データを伝送するためのプロファイル：Ver.1.0 以上（Ver.1.3 を推奨） • AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile） 本機からポータブルオーディオなどをコントロール（再生・停止など）するためのプロファイル：Ver.1.5 を推奨

4

音声操作システム

1 音声操作システムを使う前に

1. はじめに..... 294
音声操作システムについて 294

2. 各部の名称..... 295
音声認識用マイク.....295
ステアリングスイッチ.....295
音声操作画面について 295

2 基本操作について

1. 基本操作を覚える 296
メニュー画面の種類について 296
音声認識モードを開始する 296
音声認識モードを中止する 297

3 代表的な音声操作

1. 音声操作の使用例 298
使用例の見方..... 298
自宅を目的地に設定する 298
色々な方法で目的地を設定する..... 299
その他の方法で検索する 300
My リクエストを使う 303
サウンドライブラリの楽曲を
検索する..... 304
メモリ地点を使う 305
電話をかける..... 306

4 音声認識コマンド一覧

1. 音声認識コマンド一覧.....308
音声認識コマンド一覧について..... 308
音声認識コマンド一覧 308

5 音声認識の設定

1. 音声認識の設定をする.....312

1. はじめに

音声操作システムについて

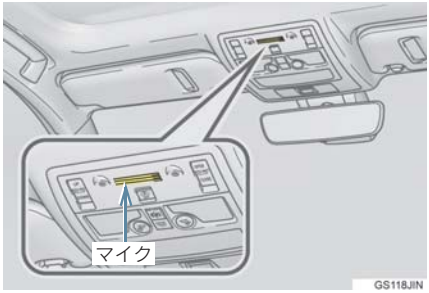
音声操作システム（音声認識用マイク＆トークスイッチ）を使用することにより、音声認識コマンドを発声して、ナビゲーションやオーディオ、エアコンなどの操作を行うことができます。

● 音声操作システムは、正しく発声しないと認識されないことがありますので、以下の点にご留意の上、ご使用ください。
- ・音声操作を開始するときは、必ずトークスイッチを短く押してください。
- ・“ピッ” という音の後にお話しください。“ピッ” という音の前または同時に発声した場合は、正しく認識されません。
- ・ハッキリと発声してください。
- ・声色によっては、認識されづらいこともあります。
- ・騒音（風切り音・外部の音）などにより正しく認識されないことがあるため、発声するときは、できるだけ窓を閉めておいてください。また、エアコン送風の音が大きいときも、正しく認識されないことがあります。
- ・方言や言い方の違いには対応していません。必ず指定された読みで発声してください。
- ・地名や施設名称などは、通称名や略称には対応していません。必ず正式名称の読みで発声してください。

2. 各部の名称

音声認識用マイク

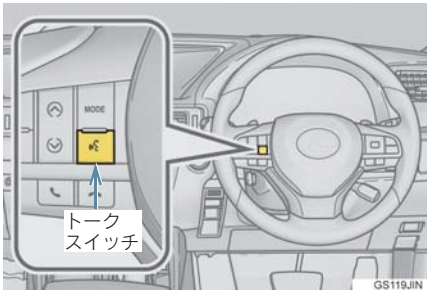
音声認識コマンドを発声するときに使用します。



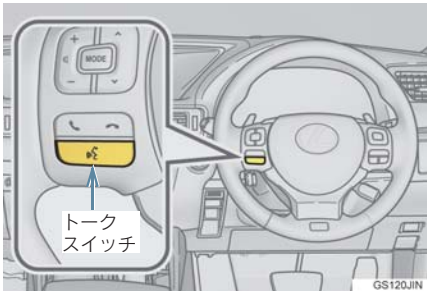
ステアリングスイッチ

音声認識モードを開始または中止するときに使用します。

▶GS450h/GS300h/GS350/GS250



▶GS F



音声操作画面について

番号	名称	内容
1	認識中アイコン	音声認識中になると点灯する。
2	コマンドリスト	発声可能なコマンドが、認識中アイコンと同じ色で表示される。
3	認識結果	認識結果が表示される。
4	候補	認識結果に他の候補がある場合に表示される。
5	音声ガイド	音声ガイドの ON ／ OFF をする。

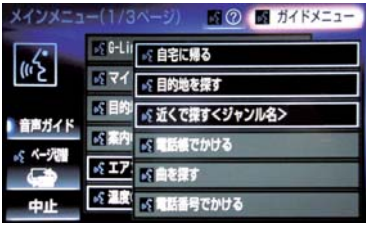
1. 基本操作を覚える

メニュー画面の種類について

メニュー画面には、メインメニュー画面とガイドメニュー画面があります。

メインメニュー画面について

トークスイッチを押すと最初に表示される画面です。よく使われるコマンドが表示されます。ここに表示されないコマンドは、ガイドメニューから操作してください。



- コマンドの表示を切り替えたいとき
  ➡「ページ切替」と発声する、または ページ切替 を選択。
- ガイドメニュー画面を表示したいとき
  ➡「ガイドメニュー」と発声する、または ガイドメニュー を選択。

知 識

- 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。
- G-Link のデータ受信ができないなど、使用できないコマンドは表示されないことがあります。

ガイドメニュー画面について

希望のコマンドがメインメニュー画面にない場合、ガイドメニュー画面に表示されたコマンドから操作してください。操作できるコマンドは、音声認識コマンド一覧(→ P.308)にあるコマンドです。

知 識

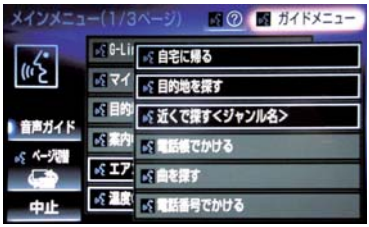
- G-Link のデータ受信ができないなど、使用できないコマンドは表示されないことがあります。

音声認識モードを開始する

基本的な操作の流れを見ながら、音声操作を開始する方法と、音声認識モード中の基本操作を覚えましょう。

1 トークスイッチを押し、すぐにスイッチから指を離す。

- 音声操作画面に切り替わり、「ピッと鳴ったら、お話しください」という音声ガイドのあと、<ピッ>と音がします。



2 認識中アイコンが点灯したら、希望のコマンドを発声する。

- <ピッ>と音がしてから約 5 秒以内に発声してください。

認識中アイコン

- コマンドが認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。

知 識

- トークスイッチを押した後の音声ガイドは、上記と異なる音声ガイドが出力されることがあります。
- コマンドの< XXXX >は、システムに登録されている施設名称や、ユーザで登録した電話帳名称などを任意に発声できます。(→ P.308)
  例）「電話帳でかける　自宅」「近くで探す　コンビニ」
  ・< XXXX >を発声することで、操作手順が短縮されます。
  ・< XXXX >を省略しても認識されます。
- 音声認識を操作しているときは、サイド画面のスイッチは操作できません。

認識結果が違うとき

表示された画面により、次の操作をします。

- 発声したコマンドと異なる認識結果のとき
  ➡「いいえ」と発声し、「音声認識モードを開始する」(→ P.296) 手順 **2** へ。
- 候補に希望の結果が表示されているとき
  ➡「候補 1」または「候補 2」と発声する。
- 候補に希望の結果が表示されていないとき、候補が表示されないとき
  ➡「戻る」と発声する、または ⮌ を選択し、「音声認識モードを開始する」(→ P.296) 手順 **2** へ。
  ➡ 戻るスイッチを押し、「音声認識モードを開始する」(→ P.296) 手順 **2** へ。

連続して音声操作をする

目的地検索など、連続して音声操作をする場合があります。(→ P.298)

音声操作を再開する

次のような場合は、音声認識モードを中断します。

- コマンドを 2 回連続で認識できなかったとき。
- ⌃ または ⌄ を選択したとき。

この場合、トークスイッチを押すと再開できます。

ヘルプ機能を使用する

音声ガイドによる詳しい操作方法を聞くことができます。

- コマンドの読み方や発声例を知りたいとき。
  ➡「ヘルプ」と発声する。

音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時にトークスイッチを押すと、音声ガイドが途中でも次の動作に移ることができます。

音声認識モードを中止する

次のいずれかの操作をします。

- トークスイッチを押し続ける。
- 中止 を選択。

1. 音声操作の使用例

使用例の見方

ここでは、音声操作の具体的な使い方を説明します。
例にしたがって、同じように操作してみてください。
ここで紹介するのは、主にメインメニュー画面から連続して音声操作をする場合の例です。

● 文中の表記は次のようになっています。

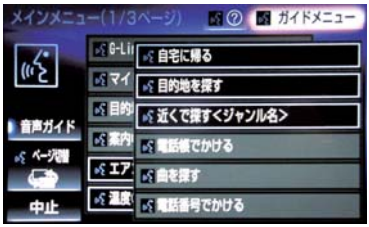
(○○○)：スイッチの操作
「○○○」：本機から出力される音声ガイド
＜○○○＞：本機から出力される操作音
「○○○」：発声するコマンド

● 説明にないコマンドの使い方は、「音声認識コマンド一覧」（→ P.308）をご覧ください。

自宅を目的地に設定する

自宅を目的地に設定して、ルートを探索してみましょう。

お客様：（トークスイッチを押す）
本機：　「ピッと鳴ったら、お話しください」＜ピッ＞
お客様：「自宅に帰る」



本機：　「自宅に帰る」
本機：　「よろしければ、はいとお話しください」　＜ピッ＞
お客様：「はい」
本機：　「はい」

● 以上で、自宅を目的地に設定して、ルートが探索されます。

知 識

● 自宅が登録されていない場合は、使用することができません。自宅を登録してから使用してください。（→ P.26）

色々な方法で目的地を設定する

目的地を設定するときは、色々な検索方法を使うことができます。
ここでは代表して、「住所で探す」から設定する場合を説明します。

● 検索できる住所は、画面操作の住所検索（→ P.76）から検索できる住所です。

例）「東京都文京区後楽一丁目 1ー 2」を目的地に設定します。

お客様：（トークスイッチを押す）
本機：　「ピッと鳴ったら、お話しください」＜ピッ＞
お客様：「目的地を探す」

本機：　「目的地を探す」
本機：　「検索方法をお話しください」＜ピッ＞
お客様：「住所で探す」
本機：　「住所で探す」
本機：　「住所を都道府県からお話しください」＜ピッ＞
お客様：「東京都」
本機：　「東京都」
本機：　「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様：「文京区」
本機：　「文京区」
本機：　「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様：「後楽」
本機：　「後楽」
本機：　「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様：「一丁目」
本機：　「一丁目」
本機：　「続きの住所をお話しください」＜ピッ＞
お客様：「1ー 2」
本機：　「1ー 2」※1
本機：　「よろしければ、はいとお話しください」＜ピッ＞
お客様：「はい」
本機：　「はい」

● 以上で、この住所を目的地に設定して、ルートが探索されます。

複数の候補が表示されたとき

● ※1 の後、「よろしければ、目的地セットとお話しください」「＜ピッ＞」と出力されます。選択したい候補の番号、または「目的地セット」と発声してください。

知 識

● コマンドを発声するときは、次の点に注意して発声してください。
- 住所は、すべての地名を一度に発声しても、途中で区切って発声してもかまいません。
- 郡・大字・字・番地・号は省略して発声してください。
- 「ー」は「の」または「はいふん」と発声してください。

1. 音声操作の使用例

コマンドを言いなおす

直前に発声した内容によって言いなおす範囲が異なります。

例）住所検索で、東京都文京区を検索したとき

- 都道府県名と市区町村名を一度に発声した場合
  ➡「東京都文京区」と都道府県名から言いなおす。
- 都道府県名と市区町村名を分けて発声し、直前に発声したのが市区町村名の場合
  ➡「文京区」と市区町村名のみ言いなおす。

目的地設定について

設定した件数や場所により、設定する条件が異なります。

知 識

- 音声操作・スイッチのどちらでも操作できます。

■すでに目的地が設定されているとき

- 設定している目的地の数が 4 件以下であれば、検索結果は一番手前の目的地として追加されます。
- 目的地を 5 件設定しているとき、既に設定している目的地はすべて削除され、新規に目的地が設定されます。

■高速道路などの付近を目的地に設定したとき

はい：高速道路などを目的地に設定する

いいえ：他の道路を目的地に設定する

その他の方法で検索する

「住所で探す」から目的地を設定するほかに、以下の方法があります。ここでは、それぞれの検索方法を使用するときの注意点を説明します。

検索方法 コマンド	機能
施設名で探す 「施設で探す」	施設名から目的地を検索する（→ P.301）
電話番号で探す 「電話番号で探す」	電話番号から目的地を検索する（→ P.302）
メモリ地点で探す 「メモリ地点で探す」	メモリ地点から目的地を検索する（→ P.305）
最寄の施設で探す 「近くで探す」	最寄の施設から目的地を検索する（→ P.302）

施設名で探す

- 検索できる施設は、画面操作の施設検索（→ P.77）から検索できる施設です。
- 原則として「都道府県名＋施設名」を発声します。
  - ・都道府県名と施設名は、都道府県名・施設名の順に続けて発声しても、都道府県名だけ発声して、次の音声ガイドの後に施設名を発声するというように分けて発声してもかまいません。
- 次の施設は、都道府県名が分からないとき、他の名称で指定することもできます。

▶販売店、レンタリース、ジェームス※

系列名＋店名

例）レクサス＋△△店

※ジェームスの場合、系列名は「ジェームス」になります。

▶駅

鉄道会社名＋路線名＋駅名

例）JR　東海道新幹線　東京駅

▶高速 IC・SA・PA、有料 IC

道路名＋施設名

例）東名高速道路　東京インター

知 識

- 現在地の都道府県の施設を認識させるときは、都道府県名を発声する必要はありません。また、立体ランドマークが表示される施設を認識させるときも、都道府県名を発声する必要はありません。
- 都道府県名・政令指定都市名で開始される施設名は、施設名のみで認識されます。また、施設名の最初の名称と実際に存在する都道府県（政令指定都市）名が一致しなくても、認識されます。
  例）千葉県にある東京ディズニーランドは、「東京ディズニーランド」と発声すれば認識され、“千葉県”を発声する必要はありません。
- 音声操作で検索できる施設は、次の操作で表示することができる施設になります。
  - ・ナビ詳細設定画面（地図表示設定）の立体ランドマーク表示（→ P.124）
  - ・「施設で地図を検索する」（→ P.77）
- 発声する施設名は、上記方法で表示される施設名をそのまま発声してください。

1. 音声操作の使用例

電話番号で探す

数字は一度にすべて発声しても、分けて発声してもかまいません。
発声するときは、以下の例を参照の上、局番単位の区切る位置に注意して発声してください。

- 例)「03－1234－5678」を発声する場合
  - ・一度にすべて発声するとき
    「ゼロ、サン、イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ」
  - ・分けて発声するとき
    「ゼロ、サン」＋「イチ、ニ、サン、ヨン」＋「ゴ、ロク、ナナ、ハチ」
- 市内局番については、桁読みで発声することができます。
  - ・例)「03 － 1234 － 5678」の市内局番を桁読みで発声する場合
    「センニヒャクサンジュウヨン」

知 識

- 「－」は「の」または「はいふん」と発声しても、省略してもかまいません。

最寄の施設を目的地に設定する

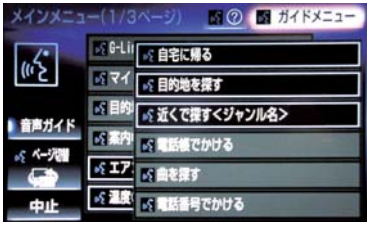
さまざまなジャンルから検索した施設を目的地に設定できます。

- ジャンルを選択するときは、「ジャンル名」を発声します。

例）最寄の「コンビニエンスストア」を目的地に設定します。

- ここでは「近くで探す」と「＜ジャンル名＞」を発声する場合で説明します。

お客様：（トークスイッチを押す）
本機：　「ピッと鳴ったら、お話しください」＜ピッ＞
お客様：「近くで探す」※1



本機：　「近くで探す」
本機：　「ジャンル名をお話しください」＜ピッ＞
お客様：「コンビニ」
本機：　「コンビニエンスストア」
本機：　「施設の番号を選択してお話しください」、「またはルート沿いで探すとお話しください」＜ピッ＞
お客様：「2」
本機：　「2」
本機：　「よろしければ、はいとお話しください」＜ピッ＞
お客様：「はい」
本機：　「はい」

- 以上で、最寄のコンビニエンスストアを目的地に設定して、ルートが探索されます。

■「近くで探す」と「＜ジャンル名＞」を続けて発声する

- ※1で「近くで探す“○○○＜ジャンル名＞”」と発声すると、簡単に検索を始めることができます。

My リクエストを使う

My リクエストに登録されているコンテンツをリクエストできます。

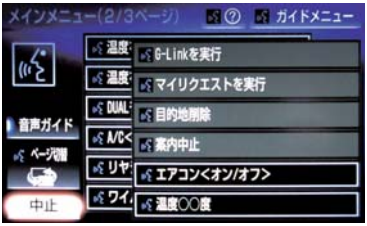
● コンテンツを選択するときは、「コンテンツ名」を発声します。

例）「道路交通情報：一般道」をリクエストします。

お客様：（トークスイッチを押す）

本機：　「ピッと鳴ったら、お話しください」＜ピッ＞

お客様：「マイリクエストを実行」



本機：　「マイリクエストを実行」

本機：　「表示されているコンテンツ名をお話しください」＜ピッ＞

お客様：「道路交通情報一般道」

本機：　「交通情報一般」

知 識

● 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。

他のページのコンテンツをリクエストする

他のページに登録してあるコンテンツをリクエストしたいときは、次の操作を行います。

1 ▲ または ▼ を選択。

2 トークスイッチを押し、「コンテンツ名」を発声する。

1. 音声操作の使用例

サウンドライブラリの楽曲を検索する

サウンドライブラリ内の楽曲を、音声認識で検索して再生できます。

- アーティスト名とアルバム名は、サウンドライブラリ画面で表示される読みを発声します。
  - ・アーティスト名：アーティスト読み
  - ・アルバム名：アルバム読み

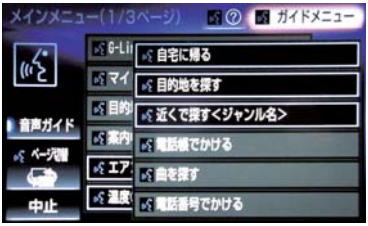
例）　○○○（アーティスト名）の曲を再生します。

ここでは「アーティストで再生」と「<アーティスト名>」を発声する場合で説明します。

お客様：（トークスイッチを押す）

本機：　「ピッと鳴ったら、お話しください」<ピッ>

お客様：「アーティストで再生」※1



本機：　「アーティストで再生」

本機：　「アーティスト名をお話しください」<ピッ>

お客様：「○○○<アーティスト名>」

本機：　「○○○<アーティスト名>」

本機：　「よろしければ、はいとお話しください」※2 <ピッ>

お客様：「はい」※3

本機：　「はい」

以上で、選択したアーティストの曲が再生されます。

「アーティストで再生」と「<アーティスト名>」を続けて発声する

- ※1で「アーティストで再生 “○○○<アーティスト名>”」と発声すると、簡単に再生できます。

複数の候補が表示されたとき

- ※2で「再生、とお話しください」と出力されます。
- ※3で再生したい候補の番号、または「再生」と発声してください。

知 識

- アーティスト読み（アーティスト名）、アルバム読み（アルバム名）が付与されなかったり、表示用のアーティスト、アルバムの名称と読みが異なることがあります。
  この場合、サウンドライブラリ画面で表示されるアーティスト名、アルバム名を発声しても読みが異なるため、音声操作で楽曲の検索ができません。
  サウンドライブラリ画面で、それぞれの読みをご確認ください。
- サウンドライブラリ画面を確認し、ご希望のアーティスト読み（アーティスト名）、アルバム読み（アルバム名）でない場合は、次のいずれかの操作をしてください。
  - ・「タイトル情報を再取得する」（→ P.230）の操作で、再度、該当する情報を付与し、情報が更新されないか確認する。
  - ・「アーティスト名を変更する」（→ P.229）、「アーティスト読みを変更する」（→ P.230）の操作で、希望の読みに変更する。
- 認識対象となるアーティスト名、またはアルバム名が 1500 件を超えると、音声操作で楽曲の検索ができません。SDREC 操作画面から操作してください。（→ P.219）
- 楽曲の検索ができない場合、「曲を探す」と表示されます。

メモリ地点を使う

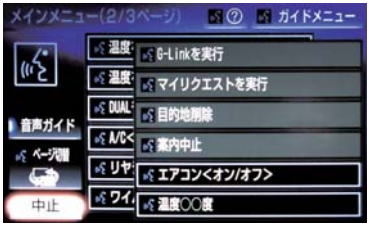
メモリ地点に登録した施設を目的地に設定できます。（→ P.112）

- メモリ地点を指定するときは、「メモリ地点名」を発声します。

例）　○○○（メモリ地点名）を目的地に設定します。

ここでは「メモリ地点で探す」と「<メモリ地点名>」を発声する場合で説明します。

お客様：（トークスイッチを押す）
本機：　「ピッと鳴ったら、お話しください」<ピッ>
お客様：「メモリ地点で探す」※1



本機：　「メモリ地点で探す」
本機：　「選択したいメモリ地点登録名称をお話しください」<ピッ>
お客様：「○○○<メモリ地点名>」
本機：　「○○○<メモリ地点名>」※2
本機：　「よろしければ、はいとお話しください」<ピッ>
お客様：「はい」
本機：　「はい」

以上で、メモリ地点を目的地に設定し、ルートが検索されます。

1. 音声操作の使用例

「メモリ地点で探す」と「<メモリ地点名>」を続けて発声する

● ※ 1 で「メモリ地点で探す“ ○○○<メモリ地点名>”」と発声すると、簡単に検索を始めることができます。

複数の候補が表示されたとき

● ※ 2 の後、「よろしければ、目的地セットとお話しください」「<ピッ>」と出力されます。選択したい候補の番号、または「目的地セット」と発声してください。

知 識

● メモリ地点の名称読みを登録すると、音声操作で認識させることができます。(→ P.117)

● 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。

電話をかける

電話帳に登録した名称や電話番号を発声して、電話をかけることができます。

電話番号でかける

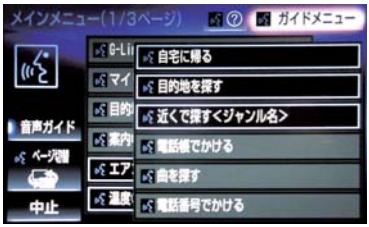
● 電話番号を発声するときの注意点については、「電話番号で探す」(→ P.302)と同様です。

例)「03ー 1234ー 5678」に電話をかけます。

お客様：(トークスイッチを押す)

本機：　「ピッと鳴ったら、お話しください」<ピッ>

お客様：「電話番号でかける」



本機：　「電話番号でかける」

本機：　「電話番号を市外局番からお話しください」<ピッ>

お客様：「03 － 1234 － 5678」

本機：　「03 － 1234 － 5678」

本機：　「続きの番号、または発信とお話しください」<ピッ>

お客様：「発信」

本機：　「発信」

知 識

● 表示が隠れているコマンドを発声しても認識されます。ページを切り替える必要はありません。

電話帳でかける

● 発信できる電話番号は、電話帳（→P.417）に登録してある電話番号です。

例）　○○○（電話帳名）に電話をかけます。

お客様：（トークスイッチを押す）
本機：　「ピッと鳴ったら、お話しください」<ピッ>
お客様：「電話帳でかける」※1

本機：　「電話帳でかける」
本機：　「電話帳に登録されている名称をお話しください」<ピッ>
お客様：「○○○<電話帳名>」
本機：　「○○○<電話帳名>」※2
本機：　「発信とお話しください」<ピッ>
お客様：「発信」
本機：　「発信」

以上で、選択した電話帳名の電話番号に発信します。

「電話帳でかける」と「<電話帳名>」を続けて発声する

● ※1で「電話帳でかける“○○○<電話帳名>”」と発声すると、簡単に発信できます。

複数の候補が表示されたとき

● ※2の後、「よろしければ、はいとお話しください」と出力されます。発信したい候補の番号、または「はい」と発声してください。

知　識

● 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。
● データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

1. 音声認識コマンド一覧

音声認識コマンド一覧について

音声認識モードで表示されるコマンドについて、発声する認識語とそのときの動作をまとめています。

- 「音声認識モードを開始する」（→ P.296）の手順で、コマンドを発声します。

知 識

- 表ではすべてのコマンドを紹介しています。
- 次のようなコマンドは、コマンドリストに表示されない場合があります。
  - ・車両に装着されていない機器のコマンド
  - ・現在利用できないコマンド
    例）メモリ地点で探すコマンドは、メモリ地点を登録していないと表示されません。
- メインメニュー画面に表示されないコマンドを認識させるには、まずガイドメニュー画面の表示コマンドを発声し、希望のコマンドを表示させてください。

音声認識コマンド一覧

メインメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
目的地を探す	もくてきちをさがす	ルート検索コマンドを表示する
近くで探す＋（ジャンル名）	ちかくでさがす 例）「近くで探す　コンビニ」「近くの　コンビニ」	希望の（ジャンル名）のうち、より近いところを探す
電話帳でかける＋（電話帳名）	でんわちょうでかける 例）「電話帳でかける　XXX ※4」「電話帳　XXX ※4」	（電話帳名）の電話をかける
アーティストで再生＋（アーティスト名）	あーてぃすとでさいせい 例）「アーティストで再生 XXX ※1」「アーティスト XXX ※1」	（アーティスト名）から音楽を再生する
アルバムで再生＋（アルバム名）	あるばむでさいせい 例）「アルバムで再生　XXX ※1」「アルバム　XXX ※1」	（アルバム名）から音楽を再生する
メモリ地点で探す＋（メモリ地点名）	めもりちてんでさがす 例）「メモリ地点で探す XXX※2」「メモリ地点　XXX ※2」	（メモリ地点名）へのルートを表示する

1. 音声認識コマンド一覧

コマンド名称	認識語	動作
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける
（G-Link コンテンツ名）	例）「オーナーズデスク※3」など	G-Link サービスの（コンテンツ名）を実行する
マイリクエストを実行	まいりくえすとをじっこう	マイリクエストを実行する
（次の／最終／全ての）目的地削除	もくてきちさくじょ 例）「次の目的地削除」「最終目的地削除」「全ての目的地削除」	設定したルートを消去する
案内中止※5	あんないちゅうし	ルート案内を中止する
案内再開※6	あんないさいかい	中止したルート案内を再開する

※1 任意のアーティスト名、またはアルバム名を発声してください。
※2 登録したメモリ地点名称を発声してください。（→ P.112）
※3 G-Link センターから設定されたコンテンツを利用できます。
※4 任意の電話帳名を発声してください。
※5 ルート案内中のみ操作できます。
※6 ルート案内中止したときのみ操作できます。

ガイドメニュー画面の表示コマンド

コマンド名称	認識語	動作
自宅に帰る	じたくにかえる	自宅へのルートを表示する
目的地を探す	もくてきちをさがす	ルート検索コマンドを表示する
曲を探す	きょくをさがす	オーディオ操作コマンドを表示する
電話をかける	でんわをかける	通話コマンドを表示する
G-Link を使う	じーりんくをつかう	G-Link コマンドを表示する

1. 音声認識コマンド一覧

▶ルート検索コマンド

コマンド名称	認識語	動作
住所で探す	じゅうしょでさがす	住所から目的地を設定し、ルートを表示する
電話番号で探す	でんわばんごうでさがす	電話番号から目的地を設定し、ルートを表示する
施設で探す	しせつでさがす	施設名から目的地を設定し、ルートを表示する
近くで探す	ちかくでさがす	近くの施設を目的地に設定し、ルートを表示する
メモリ地点で探す	めもりちてんでさがす	登録したメモリ地点を目的地に設定し、ルートを表示する

▶オーディオ操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
アルバムで再生	あるばむでさいせい	アルバム名から音楽を再生する
アーティストで再生	あーてぃすとでさいせい	アーティスト名から音楽を再生する

▶エアコン操作コマンド

コマンド名称	認識語	動作
エアコン<オン／オフ>	おーとえあこん　おん えあこん　おん	エアコンをつける
	おーとえあこん　おふ えあこん　おふ	エアコンを消す
温度○○度	おんど○○ど	設定温度を変更する
温度を上げる／ 温度を少し上げる	おんど　あげる／ おんど　すこしあげる	温度を 1.5 度上げる／ 温度を 1 度上げる
温度を下げる／ 温度を少し下げる	おんど　さげる／ おんど　すこしさげる	温度を 1.5 度下げる／ 温度を 1 度下げる
DUAL モード < オン／オフ >	でゅあるもーど　おん	運転席／助手席連動モードをオンにする
	でゅあるもーど　おふ	運転席／助手席連動モードをオフにする

1. 音声認識コマンド一覧

コマンド名称	認識語	動作
A/C< オン／オフ >	えーしーおん	A/C をオンにする
	えーしーおふ	A/C をオフにする
リヤデフォッガー < オン／オフ >	りやでふぉっがーおん	リヤデフォッガーをオンにする
	りやでふぉっがーおふ	リヤデフォッガーをオフにする
ワイパー凍結防止 < オン／オフ >	わいぱーとうけつぼうしおん	ワイパー凍結防止機能をオンにする
	わいぱーとうけつぼうしおん	ワイパー凍結防止機能をオフにする

▶通話コマンド

コマンド名称	認識語	動作
電話帳でかける	でんわちょうでかける	電話帳から電話をかける
電話番号でかける	でんわばんごうでかける	電話番号から電話をかける

▶G-Link コマンド

コマンド名称	認識語	動作
G-Link を実行	じーりんくをじっこう	G-Link サービスのコンテンツを実行する※1
マイリクエストを実行	まいりくえすとをじっこう	マイリクエストを実行する

※1 G-Link センターから設定されたコンテンツを利用できます。

1. 音声認識の設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → 音声認識

2 音声認識設定 を選択。

3 各項目を設定する。

● 詳しくは、次の表をご覧ください。

音声ガイドの再生	
	操作時の音声ガイドの再生する／しないを選択できます。
発話確認画面の表示	
	発話確認画面の表示する／しないを選択できます。

5

情報

1 情報について

1. 情報画面について 314

情報画面を表示する 314

2. ソフトウェア更新について 316

USB メモリーを使って更新する..... 317

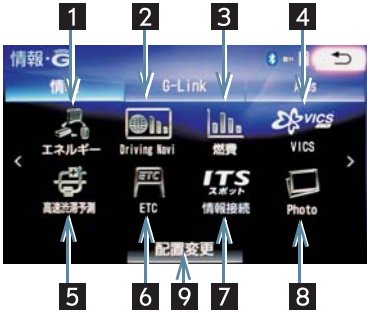
本機の通信機能（DCM）を使って更新する..... 318

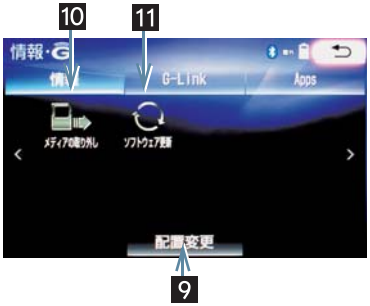
Wi-Fi® 通信を使って更新する..... 320

ソフトウェア更新の設定を変更する..... 322

1. 情報画面について

情報画面を表示する





1 MENU を押す。

2 情報・G を選択。

- G-Link 画面が表示されたとき
  ➡ 情報 を選択。
- ページを切り替えるとき
  ➡ ＞ または ＜ を選択。

- 情報画面から次の操作を行うことができます。

番号	スイッチ	機能	ページ
1	エネルギー	エネルギーモニター画面の表示（GS450h/GS300h のみ）	—※
2	Driving Navi	Harmonious Driving Navi. 画面の表示	—※
3	燃費	燃費情報画面の表示	—※
4	VICS	VICS 図形情報、文字情報の表示	152
		緊急情報の表示	153
		割込情報の表示	154
		ETC2.0 サービス割込情報の表示	154
5	高速渋滞予測	高速渋滞予測情報の表示	507
6	ETC	ETC 画面の表示	372

1. 情報画面について

番号	スイッチ	機能	ページ
7	情報接続	ITS スポットを利用したインターネット情報の表示	378
8	Photo	Photo 画面の表示	277
9	配置変更	スイッチの並び替え	315
10	メディアの取り外し	メディアの取り出し画面の表示	213
11	ソフトウェア更新	ソフトウェア更新画面の表示	316

※エネルギー、燃費、Driving Navi については、別冊 GS350/GS250/GS F 取扱説明書または GS450h/GS300h 取扱説明書をご覧ください。

スイッチの配置を変更する

1 MENU ▶ 情報・G → （情報） → 配置変更

2 移動したいスイッチを選択。

3 移動させる位置を選択。

4 ↩ を選択。

2. ソフトウェア更新について

より快適にナビゲーションシステムをご利用いただくため、購入後のナビゲーションシステムの機能・操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。

● 更新対象
・ナビゲーションシステムの性能改善
・ナビゲーションシステムの操作性向上

※ 地図データ、CD タイトル情報（CDDB）は本サービスの更新対象ではありません。

ソフトウェア更新は、次のいずれかの方法で行います。

(1) USB メモリーを使って更新する（USB メモリーが必要です）

(2) 本機の通信機能（DCM）を使って更新する

(3) Wi-Fi® 通信を使って更新する

※ ご不明点についてはレクサス販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

- USB メモリーを使ってソフトウェア更新をする場合、インターネットに接続できる環境のパソコンと 2GB 以上の空き容量がある USB メモリーが必要となります。お客様のパソコンの環境によっては通信料金が高額となりますのでご注意ください。
- ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。
- ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
- ソフトウェア更新で適用されるソフトは本機専用です。その他の機器で使用しないでください。
- ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。
- ソフトウェア更新中も本機の操作は可能ですが、動作の遅延が発生する可能性がありますので、できるだけ操作しないようにしてください。
- ソフトウェア更新後、自動的にトヨタ自動車の配信サーバに更新が完了したことを通知します。なお、トヨタ自動車は送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には使用いたしません。また、お客様のご契約形態によっては通信料が発生する場合があります。
- ソフトウェア更新の内容によっては、本機の通信機能（DCM）を使った更新ができない場合があります。この場合は、USB メモリーを使った更新を行ってください。

USB メモリーを使って更新する

更新データを準備する

1 MENU ▶ 情報・G → （情報）→ ソフトウェア更新

2 「機種識別 ID」を確認する。

3 パソコンで（機種識別 ID を確認できる）サイトにアクセスし、ソフトウェア更新メニューから、「機種識別 ID」に対応した更新ソフトがあることを確認する。

- 機種識別 ID に対応した更新ソフトが見つからない場合は、対象のナビゲーションシステムには現在更新ソフトは提供されていません。なお、更新ソフトは随時配信されます。

4 更新ソフトをパソコンにダウンロードする。

5 パソコンにダウンロードした更新ソフトを USB メモリーにコピーする。

- 更新ソフトは、USB メモリー内の最上位階層に保存してください。作成したフォルダ内に更新ソフトを保存すると、更新ソフトを読み込むことができません。

ソフトウェアを更新する

1 MENU ▶ 情報・G → （情報）→ ソフトウェア更新

2 USB 端子に USB メモリーを接続する。（→ P.183）

3 ソフトウェア更新を実施する を選択。

4 データがコピーされ、ソフトウェア更新が開始される。

- 更新ソフトがインストールされます。約 10 分程度かかります。
- インストールが完了したとき
  ➡ 更新準備完了画面が表示される。

5 USB メモリーを USB 端子から取りはずす。（→ P.183）

6 エンジン／パワースイッチを OFF にした後、再度アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにする。

- ソフトウェアの情報を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で、 更新情報 を選択。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で、 更新履歴 を選択。

⚠ 注意

- ソフトウェア更新中は、USB メモリーを抜いたり、エンジン／パワースイッチを OFF にしないでください。

2. ソフトウェア更新について

本機の通信機能（DCM）を使って更新する

※車が通信可能な場所にあることが必要です。

本機の通信機能（DCM）を使ったソフトウェア更新は、ソフトウェア更新設定内容によって一部手順が異なります。

納車時の設定やソフトウェア更新設定の変更については、「ソフトウェア更新の設定を変更する」（→ P.322）をご確認ください。

※ ソフトウェア更新の内容によっては、本機の通信機能（DCM）を使った更新ができない場合があります。この場合は、USB メモリーを使って更新を行ってください。

ソフトウェア更新設定の自動確認「する」時の更新

1 配信サーバに新しい更新ソフトがある場合、メッセージが表示される。

- 更新ソフトウェアの自動確認が「する」のとき、本機は定期的に配信サーバーへアクセスして更新ソフトウェアの有無を確認します。

2 はい を選択。

- いいえ を選択すると、次回確認時に再度通知します。

3 ソフトウェア更新を実施する を選択。

4 はい を選択。

- 更新ソフトのダウンロード（約 20 分間）が開始されます。ダウンロード完了後、インストール（約 15 分間）が開始されます。
- ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジン／パワースイッチを OFF にしたときは、次回エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ON モードにするとインストールを再開します。

5 エンジン／パワースイッチを OFF にした後、再度アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにする。

- ソフトウェアの情報を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で 更新情報 を選択。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で 更新履歴 を選択。

ソフトウェア更新設定の自動確認「しない」時の更新

1 MENU ▶ 情報・G → （情報） → ソフトウェア更新

2 センターに確認する を選択。

- 新しい更新ソフトが見つかると、センターに確認する が ソフトウェア更新を実施する に変わります。
- 新しい更新ソフトがない場合は、画面が表示されます。更新ソフトは随時配信されますので、次の配信までお待ちください。

3 ソフトウェア更新を実施する を選択。

4 はい を選択。

- 更新ソフトのダウンロード（約 20 分間）が開始されます。ダウンロード完了後、インストール（約 15 分間）が開始されます。
- ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジン／パワースイッチを OFF にしたときは、次回エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ON モードにするとインストールを再開します。

5 エンジン／パワースイッチを OFF にした後、再度アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにする。

- ソフトウェアの情報を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で 更新情報 を選択。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で 更新履歴 を選択。

2. ソフトウェア更新について

Wi-Fi® 通信を使って更新する

Wi-Fi® 通信を使ってソフトウェア更新をするには、以下の条件が必要です。

- Wi-Fi® アクセスポイントに接続が完了している
- 車が Wi-Fi® アクセス可能な場所にある
- 通信設定が「Wi-Fi®」になっている（→ P.536）

Wi-Fi® 通信を使ったソフトウェア更新は、ソフトウェア更新設定内容によって一部手順が異なります。

納車時の設定やソフトウェア更新設定の変更については、「ソフトウェア更新の設定を変更する」（→ P.322）をご確認ください。

ソフトウェア更新の内容によっては、Wi-Fi® 通信を使った更新ができない場合があります。この場合は、USB メモリーを使って更新を行ってください。

ソフトウェア更新設定の自動確認「する」時の更新

1 配信サーバに新しい更新ソフトがある場合、メッセージが表示される。

- 更新ソフトウェアの自動確認が「する」のとき、本機は定期的に配信サーバーへアクセスして更新ソフトウェアの有無を確認します。

2 はい を選択。

- いいえ を選択すると、次回確認時に再度通知します。

3 ソフトウェア更新を実施する を選択。

4 はい を選択。

- 更新ソフトのダウンロード（約 20 分間）が開始されます。ダウンロード完了後、インストール（約 15 分間）が開始されます。
- ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジン／パワースイッチを OFF にしたときは、次回エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ON モードにするとインストールを再開します。

5 エンジン／パワースイッチを OFF にした後、再度アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにする。

- ソフトウェアの情報を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で 更新情報 を選択。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で 更新履歴 を選択。

ソフトウェア更新設定の自動確認「しない」時の更新

1 MENU ▶ 情報・G → （情報） → ソフトウェア更新

2 センターに確認する を選択。

- 新しい更新ソフトが見つかると、センターに確認する が ソフトウェア更新を実施する に変わります。
- 新しい更新ソフトがない場合は、画面が表示されます。更新ソフトは随時配信されますので、次の配信までお待ちください。

3 ソフトウェア更新を実施する を選択。

4 はい を選択。

- 更新ソフトのダウンロード（約 20 分間）が開始されます。ダウンロード完了後、インストール（約 15 分間）が開始されます。
- ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジン／パワースイッチを OFF にしたときは、次回エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ON モードにするとインストールを再開します。

5 エンジン／パワースイッチを OFF にした後、再度アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ONモード にする。

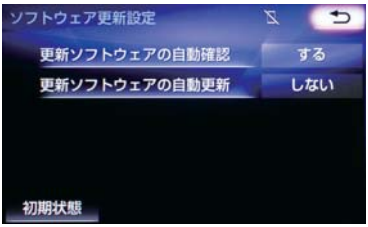
- ソフトウェアの情報を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で 更新情報 を選択。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するとき
  ➡ ソフトウェア更新画面で 更新履歴 を選択。

2. ソフトウェア更新について

ソフトウェア更新の設定を変更する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 共通設定 → ソフトウェア更新設定

2 更新ソフトウェアの自動確認 または 更新ソフトウェアの自動更新 を選択し、する／しないを設定。



- 初期設定は、更新ソフトウェアの自動確認が「する」、更新ソフトウェアの自動更新が「しない」となっています。

6

周辺監視

1 バックガイドモニター

1. バックガイドモニターについて..... 324
運転時の注意について 324
ガイド画面を表示する 325
並列駐車（車庫入れ）時に使用する 326
縦列駐車時に使用する 327
駐車モード画面を切り替える 327

2. 並列駐車をする（進路表示モード）..... 328
画面の見方について 328
駐車する 329

3. 並列駐車をする（駐車ガイド線表示モード）..... 330
画面の見方について 330
駐車する 331

4. 縦列駐車をする 332
車の動きの流れについて 332
駐車する..... 333

5. バックガイドモニターの注意点について.....338
画面に映る範囲について 338
カメラについて 339
画面と実際の路面との誤差について 340
立体物が近くにあるとき 341

6. 知っておいていただきたいこと.....342
故障とお考えになる前に 342

2 クリアランスソナー

1. クリアランスソナーとは.....344
クリアランスソナーとは 344

2. クリアランスソナーが作動したとき 348
距離表示・ブザー 348
音声案内..... 351
障害物を感知する範囲 352

3. クリアランスソナーの設定.....353
モニター表示・ブザーの設定 353

4. 異常時の画面表示 354
クリアランスソナー異常時の画面表示..... 354

5. クリアランスソナーの注意点.....355
使用時の警告と注意 355

1. バックガイドモニターについて

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、駐車時などの後退操作を補助する装置です。
縦列駐車時は音声でも案内します。
バックガイドモニターは、以下の 2 通りの後退操作について補助します。
(1) 並列駐車（車庫入れ等）
(2) 縦列駐車（路側駐車等）

知 識

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

運転時の注意について

バックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。
お守りいただかないと、車をぶつけるなど思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。
バックガイドモニターを使用するときは以下のことをお守りください。

警告

- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
  後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 後退するときは、ブレーキペダルを踏んで速度調整しながら、ゆっくり後退してください。

警告

- 周辺の車両や障害物、人などに接触しそうなとき、または路肩に乗り上げそうになったときは、ブレーキペダルを踏んで停車してください。また、縦列ガイド中は、画面の 313 を選択してシステムを解除してください。
- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから後退してください。
- 以下のような状況では、バックガイドモニターを使用しないでください。
  - ・雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
  - ・タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - ・トランクが完全に閉まっていないとき
  - ・カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れたりすることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤサイズを変更した場合、画面に表示されるガイド線の位置に誤差が生じることがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。(→ P.340)

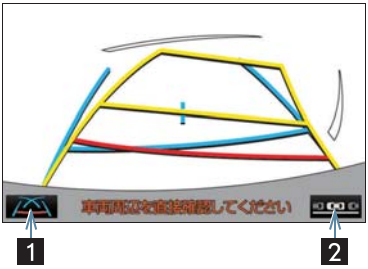
1. バックガイドモニターについて

ガイド画面を表示する

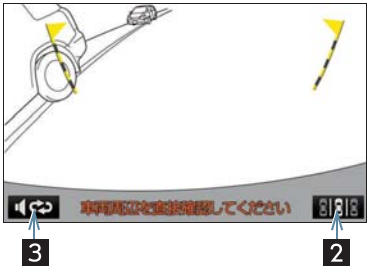
エンジン／パワースイッチがアクセサリーモード、またはイグニッション ON モード／ ON モードのときにシフトレバーを R にすると、バックガイドモニターの画面が表示されます。

● バックガイドモニターは、前回使用した駐車モード画面が最初に表示されます。

▶ 並列駐車



▶ 縦列駐車



番号	表示	内容
1	表示モード切り替えスイッチ	表示モードを切り替える。
2	駐車モード切り替えスイッチ	駐車モード（並列駐車と縦列駐車の案内画面）を切り替える。
3	再音声スイッチ	直前に出力した音声を再度出力する。

バックガイドモニターを解除する

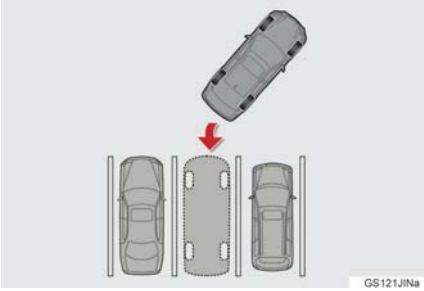
シフトレバーを R 以外にすると、バックガイドモニターは解除されます。

● シフトレバーを R にして、 などの各モードのスイッチを押したとき
➡ バックガイドモニターは解除され、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

1. バックガイドモニターについて

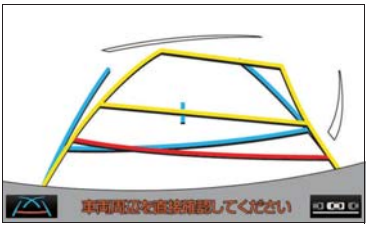
並列駐車（車庫入れ）時に使用する

車庫入れなど並列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。



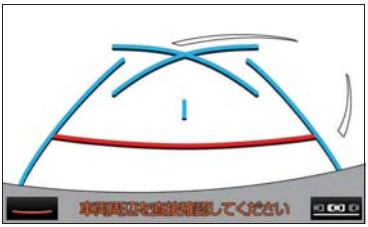
▶ 進路表示モード（→ P.328）

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されます。



▶ 駐車ガイド線表示モード（→ P.330）

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されます。

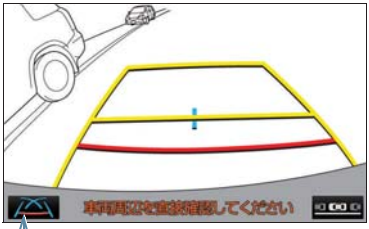


▶ 距離目安線表示モード

距離目安線のみ表示されます。

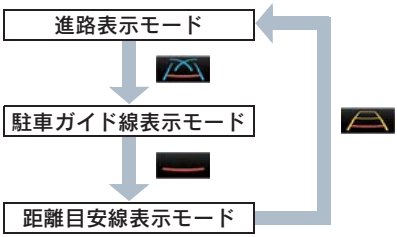
表示モードを切り替える

1 表示モード切り替えスイッチを選択。



表示モード切り替えスイッチ

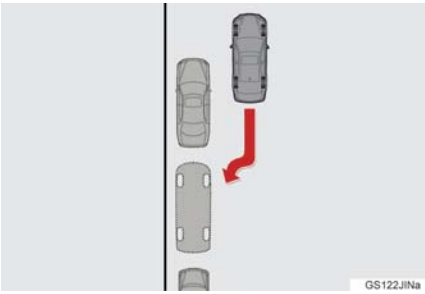
● 選択するごとに、次のように並列駐車案内時の表示モードが切り替わります。

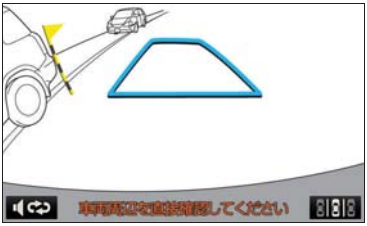


1. バックガイドモニターについて

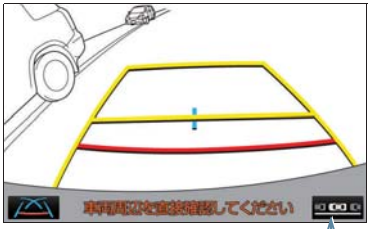
縦列駐車時に使用する

画面表示と音声案内によりハンドル操作のタイミングを案内し、縦列駐車を補助します。





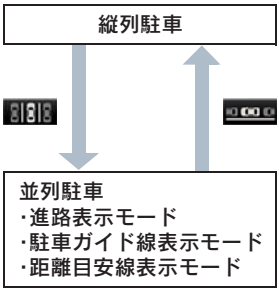
駐車モード画面を切り替える



駐車モード切り替えスイッチ

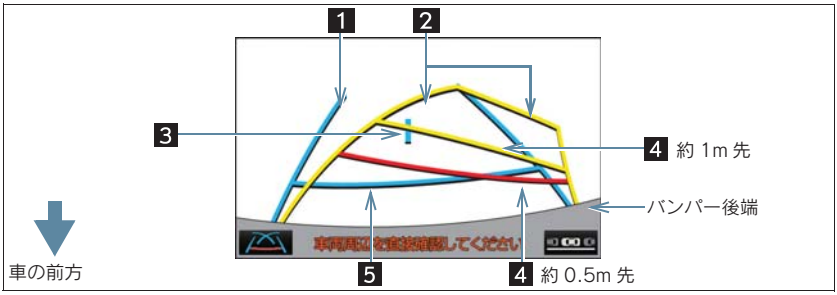
1 駐車モード切り替えスイッチを選択。

- 選択するごとに、次のように並列駐車と縦列駐車の案内画面が切り替わります。



2. 並列駐車をする（進路表示モード）

画面の見方について



番号	表示	内容
1	車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 • 実際の車幅より広く表示。 • 直進状態になっているときは、予想進路線と重なる。
2	予想進路線	ハンドル操作と連動して、進路の目安を示す。
3	車両中央線	車幅延長線の中心位置を示す。
4	距離目安線	ハンドル操作と連動して、車の後方の距離を示す。 • 予想進路線と連動する。 • バンパー後端の中心位置から約0.5m先（赤色）・約1m先（黄色）を示す。
5	距離目安線	車の後方の距離を示す。 • バンパー後端から約 0.5m 先（青色）を示す。

警告

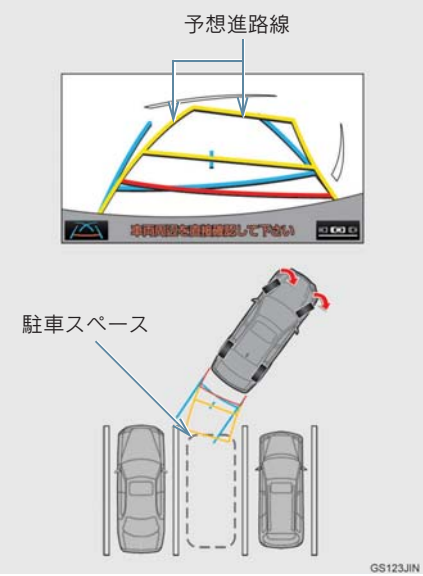
- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれている場合は、レクサス販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

駐車する

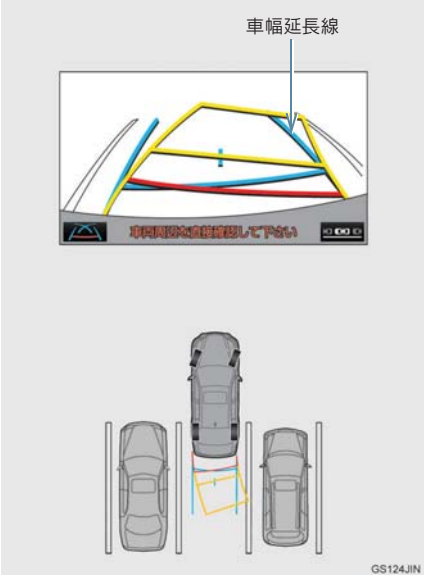
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 シフトレバーを R にする。

2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。



3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車スペース左右の区画線の間に入るようにハンドルを操作する。

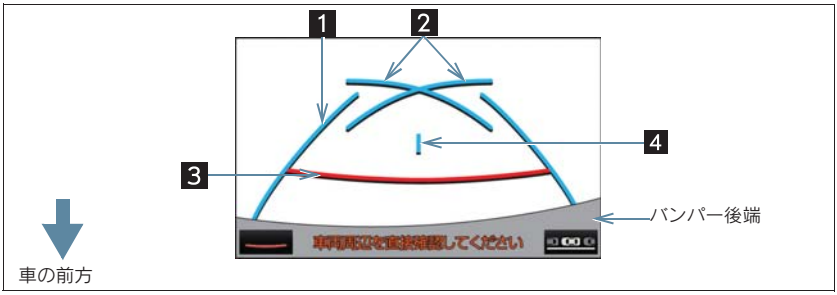


4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

5 適切な位置で停車し、駐車を終える。

3. 並列駐車をする（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方について



番号	表示	内容
1	車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 • 実際の車幅より広く表示。
2	駐車ガイド線	もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示す。 • 駐車時にハンドルを操作する位置の目安。
3	距離目安線	車の後方の距離を示す。 • バンパー後端から約 0.5m 先（赤色）を示す。
4	車両中央線	車幅延長線の中心位置を示す。

警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

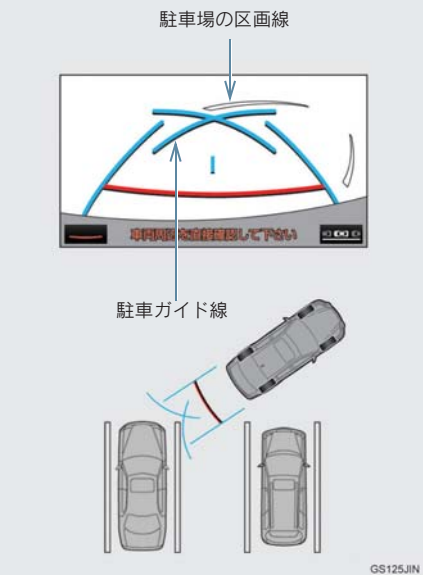
3. 並列駐車をする（駐車ガイド線表示モード）

駐車する

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 シフトレバーを R にする。

2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。



3 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

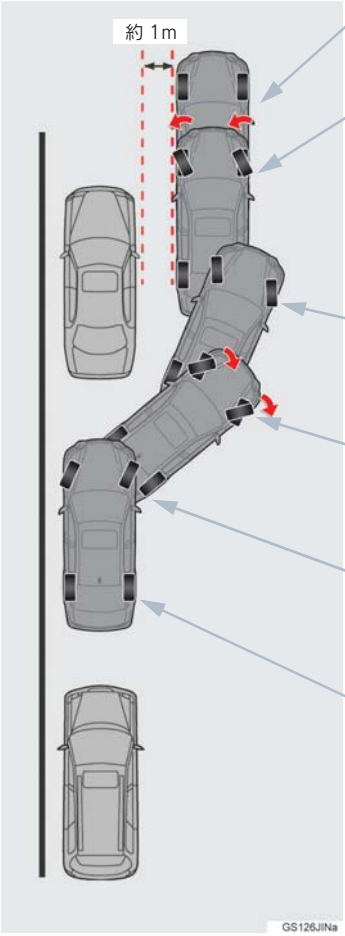
4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

5 適切な位置で停車し、駐車を終える。

4. 縦列駐車をする

車の動きの流れについて

〈車の動き〉



〈操作内容〉

道路と平行で、駐車している車との間隔が約1m の位置で止まる。「駐車する」：手順 1

ポールが隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。「駐車する」：手順 4

車を止めたままハンドルを操作し、青の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。「駐車する」：手順 5

青の曲線が表示されて、青の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。「駐車する」：手順 7

駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。「駐車する」：手順 8

ハンドルをそのままにして、距離目安線などを参考に目視やミラーで周辺を確認し後退する。「駐車する」：手順 9

車がほぼまっすぐになったら、縦列ガイドモードが終了する。「駐車する」：手順 10

警告

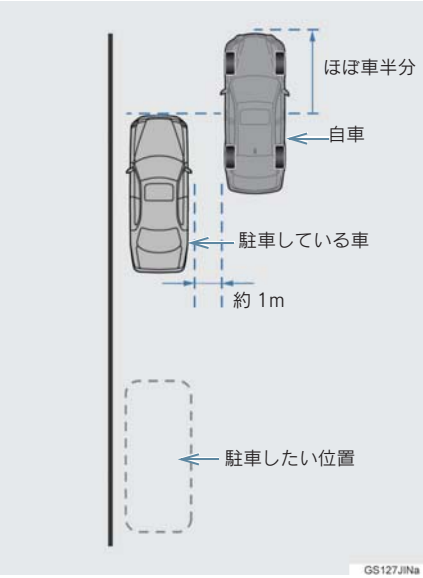
- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では正しく表示されないため、使わないでください。
- ハンドル操作は、必ず車を止めた状態で行ってください。

駐車する

以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。
右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

1 以下の位置に車を止め、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。

- 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約 1m の位置
- 駐車している車より車半分ほど前の位置



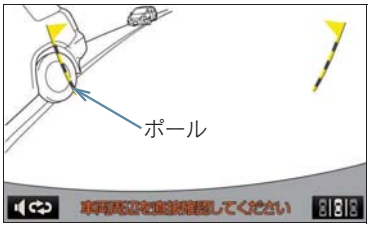
2 シフトレバーを R にする。

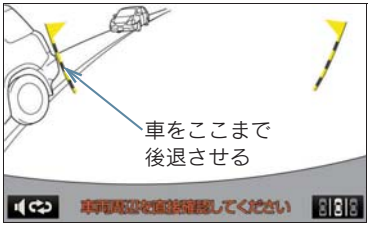
3 駐車している車のリヤタイヤより後方が映っていることを確かめ、を選択する。

- 映っていないときは車を前進させ位置を調整します。

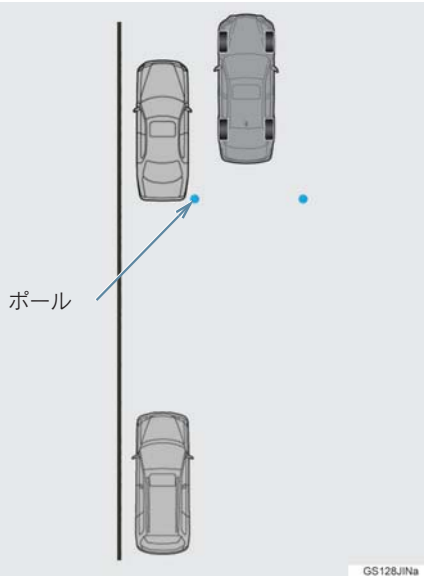
4 ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま、音声案内にしたがいポールが隣に駐車している車の後端に合う位置までゆっくりと後退し、止まる。

音声案内：「ポールが隣の車の後ろに合うまでバックして止まります。」





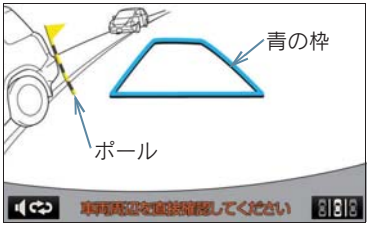
4. 縦列駐車をする



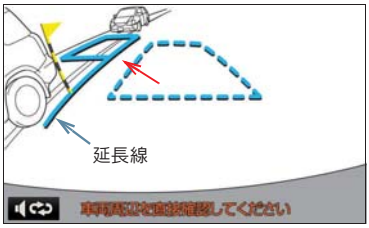
● ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進むことがあります。そのときは、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、操作しなおしてください。

5 音声案内にしたがい、止まったままハンドルをまわし、青の枠を駐車したい位置に合わせる。

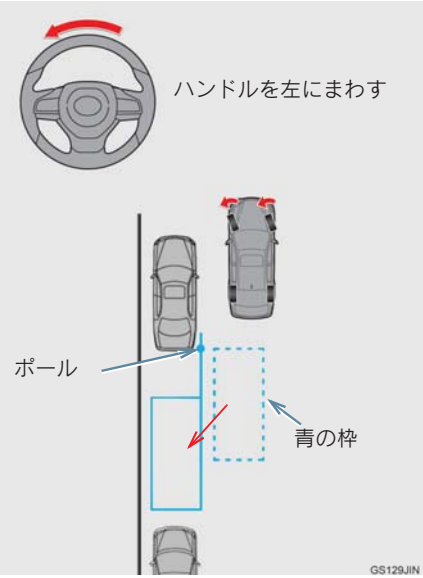
● 青の枠に延長線が表示されたら、ガイド可能になります。



音声案内：「止まったままハンドルをまわして、青の枠を駐車スペースに合わせます。」

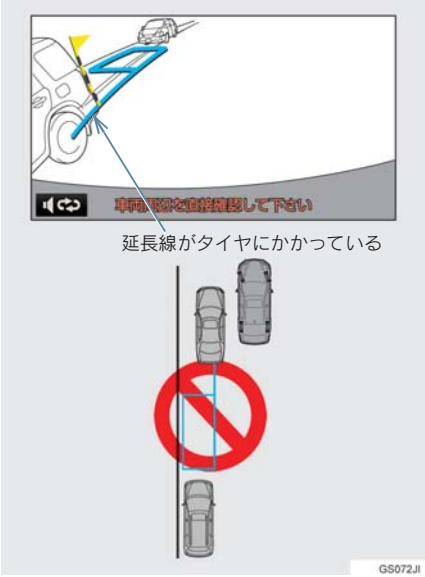


4. 縦列駐車をする



⚠ 注意

- 青の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。
  青の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドを使用しないでください。
- 青の枠を駐車したい位置に合わせるときは、延長線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。
  枠の延長線が隣に駐車している車にかかってしまう場合は、隣の車と間隔が近すぎます。隣に駐車している車との間隔（約 1m）を確認してください。

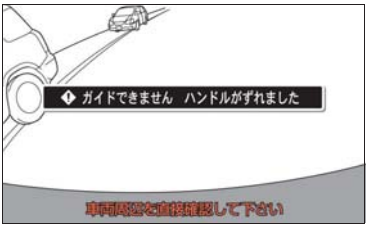


6 音声案内にしたがい、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

音声案内：「枠を合わせたら、ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

4. 縦列駐車をする

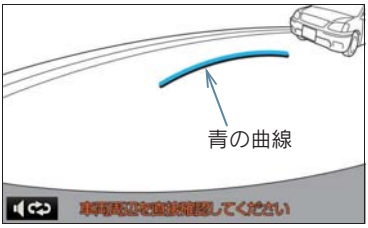
● 後退中にハンドルを操作すると、ガイドが中断します。一旦停止し、シフトレバーをR以外にして、手順1から操作しなおしてください。



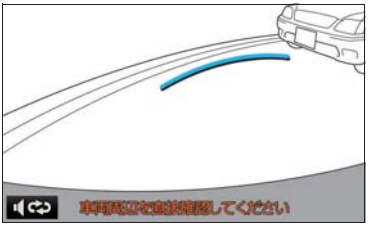
注意

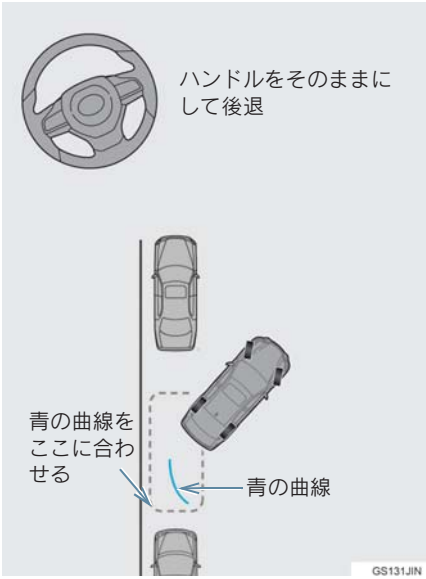
● 車の左前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

7 青の曲線が表示されたら、音声案内にしたがいハンドルをそのままの状態にしてゆっくりと後退する。青の曲線が駐車したい位置に合ったら止まる。



音声案内：「青の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」





● 後退速度が速すぎると、縦列ガイドの案内が間に合わないことがあります。

8 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまでまわす。

● 必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

9 画面が切り替わったら、音声案内にしたがいハンドルをそのままの状態にして、後退する。

音声案内：

「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

注意

● 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

10 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）に戻す。
距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確かめてゆっくり後退し、止まる。

- 車がほぼまっすぐになったら、音声で案内され、縦列ガイドが終了します。

音声案内：「縦列ガイドを終了します。」

知 識

- ごく低速で後退すると、縦列ガイドの案内がないことがあります。
- ガイド案内中にトランクを開くと、ガイドを途中で中止します。

縦列ガイドを中止する

1 を選択。

音声案内をもう一度聞く

1 を選択。

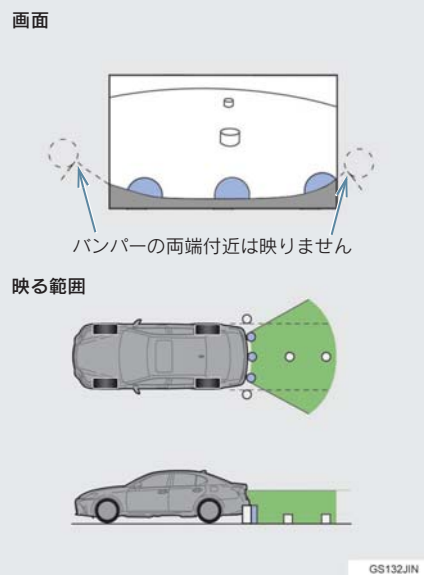
「ガイドできません　ハンドルを戻してください」が表示されたとき

- ハンドルを切りすぎているため、駐車位置の設定ができません。ハンドルを戻してください。
- 駐車したい位置に合わせる前にメッセージが表示される場合は、車が路肩より離れすぎていることが考えられます。隣に駐車している車との間隔（約 1m）を確認してください。

5. バックガイドモニターの注意点について

画面に映る範囲について

バックガイドモニターは、バンパー後端から車の後方が映ります。



● バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。(→ P.34)

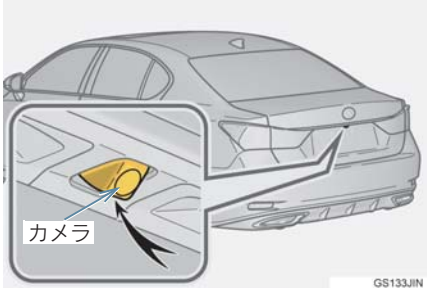
知 識

● 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
● バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
● カメラのレンズ特性により、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
● カメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
● 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映りこむことがあります。

5. バックガイドモニターの注意点について

カメラについて

バックガイドモニターのカメラは、図の位置にあります。



カメラのお手入れについて

カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。

注意

- バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - ・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
  - ・カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - ・カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。
    カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷ついて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。
  - ・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - ・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - ・洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにレクサス販売店で点検を受けてください。

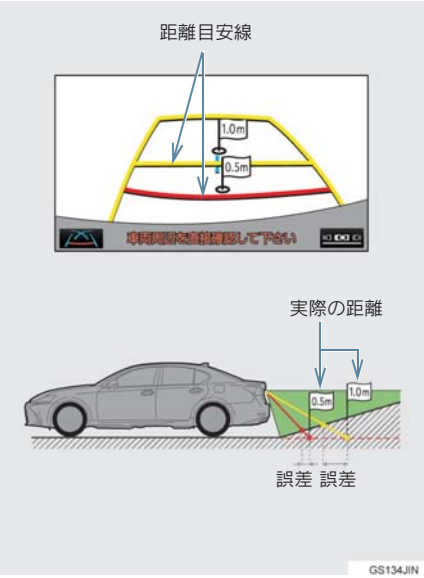
5. バックガイドモニターの注意点について

画面と実際の路面との誤差について

- 距離目安線や車幅延長線と駐車スペースの区画線が画面では平行に見えても、実際は平行ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 車幅延長線と駐車スペース左右の区画線の間隔が画面では左右均等に見えても、実際は左右均等ではないことがあります。必ず直接確かめてください。
- 距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

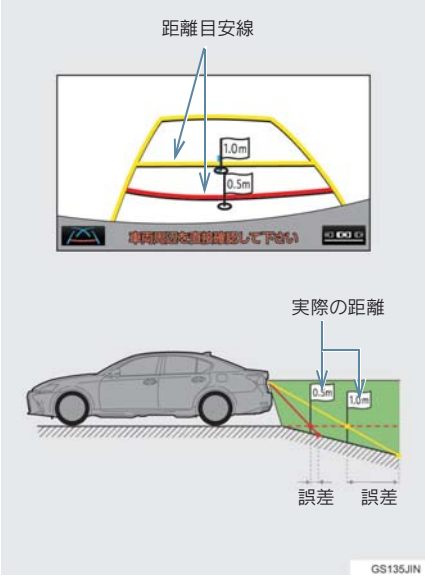
急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



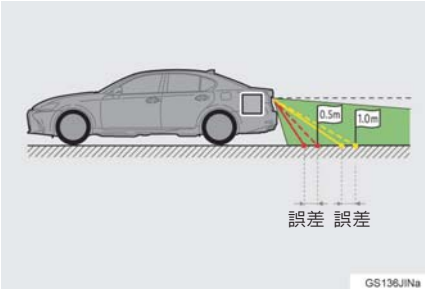
急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。



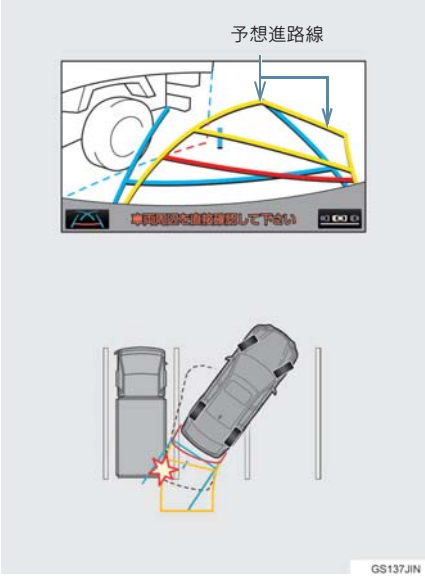
5. バックガイドモニターの注意点について

立体物が近くにあるとき

予想進路線・距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことにご注意ください。

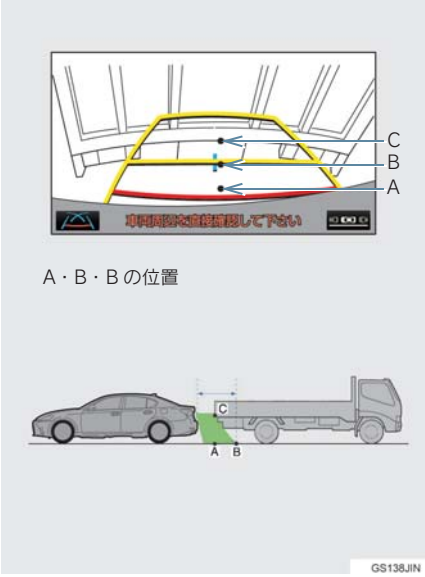
予想進路線について

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。



距離目安線について

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線によりBの位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはAとCより遠い距離にあります。



6. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

下記のような症状で気になったりお困りになった時は、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
画面が見にくい	• 夜間など暗いところで使用。 • レンズ付近の温度が高い、または低い。 • 外気温が低いとき。 • カメラに水滴がついた。 • 雨天時など湿度が高い。 • カメラ付近に異物（泥など）がついた。 • 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たった。 • 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。（カメラ及びその周辺環境が改善されてから、再びバックガイドモニターをご使用ください。） バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。 （→ P.34）
画面が不鮮明	カメラのレンズに水滴、雪、泥など異物や汚れが付着している。	大量の水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。
画面がずれている	カメラ部に強い衝撃が与えられた。	レクサス販売店で点検を受けてください。
音声が出ない	• ナビの音量が小さい。 • ミュートの設定になっている。	ナビの音量設定で、音量をあげてください。（→ P.27）
ガイド線が大きくずれる	カメラの位置がずれている。	レクサス販売店で点検を受けてください。
	• 車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど）。 • 傾斜地で使用するとき。	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。
ハンドルが直進状態であるにも関わらず予想進路線がまがっている（車幅延長線と予想進路線がずれる）	ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。	レクサス販売店で点検を受けてください。

6. 知っておいていただきたいこと

症状	考えられる原因	処置
ガイド線が表示されない	トランクが開いている。	トランクを閉める。 直らない場合は、レクサス販売店で点検を受けてください。
「システム初期化中」の画面が表示された	• 12V バッテリーの脱着中にハンドル操作を行った。 • ステアリングセンサーを脱着した。 • ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。 • 12V バッテリーの脱着をした。 • 12V バッテリー能力が低下した。	車を止め、ハンドルを左右いっぱいにまわしてください。 直らない場合は、レクサス販売店で点検を受けてください。

1. クリアランスソナーとは

クリアランスソナーとは

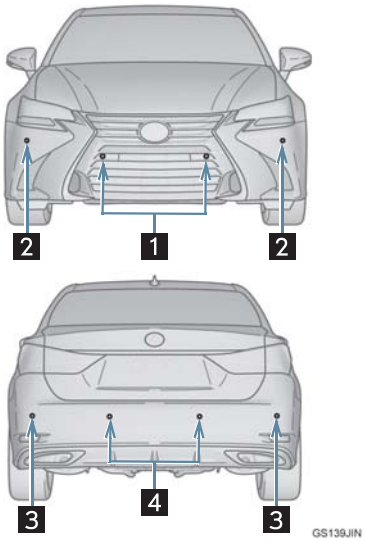
クリアランスソナーは、車両前後のソナーで測定した障害物とお車の距離を、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイとモニター画面の表示、音声案内、ブザー音でお知らせします。

お車の速度が 10 km/h 以下のときにご使用になれます。

必ず周囲の安全を確かめ正しくお使いください。

本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

クリアランスソナーの種類



1 フロントソナー＊

- フロント正面周辺の障害物を感知します。

2 フロントコーナーソナー

- フロントコーナー部周辺の障害物を感知します。

3 リヤコーナーソナー

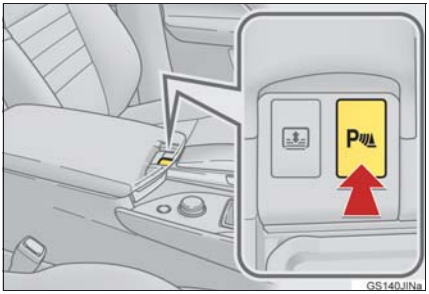
- リヤコーナー部周辺の障害物を感知します。

4 バックソナー

- リヤバンパー後方の障害物を感知します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。
＊：GS450h/GS300h/GS350/GS250 のみ

クリアランスソナーを ON にする



▶インジケーター

1 クリアランスソナースイッチを押す。

- ON にするとメーター内にインジケーターが点灯します。
- エンジンスイッチ／パワースイッチがイグニッションONモード／ONモードのときに使用できます。
- クリアランスソナーがONで以下の条件のときに作動します。
  - ・フロントソナー*はシフトレバーが P、R 以外の位置で、作動します。
  - ・フロントコーナーソナーはシフトレバーが P 以外の位置で作動します。
  - ・リヤコーナーソナー、バックソナーはシフトレバーが R の位置で作動します。

⚠ 警告

- 走行中は、コンソールボックスのふたは必ず閉めてください。
  事故や急ブレーキの際に、思わぬけがをするおそれがあります。

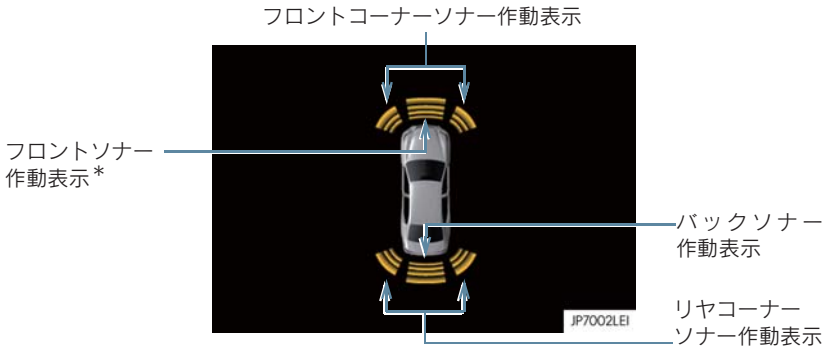
＊：GS450h/GS300h/GS350/GS250 のみ

1. クリアランスソナーとは

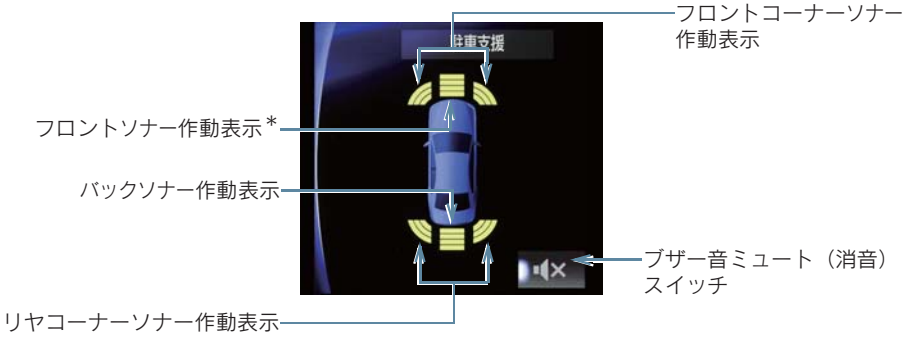
マルチインフォメーションディスプレイとモニター画面の表示

センサーが障害物を感知すると、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイとサイド画面に表示します。

■マルチインフォメーションディスプレイの表示



■モニター画面の表示（サイド画面に表示されます）



知 識

- モニター画面の表示は、他の機能が起動したとき背面に隠れてしまうことがあります（→ P.548）。背面に隠れていても、感知レベルが変化すると自動的に前面に表示されます。

＊：GS450h/GS300h/GS350/GS250 のみ

2. クリアランスソナーが作動したとき

距離表示・ブザー

クリアランスソナー作動中は、障害物とのおおよその距離が表示されます。
また、障害物を感知したときは、ブザーでお知らせします。

フロントソナー＊

障害物が約 1m 以内に感知されると、作動が開始されます。

障害物までのおおよその距離	マルチインフォメーションディスプレイ表示	画面表示	ブザー
約 1m ～ 50cm	（点灯）	（点灯）	“ピッ、ピッ、ピッ”（遅い断続音）
約 50cm ～ 40cm	（点灯）	（点灯）	“ピッピッピッ”（断続音）
約 40cm ～ 30cm	（点灯）	（点灯）	“ピピピ”（速い断続音）
約 30cm 以内	（点滅）	（点灯）	“ピー”（連続音）

＊：GS450h/GS300h/GS350/GS250 のみ

2. クリアランスソナーが作動したとき

コーナーソナー

障害物が約 60cm 以内に感知されると、作動が開始されます。

障害物までのおおよその距離	マルチインフォメーションディスプレイ表示	画面表示	ブザー
約 60cm ～ 45cm	（点灯）	（点灯）	“ピッピッピッ”（断続音）
約 45cm ～ 30cm	（点灯）	（点灯）	“ピピピ”（速い断続音）
約 30cm 以内	（点滅）	（点灯）	“ピー”（連続音）

警告

- 後退するときは、必ず車両の後方や周囲の安全を直接確認しながらゆっくり運転してください。

2. クリアランスソナーが作動したとき

バックソナー

障害物が約 1.5m 以内に感知されると、作動が開始されます。

障害物までのおおよその距離	マルチインフォメーションディスプレイ表示	画面表示	ブザー
約 1.5m ～ 60cm	（点灯）	（点灯）	“ピッ、ピッ、ピッ”（遅い断続音）
約 60cm ～ 45cm	（点灯）	（点灯）	“ピッピッピッ”（断続音）
約 45cm ～ 35cm	（点灯）	（点灯）	“ピピピ”（速い断続音）
約 35cm 以内	（点滅）	（点灯）	“ピー”（連続音）

警告

- 後退するときは、必ず車両の後方や周囲の安全を直接確認しながらゆっくり運転してください。

2. クリアランスソナーが作動したとき

■ブザーについて

- 障害物を車両前後の複数カ所で同時に感知したときは、以下のようにブザーがかわります。
  - ・すでに、車両前方または後方で障害物を約30 cm以内に感知している状態（「ピー」：連続音）で、もう一方の部位で新たに障害物を感知すると、ブザーが「ピピピピピピ ピー」（断続音 6 回＋連続音）にかわり、繰り返し鳴り続けます。
  - ・すでに、車両前方または後方で障害物を約30 cm以内に感知している状態（「ピー」：連続音）で、もう一方の部位も約 30 cm 以内に障害物を感知すると、ブザーが「ピピ ピー」（断続音 2 回＋連続音）にかわり、繰り返し鳴り続けます。
- ブザーの音量は変更することができます。（→ P.352）

音声案内

障害物を感知すると、障害物の位置が音声案内されます。

障害物を感知したセンサー	音声案内
右前 1ヵ所（フロントコーナーソナー右側）	「右前です」
左前 1ヵ所（フロントコーナーソナー左側）	「左前です」
右後 1ヵ所（リヤコーナーソナー右側）	「右後です」
左後 1ヵ所（リヤコーナーソナー左側）	「左後です」
正面 1ヵ所（フロントソナー前側＊）、または 前 2ヵ所以上（フロントソナー 2ヵ所）	「前です」
バックソナー 1ヵ所、または 後 2ヵ所以上（リヤコーナーソナー、バックソナー 2ヵ所以上）	「後です」
右前後 2ヵ所（フロントコーナーソナー右側とリヤコーナーソナー右側）	「右前後です」
左前後 2ヵ所（フロントコーナーソナー左側とリヤコーナーソナー左側）	「左前後です」
• 対角 2ヵ所（フロントコーナーソナー右側とリヤコーナーソナー左側、またはフロントコーナーソナー左側とリヤコーナーソナー右側） • シフトレバーが R の位置でコーナー部 3ヵ所以上	「前後です」

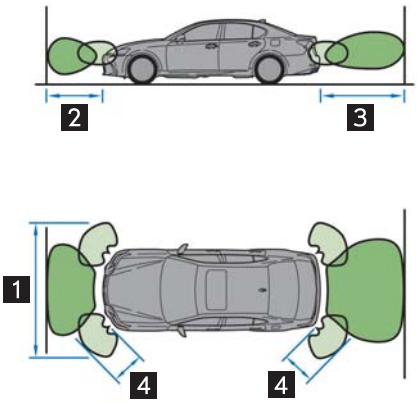
- 障害物を回避する動作が必要なとき（約30 cm以内に障害物が接近するおそれのある場合）のみ音声案内を行ないます。
- 音声案内の音量は変更、または消すことができます。（→ P.27）
- 障害物の感知箇所が増えたときは、増えた状態で音声案内されます。たとえば、右前に障害物が感知されているときに、あらたに左前に障害物を感知したときには「前です」と案内します。感知箇所が減ったときには、音声案内されません。
- 音声案内は障害物を感知し始めたときに 1 回案内します。（障害物・条件によっては何度か案内することがあります）。

＊：GS450h/GS300h/GS350/GS250 のみ

2. クリアランスソナーが作動したとき

障害物を感知する範囲

各センサーの感知範囲



1 約 265 cm（2.65 m）*

2 約 100 cm（1 m）

3 約 150 cm（1.5 m）

4 約 60 cm（0.6 m）

- センサーが感知できる範囲は左図の範囲のみです。障害物がセンサーに近づきすぎると感知できません。
- 異常画面が表示されているときは、フロントソナーの感知範囲が約 100 cm（1 m）から約 50 cm（0.5 m）に短縮されます。

* : GS450h/GS300h/GS350/GS250 のみ

3. クリアランスソナーの設定

モニター表示・ブザーの設定

ブザーの音量と、モニター表示の作動条件をかえることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 運転支援 → クリアランスソナー設定

ブザーの音量を変更するには

1 ブザー音量設定の 小 ・ ■ ・ 中 ・ ■ ・ 大 のいずれかを選択。

ソナー表示を中止するには

障害物を感知すると自動的に表示させるソナー画面を ON・OFF することができます。

1 ソナー表示の ソナー表示なし を選択。

- 作動表示灯が点灯しているときはソナー表示されません。

モニター画面表示とブザーのタイミングの設定

バックソナーの表示とブザー開始のタイミングを設定できます。

1 画面表示、ブザータイミングの 切替え を選択。

＊：GS450h/GS300h/GS350/GS250 のみ

4. 異常時の画面表示

クリアランスソナー異常時の画面表示

- 障害物を感知していないときに、ソナーの異常が発生した場合は、表示と同時に異常を知らせるブザーが約 7 秒間鳴ります。
  ・障害物を感知しているときにソナーの異常が発生した場合は、異常を知らせるブザーが鳴ります。
- 異常を知らせる表示が出ていても、以下のときは表示されなくなります。
  ・他のモードに画面を切り替えたとき
  ・クリアランスソナーのメインスイッチを OFF にしたとき
  ・車速が約 15 km/h 以上になったとき。車速が約 8 km/h 以下になると再び表示されます。

センサー部に雪氷や泥などが付着しているとき

- ソナー部の汚れを取り除いても表示が出るとき、ソナー部が汚れていなくても表示が出るときはソナーの異常が考えられます。レクサス販売店で点検を受けてください。

センサーが故障しているとき

- 全てのソナーが異常表示されます。レクサス販売店で点検を受けてください。

5. クリアランスソナーの注意点

使用時の警告と注意

警告

- ソナーの感知範囲、作動速度には限界があります。車を前進・後進するときは、必ず車両周辺（特に車両側面など）ソナー感知範囲外の安全を確認し、ブレーキで車速を十分に制御し、ゆっくり運転してください。
- ソナーの感知範囲は車両前部と後部のバンパー周辺に限られます。
- 障害物の形状・条件によっては感知できる距離が短くなることや、感知できないことがあります。
- 障害物を感知してから、表示やブザーが出るまでに多少時間がかかります。低速走行時の場合でも表示やブザーが出る前に、障害物まで約 25 cm 以内に接近するおそれがあります。
- 路面状況（雨、砂利など）により、制動距離が変化します。
- ソナーが感知する範囲にはアクセサリー用品などを取り付けないでください。クリアランスソナーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 以下のとき、クリアランスソナーが正常に作動しないことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。注意して運転してください。
- ソナーに氷、雪、泥などが付着したとき（取り除けば、正常に復帰します）。
- ソナー部が凍結したとき（溶ければ、正常に復帰します）。
  とくに低温時には凍結などにより異常表示が出る、障害物があっても感知しないことがあります。
- ソナーを手などでふさいだとき
- 車両姿勢が大きく傾いたとき
- 炎天下や寒冷時
- 凸凹道、坂道、砂利道、草むら走行時など
- 他車のホーン、オートバイのエンジン音、大型車のエアブレーキ音、他車のクリアランスソナーなどの超音波を発生するものが近づいたとき
- どしゃぶりの雨や水しぶきがかかったとき
- 市販のフェンダーポール、無線機アンテナを車につけたとき
- 背の高い縁石や直角の縁石に向かって進んだとき
- 標識等の物体によっては感知距離が短くなります。
- バンパー真下付近は感知しません。
  センサーより低い物体や細い杭などは、一度感知しても接近すると突然感知しなくなることがあります。
- ソナーに障害物が近づきすぎたとき
- レクサス純正品以外のサスペンションを取り付けたとき
- 字光式ナンバープレートを取り付けたとき

5. クリアランスソナーの注意点

警告

- 以下のような物は正確に感知しないことがあります。注意して運転してください。
  - ・針金、フェンス、ロープなどの細いもの
  - ・綿、雪などの音波を吸収しやすいもの
  - ・鋭角的な形のもの
  - ・背が高く上部が張り出しているもの
  - ・背の低いもの

注意

- 以下のとき、ソナーの異常などにより装置が正常に作動しなくなっているおそれがあります。レクサス販売店で点検を受けてください。
  - ・障害物を感知していない状態で、クリアランスソナーの作動表示が点滅し、ブザーが鳴ったとき
  - ・ソナー部付近に物をぶつけたときや、たたくなどの強い衝撃を与えたとき
  - ・バンパーをぶつけたとき
  - ・ブザー音がしないのに表示が点灯したままのとき（ミュート時以外）
- 高圧洗車機を使用して洗車するときは、ソナー部に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- スチームを使用した洗車機などで洗車するときは、スチームをソナー部に近づけすぎないようにしてください。スチームにより、正常に作動しなくなるおそれがあります。

5. クリアランスソナーの注意点

7

ETC2.0 システム

1 ETC2.0ユニット（VICS機能付）

1. ETC2.0サービスについて 358
ETC2.0 サービスとは 358

2. ETCサービスについて 360
ETC システムの概要 360
ETC を利用する前に 360

3. ETC2.0ユニットの操作.....364
ETC2.0 ユニットについて..... 364
ETC カードについて 365
ETC カードを挿入する 365
有効期限切れ通知について 367
ETC カードを抜く 367
車両走行中の ETC2.0 ユニットの表示と音声案内について 368
ETC2.0 ユニットでの利用履歴を確認する..... 370
ETC2.0 ユニットの音量を調整する..... 370
ETC2.0 ユニットでセットアップ情報を確認する 371

4. ETC 画面の操作 372
ETC 画面を表示する 372
ETC 割込表示について 372
ETC マーク表示について 373
履歴を表示する 373
統一エラーコードを表示する 373
ETC2.0 登録情報を表示する 373
ETC の通知設定をする 374

5. エラーコードについて.....375
統一エラーコード一覧について..... 375
記録されている統一エラーコードを確認する..... 377

6. インターネット接続サービスについて 378
インターネット接続サービスの利用方法について 378

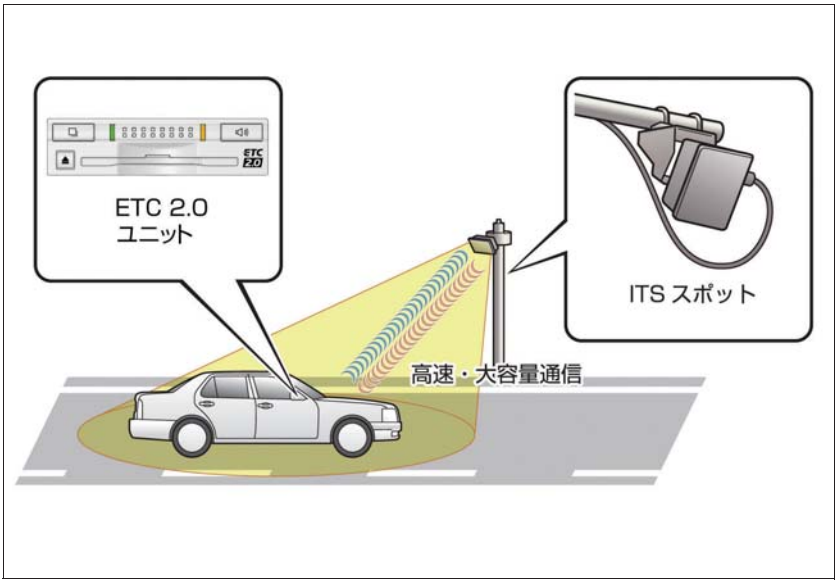
7. フルブラウザ 381
フルブラウザ画面で操作する 381

1. ETC2.0 サービスについて

ETC2.0 サービスとは

高速道路を中心に設置された「ITS スポット」と車に搭載された「ETC2.0 ユニット」との間で双方向の高速・大容量通信を行うことにより、広域な道路交通情報や安全運転を支援する情報を、音声や画面への表示でリアルタイムに提供するサービスです。

- ITS スポット
  DSRC 通信を利用し、ETC2.0 サービスが行われる場所を「ITS スポット」と呼びます。
- DSRC（Dedicated Short Range Communication：スポット通信）
  これまで ETC に用いられてきた通信方式で、高速で大容量の情報を送受信することが可能です。



1. ETC2.0 サービスについて

提供サービス

ETC2.0 サービスでは、次のサービスが提供されます。

提供サービス	主なサービス内容	ページ
ダイナミックルートガイダンス • 県境を越える広域な道路交通情報を利用して、ナビがリアルタイムに最適な走行ルートを提供します。	リアルタイムに最適な走行ルートを提供	—
道路交通情報 • 進行方向先の交通状況や、SA・PA の混雑状況、施設情報などを画面や音声で案内します。	前方状況情報提供 （音声、図形表示、画像表示）	155
	施設情報提供	155
	ハイウェイラジオ情報読上げ	155
	ETC2.0 走行情報のアップリンク	157
安全運転支援情報 • 見通しの悪いカーブ先の渋滞などを、ITS スポットから受信して、音声と画面で案内します。	前方障害物情報提供 （音声、図形表示）	154
ETC • 有料道路に設置されたアンテナと ETC2.0 ユニットが通信を行うことによって、自動で料金を精算するシステムです。	自動料金支払い機能	360
インターネット接続 • SA・PA、道の駅内の ITS スポットにおいて、ナビからインターネットに接続し、施設から提供される様々な情報をナビ画面に表示することができます。	インターネット接続機能	378

※ VICS サービス（FM 多重放送、光ビーコン）については、「VICS・交通情報を活用する」（→ P.152）を参照してください。

知 識

● ETC2.0 ユニット（VICS 機能付）は、上記以外のサービスやシステム変更に対応できない場合があります。あらかじめご了承ください。詳しくはレクサス販売店へお問い合わせください。

2. ETC サービスについて

ETC システムの概要

ETC（Electronic Toll Collection）サービスは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
路側無線装置と車両の ETC2.0 ユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録された ETC カードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

ETC を利用する前に

ETC サービスを利用する際には、次の点に注意してください。

警告

- 安全のため、運転者は走行中にETC カードの抜き差し、および ETC2.0 ユニットの操作を極力しないでください。
  走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

注意

- その他、ETC2.0 ユニットを用いたサービス（スマート IC 等）には、様々な制約があります。
  サービスを運営する事業者が案内する利用方法をご確認ください。

ETC カードを挿入する前

注意

- ETC カードの有効期限切れにご注意ください。
  ETC カードの有効期限が切れていると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。お手持ちの ETC カードに記載された有効期限を、あらかじめ確認してください。
- ETC カード接点に汚れが付着していないか確認してください。
  ETC カード接点に手の脂や化粧品等の汚れが付着していると、ETC2.0 ユニット内部のカード接点に汚れが転写・堆積し、ETC2.0 ユニットで ETC カードを認証できなくなり、エラーが発生したり、開閉バーが開かなくなるおそれがあります。
  このような現象が発生した場合は、ETC2.0 ユニット内部および ETC カード接点のクリーニングを実施してください。クリーニング方法についてはレクサス販売店にお問い合わせください。

ETC カードを挿入した後

注意

- ETC を利用する際は、あらかじめ ETC カードが確実にETC2.0ユニットに挿入されていることと、ETC2.0 ユニットが正常に作動していることを確認してください。開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC2.0ユニットがETCカードを認証するまでには数秒かかりますので、料金所手前で ETC カードを挿入すると、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

料金所を通過するときは

⚠注意

- ETC　レーンに設置されている開閉バーは、ETC2.0 ユニットと路側無線装置の間の通信、あるいは ETC2.0 ユニットと ETC　カードとの通信が正常に行われなかった場合は、開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 通行料金の請求を受ける料金所で、ETC 車線が閉鎖されている場合は、係員のいる車線（一般車線または混在車線）で ETC カードでの支払いが可能です。無理な車線変更は危険ですので、おやめください。

※ETC 車線の機器の点検等により、ETC 車線を閉鎖している場合がありますのでご注意ください。

- ETC レーンの進入は、十分な車間距離をとり、約 20km/h 以下の安全な速度で進入してください。
- ETC レーンを通行するときは、前車との車間距離を保持した上で、開閉バーの手前で安全に停止できるように十分に減速し、開閉バーが開いたことを確認してから通行してください。

⚠注意

- ETC レーンで、開閉バーが開かない等の理由で停止された場合には、危険ですので絶対に車をバックさせないでください。バックすると後続車に追突される危険がありますし、バックして他のレーンに入りなおすことはエラー発生の原因となります。また、後続車のエラーを誘発することとなり危険です。料金所での案内、または係員へ知らせた後、その案内にしたがってください。
- うっかりETCカードをETC2.0ユニットに挿入し忘れて ETC 車線を通過された場合などは、速やかに、当該道路を管理する道路事業者（高速道路会社など）に通行の状況を連絡してください。
- もし、入口料金所の ETC 車線で通信エラー等により、通行券を受け取られた場合には、出口料金所での料金のお支払いは、係員のいる車線（一般車線または混在車線）で、一旦停車して、ETC カードと通行券を係員にお渡しください。
- 通行料金の請求を受ける料金所で異常が発生した場合は、料金所での案内、または係員へ知らせた後、その案内にしたがってください。
- 入口料金所を ETC で通行した場合で、出口料金所で ETC 車線がご利用できないとき、あるいは設置されていないときは、一旦停車して ETC カードを係員にお渡しください。
- 有料道路の利用開始から利用終了までは、同一の ETC カードを継続してご使用ください。
  料金所以外にも ETC アンテナが設置されている箇所があり、ETC カードには走行中、通行料金の計算に必要な情報が記録されます。途中でカードを入れかえると正しく通行料金が計算されない場合があります。

2. ETC サービスについて

（知 識）

- 領収書はその場では発行されません。通行時、その場で証明が必要な場合は係員のいる車線（一般車線または混在車線）で一旦停止の上、ETC カードで料金清算し通常の利用明細書をもらってください。
  現在、ETC で無線走行されたときの利用証明書を、インターネットによりお客様のプリンタから印刷できます。詳細は道路事業者にお問い合わせください。
- 均一料金制の有料道路では、出口部に設置された路側無線装置（フリーフローシステム）との通信により料金が払い戻される場合があるため、出口通過まで ETC2.0 ユニットに ETC カードを挿入しておく必要があります。

スマート IC について

⚠ 注意

- スマート IC は、ETC 専用インターチェンジです。
  所定の方法で車両に取り付け・セットアップされた ETC2.0 ユニットに、有効な ETC カードを確実に挿入し、ETC システムをご利用可能な場合に通行することができます。
- 運営時間、出入方向および対象車種等に制約がありますのでご注意ください。
- スマート IC では、車が停止した状態で通信のやりとりが行われ、開閉バーが開くシステムとなっておりますので、必ず開閉バーの手前で一旦停止してください。なお、一旦停止してもバーが開かない場合には、車線に設置された通信開始ボタンを押してください。
- 開閉バーが開かない場合は、開閉バーの手前で停車してインターホン等で係員を呼び、案内にしたがってください。
- 通行止めなどが実施された場合や道路を管理するうえで必要な場合、やむを得ず、予告なく出入口が閉鎖されることがあります。この場合、最寄りの IC をご利用ください。

車載器管理番号について

⚠ 注意

- 車載器管理番号は、ETC の各種割引サービスを受ける場合、あるいは今後の新たなサービスを受けるにあたって必要な番号です。『セットアップ申込書・証明書（お客様保存用）』を大切に保管していただくとともに、車載器管理番号を別に記録し、保管するようにしてください。

車載器管理番号シール

車載器管理番号シールを貼って大切に保管してください。

障害者割引制度について

⚠ 注意

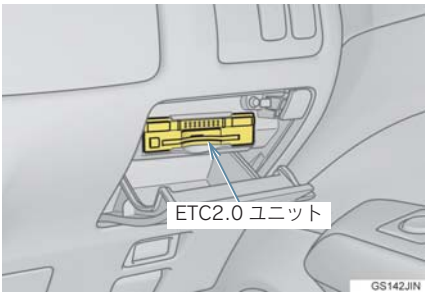
- ETC 無線走行で障害者割引の適用を受けるには、事前に福祉事務所等での手続きと、併せて有料道路事業者が設置する窓口への登録が必要になります。両方の手続きがなされていない場合、ETC 無線走行での障害者割引適用がされません。

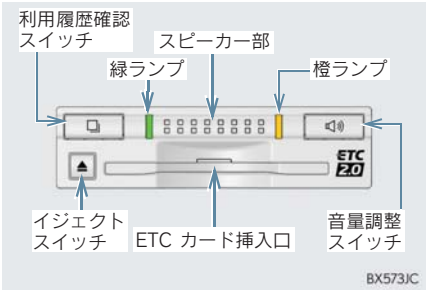
3. ETC2.0 ユニットの操作

ETC2.0 ユニットについて

運転席小物入れの中にあります。
エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにすると、ETC2.0 ユニットの電源が入ります。

- 初めて ETC2.0 ユニットをご利用される前に、ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きが必要です。レクサス販売店にご相談ください。（セットアップ手続きには別途費用が発生します。）





注意

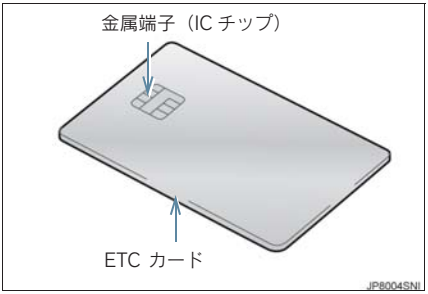
- 路側無線装置との通信の妨げにならないよう、ETC2.0 ユニットのアンテナ（インストルメントパネル中央付近に内蔵されています。）上方には物を置かないでください。
- ETC2.0 ユニットの内部に異物などを入れないでください。ETC2.0 ユニットが故障するおそれがあります。
- ETC2.0 ユニットに衝撃を与えないでください。ETC2.0 ユニットが、故障・破損するおそれがあります。
- 濡れた手で ETC2.0 ユニットに触れたり、水（液体など）を付着させないでください。ETC2.0 ユニット内部に水が入り、故障・破損するおそれがあります。また、付着した液体の成分によっては、ETC2.0 ユニットが変形・変色・故障する場合があります。
- よごれたときは、柔らかい乾いた布でよごれをふき取ってください。ワックス、シンナー、アルコールなどの薬品は絶対に使用しないでください。ETC2.0 ユニットが変形・変色・故障する場合があります。
- 車両1台に対して複数のETCユニットまたは ETC2.0 ユニットを取りつけると、ゲートの開閉バーが開かないことがあります。

知識

- 本機は、電波法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールを剥がさないで下さい。
- 本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
- お車のナンバープレートが変更になった場合は、再度 ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きが必要になりますので、レクサス販売店にご相談ください。
- フロントウインドウガラスのよごれや積雪がひどい場合は、それらを取り除いてください。

ETC カードについて

ETC カードはお客様にて、別途お申し込みが必要です。



⚠ 注意

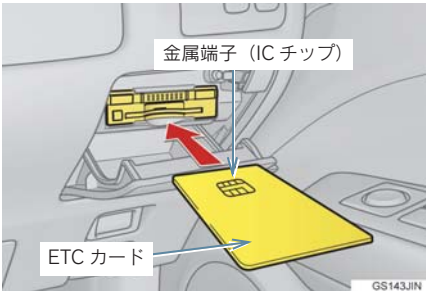
- ETC カードの取り扱いについては、ETC カード発行会社の提示する注意事項にしたがってください。
- ETC カードには有効期限があります。有効期限内の ETC カードをご利用ください。
- セロハンテープ・シールなどが貼ってある ETC カードや金属端子（IC チップ）がよごれている ETC カードは使用しないでください。
  ETC2.0 ユニットが正常に作動しなくなったり、ETC カードが取り出せなくなるなど、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 金属端子（IC チップ）が汚れている ETC カードは使用しないでください。
  ETC2.0 ユニット内部のカード接点に汚れが転写・堆積し、ETC2.0 ユニットで ETC カードを認証できなくなり、エラーが発生したり、開閉バーが開かなくなるおそれがあります。
  このような現象が発生した場合は、ETC2.0 ユニット内部および ETC カード接点のクリーニングを実施してください。クリーニング方法についてはレクサス販売店にお問い合わせください。

ETC カードを挿入する

1 エンジン／ハイブリッドシステムを始動する。

- ETC2.0 ユニットの電源が入り、緑ランプと橙ランプが同時に点灯し、しばらくすると消灯します。

2 運転席小物入れを開け、図のように正しい挿入方向で、ETC　　カードを ETC2.0 ユニットにしっかり差し込む。



- 「ピッ」とブザー音が出力され、緑ランプが点滅します。

3 ETC カードが認証される。

▶正しく認証された場合

音声案内

- ETC カード有効期限が翌月以降のとき
「ポーン ETC カードが挿入されました」
- ETC カード有効期限が当月のとき
「ポーン ETC カードの有効期限は今月末です カードをお確かめください」

画面表示

- ETC カード有効期限が翌月以降のとき
「ETC カードが挿入されました」
- ETC カード有効期限が当月のとき
「ETC　カードの有効期限は今月末です カードをお確かめください」

3. ETC2.0 ユニットの操作

ETC2.0 ユニット
緑ランプが点灯したまま。

- ETC2.0 システムを利用するときは、この状態でご利用ください。
  エンジン／ハイブリッドシステム始動前または始動後約 20 秒以内に ETC カードを挿入すると音声案内および画面表示がされないことがあります。

▶正しく認証されなかった場合

橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。（→ P.375）

4 運転席小物入れを閉める。

⚠ 注意

- ETC カードの有効期限案内機能は、ETC カードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETC を使用する前は、必ず ETC カードに記載されている有効期限を確認してください。
- ETC カードは必ずエンジン／ハイブリッドシステム始動後に挿入してください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。
- 緑ランプが点滅中は ETC カードを抜かないでください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。
- ETC2.0 ユニットや ETC カードにエラーが発生した場合は、橙ランプが点滅します。ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。状況に応じて、次のように対応してください。
  - ・統一エラーコード〔01 ～ 07〕が画面に表示された場合は、「統一エラーコード一覧」（→ P.375）に記載されている対応方法にしたがってください。
  - ・エンジン／ハイブリッドシステム始動時にエラーが発生した場合は、いったんエンジン／ハイブリッドシステムを停止させ、再度始動してみてください。それでもエラー表示が続くときは、レクサス販売店で点検を受けてください。
  - ・ETC カード挿入時にエラーが発生した場合は、いったん ETC カードを抜き、挿入方向を確認して再度差し込んでみてください。それでもエラー表示が続くときは、レクサス販売店で点検を受けてください。

知 識

- 橙ランプが点灯しているときは、ETC2.0 ユニットのセットアップ手続きができていないので使用できません。
- 解約済みの ETC カードを ETC2.0 ユニットに挿入してもエラー表示はされませんが、開閉バーは開きません。
- 有効期限内の ETC カードを挿入すると、画面上部のステータスバーに ETC マークが表示されます。（→ P.373）

有効期限切れ通知について

ETC カードを挿入したとき、または ETC カード挿入状態でエンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにすると、次のように有効期限切れ通知が行われます。

音声案内
「ポーン　ETC カードの有効期限が切れています」
画面表示
「ETC カードの有効期限が切れています」

- エンジン／ハイブリッドシステム始動前または始動後約 20 秒以内に ETC カードを挿入すると音声案内および画面表示がされない場合があります。

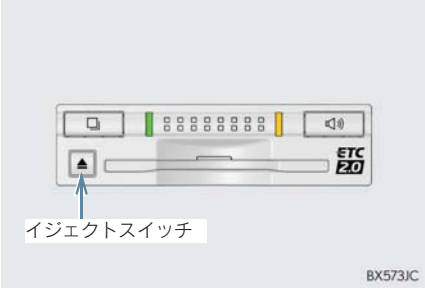
ETC2.0 ユニット
ランプ表示　：緑ランプ点灯したまま

注意

- 有効期限切れ ETC カードでは、開閉バーは開きません。有効期限内の ETC カードをご利用ください。

ETC カードを抜く

1 車を停車し、エンジン／ハイブリッドシステムを停止させる前にイジェクトスイッチを押す。



- ETC カードを抜く前に、エンジン／ハイブリッドシステムを停止すると、カード抜き忘れをお知らせする音声案内が、ETC2.0 ユニットより出力されます。（→ P.368）

2 ETC2.0 ユニットから ETC カードを抜く。

注意

- ETC カードを放置してお車から離れないでください。車内の温度上昇により、ETC カードが変形したり、ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。

知 識

- ETCカードを放置してお車から離れないでください。ETC カードが盗難にあうおそれがあります。

3. ETC2.0 ユニットの操作

カード抜き忘れ警告について

ETC カードを抜く前に、エンジン／ハイブリッドシステムを停止すると、ETC2.0 ユニットから「ピーッ、カードが残っています」と音声が出力されます。

- 設定する場合は、車を停車し、ETC2.0 ユニットに ETC カードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で、利用履歴確認スイッチと音量調整スイッチを同時に約 2 秒間押し続けます。操作をするごとにする／しないが切り替わり（ETC2.0 ユニットから「ピッ」もしくは「ピッピッ」と音がします）、以後選択した設定が保持されます。
- ON ／ OFF の切り替え設定後、設定内容が音声にて通知されます。

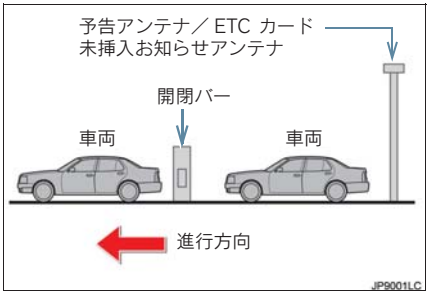
知 識

- カード抜き忘れ警告のする／しないの設定は通知設定画面（→ P.374）でも行えます。

車両走行中の ETC2.0 ユニットの表示と音声案内について

走行中は、次のように ETC2.0 ユニットのランプ表示と通知が行われます。ただし、運転者は走行中にランプ表示を見ないでください。

■ETC ゲート（入口）、検札所、予告アンテナ、ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過したとき



▶ 通信が正常に行われた場合

ETC2.0 ユニット

ランプ表示　：緑ランプ点灯したまま

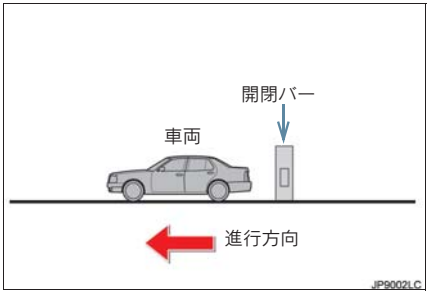
通知音※　　：「ピンポン」

※ ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過したときは通知されません。

▶ 通信が正常に行われなかった場合

橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。（→ P.375）

■ETC ゲート（出口／精算用）を通過したとき



▶ 通信が正常に行われた場合

ETC2.0 ユニット

ランプ表示　：緑ランプ点灯したまま

通知音　　：「ピンポン」

通行料金が画面表示と音声で案内されます。

▶ 通信が正常に行われなかった場合

橙ランプが点滅し、統一エラーコードが画面に表示されます。（→ P.375）

⚠ 注意

- ETC ゲート進入時は、十分減速してください。進入速度が速すぎると、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ETC ゲート通過時は、ETC ゲート付近に表示されている案内にしたがって走行してください。
- ETCゲートの開閉バーが開かない場合は、料金所係員の指示にしたがってください。
- その他、道路事業者の発行する利用方法にしたがってください。
- ETC ゲート、検札所、予告アンテナ、ETC カード未挿入お知らせアンテナ付近では、ETC カードを抜かないでください。ETC カード内のデータが破損するおそれがあります。
- 必ず、ETC ゲート（入口）で使用した ETC カードで、ETC ゲート（出口／精算用）または検札所を通過してください。

知 識

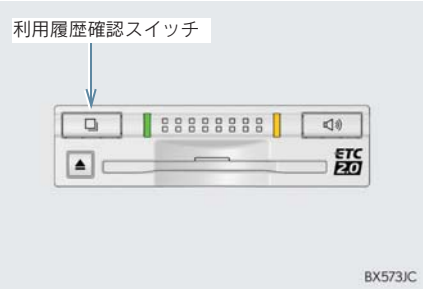
- 道路側システムにより通信が正常に行われた場合、1 つの ETC ゲートで 2 回通知されることがあります。
- 予告アンテナは、料金所の手前に設置され、ETC2.0 ユニットと通信し、ETC ゲートを利用できるかどうかを ETC2.0 ユニットを通じて運転者にあらかじめ通知するためのアンテナです。
- ETC カード未挿入お知らせアンテナは、料金所の手前に設置され、ETC2.0 ユニットと通信し、ETC2.0 ユニットに正しく ETC カードが挿入されていない場合に、ETC2.0 ユニットを通じて運転者にあらかじめ通知するためのアンテナです。
- 予告アンテナ･ETC カード未挿入お知らせアンテナは、道路側のシステムにより、設置されている場合と設置されていない場合があります。
- ETC カードを挿入していないときに予告アンテナや、ETC カード未挿入お知らせアンテナを通過した場合は、橙ランプが点滅し、「ポーン ETC ゲートを通過できません」または「ポーン ETC カードが挿入されていません」と案内されます。
  これは ETC システムが利用できないことをお知らせするもので、ETC2.0 ユニットが故障したわけではありません。
- 通行料金の画面表示・音声による案内は、割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
  また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の画面表示・音声による案内は行われない場合があります。
- ETC 無線通信ができなかった際に、再度無線通信を行うためのリカバリーアンテナが設置されている料金所があります。対応方法については、料金所係員の指示にしたがってください。

3. ETC2.0 ユニットの操作

ETC2.0 ユニットでの利用履歴を確認する

有料道路の利用日および通行料金を音声で確認できます。
ETC カードが挿入され、緑ランプが点灯している状態で停車中に利用できます。

1 利用履歴確認スイッチを押す。



- 最新の利用履歴が音声で案内されます。
- 押すごとに、古い利用履歴に切り替わります。なお、最も古い利用履歴の次は、最新の利用履歴に切り替わります。
- 利用履歴発話中は、緑ランプが点滅します。
- 案内終了後、約 1 秒以上たってからスイッチを押した場合は、最新の利用履歴から案内されます。

注意

- ETC ゲート付近では、利用履歴の確認を行わないでください。路側無線装置と通信ができなくなるなど、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知 識

- 利用履歴は ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。（最大 100 件）
- 利用履歴は消去することができません。ただし、利用履歴の最大記録件数を超えた場合は、最も古い利用履歴が消去されます。
- 利用履歴がない場合は、「利用履歴はありません」と案内されます。
- 利用日の情報が正しくない場合は、「利用日付は不明です」と案内されます。
- 通行料金の情報が正しくない場合は、「料金は不明です」と案内されます。
- 利用履歴は画面でも確認することができます。（→ P.373）

ETC2.0 ユニットの音量を調整する

ETC2.0 ユニットから出力される音声案内の音量を調整することができます。

1 音量調整スイッチを押す。

- スイッチを押すごとに以下のように音量が切り替わります。

音量 0 → 音量 1 → 音量 2 → 音量 3 → 音量 4
（消音）

- 音量 1 ～ 4 に調整したとき
  音声案内 :「音量○○です」
- 音量 0（消音）に調整したとき
  音声案内 :「音声案内を中止します」

（知 識）

- ETC2.0 ユニットの音量調整は以下のような案内に有効です。
  - ・未セットアップ状態の通知
  - ・エラー発生時のブザー音
  - ・カード抜き忘れ警告
  - ・ETC2.0 ユニットでの利用履歴の確認
  - ・ETC2.0 ユニットの音量調整時の案内
- 音声案内を中止（音量0）、または音量 1 に設定してあっても、エラー発生時には音量2で出力されます。
- ETC2.0 ユニットが未セットアップ状態（セットアップ手続きをしていない状態）の通知は、ETC2.0 ユニットを消音（音量 0）にすると出力されません。

ETC2.0 ユニットでセットアップ情報を確認する

ETC2.0 ユニットでのセットアップ情報を音声で確認できます。

- カード未挿入状態で ETC2.0 ユニットの電源を入れ、緑ランプと橙ランプが点灯中に利用履歴確認スイッチを押し続けると、セットアップ情報通知モードが起動します。
- セットアップ情報通知モードに入ると、車載器管理番号を通知します。その後、利用履歴確認スイッチを押す毎に、型式登録番号、型式、ETC セットアップカード発行年月日、DSRC （ETC2.0）セットアップカード発行年月日の順に通知します。DSRC（ETC2.0）セットアップカード発行年月日の通知の後に利用履歴確認スイッチを押すと、車載器管理番号の通知に戻ります。
- セットアップ情報通知モード起動後は、以下の操作を行うことによりモード状態を抜け、ETC2.0 ユニットは通常の動作となります。
  - ・ETC カード挿入
  - ・エンジン／パワースイッチの操作
  - ・セットアップ情報通知の発話終了から約 1 分後

4. ETC 画面の操作

ETC 画面を表示する

1 MENU ▶ 情報・G → （情報） → ETC

2 ETC 画面が表示される。

ETC カードメッセージについて

現在のETC2.0ユニットの状態が表示されます。

メッセージ	状態
ETC カード確認中	ETC カードを読み込んでいます。
ETC カード挿入済み	ETC カードが挿入されていることを確認しました。
システム異常	ETC2.0 ユニットまたは ETC アンテナに何らかの異常が発生しています。
ETC カード異常	ETC カードを読み込むことができませんでした。
ETC カード未挿入	ETC カードが挿入されていません。
未セットアップ	ETC2.0ユニットがセットアップされていません。
セットアップ完了	ETC2.0ユニットがセットアップされました。

ETC 割込表示について

有料道路にある ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。

ETC カードを ETC2.0 ユニットに挿入したときの認証状態や、ETC カードの有効期限が切れている、または当月末で切れるときは、表示とともに音声でも案内されます。

知 識

- 地図を表示しているときの通行料金案内は、通知設定画面の ETC 割込表示（→ P.374）を「しない」に設定しているときでも、画面左上に表示されます。
- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
  また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声による案内は行われない場合があります。
- ETC カードの認証や有効期限切れ案内は、エンジン／ハイブリッドシステム始動前または始動後約 20 秒以内に ETC カードを挿入すると、音声案内および画面表示がされない場合があります。

ETC マーク表示について

ETC カードを挿入すると、画面上部のステータスバーに ETC マークが表示されます。

- ETCマーク表示はカード挿入状態を表しており、必ずしも ETC ゲートを通過できることを表してはいません。
- ETC カードの有効期限が切れている場合は、ETC マークは表示されません。

履歴を表示する

1 MENU ▶ 情報・G → （情報） → ETC

2 履歴情報表示 を選択。

3 履歴表示を切り替える。

最新 ：最新の履歴に戻る

詳細 ：利用区間を表示する

⚠ 注意

- ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができなくなるなど、ETC レーンに設置されている開閉バーが開かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知 識

- 表示させることができる履歴は、ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。（最大 100 件）
- 道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。

統一エラーコードを表示する

最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

1 MENU ▶ 情報・G → （情報） → ETC

2 エラー発生時、登録情報表示 を選択。

ETC2.0 登録情報を表示する

お客様の車のETC2.0ユニットに登録された情報が表示されます。

1 MENU ▶ 情報・G → （情報） → ETC

2 登録情報表示 を選択。

- エラー発生時は、最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

4. ETC 画面の操作

ETC の通知設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → ETC → 通知設定

2 設定したい項目を選択。

3 する または しない を選択。

次の設定を変更することができます。

項目	内容
ETC 割込表示	「ETC 割込表示」（→ P.372）
ETC 音声案内	ETC2.0 ユニットを利用するときに、音声を出力します。
ACC オン時警告表示	エンジン／パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ON モードにしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告します。
ACC オン時警告音声案内	エンジン／パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ON モードにしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告します。
カード抜き忘れ警告	ETC カードが挿入されている状態で、エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ON モードから OFF にしたとき、カードの抜き忘れを ETC2.0 ユニットからの音声で警告します。

知 識

- 通知設定画面で ETC 割込表示を「しない」に設定すると、エラー発生時に統一エラーコードが画面表示されません。ETC 画面の 登録情報表示 で確認してください。（→ P.373）

5. エラーコードについて

統一エラーコード一覧について

エラーが発生すると、統一エラーコードが画面に表示されます。
この場合は、次の表にもとづき、処置をしてください。

（例）エラー 01 が発生したときは、次のように音声で案内されると同時に、統一エラーコードが画面に表示されます。
音声案内：「ポーン ETC カードが挿入されていません」
画面表示：「ETC カードが挿入されていませんコード〔01〕」

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処置
01	ETC カード挿入異常	• ETC カードが通信時に挿入されていない • ETC カードの挿入状態が悪い	ETC カードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。
02	データ処理異常	• ETC カードへの読出し、書込みエラー • ETC カードと ETC2.0 ユニットの接点不良（ETC カードアクセス中の瞬断） • 読出し中、書込み中カードのイジェクト	**［ETC カード挿入時］** 挿入された ETC カードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。 **［ETC ゲート通過前］** 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。 車両停止後、料金所係員の指示にしたがってください。 **［ETC ゲート通過後］** 次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。料金所係員のいる一般レーン（ETC ／一般 共用レーンを含む）へ進入してください。
03	ETC カード異常	• ETC カードが故障している • ETC カード以外のカードが挿入され、通信しない • ETC カードの誤挿入（裏面、挿入方向違い）	挿入されたカードが ETC カードであることを認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。 それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。
04	ETC2.0 ユニット故障	自己診断結果により、ETC2.0 ユニットが故障している	再度エンジン／ハイブリッドシステムを始動してみてください。それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。

5. エラーコードについて

統一エラーコード	異常状態	想定される要因	処置
05	ETC カード情報の異常	• ETC カードとの認証エラー • ETC カード以外の IC カードが挿入 • 認証中 ETC カードのイジェクト • 未セットアップ状態での ETC カードの挿入	挿入されたカードが ETC カードであることを認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認のうえ、再度挿入してください。 それでも異常のときは、レクサス販売店へお問い合わせください。
06	ETC2.0 ユニット情報の異常	路側無線装置との認証エラー	ETC2.0 ユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。料金所係員の指示にしたがってください。
07	通信異常	路側無線装置との通信が途中で終了	
	アンテナ接続異常	ETC アンテナの結線が外れている場合	カードを抜くと異常警告が止まります。ETC の利用を中止して、レクサス販売店へお問い合わせください。

知 識

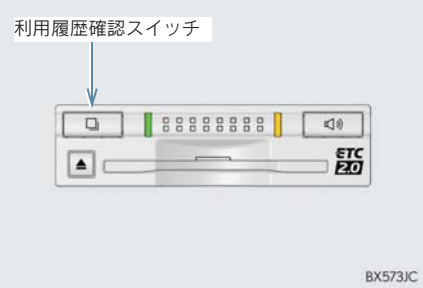
- 以下の設定にした場合は、エラーが発生しても音声案内は出力されません。ETC2.0 ユニットからブザー音のみが出力されます。
  - ・ 通知設定画面で、ETC 音声案内（→ P.374）を「しない」に設定したとき
  - ・ ナビゲーションの音量設定画面（→ P.27）で、「消音」に設定したとき
- ETC カード未挿入お知らせアンテナなどと通信した際に、統一エラーコード〔01〕と通知されることがありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。
- ETC2.0 ユニットの無線通信を利用して、駐車場管理システムが運用されています。有料道路の料金支払いと異なる通信を行った場合、画面表示・ 登録情報表示 で確認できる統一エラーコードが〔01〕もしくは〔07〕と表示されることがありますが、ETC2.0 ユニットの故障ではありません。
- ETC ゲート通過後にエラーが発生した場合、 ETC カードを抜くとエラー音が停止します。
  この場合、再度 ETC カードを挿入すると、「ポーン ETC カードが挿入されました」の音声と同時に緑ランプが点灯しますが、次の料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。

記録されている統一エラーコードを確認する

ETC2.0 ユニットは、最後に発生した統一エラーコードを記録しています。

1 ETC カードが挿入されている場合は、ETC カードを抜く。

2 利用履歴確認スイッチを約 2 秒以上押す。



● 最後に案内された統一エラーコードが音声で案内されます。
なお、統一エラーコードの確認は、ETC 画面でも行うことができます。
(→ P.373)

6. インターネット接続サービスについて

ETC2.0 サービスのインターネット接続サービス提供エリア内では、施設から提供される様々な情報をナビ画面に表示し、利用することができます。

インターネット接続サービスの利用方法について

1 SA・PA、道の駅内の ITS スポット駐車エリアに駐車し、シフトレバーを P にした後、パーキングブレーキをかける。

知 識

- 利用可能な駐車エリアについては、以下のホームページをご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/tenkai.html

2 MAP を押す。

3 利用可能な場合は、割込み画面が表示され、画面左上に ITS スポットアイコンが表示される。

4 MENU を押す。

5 情報・G を選択。

- G-Link 画面が表示されたとき
  ➡ 情報 を選択。

6 情報接続 を選択。

- フルブラウザ画面が表示されます。フルブラウザ画面については、「フルブラウザ画面で操作する」（→ P.381）をご覧ください。
- フルブラウザ画面を終了するとき
  ➡ MAP を押す。

⚠ 注意

- フィッシング詐欺、ウイルス感染のおそれがあるため、閲覧するサイトは十分注意してください。

知 識

- インターネット接続サービスは、ETC カード挿入の有無に関わらず提供されます。
- 走行中は使用することができません。
- ITSスポットエリア外では使用できません。

6. インターネット接続サービスについて

故障とお考えになる前に

症状	考えられること	処置
ITS スポットアイコンが出ない。	地図画面以外を表示していませんか。	現在地画面を表示させてください。（→ P.54）
	シフトレバーが P 以外ではありませんか。	シフトレバーを P にした後、パーキングブレーキをかけてください。
	ITSスポットの通信エリア外ではありませんか。	ITS スポットの駐車枠内に車両を移動してください。
	車両とITSスポット間の障害物により、電波が遮蔽されて通信に失敗していることが考えられます。	ITS スポットの駐車枠内での車両の移動により、症状が解消される場合があります。
	ITSスポットが稼動していないことが考えられます。	VICS センターに路側無線装置の稼動状況を確認してください。
「ITS スポット情報接続サービスをご利用できません　ご利用可能なエリアについては取扱説明書または販売店にご確認ください」が表示される。	ITSスポットアイコンが表示されない状態で、情報接続を選択していませんか。	ITS スポットアイコンを確認してから 情報接続 を選択してください。
「ITS スポットに接続できませんでした」が表示される。	車両とITSスポット間の障害物により、電波が遮蔽されて通信に失敗していることが考えられます。	エンジン／パワースイッチを OFF ／ ON する、または ITS スポットの駐車枠内で車両の移動をして、フルブラウザ画面で を選択することにより症状が解消される場合があります。
	ITSスポットのフルブラウザコンテンツを閲覧中に、G-Linkコンテンツを閲覧し、再度 情報接続 を選択していませんか。	エンジン／パワースイッチを OFF ／ ON することにより、症状が解消される場合があります。
フルブラウザのコンテンツ上にエラーメッセージが出る。 例：404 Not Found	ITSスポットからエラーの通知が送られてきています。	VICS センターに路側無線装置の稼動状況を確認してください。

6. インターネット接続サービスについて

症状	考えられること	処置
同じコンテンツでも表示時間にばらつきがある。	複数のユーザーがITSスポットを利用していることが考えられます。	他のユーザーの利用状況により、症状が改善される場合があります。
	車両とITSスポット間の障害物により、電波が遮蔽され通信時間がかかることが考えられます。	ITS スポットの駐車枠内で車両の移動をして、フルブラウザ画面で ↻ を選択することにより症状が改善される場合があります。
フルブラウザのコンテンツ上に「メモリーオーバー」が表示される。	コンテンツサイズが大きいことが考えられます。	他のコンテンツを閲覧してください。
コンテンツの表示に数分以上の時間がかかる。		
フルブラウザ上の表示が変わらない。	車両とITSスポット間の障害物により、電波が遮蔽されて通信に失敗していることが考えられます。	ITS スポットの駐車枠内で車両の移動をして、フルブラウザ画面で ↻ を選択することにより症状が解消される場合があります。
フルブラウザのコンテンツ上に「走行中はご利用できません」と表示される。	フルブラウザ画面を表示したまま車両を走行させませんでしたか。	ITS スポットの駐車枠内に駐車し、シフトレバーを P にした後、パーキングブレーキをかけてください。
フルブラウザのコンテンツ上に「ITS スポット通信が切断されました 「現在地」釦からブラウザを終了してください」が表示される。	フルブラウザ画面を表示したままITSスポットの通信エリア外に出ませんでしたか。	フルブラウザ画面を終了した後に、車両を ITS スポットの通信エリア外に移動してから、再度駐車枠に戻って操作してください。
	車両とITSスポット間の障害物により、電波が遮蔽されて通信に失敗していることが考えられます。	ITS スポットの駐車枠内での車両の移動後、情報接続 を選択すると、症状が解消される場合があります。
フルブラウザの特定のコンテンツが表示できない。 エラーが表示される。	フルブラウザがコンテンツに対応していないことが考えられます。	本書の「フルブラウザ画面で操作する」（→ P.381）を参照してください。

7. フルブラウザ

フルブラウザ画面で操作する

フルブラウザは、ITS スポットを通じてサービスエリア内の施設から提供される様々な情報の表示や操作を行います。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。

番号	スイッチ	機能	ページ
1	更新／中止※	↻：コンテンツの再読み込みをして画面を更新する（コンテンツの読み込みが完了または中断しているときに表示） ×：コンテンツの読み込みを中止する（コンテンツの読み込み中に表示）	—
2	戻る／進む	ページを切り替える。	—
3	プレビュー	同時に表示しているコンテンツの一覧を表示する。	382
4	ブックマーク	登録したブックマークからコンテンツを選択する。	383
		表示中のページをブックマークに登録する。	
		登録したブックマークを編集する。	
		コンテンツの閲覧履歴を表示する。	
5	メニュー	表示中のコンテンツ内で文字検索する。	384
		各種項目を設定する。	

7. フルブラウザ

※コンテンツの読み込み中に × を選択したり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。
この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。
・ を選択して、コンテンツを再取得する。
・ を選択していったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。

● 選択可能なスイッチ以外の表示を選択すると、リモートタッチノブで表示をスクロールできます。

● ・ を押すと、コンテンツ表示を拡大・縮小できます。

プレビュー画面を操作する

番号	スイッチ／表示	機能
1	×	コンテンツの表示を終了する。
2	プレビュー画像	選択したコンテンツに切り替える。
3	新規ページ	新たなプレビュー画像（空白ページ）を表示する。

ブックマーク画面を操作する

番号	スイッチ／表示	機能
1	追加	**表示中のページをブックマークに登録できます。** • コンテンツのタイトル名を入力し、登録するフォルダを選択します。
2	編集	**登録したブックマークを編集できます。** • 新しいフォルダの作成やブックマークしたコンテンツの表示順の並べ替え／削除ができます。
3	閲覧履歴	**閲覧履歴からコンテンツを選択できます。** • その日に閲覧したコンテンツ一覧の表示や閲覧履歴の削除ができます。
4	登録コンテンツ名	**コンテンツを表示します。**
5	フォルダ名	**登録したコンテンツ一覧／フォルダ一覧を表示します。**

- ∧ ・ ∨ を押すと、選択するコンテンツを切り替えることができます。

7. フルブラウザ

メニュー画面を操作する

番号	スイッチ	機能
1	コンテンツ検索	コンテンツ内の文字を検索する。
2	ブラウザオプション	ブラウザに関する項目を設定する。

■設定項目一覧

項目	機能
フォントサイズ	コンテンツの表示サイズを設定できます。
表示方法	コンテンツの表示を、PC（パソコン用のコンテンツ）またはモバイル（スマートフォン用のコンテンツ）に設定できます。
Cookie の受け入れ	Cookie の機能について設定できます。 • ON（常に）：すべての Cookie 機能を受け入れる • ON（訪問先）：閲覧したサイトの Cookie 機能のみ受け入れる • OFF：すべての Cookie を受け入れない
閲覧履歴の記録	閲覧したコンテンツの記録を、履歴に残す（ON）または残さない（OFF）に設定できます。
JavaScript の実行	JavaScript を実行する（ON）または実行しない（OFF）に設定できます。
ポップアップブロックの実行	ポップアップをブロックする（ON）またはブロックしない（OFF）に設定できます。
画像の自動読込	画像を自動で読み込む（ON）または読み込まない（OFF）に設定できます。
現在地の取得	現在地情報の取得について設定できます。 • ON（警告なし）：警告を表示しないで現在地を取得する • ON（警告あり）：警告を表示してから現在地を取得する • OFF：現在地を取得しない
閲覧履歴の削除	閲覧履歴をすべて削除できます。
Cookie の削除	Cookie をすべて削除できます。
キャッシュの機能	キャッシュをすべて削除できます。

● ∧ ・ ∨ を押すと、選択する項目を切り替えることができます。

7. フルブラウザ

テキストメニュー画面を操作する

コンテンツ閲覧中の画面でテキスト部分を長押しするとテキストメニュー画面が表示されます。

番号	スイッチ	機能
1	テキスト左選択	カーソルを左に動かす。
2	始点・終点切替	カーソルの始点と終点を切り替える。
3	テキスト右選択	カーソルを右に動かす。
4	電話	カーソルで選択している電話番号に電話をかける。 （→ P.406）

7. フルブラウザ

1 お使いになる前に

1. ハンズフリーについて 390
Bluetooth 携帯電話について.....392
ハンズフリーが使用できないとき 392
お車を手放すとき.....393
音声について.....393
受信レベル表示について 394
電池残量表示について 394
Bluetooth 接続状態表示について 395

2. Bluetooth機器使用上の注意事項について 396
Bluetooth オーディオと同時に使用するとき.....396

2 ハンズフリーの基本操作

1. ハンズフリーの準備をする 397
ハンズフリーの設定をする 397
携帯電話を登録する.....397
携帯電話を接続する.....397
Bluetooth 接続の再接続について 399
通信モジュール（DCM）の使用について 399

2. ステアリングスイッチで操作する..... 400

3. 電話をかける／受ける 401
ダイヤル発信する.....401
電話を切る 402
電話を受ける.....402

3 ハンズフリーの便利な使い方

1. 色々な方法で電話をかける.....403
電話画面を表示する 403
電話帳から発信する 403
履歴から発信する 404
ワンタッチ発信する 405
音声認識で発信する 405
ナビ画面から発信する 406
フルブラウザ画面から発信する..... 406
携帯電話本体から発信する 407

2. 着信中画面の操作 408
電話を保留する（応答保留）..... 408
着信を拒否する 408

3. 通話中の操作 409
受話音量を調整する 409
送話音量を調整する 409
送話音をミュート（消音）する..... 409
通話を転送する 410
割込通話の操作 410
10 キー入力する 411

4. 簡易画面について 412

8

ハンズフリー

4 ハンズフリーの設定を変更する

1. 設定・編集画面を表示する 413

電話の設定・編集をする 413

Bluetooth の設定・編集をする.....413

2. 音量の設定をする 414

音設定画面を表示する 414

3. ハンズフリーの詳細設定を変更する..... 415

通知設定画面.....415

電話帳／履歴設定画面 416

4. 電話帳を編集する 417

電話帳について.....417

電話帳／履歴設定画面を表示する 417

携帯電話の電話帳データを転送する 418

電話帳に新規データを追加する 420

電話帳のデータを修正する 421

電話帳のデータを削除する 422

ワンタッチダイヤルを登録する 422

ワンタッチダイヤルを削除する 423

履歴データを削除する 423

5. Bluetooth設定をする 424

Bluetooth 電話機の登録を削除する..... 424

使用する通信機器を選択する 424

電話機詳細情報を確認する 425

電話機詳細情報を表示する 426

本機の Bluetooth 情報を編集する 430

5 こんなときは

1. 故障とお考えになる前に.....432

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店にご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書で使用している画面は、特に注記のない限り、携帯電話使用時の画面を使用しています。

1. ハンズフリーについて

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。
また、G-Link でオプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約された場合は、携帯電話がなくても、通信モジュール（DCM）を使用してハンズフリー機能が利用できます。

※ 本機で動作確認済みの機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp でご確認ください。

本システムに接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■対応 Bluetooth 仕様

- Bluetooth Specification Ver.2.0 以上（Ver.3.0+EDR 以上を推奨）

■対応 Profile

プロファイル	内容	要求バージョン	推奨バージョン
HFP (Hands Free Profile)	ハンズフリーを行うためのプロファイル	Ver. 1.0以上	Ver. 1.6
OPP (Object Push Profile)	電話帳データの転送を行うためのプロファイル	Ver. 1.1以上	Ver. 1.2
DUN (Dial-up Networking Profile)	インターネットにダイヤルアップ接続するためのプロファイル	Ver. 1.1以上	Ver. 1.2
PBAP (Phone Book Access Profile)	電話帳データおよび通話履歴などの同期を行うためのプロファイル	Ver. 1.0以上	Ver. 1.1
SPP (Serial Port Profile)	Bluetooth搭載機器を仮想シリアルポートかするためのプロファイル	Ver. 1.1以上	Ver. 1.2

警告

- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。
- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短にしてください。

1. ハンズフリーについて

⚠ 注意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

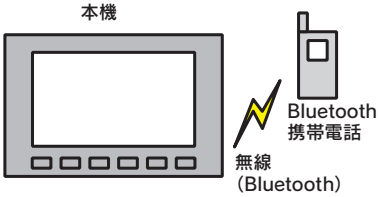
1. ハンズフリーについて

Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、本機と携帯電話との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth 携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

例えば、ポケットなどに携帯電話をいれたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。



7CYJ002

※ 本システムでは、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。

注意

- Bluetooth 携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

知 識

- Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 携帯電話は、Bluetooth 接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG,inc が所有する登録商標であり、「アイシン・エィ・ダブリュ株式会社」は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび称号は、各所有権者が所有する財産です。

ハンズフリーが使用できないとき

- 次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。
  - ・通話エリア外のとき
  - ・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
  - ・緊急通報中のとき

  また、ハンズフリーを携帯電話で使用するときは、次の場合もハンズフリーを使用することができません。
  - ・携帯電話から電話帳データを転送中のとき
  - ・携帯電話がダイヤルロックされているとき
  - ・データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
  - ・携帯電話が故障しているとき
  - ・携帯電話が本機に接続されていないとき
  - ・携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
  - ・携帯電話の電源が OFF のとき
  - ・携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
  - ・本機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき
    （切り替え中は本機の Bluetooth 接続状態表示が表示されません。）
  - ・その他、携帯電話自体が使えないとき

1. ハンズフリーについて

知 識

- 三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。
- ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。
  - ・ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。
    また、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
  - ・着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→ P.36)

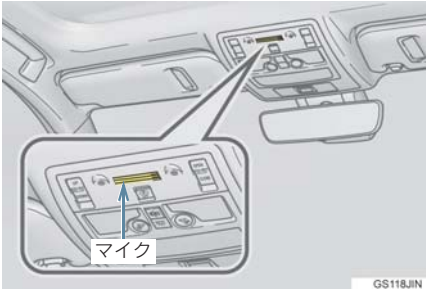
なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態に戻すことはできません。

間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

- ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。
  - ・電話帳データ
  - ・画像データ
  - ・発信または着信の履歴データ
  - ・ワンタッチダイヤル
  - ・Bluetooth 電話機の登録情報
  - ・ロック No.
  - ・ハンズフリー関連の設定・編集項目

音声について

- 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。



- 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声などはミュート（消音）されます。ただし、ハンズフリーより優先される音声（ナビ案内など）は、ミュート（消音）されません。

知 識

- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きい場合、次のようになることがあります。
  - ・通話相手の音声が車外にもれる。
  - ・通話相手側にエコーが聞こえる。
- 音声は大きくはっきりとお話しください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  - ・悪路走行時
  - ・高速走行時
  - ・窓を開けているとき
  - ・エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - ・エアコン送風の音が大きいとき
  - ・携帯電話をマイクに近づけたとき

1. ハンズフリーについて

(知 識)

- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 他の Bluetooth 対応機器（ポータブル機）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

受信レベル表示について

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、携帯電話を使用する場合、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

受信レベル表示

▶ 携帯電話使用時

表示					
レベル	圏外	弱	←→		強

▶ 通信モジュール（DCM）使用時

表示	DCM	DCM	DCM	DCM	
レベル	圏外	弱	←→		強

(知 識)

- 「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点にも注意してください。
  - ・受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
  - ・機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
  - ・「未接続」の表示が出ているときは、携帯電話が本機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth 接続してからご利用ください。

電池残量表示について

▶ 携帯電話使用時

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

電池残量表示

表示				
残量	無	少	←→	多

(知 識)

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本システムには携帯電話の充電機能はありません。

Bluetooth 接続状態表示について

▶ **携帯電話使用時**

携帯電話の Bluetooth 接続状態を表示します。

Bluetooth 接続状態表示

表示	接続状態
	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になるまで、携帯電話を移動してご使用ください。
	携帯電話が Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話でのハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。(→ P.424) 携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。(→ P.32)

(知 識)

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナが本機内に内蔵されています。
  次のような場所や状態で Bluetooth 携帯電話を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が灰色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  - ・携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
    (携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
  - ・携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

  Bluetooth 携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。
- サイド画面に常時、Bluetooth 接続状態と携帯電話の受信レベル情報を確認することができます。

2. Bluetooth 機器使用上の注意事項について

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

警告

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

知 識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

Bluetooth オーディオと同時に使用するとき

- Bluetoothオーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のようになります。
  - ・携帯電話のBluetooth接続が切断されることがあります。
  - ・ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
  - ・ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。
- Bluetoothオーディオを再生中にハンズフリーで使用する通信機器の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。
- 電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがあります。
この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店または http://lexus.jp でご確認ください。

1. ハンズフリーの準備をする

ハンズフリーの設定をする

ここでは、ハンズフリーを使用するための基本的な操作について説明しています。

初めてハンズフリーを使われる方やすぐにハンズフリーを使いたいという方は、まずこの章をご覧の上、操作してみてください。

ハンズフリーを使用する前に、まず使用する通信機器の設定をします。

本システムは携帯電話を接続して使用しますが、オプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約された場合は、通信モジュール（DCM）を使用してハンズフリー機能が利用できます。

項目	ページ
携帯電話を使用するとき	32
通信モジュール（DCM）を使用するとき	399

携帯電話を登録する

Bluetooth 携帯電話を使用するためには、携帯電話を本機に初期登録する必要があります。（→ P.32）

携帯電話を接続する

Bluetooth 携帯電話の本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

知 識

- 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth オーディオの再生中に接続動作を行った場合、オーディオ再生しているポータブル機、または携帯電話の接続を切断します。
- Bluetooth オーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中に Bluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。
- 携帯電話接続時の動作が不安定な場合は、一度通話を切り、再度接続してください。

携帯電話を自動で接続する

Bluetooth 詳細設定の自動接続（→ P.430）を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

エンジン／パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ON モードにするたびに、本機は過去の接続履歴順に Bluetooth 接続します。

1. ハンズフリーの準備をする

■Bluetooth 接続確認表示

Bluetooth 詳細設定の電話機の接続確認表示（→ P.431）で「する」を選択しているときは、電話機が Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。

ハンズフリーを携帯電話で使用するときは、表示をご確認ください。

- Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。（→ P.395）

知 識

- 接続完了の表示は、エンジン／パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにした後、携帯電話と Bluetooth 接続完了したときに表示されます。
（ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。）
- 携帯電話の機種によってはエンジン／パワースイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。
（設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）
- PBAP に対応している携帯電話を接続すると、電話帳、発着信履歴は自動で同期を取ります。

■自動接続できなかった場合

接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ P.398）

携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

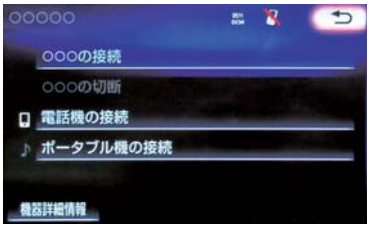
電話画面表示中（→ P.403）

1 携帯電話を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 接続 を選択。

3 使用する携帯電話を選択。

4 電話機の接続 または ポータブル機の接続 を選択。



5 Bluetooth 接続画面が表示される。

● 他の機器を Bluetooth 接続しているときは、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

6 再び電話画面が表示されたら、Bluetooth 接続状態表示を確認する。

● 良好な状態であれば携帯電話が使用できます。

知識

● 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。
● 携帯電話を接続すると、Bluetooth 詳細設定の自動接続が「する」に設定されます。

Bluetooth 接続の再接続について

エンジン／パワースイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードのときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を自動的に行います。この場合、再接続が完了すると接続完了が表示されます。

知識

● 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ P.398）
● 前回のエンジン／パワースイッチ ON 時に接続していた電話機に、優先的に接続されます。

Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

携帯電話側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

● 次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	398
改めて携帯電話を選択する	424

通信モジュール（DCM）の使用について

オプションの自動車専用ハンズフリー電話を契約された場合は、通信モジュール（DCM）を使用してハンズフリーを利用することができます。

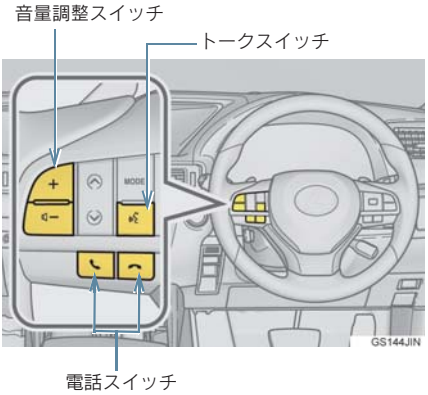
● 通信モジュール（DCM）でのハンズフリーを選択した場合は、次に電話機選択で携帯電話を選択するまで通信モジュール（DCM）でのハンズフリーとなり、携帯電話でのハンズフリーが使用できなくなります。

通信モジュール（DCM）を使用する場合は、「使用する通信機器を選択する」（→ P.424）で通信モジュール（DCM）を選択します。

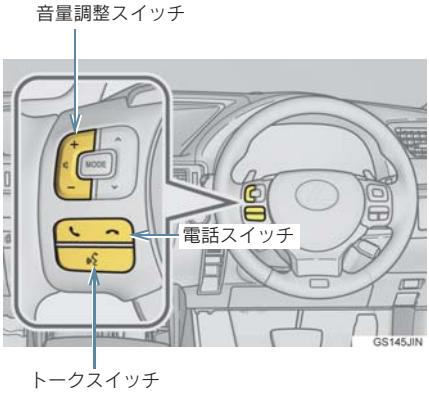
2. ステアリングスイッチで操作する

電話の主な操作は、ステアリングスイッチでも操作することができます。

▶GS450h/GS300h/GS350/GS250



▶GS F



スイッチ	使用状況	機能
音量調整スイッチ	着信時 ハンズフリー会話時	＋：受話音量・着信音量が大きくなります。 －：受話音量・着信音量が小さくなります。 • 押し続けても連続して調整できません。
	着信時 応答保留時	電話をとることができます。
	が画面に表示されているとき	電話をかけることができます。
	ハンズフリー以外の画面が表示されているとき	ハンズフリー画面に切り替わります。
	着信時	応答保留することができます。
		約 2 秒間長押しすると、着信拒否することができます。
	応答保留時	着信拒否することができます。
	発信中 通話中	電話を切ることができます。 • 音声操作で電話をかけている場合、操作が中止されます。
	ハンズフリー画面表示時	ハンズフリー画面を消すことができます。
トークスイッチ	-	音声操作で電話をかけることができます。 • 音声操作中に約 2 秒間長押しすると、操作が中止されます。

3. 電話をかける／受ける

ダイヤル発信する

電話番号を入力して電話をかけることができます。

1 停車中に次のいずれかの操作をする。

- ステアリングスイッチの スイッチを押す。
- MENU ▶ 電話 → ダイヤルパッド の順に選択。
  - ・携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。
    はい を選択すると、携帯電話の登録（→ P.32）を開始します。

2 電話番号を入力する。

3 ステアリングスイッチの スイッチを押す、または を選択。

- 発信できたとき
  ➡ 発信画面が表示される。
  - ・発信音が出力された後、呼び出し音が出力されます。
- 相手が電話に出たとき
  ➡ 通話中画面が表示され、通話を開始する。

- その他の電話のかけ方について
  ➡「色々な方法で電話をかける」（→ P.403）

知 識

- 電話画面を表示しているときに走行を開始すると、メッセージが表示され 10 キーが操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。
- ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
  - ・Bluetooth 携帯電話は、本機に携帯電話を登録して Bluetooth 接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。（→ P.32）
  - ・携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。
    携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
  - ・Bluetooth 接続状態表示が切断表示の場合は、携帯電話でのハンズフリーはご使用になれません。
- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
  - ・発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
  - ・通信事業者のサービスにより発信中画面で 10 キー入力する必要がある場合、10 キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10 キー入力については、「10 キー入力する」（→ P.411）をご覧ください。
- Bluetooth オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。
- 携帯電話の機種により、発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。
- ステアリングスイッチの スイッチは、単押しで電話モードに切り替えることができ、長押しで発信できます。

3. 電話をかける／受ける

電話を切る

1 次のいずれかの操作をする。

・ステアリングスイッチの スイッチを押す。
・発信中または通話中画面で を選択。
・携帯電話本体で電話を切る。
（携帯電話接続時）

知 識

● 電話が切れると 1 つ前の画面に戻ります。

電話を受ける

着信があると、表示中の画面に関わらず着信画面で着信を知らせます。着信画面は、着信割込み表示の設定（→ P.415）により表示画面が異なります。ここでは、「全画面」に設定したときの画面で説明します。

簡易画面については、「簡易画面について」（→ P.412）をご覧ください。

サイド画面表示の場合は、サイド画面で操作します。（→ P.548）

1 次のいずれかの操作をして、電話を受ける。

・ステアリングスイッチの スイッチを押す。
・ を選択。

知 識

● 周辺監視画面表示中は、着信中画面を表示しません。着信音のみで着信を通知します。
● 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声（ナビ案内など）は、ミュートされません。
● ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
・ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
・携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定していても、本機に登録されている着信音が出力されます。
・着信音については、
①車両のスピーカーから聞こえる
②両方から聞こえる
など、機種によって異なります。着信音は本機に登録されている音が出力されます。
・機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
・携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
・携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
・Bluetooth オーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。
● PBAP に対応している携帯電話で、電話帳の画像データが転送された場合、着信時の画像表示（→ P.416）が「する」に設定されていると、電話番号と共に画像が表示されます。

1. 色々な方法で電話をかける

ここでは、ダイヤル発信以外の電話のかけ方について説明します。

電話画面を表示する

1 停車中に次のいずれかの操作をする。

・ステアリングスイッチの スイッチを押す。

・ MENU ▶ 電話 の順に選択。

● この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

発信方法	内容	ページ
ワンタッチ発信	ワンタッチダイヤルから電話をかける	405
履歴発信	発信または着信の履歴から電話をかける	404
電話帳発信	本機の電話帳から電話をかける	403
ダイヤル発信	電話番号を入力して電話をかける	401

● その他、次の方法で電話をかけることもできます。

発信方法	内容	ページ
音声認識発信	音声認識で電話をかける	405
ナビからの発信	ナビに登録しているデータ、または G-Link で検索したデータから電話をかける	406
フルブラウザ画面からの発信	ITS スポットのフルブラウザ画面から電話をかける	406

知 識

● データ通信中に電話をかけようとすると、メッセージが表示されます。
データ通信を終了しても良い場合は、 はい を選択してください。データ通信を終了したくない場合は、 いいえ を選択し、データ通信が終了してから、再度電話をかけてください。

電話帳から発信する

電話番号を本機に登録（→ P.417）しておくと、電話帳から電話をかけることができます。

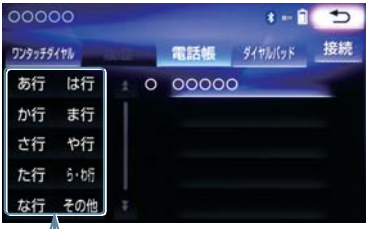
電話画面（→ P.403）

1 電話帳 を選択。

● 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。
・PBAP に対応していない携帯電話の場合、 編集 を選択すると、電話帳名称変更画面（→ P.420）が表示されます。 転送 を選択すると、電話帳転送画面（→ P.418）が表示されます。
・PBAP に対応している携帯電話の場合、 はい を選択すると電話帳転送を行います。

1. 色々な方法で電話をかける

2 希望の通話相手を選択。



ショートカットスイッチ

- 接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示されます。
- 次のいずれかを選択すると、ショートカットスイッチが切り替わります。
  その他：英数字ショートカット
  50 音：50 音ショートカット
- 英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。
  （例）ABC を 2 回選択すると、B で始まるデータのリストが先頭に表示されます。

3 希望の電話番号または を選択。

- PBAP に対応している携帯電話で画像表示設定をしている場合、携帯電話から画像情報が表示されると、電話番号と共に画像が表示されます。

履歴から発信する

発信または着信の履歴として登録されている電話番号から電話をかけることができます。
最新の履歴 30 件を表示できます。

1 電話画面（→ P.403）→ 履歴

2 希望の通話相手を選択。

通話／不在着信／着信拒否アイコン

3 希望の電話番号または を選択。

知 識

- 履歴が 30 件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。
- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - ・本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
  - ・同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - ・本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
  - ・同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
  - ・不在着信および着信拒否も登録されます。
  - ・相手先電話番号の情報がない場合は、「通知不可」と登録されます。

ワンタッチ発信する

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルとして登録（→ P.422）しておくと簡単な操作で電話をかけることができます。
ワンタッチ発信は走行中でも使用することができ、サイド画面からもかけることができます。（→ P.548）

電話画面（→ P.403）

1 ワンタッチダイヤル を選択。

2 発信したい電話番号を選択する。

知 識

- ステアリングスイッチの スイッチを押すと、リストの先頭にある連絡先に発信します。

音声認識で発信する

- 音声認識発信のしかたについて
  ➡「電話をかける」（→ P.306）

音声認識発信を中止する

1 次のいずれかの操作をする。

・「音声認識モードを中止する」（→ P.297）

・ステアリングスイッチの スイッチを押す。

知 識

- 音声認識中に着信した場合やハンズフリー以外の画面に切り替えた場合は、認識動作を中止します。
- 音声認識発信は走行中でも使用できます。
- 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。
  この場合、切り替え中は現在地画面が表示されますので、電話画面に切り替わるまではナビの操作をしないでお待ちください。
- データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

1. 色々な方法で電話をかける

ナビ画面から発信する

ナビ画面で ☎ または 電話をかける が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1 ☎ または 電話をかける を選択。

電話画面の 交通ナビ の操作

- 電話画面で 交通ナビ を選択すると、ナビの交通ナビ関連画面が表示され、ここからも電話をかけることができます。（→ P.169）

フルブラウザ画面から発信する

ITS スポットのフルブラウザ画面から発信することができます。

テキストメニュー画面（→ P.386）

1 ☎ を選択。

2 はい を選択。

知 識

- フルブラウザ画面から電話発信可能な文字は、半角の “0 ～ 9”、“#”、“*”、“+”、“-” です。これら以外の文字は発信できません。

携帯電話本体から発信する

▶ **携帯電話使用時**

本機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であれば、ハンズフリー画面を表示することができます。

1 次のいずれかの操作をする。

・ステアリングスイッチの スイッチを押す。

・ MENU ▶ 電話 の順に選択。

● ハンズフリー通話 以外のスイッチは、操作できません。

● 画面スイッチを使用したいとき
➡ 通話転送の操作をする。（→ P.410）

警告

● 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

知 識

● 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
・携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
・単独で通話中の携帯電話が本機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。

● 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

2. 着信中画面の操作

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。
簡易画面表示の場合は、サイド画面で操作します。（→ P.548）

電話を保留する（応答保留）

1 着信中、ステアリングスイッチの スイッチを押す、または を選択。

● 応答保留を解除して通話するとき

➡ ステアリングスイッチの スイッチを押す、または を選択。

● 応答保留中に電話を切るとき

➡ ステアリングスイッチの スイッチを押す、または を選択。

知識

● ハンズフリーを携帯電話で使用する場合は、次のようなことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

着信を拒否する

携帯電話使用時は、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

1 次のいずれかの操作をする。

- ステアリングスイッチの スイッチを長押しする。
- を選択し続ける。

● 着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

3. 通話中の操作

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。
簡易画面表示の場合は、サイド画面で操作します。(→ P.548)
(1) 受話音量の調整
(2) 送話音量の調整
(3) 送話音のミュート
(4) 通話の転送
(5) 割込通話
(6) 10 キーの入力

知 識

● ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
・ 単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
・ ハンズフリーで通話中にエンジン／パワースイッチを操作すると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。
なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジン／パワースイッチがアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ON モードあれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(→ P.410)

受話音量を調整する

1 次のいずれかの操作をする。

・ − または ＋ を選択。
・ ステアリングスイッチの音量調整スイッチを押す。
・ 本機の音量調整ツマミをまわす。

送話音量を調整する

1 送話音量 を選択。

2 調整する音量を選択。

● 初期設定の状態に戻すとき
➡ 初期状態 を選択。

知 識

● 送話音量の設定を変更すると、音質が悪くなることがあります。

送話音をミュート（消音）する

通話中の発話を相手に聞こえないようにすることができます。このとき相手の発話は聞くことはできます。

1 ミュート を選択。

● ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
● ミュートを解除するとき
➡ 再度 ミュート を選択。

3. 通話中の操作

通話を転送する

▶ 携帯電話使用時

Bluetooth 携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。
ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

携帯電話に通話転送する

1 通話中画面で、ハンズフリー通話 を選択。

- ハンズフリー通話のときは、作動表示灯が点灯します。

知 識

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

本機に通話転送する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、ステアリングスイッチや画面のスイッチでの操作ができます。

知 識

- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。また、転送できない機種もあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
- 応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで本機には通話中画面が表示されます。この場合は、ステアリングスイッチの スイッチを押すと、ハンズフリー通話を続けることができます。

割込通話の操作

▶ 携帯電話使用時

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話（キャッチホン）で両者と通話することができます。

知 識

- 電話会社と割込通話（キャッチホン）の契約をしている必要があります。
- 携帯電話が HFP Ver 1.5 プロファイルに対応していない場合は、割込通話できません。
- 通信モジュール（DCM）を使用しているときは、着信音が鳴っても電話を受けることはできません。

3. 通話中の操作

割込通話があったとき

通話中に第三者から着信が入ったとき、画面表示で割込み着信中であることを知らせます。

1 を選択またはステアリングスイッチの スイッチを押す。

- 着信相手と通話でき、通話していた相手は保留中になります。
- を選択する度、またはステアリングスイッチの スイッチを押すたびに通話相手が切り替わります。

割込通話を拒否する

1 を選択またはステアリングスイッチの スイッチを押す。

知 識

- 携帯電話の機種により、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

10 キー入力する

通話中に 10 キー入力が必要な場合は、10 キーを表示させます。
ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示（→ P.412）または画面表示の場合は、10 キーを表示できません。

ハンズフリー通話中

1 0-9 を選択。

2 スイッチを選択して入力する。

- ステアリングスイッチの スイッチを押す、または を選択すると、電話が切れます。

知 識

- 走行中は安全上の配慮から 10 キーは操作できません。

4. 簡易画面について

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

画面にスイッチは表示されませんが、ステアリングスイッチは、操作できます。

知 識

- 電話が切れる、または電話を切ると、TEL音声画面やサイド画面表示は解除されます。

TEL 音声画面について

電話がつながっているときにオーディオ画面に切り替えた場合、「通話中です」と表示されます。

サイド画面

通知設定の着信割り込み表示（→P.415）で「簡易」を選択しているときはサイド画面に表示されます。

- サイド画面の操作について（→ P.548）

通話中画面で操作する

1 ステアリングスイッチの スイッチを押す。

- 通話中画面が表示され、通話中画面での操作ができます。

1. 設定・編集画面を表示する

電話の設定・編集をする

設定・編集画面から、電話の各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話

2 各設定をする。

● 設定・編集画面から、次の項目を設定できます。

項目／内容	ページ
音設定 ハンズフリー各音の音量調整・設定	414
通知設定 着信時の割込み設定 電話帳／履歴転送確認表示	415
電話帳／履歴設定 電話帳／履歴の転送・登録・編集・削除 ワンタッチダイヤルの登録・削除 履歴データの削除	416, 417

Bluetooth の設定・編集をする

設定・編集画面から、Bluetooth の各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth

2 各設定をする。

● 設定・編集画面から、次の項目を設定できます。

項目／内容	ページ
機器登録・接続 携帯電話／ポータブル機の登録・削除、使用する携帯電話／ポータブル機の選択、詳細設定 Bluetooth 自動接続の設定 Bluetooth の詳細設定	32, 424

2. 音量の設定をする

音設定画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 音設定

2 各設定をする。

- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 を選択。
- 設定・編集画面から、次の項目を設定できます。

着信音設定
着信音 1 、着信音 2 、着信音 3 、着信音 4 を選択すると、ハンズフリーの着信音が切り替わります。
着信音量
＋ 、－ を選択すると、ハンズフリーの着信音量を調整できます。
受話音量
＋ 、－ を選択すると、受話音量を調整できます。

3. ハンズフリーの詳細設定を変更する

通知設定画面

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 通知設定

2 各設定をする。

- 詳しくは、次の表をご覧ください。
- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 を選択。

着信割り込み表示

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を 全画面 または 簡易 から選択できます。

- 全画面 ：着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、ステアリングスイッチおよび画面のスイッチで操作ができます。
- 簡易 ： 着信中および応答保留中は着信割り込み表示がサイド画面に表示されます。ステアリングスイッチで操作ができます。サイド画面での操作については「ハンズフリーの操作」（→ P.548）をご覧ください。

電話帳／履歴転送確認表示

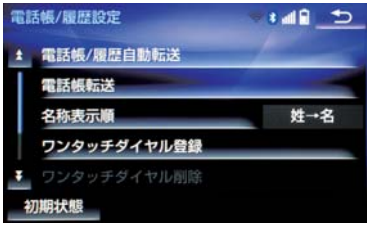
PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続後、電話帳データや履歴データの自動転送が完了したときに、完了表示を画面に表示する／しないを選択できます。

3. ハンズフリーの詳細設定を変更する

電話帳／履歴設定画面

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳／履歴設定

2 各設定をする。



- 詳しくは、次の表をご覧ください。
- 初期設定の状態に戻すとき
  ➡ 初期状態 を選択。

電話帳／履歴自動転送

PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データや履歴データの自動転送をする／しないを選択できます。

- 携帯電話の電話帳や履歴が更新されている場合、本機の電話帳や履歴も更新されます。
- 自動転送は、エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにし、初めて携帯電話が Bluetooth 接続されたときや使用する携帯電話を切り替えて、Bluetooth 接続されたときに行われます。

電話帳転送

OPP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データを上書き転送、追加転送することができます。

- 転送中はOPP以外のプロファイルは切断されるため、携帯電話への着信を車載機で受けることはできません。

名称表示順

電話帳に登録してある名称の表示を「姓→名」の順／「名→姓」の順に変更できます。

ワンタッチダイヤル登録／削除

電話帳に登録済みの電話番号をワンタッチダイヤルに登録／削除できます。（→ P.422）

着信時の画像表示

PBAP に対応している携帯電話で電話帳データに画像が転送された場合に、着信時に画像を表示する／しないを選択できます。

- 着信時画像はサイド画面では表示されません。

4. 電話帳を編集する

電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

(1) 携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する。（→ P.418）

(2) 本機の電話帳に新規登録する。（→ P.420）

(3) 履歴データから登録する。（→ P.420）

また、登録したデータは、本機で編集することができます。

知 識

- 電話帳は接続された携帯電話 1 台につき、2500 名分のデータを登録することができます。接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示することができます。
- この電話帳は、1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。
- 低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。
- 接続された電話機ごとに電話帳は管理されます。

電話帳／履歴設定画面を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳／履歴設定
または
電話画面（→ P.403）→ 電話帳 → 機能

2 電話帳の設定をする。

- 電話帳／履歴設定画面から、次の項目を設定できます。

機能	ページ
電話帳データの転送	418
電話帳データの新規追加	420
電話帳データの修正	421
電話帳データの削除	422
ワンタッチダイヤルの登録	422
ワンタッチダイヤルの削除	423
履歴データの削除	423

4. 電話帳を編集する

携帯電話の電話帳データを転送する

■携帯電話使用時

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。

- **この機能は、OPP か PBAP のどちらかに対応している携帯電話で使用できます。**
  ご使用の携帯電話が OPP、PBAP に対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または本機と接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。（→ P.425）

▶PBAPを利用して電話帳データを転送するとき

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳／履歴設定 → 電話帳／履歴自動転送

2 「電話帳／履歴自動転送」を する に設定する。（→ P.416）

3 転送 を選択。

4 電話帳更新画面が表示されます。

- 携帯電話の機種によっては、携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 携帯電話側の転送操作は、必ず電話帳更新画面を表示させた状態で行ってください。

5 転送が終了したとき、メッセージが表示され転送が完了します。

▶OPP を利用して電話帳データを転送するとき

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳／履歴設定 → 電話帳転送

2 「電話帳／履歴自動転送」を しない に設定する。（→ P.416）

3 転送 を選択。

4 電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選ぶ。

上書き ：現在のデータに上書きする

追加 ：現在のデータに追加する

5 携帯電話を操作して電話帳データを転送する。

- 携帯電話側の転送操作は、必ず電話帳更新画面を表示させた状態で行ってください。

6 完了 を選択。

4. 電話帳を編集する

知 識

- 転送するときは、エンジン／ハイブリッドシステムを始動した状態で行ってください。
- PBAP による電話帳データ転送時、携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。
- PBAP に対応している携帯電話で「電話帳／ 履歴自動転送」(→ P.416) が する に設定しているときは、、追加・修正をすることができません。追加・修正が必要な場合は、「電話帳／ 履歴自動転送」を しない に設定してから転送の操作をしてください。

転送失敗画面が表示されたとき

転送失敗画面が表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。

データ通信中に電話帳データを転送する

データ通信中に電話帳転送をすると、メッセージが表示されます。

- 通信を終了するとき
  ➡ はい を選択。
- 通信を継続するとき
  ➡ いいえ を選択し、データ通信終了後にやり直す。

知 識

- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
  - 携帯電話の電話帳で１つの名称に５件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
  - 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
  - 機種により名称読みが転送されない場合、「電話帳／履歴自動転送」（→P.416）を しない に変更することにより、転送される場合があります。なお、この場合、 する に戻すと、電話帳が上書きされ名称読みが消えてしまいます。
  - 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります。）
  - 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
  - 本機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
  - 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。
  - OPP 転送に対応していない電話機は、電話帳転送の上書きができません。ただし、Bluetooth を再接続 (→ P.399) することにより、電話帳の更新ができます。
  - 本機の電話帳の電話番号表示順は携帯電話の表示順と異なる場合があります。

4. 電話帳を編集する

知 識

- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
  - ・転送には 10 分程度かかる場合があります。
  - ・電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
  - ・電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。
    着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
  - ・電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
  - ・電話帳データ転送中にエンジン／パワースイッチを OFF にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジン／ハイブリッドシステムを始動して、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
  - ・本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき。
  - ・何らかの原因で転送が中断されたとき。
- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- 電話帳データ転送中は、Bluetooth オーディオの接続が切断されることがあります。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

電話帳に新規データを追加する

本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。

電話帳には、1 名のデータにつき、次の項目が登録できます。

名称、名称読み、電話番号（最大 4 件）、アイコン（各電話番号にそれぞれ 1 つ）

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳／履歴設定 → 電話帳登録

2 各項目を編集する。（→ P.421）

- 履歴内容画面（→ P.404）の 新規登録 からも、電話帳編集画面を呼び出して新規データを追加することができます。

知 識

- PBAP に対応している携帯電話の電話帳は、「電話帳／履歴自動転送」（→ P.416）が する に設定されている場合、追加することはできません。追加する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を しない にしてから行ってください。

4. 電話帳を編集する

名称、名称読み、電話番号、アイコンの編集をする

電話帳は１名につき最大４件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 ソフトウェアキーボードで名称を入力し、完了 を選択。

2 名称読みを入力し、完了 を選択。

3 電話番号を入力し、完了 を選択。

4 登録したいアイコンを選択。

▶電話番号を追加する場合

5 はい を選択。

➡ 手順 **3** へ。

▶編集を終了する場合

5 いいえ を選択。

電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳／履歴設定 → 電話帳編集

2 修正したいデータを選択。

3 各項目のスイッチを選択して編集する。

4 完了 を選択。

知 識

● PBAP に対応している携帯電話の電話帳は、「電話帳／ 履歴自動転送」(→P.416) が する に設定されている場合、修正することはできません。修正する場合は、「電話帳／ 履歴自動転送」を しない にしてから操作を行ってください。

名称、名称読みの編集をする

1 編集する項目（ 名称 、 名称読み ）を選択。

2 ソフトウェアキーボードで入力し、完了 を選択。

電話番号を編集する

１名につき最大４件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 電話番号１ ～ 電話番号４ のいずれかを選択。

2 電話番号を入力し、完了 を選択。

3 登録したいアイコンを選択。

4. 電話帳を編集する

電話帳のデータを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳／履歴設定 → 電話帳
または
電話画面（→ P.403）→ 電話帳 → 電話帳のリストを選択 → 電話帳削除

2 削除したいデータを選択。

3 削除 を選択。

4 はい を選択。

- お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→ P.36）

知 識

- PBAP に対応している携帯電話の電話帳は、「電話帳／履歴自動転送」（→ P.416）が する に設定されている場合、削除することはできません。削除する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を しない にしてから操作を行ってください。

ワンタッチダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できるため、よく利用する電話番号を登録しておくと便利です。
ワンタッチダイヤルは、電話帳に登録してある電話番号から選んで登録します。登録は 15 件までです。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳／履歴設定 → ワンタッチダイヤル登録
または
電話画面（→ P.403）→ ワンタッチダイヤル → 未登録

2 はい を選択。

3 登録したいデータを選択。

4 登録したい電話番号を選択。

5 登録したいスイッチを選択。

- 登録済みのスイッチを選択したとき
  ➡ 置き換えてもよいときは はい を選択。

知 識

- 選択した 未選択 ボタンの位置に登録されます。
- ワンタッチダイヤルは電話機ごとに登録が必要です。

4. 電話帳を編集する

ワンタッチダイヤルを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳／履歴設定 → ワンタッチダイヤル削除

2 削除したいワンタッチダイヤルを選択。

3 削除 を選択。

4 はい を選択。

履歴データを削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 電話 → 電話帳／履歴設定 → 履歴削除

2 はい を選択。

- お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→ P.36）

知 識

- PBAP　に対応している携帯電話の履歴は、「電話帳／履歴自動転送」（→ P.416）が する に設定されている場合、削除することはできません。削除する場合は、「電話帳／履歴自動転送」を しない にしてから行ってください。

5. Bluetooth 設定をする

ここでは、携帯電話と Bluetooth に関する次の設定の説明をしています。

項目	ページ
携帯電話の登録・削除	32 424
通信機器の選択	424
ポータブル機の選択	272
本機の Bluetooth 設定の変更	430

Bluetooth 電話機の登録を削除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 削除
または
MENU ▶ 電話 → 接続 → 機器登録・接続 → 削除

2 削除したい携帯電話を選択する。

3 はい を選択。

データ通信中の場合

データ通信中に携帯電話の登録を削除すると、メッセージが表示されます。

- 通信を終了するとき
  ➡ はい を選択。
- 通信を継続するとき
  ➡ いいえ を選択。
  ・ いいえ を選択した場合は、データ通信終了後、再度手順 **2** からやり直します。

知 識

- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

使用する通信機器を選択する

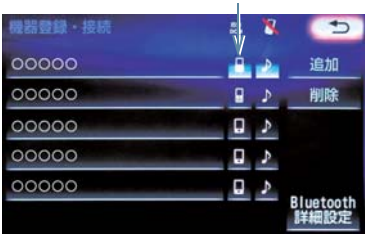
携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。
複数の携帯電話を使用するときや通信モジュールを使用するときは、必要に応じて通信機器を選択します。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 または
MENU ▶ 電話 → 接続 → 機器登録・接続

2 携帯電話を使用するときは、携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用する携帯電話または
通信モジュール（DCM） を選択。

接続中の機器



4 ○○の接続 または 電話機の接続、
ポータブル機の接続 を選択。

- 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、はい を選択します。
- 接続完了のメッセージが表示されたら、携帯電話が使用できます。

- 携帯電話の登録について
  ➡「Bluetooth 機器を初期登録する」（→P.32）

知 識

- 携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。
- Bluetooth オーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が途切れることがあります。
- 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

データ通信中の場合

データ通信中に電話機選択をすると、メッセージが表示されます。

- 通信を終了するとき
  ➡ はい を選択。
- 通信を継続するとき
  ➡ いいえ を選択。
  ・ いいえ を選択した場合は、データ通信終了後、再度手順 **3** からやり直します。

知 識

- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、通信機器を選択することはできません。

電話機詳細情報を確認する

本機に登録されている携帯電話、または通信モジュールの情報を確認することができます。

- 次の項目を確認することができます。

項目	内容
機器名称	本機に表示される携帯電話または通信モジュールの名称です。任意の名称に変更することができます。
機器アドレス	機器固有のアドレスで、変更することはできません。
自局電話番号	携帯電話の電話番号です。
対応プロファイル	携帯電話で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

知 識

- 表示されている対応プロファイルが本機で使用できないことがあります。詳しくは携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

5. Bluetooth 設定をする

電話機詳細情報を表示する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続

2 詳細情報を表示したい携帯電話または 通信モジュール（DCM） を選択。

3 機器詳細情報 または 通信モジュール詳細情報 を選択。

4 各項目の設定・確認をする。

▶機器詳細情報画面

▶通信モジュール詳細情報画面

- 機器名称の変更（携帯電話使用時）
- DCM の電話帳として利用する（携帯電話使用時）
- Bluetooth オーディオとの接続方法（Bluetooth オーディオ使用時）
- ロック No.（通信モジュール使用時）
- 自動着信拒否（通信モジュール使用時）
- 発信制限（通信モジュール使用時）
- 利用電話帳（通信モジュール使用時）
- スマートフォン連携（携帯電話使用時）
- 接続方法（携帯電話使用時）

● 初期設定の状態に戻すとき

➡ 初期状態 を選択。

知 識

● 自局電話番号は携帯電話の機種によっては、表示されない場合があります。

● 通信モジュール詳細情報設定で、初期状態に戻すと、すべての電話帳データが削除されます。

携帯電話の名称を変更する

▶ 携帯電話使用時

本機に表示される携帯電話の名称を変更することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → （名称変更したい電話機） → 機器詳細情報 → 機器名称

2 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、完了 を選択。

知 識

● 本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

5. Bluetooth 設定をする

登録してある電話帳を DCM の電話帳として利用する

▶ 通信モジュール装着時

本機に登録してある携帯電話の電話帳を通信モジュール使用時でも利用することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → （利用したい電話機） → 機器詳細情報 → DCM の電話帳として利用 → する または しない

Bluetooth オーディオとの接続方法を設定する

▶ 携帯電話使用時

Bluetooth オーディオと本機の接続を、どちら側からするか選ぶことができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → （接続したい Bluetooth オーディオ） → 機器詳細情報

2 接続方法 を選択し、車載機から または ポータブル機から を選択。

- 本機側から接続するとき
  ➡ 車載機から を選択。
- Bluetooth オーディオから接続するとき
  ➡ ポータブル機から を選択。

セキュリティを設定・解除する（ロック No. の変更）

▶ 通信モジュール装着時

セキュリティを設定するときは、ロック No. を変更する必要があります。ロック No. の初期設定は「0000」です。

⚠ 注意

- ロック No. を変更するときは、ロック No. を忘れないように管理してください。ロック No. を忘れると、レクサス販売店でもセキュリティを解除することができません。
  万一ロック No. を忘れてしまった場合は、セキュリティ設定の初期化を行ってください。（→ P.426）ただし、セキュリティ設定の初期化を行うと、電話帳データも削除されます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 通信モジュール（DCM） → 通信モジュール詳細情報 → ロック No.

2 現在のロックNo.（4 桁数字）を入力し、完了 を選択。

- 間違えたとき
  ➡ 修正 を選択。

3 新しいロックNo.（4 桁数字）を入力し、完了 を選択。

4 入力したロック No.（4 桁数字）を再度入力し、完了 を選択。

知 識

- ロックNo.を変更するときは他人にわかりにくい番号にしておいてください。

5. Bluetooth 設定をする

自動で着信拒否する

▶ 通信モジュール装着時

電話機選択で通信モジュールを選択している場合、自動着信拒否に設定すると、通信モジュールに電話がかかってきたとき自動で着信を拒否します。電話を受けたくないときに使用します。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 通信モジュール（DCM） → 通信モジュール詳細情報 → 自動着信拒否

2 する を選択。

- 解除するとき
  ➡ しない を選択。
- 設定を変更したとき
  ➡ ロック No. を入力し 完了 を選択。

知 識

- ヘルプネットの呼び返し待機状態の間のみ、一時的に自動着信拒否を解除します。

通信モジュールの発信制限をする

▶ 通信モジュール装着時

電話機選択で通信モジュールを選択している場合は、通信モジュールの発信制限を設定すると、次の機能を使用できなくすることができます。

- ダイヤル発信
- 電話帳発信
- 履歴発信
- ワンタッチ発信
- 音声認識発信
- ナビからの発信
- フルブラウザからの発信
- 電話機選択
  （携帯電話から通信モジュールへの変更をすることができなくなります。）

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 通信モジュール（DCM） → 通信モジュール詳細情報 → 発信制限

2 する を選択。

- 解除するとき
  ➡ しない を選択。
- 設定を変更したとき
  ➡ ロック No. を入力し 完了 を選択。

電話帳制限をする

▶通信モジュール装着時

電話帳制限をすると、次の機能が使用できません。
- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・修正・削除、電話帳発信
- ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 全履歴画面、発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- 電話機詳細情報画面の表示
- ロック No. の変更

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 通信モジュール（DCM） → 通信モジュール詳細情報 → 電話帳制限

2 する を選択。

- 解除するとき
  ➡ しない を選択。
- 設定を変更したとき
  ➡ ロック No. を入力し 完了 を選択。

電話帳データを通信モジュールでも利用する

▶通信モジュール装着時

利用するには登録してある携帯電話の電話帳を通信モジュールで利用できるようにしておく必要があります。（→P.427）

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → 通信モジュール（DCM） → 通信モジュール詳細情報 → 利用電話帳

2 電話帳を利用したい携帯電話を選択。

3 追加 または 上書き を選択。

- やめたいときは
  ➡ 中止 を選択。

5. Bluetooth 設定をする

本機の Bluetooth 情報を編集する

Bluetooth設定は、本機に関するBluetooth設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → Bluetooth 詳細設定 → 機器情報
または
MENU ▶ 電話 → 接続 → Bluetooth 詳細設定 → 機器情報

2 各項目を確認／変更する。

自動で電話機を接続する

▶ **携帯電話使用時**

エンジン／パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにするたびに、選択した携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

1 ACC ON 時の自動接続 を選択し、する を選択。

- 通常はこの状態で使用してください。
- 携帯電話はBluetooth接続可能な状態にしておいてください。
- 解除するとき
  ➡ しない を選択。

知 識

- 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

優先的に接続する機器を設定する

1 優先接続設定 を選択。

2 優先接続電話機 または 優先接続ポータブル機 を選択し、設定したい機器を選択。

Bluetooth 機器の情報を表示・変更する

- 機器設定画面で、次の情報を確認できます。

項目	内容
機器名称	Bluetoothネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。
PIN コード（パスキー）	携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。
機器アドレス	本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他のBluetooth機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。
対応プロファイル	本機で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

5. Bluetooth 設定をする

1 MENU ▶ 設定・編集 → Bluetooth → 機器登録・接続 → Bluetooth 詳細設定 → 機器情報
または
MENU ▶ 電話 → 接続 → Bluetooth 詳細設定 → 機器情報

2 各項目の設定・確認をする。

● 初期設定の状態に戻すとき
➡ 初期状態 を選択。

本機の名称を変更する

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称を変更することができます。

1 機器名称 を選択。

2 ソフトウェアキーボードで入力し、完了 を選択。

知 識

● 機器名称を変更した場合、Bluetooth オーディオ設定の機器名称（→ P.274）も同時に変更されます。パスキーについては、Bluetooth オーディオと同一の数字を設定することができます。

PIN コード（パスキー）を変更する

PIN コード（パスキー）は 4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

1 PIN コード を選択。

2 4 ～ 8 桁の範囲で任意の数字を入力し、完了 を選択。

● 修正するとき
➡ 修正 を選択。

● PIN コード（パスキー）は Bluetooth オーディオ設定の PIN コード（パスキー）（→ P.275）と同一の数字を設定することができます。

電話機の接続確認を表示する

▶ **携帯電話使用時**

エンジン／パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにして、携帯電話と自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の表示を画面上部に表示するかしないかを選択できます。

1 電話機の接続確認表示 を選択し、する を選択。

● 解除するとき
➡ しない を選択。

2 完了 を選択。

1. 故障とお考えになる前に

ハンズフリー／ Bluetooth でお困りの際は、まず以下の表を確認してください。

▶ハンズフリー／ Bluetooth を使う

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
ハンズフリー／ Bluetooth を使うことができない	携帯電話が Bluetooth 非対応機種である。	本機で動作確認済みの機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp/service/g-link/index.html でご確認ください。	※	–
	携帯電話のバージョンが Bluetooth に適合していない。	Bluetooth Specification Ver2.0 以上（Ver.3.0+EDR 以上を推奨）の携帯電話を使用してください。	※	390

▶携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
携帯電話が登録できない	携帯電話に入力したパスキーが間違っている。	携帯電話に正しいパスキーを入力してください。	※	–
	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。	※	–
	本機、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	本機の登録処理を中止し、再度登録操作を行ってください。	※	32
		本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行なってください。	※	32

※詳細は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
Bluetooth 接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでにBluetooth 接続状態にある。	お使いになる携帯電話を本機から手動でBluetooth 接続してください。	–	398
	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。	※	–
	本機の Bluetooth 自動接続が OFF になっている。	本機の Bluetooth 自動接続を ON にしてください。	–	430
「電話機をご確認ください」とメッセージが表示される	携帯電話の Bluetooth 機能が有効状態でない。	携帯電話の Bluetooth 機能を有効にしてください。	※	–
	携帯電話の登録情報が削除されている。	本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行なってください。	※	32

▶着信と発信

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
電話をかける、受けるができない	圏外である。	「圏外」表示が消えるところまで移動してください。	–	–
	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）が ON になっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）を OFF にしてください。	※	–

※詳細は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1. 故障とお考えになる前に

▶電話帳

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
電話帳データの転送／自動転送ができない	携帯電話の Profile が電話帳データ転送に対応していない。	本機で動作確認済みの機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp/service/g-link/index.html でご確認ください。	※	–
	本機の自動転送設定が OFF になっている。	本機の電話帳自動転送の設定を ON にしてください。	–	416
	携帯電話のパスキーを入力していない。	携帯電話でパスキーを求められているとき、パスキーを入力してください。パスキーは“1234”です。	※	–
	携帯電話が電話帳転送の承認待ちになっている。	携帯電話で電話帳転送承認ボタンを選択してください。	※	–
携帯電話に「承認」の確認画面が表示される	承認時に「常に許可」が選択されていない。	携帯電話で「常に許可」を選択し承認してください。	※	–
電話帳データが「その他」のフォルダに登録される	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながない。	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながあるか確認してください。	※	–
	携帯電話に電話帳が登録されていない。	携帯電話に電話帳を登録してください。	※	–
電話帳データの編集ができない	電話帳自動転送の設定が ON になっている。	自動転送の設定を OFF にしてください。	–	416

※詳細は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

▶その他の状況

症状	考えられること	処置	ページ	
			携帯電話	本機
エンジン／パワースイッチがアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ONモードの都度、画面上部にBluetooth接続状態が表示される	本機の接続確認表示の設定がONになっている。	接続状態を表示させたくないときは、本機の接続確認表示の設定をOFFにしてください。	–	431
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話と本機の距離が離れすぎている。	携帯電話と本機の距離を近づけてください。	–	–
	電波干渉が発生している。	Wi-Fi® 機器など電波を発生する機器の電源をOFFにしてください。	–	–
	携帯電話に要因がある。	携帯電話の電源をOFFにして、電池パックを取り出してください。	※	–
		携帯電話のBluetooth接続をOFFからONにしてください。	※	–
		携帯電話のWi-Fi® 接続をOFFにしてください。	※	–
		携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリを停止してください。	※	–
		携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。	※	–

※詳細は携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 はじめに

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと 440

安全にご利用するため注意すること 440

掲載画面について 440

通信機器について 441

通信モジュール (DCM) について 442

データ通信時の留意事項 442

2. G-Linkについて 445

G-Link について 445

サービス内容について 446

2 各種手続きをする

1. 利用手続きをする 447

利用手続きの手順 447

利用開始操作をする 448

e ケア・G- カスタマイズの利用開始操作をする 449

継続手続きについて 449

解約手続きについて 450

解約手続きをする 451

お車を手放す際にすること..... 451

9

G-Link

※G-Link を利用するには、別途利用手続きをしていただく必要があります。
G-Link は東京ガス株式会社の商標で使用許諾を受けて使用しています。

3 G-Linkトップ画面

1. G-Linkトップ画面 452
G-Link 画面の使い方.....452

4 よく使う情報を登録する（Gメモリ地点情報）

1. Gメモリ地点情報..... 454
G メモリ地点情報について 454
G メモリ地点情報を登録する 454
G メモリ地点情報を表示する 454

5 画面操作の説明

1. G-BOOK Viewer 455
G-BOOK Viewer 画面で操作する 455

2. G情報マーク 462
G 情報マークを表示する 462
施設の情報を表示する 462
G 情報マークを非表示にする 462

6 スマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する

1. スマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する 463

7 サービスの使い方

1. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）.....464
ヘルプネットについて 464
各部の名称とはたらき 464
安全のために 465
サービス開始操作をする 467
緊急通報をする 468
保守点検をする 473
表示灯について 476
緊急通報できない場合について..... 478
故障とお考えになる前に 479

2. G-Security 480
G-Security について 480
初期設定の確認・変更 481
アラーム作動通知 482
エンジン始動通知 483
うっかり通知 483
リモートイモビライザー 484
リモート確認 484
リモート操作 485
車両の位置追跡 486
警備員の派遣 486
カーファインダー 486

3. eケア 487
e ケアについて 487
リモートメンテナンスメール 487
ウォーニング通知 487
診断サービス 487
ヘルスチェックレポート 487

4. G-カスタマイズ.....488
G- カスタマイズについて..... 488
5. レクサス緊急サポート24.....489
レクサス緊急サポート 24 について 489
6. マップオンデマンド（地図差分更新）.....490
マップオンデマンドとは 490
地図を更新する..... 497
故障とお考えになる前に 501
7. Gルート探索（プローブ情報付）.....502
G ルート探索をする（プローブ情報付）..... 502
8. レクサスオーナーズデスク.....504
レクサスオーナーズデスクについて 504
レクサスオーナーズデスクを使う..... 504
手動で情報を取得する 506
9. 渋滞予測 507
渋滞予測情報を表示する 507
10.WEB検索.....511
WEB 検索で目的地を設定する..... 511
11.エージェント 512
エージェントのサービス内容について..... 512
音声認識用マイク 513
ステアリングスイッチ 513
エージェントを開始する 513
エージェント画面の使い方..... 516
エージェント（地図）画面の使い方..... 517
音声対話を中断する 518
音声対話を再開する 518
最初に戻る..... 518
ヘルプ機能を使用する 518
音声ガイドを省略する 518
エージェントを終了する 519
12.LEXUS Apps..... 520
LEXUS Apps について 520
アプリを購入する 520
Apps 画面の使い方 521
アプリの割込み表示について..... 522
マイアプリ管理について 522
Apps 設定を変更する 523
13.CDタイトル情報取得 524
タイトル情報を取得する 524

8 各種登録・設定

1. G-Link詳細設定 525
サポートアドレスについて 525
G-Link 詳細設定を変更する 525
通信ロックを使う.....526
暗証番号を変更する.....527

2. プライバシー設定 529
設定・編集画面を表示する 529
プライバシー設定を変更する 529

3. Wi-Fi® 設定..... 530
Wi-Fi® について 530
Wi-Fi® 機器使用上の注意事項について 531
Wi-Fi® 通信設定をする 532
Wi-Fi® を ON ／ OFF する.....532
利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する.....532
簡単設定から Wi-Fi® 接続する.....533
Wi-Fi® テザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® 接続を行う場合 533
Wi-Fi® 詳細設定を変更する 534

4. 通信設定 536
通信接続機器を選択する 536

5. リモートセキュリティ設定.....537
リモートイモビライザーの設定を確認する..... 537

6. 契約内容・契約者情報の確認・変更 538

9 こんなメッセージが表示されたときは

1. こんなメッセージが表示されたときは.....539

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をレクサス販売店または http://lexus.jp でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書で使用している画面はサンプル表示であり、実際の画面と異なる場合があります。

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと

安全にご利用するため注意すること

G-Link をご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。
  走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。
  なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

走行中の操作、表示規制について

- 走行中に G-Link をご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによっては G-BOOK Viewer のコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。
  このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

消耗品について

エアバッグ作動による自動通報を補助するため、ヘルプネット専用補助バッテリーを搭載しています。
寿命による交換時期は、ヘルプネットスイッチの表示灯（赤点滅）でお知らせします。また、エアバッグ作動による自動通報を実施した際は、安全のため交換をお願いします。
ヘルプネット専用補助バッテリーの交換についてはレクサス販売店にご相談ください。

掲載画面について

本書で使用している画面の表示内容は、サンプル表示となっております。

また、使用する携帯電話の機種やサービス内容の変更により、本機や携帯電話の表示画面が異なったり変更になる場合があります。

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと

通信機器について

G-Link は、通信モジュール（DCM）、Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／Wi-Fi® ルーター等）を利用して、データ通信を行います。

● サービスによっては、別途 Bluetooth 携帯電話が必要となります。

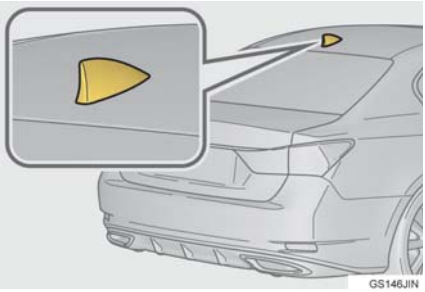
サービス	▶ G-Link データ通信／ヘルプネットと レクサスオーナーズデスクの音声通話	ハンズフリー通話
G-Link	通信モジュール（DCM） Wi-Fi® 機器 • お客様のスマートフォンが Wi-Fi® テザリングに対応しているかをご確認ください。詳しくは、ご契約されている通信事業者にご確認ください。	Bluetooth 携帯電話※ 通信モジュール（オプションの自動車専用ハンズフリー電話契約時のみ）

※ 本機で動作確認済みの機種については、レクサス販売店または http://lexus.jp でご確認ください。

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと

通信モジュール（DCM）について

通信モジュール（DCM）は通信アンテナを使用します。
通信アンテナは、ルーフ後部とインストルメントパネルに設置されています。



知 識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないで下さい。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

■ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

警告

- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-Link をお使いになる前に、医師や医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。

データ通信時の留意事項

G-Link は、データ取得時に通信を行います。
次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- 通信方式は、KDDI 株式会社の LTE 方式です。
  LTE サービスエリアでは、最大 75 Mbps のデータ通信サービスがご利用いただけます。サービスエリアは同社サービスエリア図をご参照ください。
  なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- 次のような通信環境では、データ通信できません。
  ・トンネルの中にいるとき
  ・地下駐車場にいるとき
  ・山奥などの通信圏外にいるとき
  ・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

- G-Link はデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。

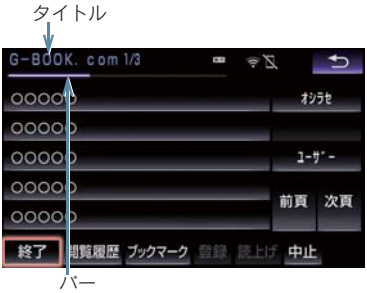
- この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、G-Link が使用できなくなります。
  （その場合には事前にご連絡します。）

知 識

- 通信モジュール（DCM）でのデータ通信に関する通信料金は G-Link 利用料金に含まれています。
- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと

- ヘルプネット（→ P.464）での緊急通報中は、G-Link センターに接続できません。
- 画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は**「接続中」**、コンテンツ読み込み中は**「しばらくお待ちください」**が表示されます。
  また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。
  ・走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、“ピッ”という音でもお知らせします。



- 通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、画面右上に通信中マークが表示されます。

知 識

- GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、または 12V バッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所（→ P.140）に車を移動し、MAP を押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

1. ご利用の前に知っておいていただきたいこと

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。
データ通信時の目安にしてください。

▶通信モジュール（DCM）使用時

表示	DCM	DCM	DCM	DCM	
レベル	圏外	弱	←→		強

▶Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）使用時

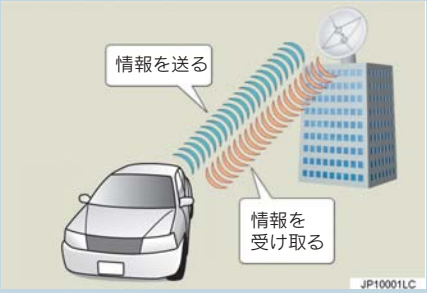
表示					
レベル	圏外／未接続	弱	←→		強

知 識

- 受信レベル表示が「圏外」と表示されている場合でも、本機はデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。
- Wi-Fi® の受信レベルが弱い場合、使用できないことがあります。

2. G-Link について

G-Link について



いつでも、どこでも、お客様のお車をネットワークでサポートするレクサス専用のテレマティクスサービスです。トヨタが開発したテレマティクスサービスにレクサス専用サービスである「レクサス緊急サポート 24」をプラス。「レクサスオーナーズデスク」との連携により、最先端のサービスを提供致します。

テレマティクスサービス

G-Link センターに接続し、以下のようなサービスを提供します。

- ヘルプネット
- e ケア
- G- カスタマイズ
- G-Security
- マップオンデマンド
- G ルート探索（プローブ情報付）
- 渋滞予測

レクサスオーナーズデスク

レクサスオーナー専用のコールセンターです。フリーダイヤルにお電話をしていただくと、レクサスケアコミュニケーターが以下のようなご要望に 24 時間・365 日お答えします。

- ドライブサポート
  （ナビゲーションシステムの目的地設定や施設情報案内など）
- 予約サービス
- 各種問い合わせ

レクサス緊急サポート 24

レクサス専用のサービスです。事故や故障など、万一のトラブルに 24 時間対応します。故障の場合には、ドライバーと同乗者の帰宅や宿泊などの費用を、一定の条件で負担したり、以下のようなサービスを提供します。

- 現場緊急修理サポート
- レッカーサポート
- 故障時臨時費用サポート
  （臨時交通費・臨時宿泊費・修理後の搬送費）
- 保険会社取り次ぎサービス
- 緊急伝言サービス

2. G-Link について

サービス内容について

主なサービス	ページ
緊急通報サービス **ヘルプネット**	464
カーセキュリティサービス **G-Security**	480
お車の情報を活用したカーライフサポート **e ケア**	487
お車の設定を遠隔で変更 **G- カスタマイズ**	488
レクサス緊急サポート 24	489
地図更新サービス **マップオンデマンド**	490
最適ルートの探索 **G ルート探索（プローブ情報付）**	502
ナビ操作をサポート **レクサスオーナーズデスク**	504
ルート上の渋滞を予測 **渋滞予測**	507
インターネットで施設検索サービス **WEB 検索**	511
G-Link センターの音声対話サービス **エージェント**	512
LEXUS のアプリケーションサービス **LEXUS Apps**	520
最新の楽曲情報をダウンロード **CD タイトル情報取得**	524
エコドライブをサポート **Harmonious Driving Navigator**	___※

※ Harmonious Driving Navigator については、別冊 GS350/GS250/GS F 取扱説明書または GS450h/GS300h 取扱説明書をご覧ください。

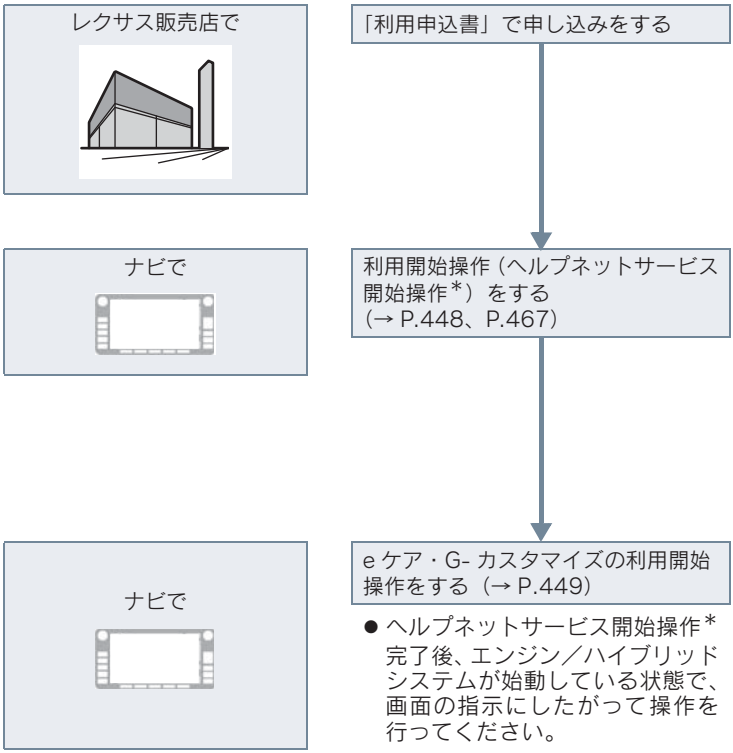
- 掲載の情報は、2015 年 10 月現在のサービスです。サービス内容は変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

- 最新のサービスは、http://lexus.jp でご確認ください。

1. 利用手続きをする

利用手続きの手順

下図にしたがって、利用手続きとそれに伴う各種設定を行ってください。



＊ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1. 利用手続きをする

利用開始操作をする

- 利用開始操作は、可能な限り見晴らしの良い場所で行ってください。

1 MENU ▶ 情報・G → （G-Link）

2 G-BOOK.com を選択。

- 画面が上記と異なる場合は、前ユーザーの解約手続きが完了していません。
G-Link サポートセンターにご連絡ください。

> **G-Link サポートセンター**
> 全国共通・フリーコール
> フリーコール 0800-300-3388
> 受付時間　9:00 ～ 18:00
> 月曜～金曜（除く祝日）

- 中古車の場合、G-BOOK.com を選択したあとに、通信初期設定画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

3 本人確認画面が表示されたら、画面の指示にしたがって、確認・操作をする。

4 サービス内容などを確認し、画面の指示にしたがって操作する。

- G 暗証番号の設定をしていない方
  ➡ G 暗証番号の設定が表示される。
  画面の指示にしたがって、確認・操作する。
- 「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入や G-Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。

5 G-Link の利用手続き完了後、ヘルプネットのサービス開始案内が表示されたら、はい を選択し、ヘルプネットのサービス開始操作＊（→ P.467）を行う。

- ヘルプネットセンターの音声案内にしたがい、現在地とマイク音声を確認する。
- サービス開始操作＊が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

＊ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

e ケア・G- カスタマイズの利用開始操作をする

- 利用開始操作は、可能な限り見晴らしの良い場所で行ってください。
- ヘルプネットサービス開始操作完了後、エンジン／ハイブリッドシステムが始動している状態で、操作を行ってください。

1 e ケア・G- カスタマイズ利用手続きの開始案内が表示されたら、はい を選択し、開始操作を行う。

- ヘルプネットサービス開始操作完了後、開始案内の表示が出るまでに、約 1 分程度かかる場合があります。

2 e ケア・G- カスタマイズ利用手続き完了後、完了案内が表示されたら、OK を選択。

- 利用手続きが正常に完了しないと、eケア・G- カスタマイズのサービスが提供できません。
- 完了案内が表示されるまでに約 10 分程度かかる場合があります。その間、エンジンスイッチ／パワースイッチを OFF にしないで、そのままお待ちください。

継続手続きについて

契約の更新日が近づくと、トヨタメディアサービス（株）より案内を送付します。
継続手続きについては、レクサス販売店にご相談ください。

1. 利用手続きをする

解約手続きについて

お車を手放すときなど、G-Link を解約するときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。

＜本機で解約する場合＞
解約手続きをする→ P.451

↓

＜お車を手放す場合＞
個人情報の初期化をする→ P.36

解約しないで車を手放したときなど

↓

G-Link サポートセンターに連絡して解約する

G-Link サポートセンター

全国共通・フリーコール

フリーコール 0800-300-3388

受付時間　9:00 ～ 18:00
月曜～金曜（除く祝日）

以下の情報が必要となりますのでご確認ください。

- G-Link 契約 ID またはオーナーズカード ID
- 車両情報（車台番号、車両登録ナンバー）

⚠ 注意

- 本機に保存した情報は、本機で解約したときのみ消去できます。
- お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、本機で解約手続きおよび初期化を必ず行ってください。

解約手続きをする

G-Link の利用登録を解除するときは、次の手順で実施してください。

1 MENU ▶ 設定・編集 → （G-Link）

2 G-Link 詳細設定 を選択。

3 契約解除 を選択。

4 画面の指示にしたがって操作する。

知 識

- ユーザー画面からでも解約手続きができます。

お車を手放す際にすること

- 解約手続きをしただけでは、本機に保存したお客様の情報は消去されません。
- お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、利用契約の解除と情報の消去をお願いします。（→ P.450）
- お車を手放すときは、個人情報の初期化（→ P.36）も合わせて必ず実施してください。

1. G-Link トップ画面

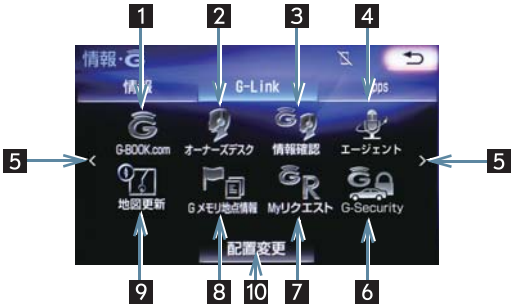
G-Link 画面の使い方

G-Link 画面から、G-Link の各コンテンツを起動することができます。

1 MENU を押す。

2 情報・G を選択。

● 情報画面が表示されたとき ➡ G-Link を選択。



● この画面から、次の操作をすることができます。

番号	スイッチ	機能
1	G-BOOK.com	G-Link センターに接続し、G-BOOK Viewer 画面（→ P.455）を表示する。
2	オーナーズデスク	レクサスオーナーズデスクを利用する。（→ P.504）
3	情報確認	レクサスオーナーズデスクで取得した情報を確認する。（→ P.506）
4	エージェント	エージェント画面（→ P.512）を表示する。
5	ページ切り替え	ページを切り替える。
6	G-Security	G-Security 画面（→ P.481）を表示する。
7	My リクエスト	My リクエスト画面を表示する。
8	G メモリ地点情報	本機で保存している G メモリ地点情報をリスト表示します。（→ P.454） ● G メモリ地点情報は、同じ内容がナビのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビのメモリ地点画面で行ってください。（→ P.110）

1. G-Link トップ画面

番号	スイッチ	機能
9	地図更新	地図更新画面（→ P.496）を表示する。
10	配置変更	スイッチの表示位置の入れ替えや、削除をする。 • 一部のスイッチは、削除することができません。

1. G メモリ地点情報

G メモリ地点情報について

パソコンの G-Link ユーザーサイトで登録した G メモリ地点情報を、本機のメモリ地点に登録できます。

一度本機のメモリ地点に登録すると、G-Link センターに接続しなくても、G メモリ地点情報を呼び出すことができます。

G メモリ地点情報を登録する

1 本機で G-BOOK.com コンテンツを表示し、詳細情報が表示されている画面で G メモリ地点情報 を選択。

- パソコンのG-Linkユーザーサイト、および本機の G メモリ地点に情報が登録されます。

G メモリ地点情報を表示する

G メモリ地点として登録した地点情報は、G-Link 画面から呼び出すことができます。

1 MENU ▶ 情報・G → （G-Link）

2 G メモリ地点情報 を選択。

3 G メモリ地点情報を選択。

4 G-BOOK Viewer 画面に切り替わる。

- G-BOOK.com コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

- G メモリ地点情報は、ナビゲーションのメモリ地点と同様に、メモリ地点が呼び出せるナビゲーションの画面からも呼び出すことができます。また、名称読みが登録してあれば、音声認識を使用することもできます。
- Gメモリ地点情報は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。
  詳しくは、「地点の登録について」をご覧ください。（→ P.110）

知 識

- 同一の G メモリ地点情報は、上書き登録されます。ただし、音声認識で使用する名称読みが登録してある場合、その情報は保持されます。

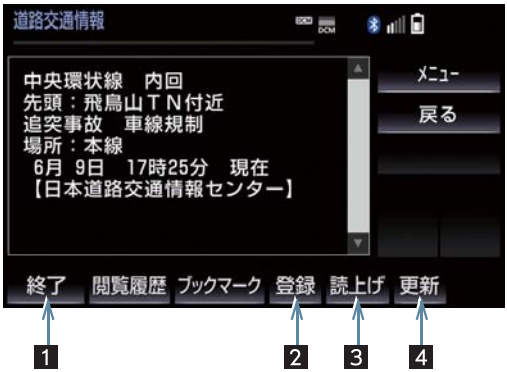
1. G-BOOK Viewer

G-BOOK Viewer 画面で操作する

G-BOOK Viewer は、G-Link の各種コンテンツの表示や操作を行います。
G-BOOK Viewer 画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。



番号	スイッチ	機能
1	終了	G-BOOK Viewer 画面を終了して G-BOOK Viewer 表示前の画面に戻る。
2	登録	表示中のページをブックマークに登録する。
3	読上げ	読み上げを開始する。 • 読み上げ情報がないときは、スイッチは灰色になっています。 • 読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。（→ P.458）
4	更新／中止※	更新 ：コンテンツの再読み込みをして画面を更新する（コンテンツの読み込みが完了または中断しているときに表示） 中止 ：コンテンツの読み込みを中止する（コンテンツの読み込み中に表示）

1. G-BOOK Viewer

※コンテンツの読み込み中に 中止 を選択したり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。
この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。

・ 更新 を選択して、コンテンツを再取得する。
・ ⮌ を選択していったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。

知 識

● 各スイッチは G-BOOK Viewer 表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあることがあります。

読み上げ中に操作する

読み上げ情報があるコンテンツは、読み上げ中に次の操作ができます。

番号	スイッチ	機能
1	終了	G-BOOK Viewer 画面を終了して G-BOOK Viewer 表示前の画面に戻る。
2	音量調整 − ／ ＋	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 − ：小さくする ＋ ：大きくする
3	前項目 ◀◀ ／次項目 ▶▶	読み上げの開始位置を変更する。 ◀◀ ：読み上げ中の項目の先頭からはじめる ▶▶ ：次の項目の先頭からはじめる • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ◀◀ を選択してから約 1 秒以内に再度選択。
4	停止	コンテンツの読み上げを停止する。
5	ポーズ ❚❚ ／再開 ▶	❚❚ ：コンテンツの読み上げを一時停止する（読み上げ中に表示） ▶ ：読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する（読み上げ一時停止中に表示）

1. G-BOOK Viewer

G-BOOK Viewer の自動読み上げを設定する

G-BOOK Viewer で読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。

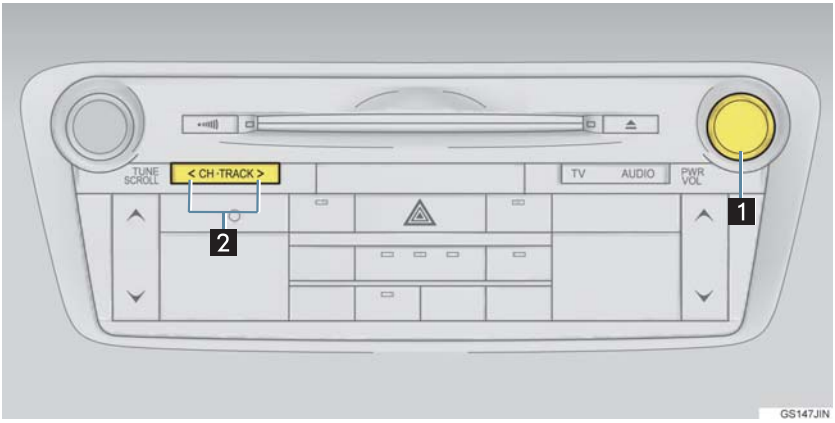
1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → G-Link 詳細設定

2 G-BOOK Viewer 自動読上げ を選択。

3 する を選択。

● 解除するとき
➡ しない を選択。

本機のスイッチで操作する

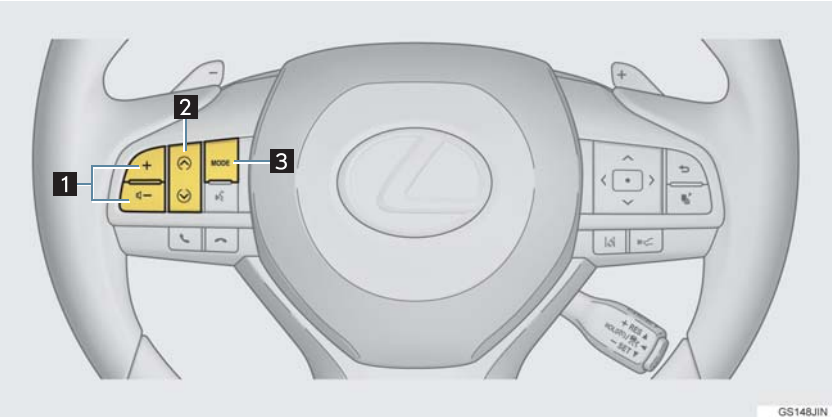


番号	スイッチ	機能
1	PWR・VOL	■PWR スイッチ コンテンツの読み上げを停止する。 ■VOL ツマミ コンテンツの読み上げ音量を調整する。 • 大きくするとき ➡ 右へまわす。 • 小さくするとき ➡ 左へまわす。
2	CH・TRACK スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。 • 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ＜側を押す。 • 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ＞側を押す。 • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ＜側を押してから約 1 秒以内に再度押す。

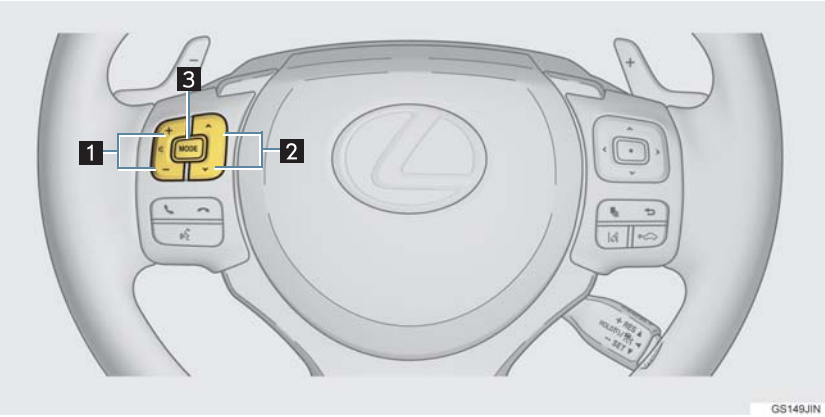
1. G-BOOK Viewer

ステアリングスイッチで操作する

▶GS450h/GS300h/GS350/GS250



▶GS F



番号	スイッチ	機能
1	音量調整スイッチ	コンテンツの読み上げ音量を調整する。 • 大きくするとき ➡ ＋側を押す。 • 小さくするとき ➡ －側を押す。
2	TUNE・TRACK スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。 • 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨ 側を押す。 • 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∧側を押す。 • 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨ 側を押してから約 1 秒以内に再度押す。
3	MODE（モード切り替え）スイッチ	• コンテンツの読み上げを解除するとき ➡ 読み上げ中にスイッチを押す。

2. G 情報マーク

G 情報マークを表示する

G 情報マークは、G-Link のコンテンツが提供する地点情報です。
情報を取得すると自動でG情報マークが地図に表示されます。

G 情報マーク

施設の情報を表示する

地図上にG情報マークが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。

1 G 情報マークを選択。

2 情報 を選択。

3 G-BOOK Viewer 画面に切り替わる。

- G-BOOK.com コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

G 情報マークを非表示にする

G 情報マークを消したいときは、次の手順で非表示にすることができます。

地図表示中

1 表示変更 を選択。

2 周辺施設 を選択。

3 G 情報マーク表示 を選択。

- 地図上の G 情報マークが非表示になります。

1. スマートフォンや携帯電話・パソコンで利用する

G-Link のさまざまなサービスは G-Link センターからインターネットを通じて、スマートフォンや携帯電話・パソコンからもご利用いただけます。

パソコンサイト

URL: http://lexus.jp/

smartG-Link（スマートフォンアプリ）

smartG-Link アプリ（無料）を下記 URL からダウンロードします。

- URL: http://spb.lexus.g-book.com/mpx/spappdl/SpAppDL.aspx
- QR コード：

携帯電話サイト

- URL: http://mo.lexus.g-book.com/
- QR コード：

1. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

ヘルプネットについて

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）は、交通事故発生時や急病などの緊急事態発生時に、自動またはボタン操作でヘルプネットセンターに電話し、車内からの通報を補助するシステムです。

ヘルプネットは、警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

サービス開始と解約について

ヘルプネットは、G-Link 利用手続後に手動保守点検によるサービス開始操作＊が完了すると利用できます。（→ P.467）

＊ ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

ヘルプネットを解約したいときは、G-Link 利用契約を解約すると、同時に解約されます。

- ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。

緊急通報について

緊急通報は、サービス開始操作が完了すると利用できる機能です。

▶ エアバッグ作動による自動通報

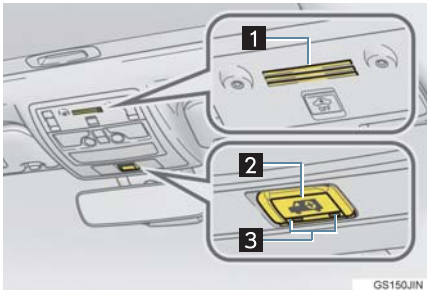
- エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報します。

▶ ボタン操作による手動通報

- 乗員がヘルプネットボタンを押すと、ヘルプネットセンターに通報します。

各部の名称とはたらき

ヘルプネットスイッチパネル



番号	名称	機能
1	マイク	緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用する。
2	ヘルプネットボタン	ボタン操作による手動通報をするとき。また、手動保守点検をするときに押す。
3	表示灯	赤と緑の表示灯の点灯の組み合わせにより機器の故障、緊急通報中などシステムの動作を知らせる。（→ P.476）

本機

緊急通報時や保守点検時にメッセージを表示する。

注意

- ヘルプネットスイッチパネルなどに液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
  - ・ヘルプネットスイッチパネルなどが故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。ヘルプネットスイッチパネルなどが故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障不具合等があると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。

安全のために

警告

- 安全運転を心がけてください。本機は、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- サービス開始操作*は契約者本人が行い、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを必ず確認してください。
- 本機は衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 12V バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 事故発生時、エアバッグが作動せず、車両へ強い衝撃が加わっていないときは自動通報されません。また、エアバッグが作動しても通報されないことがあります。このようなときにはボタン操作による手動通報をしてください。

* ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

警告

- 以下のときは緊急通報できません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外で使用している
  - 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線など）に異常または損傷があり、故障している
  - G-Link 利用契約が未契約、または契約期限が切れている
  - サービス開始操作*を実施していないため、緊急通報可能状態になっていない
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。
- G-Link 利用契約を解約してもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しているときは、レクサス販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。

* ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

警告

- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してレクサス販売店にご相談ください。

注意

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにレクサス販売店にご相談ください。
- 関連機器などの取りはずしをすると、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなることがあります。取りはずしが必要なときには、レクサス販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずレクサス販売店にご相談ください。
- 以下の温度範囲以外では、緊急通報が正常に動作しないことがあります。そのときは、最寄りの公衆電話などを使用してください。
  動作温度範囲：－ 20 ℃～＋ 60 ℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合、および車外に避難するときは、パーキングブレーキをしっかりかけて、エンジン／パワースイッチを OFF にしてください。

知 識

- いたずらなどで緊急車両などが出動したとき、該当費用に関しての請求をされたり、関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないでください。
- 事故発生時以外でも、エアバッグが開いたときには自動通報します。このようなときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。例えば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された通信モジュールを使用するときは、サービスの利用契約をしていない状態でも緊急通報可能状態として表示することがあります。

サービス開始操作をする

ヘルプネットは、サービス開始操作*を完了すると利用できます。
G-Link 利用手続後、以下の手順でサービス開始操作*をしてください。また、ヘルプネットスイッチパネルなどが正常に動作するか確かめてください。この確認をしないと、ヘルプネットサービスの利用ができません。

* ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1 できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動する。

- ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

2 手動保守点検を行い、以下の点を確かめる。（→ P.473）

- 通信が正常に始まる。
- 通話ができる。
- 通報位置が正しい（ヘルプネットセンターとの通話で確認）。

3 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯します。

- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないときは、再度、手動保守点検をしてください。
- 手動保守点検が正常に終了しなくてもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯することがあります。このとき、緊急通報できないことがあるため、レクサス販売店にご相談ください。

警告

- 以下のように、関連機器が正常に動作しないとき、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
  - ・通信が始まらない。
  - ・通報位置とヘルプネットセンターの位置表示が違う。
  - ・通話できない。
- サービス開始操作*は途中で中断せず、最後まで完了してください。エンジン／パワースイッチを OFF にして中断したときは、基本的にヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しません。それでも点灯したときはレクサス販売店にご相談ください。
- サービス開始操作*時の手動保守点検が正常に動作しなかったときは、緊急通報できないことがあり危険です。手動保守点検時に関連機器が正常に動作しないときや、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しているが、通話ができないときには、レクサス販売店にご相談ください。
- 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないとき、緊急通報は動作しません。表示灯が正常に点灯しないときは、レクサス販売店にご相談ください。

* ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

1. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

知 識

● 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリーなどが利用できません。このとき、手動保守点検が終了してからご利用ください。

緊急通報をする

エアバッグ作動による自動通報

エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報されます。

1 エアバッグ作動時など、車に一定以上の衝撃が加わると、緊急通報が開始される。

● スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
● メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

知 識

● エアバッグが作動しなくても、事故の形態によっては通知を開始する場合があります。

2 ヘルプネットセンターに車両の位置などが送信される。

3 データ通信完了後、通話モードになる。

4 通話中画面が表示される。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察、消防またはレクサス緊急サポート24への通報の要・不要を伝える。

知 識

● お客様からの応答が無い場合には意識不明と判断し、オペレーターがお客様に代わって速やかに救急車の手配を要請します。

5 警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察、消防またはレクサス緊急サポート24に接続する。

6 はい を選択。

7 通話終了後、約 30 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。

警告

- 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

知 識

- 緊急通報終了後約 30 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 30 分間、呼び返し待機状態が延長されます。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。

8 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。

- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。

9 車内および車外の状況に応じて二次災害を防ぎながら、最も安全な処置をして救援を待ちます。

1. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

警告

- 緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - ・携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - ・携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
  - ・緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

（知 識）

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了する場合には、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

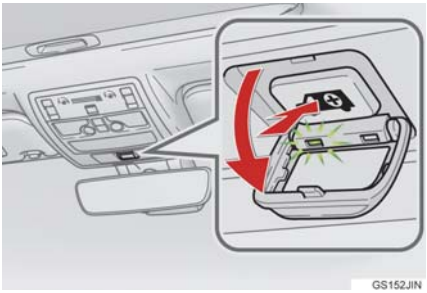
ボタン操作による手動通報

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。

- エンジン／パワースイッチがアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ ON モードのとき、ヘルプネットボタンを押すと緊急通報が始まります。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

1 ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめる。

2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開き、ヘルプネットボタンを押す。



3 ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始される。

- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

4 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信される。

5 データ通信完了後、通話モードになる。

6 通話中画面が表示される。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察、消防またはレクサス緊急サポート24への通報の要・不要を伝える。

知 識

- 手動通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の要請に基づき警察、消防などに接続します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。

7 警察、消防またはレクサス緊急サポート 24 への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察、消防またはレクサス緊急サポート24に接続する。

8 はい を選択。

9 通話終了後、約 30 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。

警告

- 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

1. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

知 識

- 緊急通報終了後約 30 分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 30 分間、呼び返し待機状態が延長されます。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。

10 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。

- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。

警告

- 緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - ・携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - ・携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
  - ・緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

知 識

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了するときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

保守点検をする

自動保守点検について

自動保守点検は、定期的に自動で実施される保守点検です。お客様が会員登録されているかを、ヘルプネットセンターが確かめます。

自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。

- 点検時期
  - ・（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
- 点検時間
  - ・開始後 1 ～ 2 分で終了します。

注意

- 自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、次にエンジン／パワースイッチを OFF からアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ONモードにしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しないときは、レクサス販売店にご相談ください。

知識

- 自動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。

手動保守点検を実施する

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。

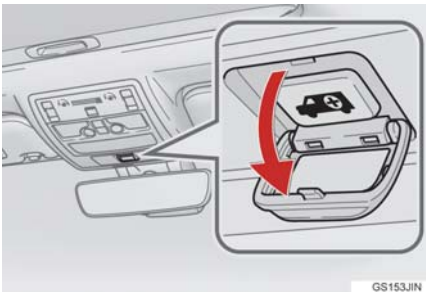
- 関連機器の保守点検（関連機器修理点検や車両修理後の保守点検）
- ヘルプネットセンターに会員登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

警告

- 手動保守点検の途中で、エンジン／パワースイッチを OFF にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。スイッチを OFF にしてしまったときは、再度手動保守点検をやり直してください。

1 現在地画面で GPS の受信（GPS マークが表示されること）を確かめる。

2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開く。

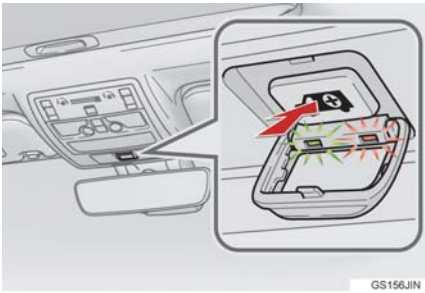


3 エンジン／パワースイッチを OFF にする。

4 エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードにする。

1. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

5 ヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯がともに点灯したら、ヘルプネットボタンを約10秒間押し続ける。



6 ヘルプネットセンターに接続を開始します。

- 手動保守点検が開始されると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅し始めます。ボタンから指を離してください。
- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

7 ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をする。

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに会員登録されていること

8 データ通信完了後、通話モードになります。

9 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。

● ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。

10 通話の終了後に点検を終了します。

● 緑の表示灯は点滅を終了し、最新のシステム状態を表示します。

警告

● 手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。途中で中断したときは、手動保守点検が失敗となるためヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しません。それでも点灯したときは緊急通報できない可能性があるため、レクサス販売店にご相談ください。

注意

● 手動保守点検は見晴らしのよい場所で行ってください。
・ 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
・ 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅します。このときはエンジン／パワースイッチを一度 OFF にして、赤の表示灯の点滅が終了してから手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されないときには、レクサス販売店にご相談ください。

知 識

● 手動保守点検開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
● 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く G-Link サービスなどは利用できません。手動保守点検が終了してからご利用ください。

1. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

表示灯について

ヘルプネットシステムはシステムの作動状態をヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯でお知らせします。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
点灯	消灯	動作中のとき （携帯電話サービスエリア内）	緊急通報がご利用になれます。
消灯	点灯	動作中のとき （携帯電話サービスエリア外）	緊急通報ができません。携帯電話サービスエリア内に移動して使用してください。
		関連機器に異常があるとき （携帯電話サービスエリア内）	携帯電話サービスエリア内でいつまでもこの表示が続くときは機器の故障が考えられます。レクサス販売店にご相談ください。
点滅	消灯	緊急通報中のとき	緊急通報が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検中のとき	手動保守点検が終了しても表示が変化しないときは、レクサス販売店にご相談ください。
消灯	点滅	緊急通報に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		自動保守点検を何回も連続して失敗したとき （携帯電話サービスエリア外）	携帯電話サービスエリア内に移動して、手動保守点検をしてください。（→ P.473）それでも表示が続く場合は、レクサス販売店にご相談ください。
		手動保守点検に失敗したとき	携帯電話サービスエリア内に移動してから、再度試みてください。
		関連機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らないときは、機器に異常があることが考えられます。ただちにレクサス販売店にご相談ください。
		ヘルプネット専用補助バッテリーの寿命が切れたとき	レクサス販売店で交換してください。

1. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
点灯	点灯	エンジン／パワースイッチをイグニッション ON モード／ ON モードにしたとき（約 5 秒間）	20 秒以上続くときは、機器に異常があることが考えられます。レクサス販売店にご相談ください。
		関連機器に異常があるとき	
消灯	消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	G-Link サービスを契約してください。
		関連機器が動作していないとき	エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ONモードにしてもこの状態が続くときは、レクサス販売店にご相談ください。
		サービス開始操作をしていないとき	サービス開始操作を行う。（→ P.467）

警告

- 表示灯が以下のときには、ヘルプネットシステムに異常があることをお知らせしています。これらの異常表示がされたとき、システムが正常作動せず緊急通報できないことがあります。ただちにレクサス販売店にご相談ください。
  - ・エンジン／ハイブリッドシステム始動後にヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯が約 5 秒間点灯したあと、赤の表示灯が点滅し続ける。
  - ・エンジン／ハイブリッドシステム始動後、赤と緑の表示灯の点灯がいつまでも続く。
  - ・携帯電話サービス圏内にもかかわらず赤の表示灯がいつまでも続く。
  - ・エンジン／ハイブリッドシステム始動後に赤と緑の表示灯が点灯しない。
- 表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。例えば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された関連機器を使用するときは、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

1. ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

G-Link 利用契約の不成立または消滅

- 未契約のとき
- 契約が締結できないとき
- 契約の解除が実施されたとき
- 契約が終了したとき

関連機器の異常による通信不能

- 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナおよびこれらを接続する電気配線など）の故障
- 12Vバッテリーの電圧低下など、関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、関連機器の損傷

緊急通報センターシステムの位置評定エラー

- GPSのシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいとき

知 識

- ヘルプネットは、ナビゲーションシステムの GPS から位置情報を取得しています。
（→ P.140）

ヘルプネットセンター／ G-Link センターシステムの異常による通信不能

- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両” が位置するとき
- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき
- 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき

緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき

その他の要因

- 手動通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、レクサス販売店にご相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずレクサス販売店に修理をご依頼ください。

警告

- 緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

症状	考えられること	処置
緑の表示灯が点灯しない	サービス開始操作＊を完了していますか。	サービス開始操作＊をする。（→ P.467）
緊急通報できない	エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ONモードにした直後の点検中ではありませんか。	緑の表示灯が点灯するまで待ってから、ヘルプネットボタンを操作して通報してください。（→ P.470）
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。（→ P.473）
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。（→ P.473）
エンジン／パワースイッチを OFF にしても赤または、緑の表示灯が点滅し続けた	緊急通報中ではありませんか。	「緊急通報を、終了しました」という音声案内が流れてから約30分経過するまで待って、緑の表示灯の点滅が終了することを確かめてください。
エンジン／ハイブリッドシステム始動後、表示灯が両方共に点灯しない	G-Link 利用契約がされていますか。	G-Link 利用契約をする。

＊ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

2. G-Security

G-Security について

G-Security は、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

■アラーム通知（→ P.482）

お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。

■エンジン始動通知（→ P.483）

エンジン／ハイブリッドシステムの始動を検知し、メールでお知らせします。

■うっかり通知（→ P.483）

ドアロック忘れやハザードランプ（非常点滅灯）の消し忘れなどを、メールでお知らせします。

■リモートイモビライザー（→ P.484）

エンジン／ハイブリッドシステムの始動・ステアリングロックの解除を禁止することができます。

■リモート確認（→ P.484）

ドア・トランク・ボンネット・ウインドウ（ドアガラス）の開閉やロックの状態、ハザードランプ（非常点滅灯）の点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどを携帯電話で確認できます。

■リモート操作（→ P.485）

「うっかり通知」と連携し、遠隔操作で施錠などの操作をすることができます。

■車両の位置追跡（→ P.486）

お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。

■警備員の派遣（→ P.486）

車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。

詳しくは、http://lexus.jp をご覧ください。

■カーファインダー（→ P.486）

リモート操作で、ハザードランプ（非常点滅灯）を点滅させ、お車の位置を確認することができます。

知 識

- G-Security では、車両の異常を検知した場合、サポートアドレスに登録されている電話番号やメールアドレスに通知します。サポートアドレスに登録されていない場合、通知できませんので、必ずご登録ください。また、連絡先に変更があった場合は変更手続きを行ってください。（→ P.525）
- 携帯電話で迷惑メールの拒否設定などをされている場合は、以下の発信元メールを受信できるようにご登録ください。［登録する発信元メールアドレス］g-book.info@03-003.mail.g-book.com
- メールによる通知には遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。
- アラーム通知される番号は発信専用番号となっています。ご連絡の際はレクサスオーナーズデスクへご連絡ください。（→ P.504）また、指定着信許可・拒否などの設定をされている場合は、以下の番号を着信できるようご登録ください。［通知番号］0570-024-111
- G-Security では車両の位置情報を使用します。本機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。
- G-Link 利用契約を解除した場合、メールや電話による通知は送信されません。

初期設定の確認・変更

アラーム通知、エンジン始動通知、うっかり通知の設定の確認・変更について説明します。

■通知設定の一覧

＊納車時の設定

サービス名	通知方法	設定		
アラーム通知	電話	設定中＊	解除中	－
	E メール	設定中＊	解除中	－
エンジン始動通知	E メール	設定中	解除中＊	－
うっかり通知	E メール	設定中＊	解除中	一時停止中

設定中 ･････････ 通知します
解除中 ･････････ 通知されません
一時停止中 ･････ 通知を 2 時間停止します
一時停止後、2 時間経過すると自動的に設定中に切り替わります

- サポートアドレスにメールアドレスの登録がない場合は、通知されません。
サポートアドレスの登録はナビ画面で行えます。（→ P.525）

解除中→設定中へ切り替える

1 MENU ▶ 情報・G → （G-Link）

2 G-Security を選択。

3 設定したい項目を選択。

- 設定の説明画面が表示されるとき
  ➡ 内容を確認し、確認 を選択。
- スイッチが「設定中」にかわり、通知設定が切り替わります。

設定中→解除中または一時停止中へ切り替える

- 一時停止は、「うっかり通知」のみの設定です。

1 MENU ▶ 情報・G → （G-Link）

2 G-Security を選択。

3 解除または一時停止したい項目を選択。

4 エンジン始動通知を解除するとき
➡ 解除 を選択。
- アラーム通知を解除するとき
  ➡ 手順 **5** へ

5 G 暗証番号またはパスワードを入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力します。
- G 暗証番号を登録しているとき
  ➡ G 暗証番号表示窓を選択。
- G 暗証番号を登録していないとき
  ➡ パスワード表示窓を選択。

6 解除 または 停止 を選択。

- 停止 は手順 **3** で「うっかり通知」を選択すると表示されます。

7 確認 を選択。

- 設定が「解除中」にかわり、通知設定が切り替わります。

知 識

- 「G　暗証番号」は、お客様情報の確認・変更や G-Security の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。

アラーム作動通知

ドアのこじ開け、車内侵入などのオートアラーム作動※を検知した場合、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスや電話番号に通知します。

※ 詳しくは、別冊GS350/GS250/GS F取扱説明書またはGS450h/GS300h取扱説明書をご覧ください。

アラーム通知の設定・解除を行うことができます。（→ P.481）

- 車外に出たあと、ドア・トランク・ボンネットを閉め、全てのドアをロックしたあと、30 秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。
- アラーム通知はサポートアドレスに連絡されます。
- アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてレクサスケアコミュニケーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
  ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→ P.504）
- 12V バッテリーがあがった場合、アラーム通知は行われません。
- 車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の送信が行われないことがあります。
- 通信環境が整わない状況等によりアラーム通知の送信が行われない場合、送信が完了するまで継続されます。
- アラーム通知が未送信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。
- ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。
- G-Link利用契約を解除した場合、アラーム通知は送信されません。

エンジン始動通知

エンジン／ハイブリッドシステムの始動を検知し、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスに通知します。

お車から離れるとき、携帯電話などから設定しておくと、第三者によるエンジン／ハイブリッドシステム始動がわかります。

エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。（→ P.481）

- エンジン始動通知はサポートアドレスに連絡されます。
- エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてレクサスケアコミュニケーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
  ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→ P.504）
- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、エンジン／パワースイッチが OFF になったことを検知し、通知させることができます。
- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、10 分間隔で通知させることができます。（24 時間経過後、自動解除されます。）

うっかり通知

ドアロック忘れやハザードランプ（非常点滅灯）の消し忘れなどを、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスに通知します。

うっかり通知の設定･解除を行うことができます。（→ P.481）

- エンジン／パワースイッチを OFF にして数分後、以下の条件をすべて満たすとうっかり通知メールが配信されます。
  ・ドア・トランク・ボンネットがすべて閉まっている
  ・電子キーが車内未検知
  ・ドアロック忘れやハザードランプ（非常点滅灯）が点滅しているなど
- お車を駐車した場所やお客様の携帯電話が電波状態の悪い所にあるときは、配信されなかったり、配信が遅れたりすることがあります。
- うっかり通知メールはサポートアドレスに配信されます。
- 12V　バッテリー脱着後はエンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ONモードにしないと、うっかり通知メールが配信されません。
- 電子キーが車外にあっても、以下のような場合では車内と判断されることがあります。その際には、うっかり通知メールが配信されない場合があります。
  ・ドアガラスに近い位置、またはルーフ上に電子キーがある場合。
  ・ウインドウ（ドアガラス）などから車内にある電子キーを車外に出した場合。
  ・スマートエントリー＆スタートシステムをキャンセルしている場合。

- 電子キーが車内にあっても、以下のような場合では車外と判断されることがあります。その際には、うっかり通知メールが配信される場合があります。
  - ・窓などから電子キーを車内に入れた場合。
  - ・電子キーの置き場所（インストルメントパネル上など）、状況（電池切れ、金属製ケースなどの中）、また周囲の電波環境によってスマートエントリー＆スタートシステムが正常に働かないおそれがある場合。※

※ 詳しくは、別冊 GS350/GS250/GS F 取扱説明書または GS450h/GS300h 取扱説明書をご覧ください。

リモートイモビライザー

お車が盗難にあった場合にお客様の要請により、エンジン／ハイブリッドシステムの始動を禁止し、ステアリングロックの解除を禁止することができます。

- ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください（→ P.504）。
- リモートイモビライザーの設定をレクサスオーナーズデスクへ依頼するときには、警察に車両盗難被害届けを提出してください。
- リモートイモビライザーは以下のとき、正しく作動しないことがあります。
  - ・車両の室内温度が非常に高いとき
  - ・お車が電波状態の悪い所にあるとき
  - ・1 週間以上お車を使用していないとき
  - ・12V バッテリーの電圧が低下しているとき
- レクサスオーナーズデスクにリモートイモビライザー設定の要請をしたとき、お車に一定の条件が整うと、リモートイモビライザーが設定されます。

リモート確認

ドア・トランク・ボンネット・ウインドウ（ドアガラス）の開閉やロックの状態、ハザードランプ（非常点滅灯）の点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどを携帯電話で確認できます。

- 携帯電話でご覧いただける、リモート確認画面での情報は、センターの最新値で、アクセス時点での状態ではありません。お車が電波状態の悪い所に駐車してあるときなどは情報が更新できず、前回の情報が表示されることがあります。
  - ・各車両の状態はエンジン／パワースイッチ OFF 後、ドアの開閉などが一定時間なかったときに、また、お車の状態の項目は状態に変化が発生するごとに更新されます。
- 12V バッテリー脱着後は、エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ONモードにしないと、リモート確認画面での情報は更新されません。
- スマートエントリー＆スタートシステムの設定が非作動になっている場合、電子キーが車内にあっても、車外と判断されることがあります。

リモート操作

施錠のし忘れやハザードランプ（非常点滅灯）の消し忘れなど、携帯電話を利用して、施錠などの操作をすることができます。

- リモート操作をおこなう前に安全を確認してください。最終停車位置の住所は、リモート操作画面から確認することができます。お車を駐車した場所が電波の届かない場所などでは位置情報が更新されない場合があります。
- リモート操作結果通知はサポートアドレスに連絡されます。
- リモート操作をおこなってから、24 時間以内であれば、元に戻す操作ができます。（→ P.486）
- リモート操作で施錠したとき、オートアラームとステアリングロックは設定されません。
- リモート操作は以下のとき、正しく作動しないことがあります。
  - ・お車が電波状態の悪い所にあるとき
  - ・1 週間以上お車を使用していないとき
  - ・12V バッテリーの電圧が低下しているとき
- リモート操作は以下のとき操作することができません。
  - ・エンジン／パワースイッチがアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モードのとき
  - ・電子キーが車内（トランク内も含む）にあると検知したとき
  - ・ドア・トランク・ボンネットが開いているまたは開閉操作があったとき
  - ・前回のリモート操作が操作中のとき
- 電子キーが車外にあっても、以下のような場合では車内と判断されることがあります。その際には、リモート操作が実施できない場合があります。
  - ・ドアガラスに近い位置、またはルーフ上に電子キーがある場合。
  - ・ウインドウ（ドアガラス）などから車内にある電子キーを車外に出した場合。
  - ・スマートエントリー＆スタートシステムをキャンセルしている場合。
- 電子キーが車内にあっても、以下のような場合では車外と判断されることがあります。その際には、リモート操作が実施される場合があります。
  - ・窓などから電子キーを車内に入れた場合。
  - ・電子キーの置き場所（インストルメントパネル上など）、状況（電池切れ、金属製ケースなどの中）、また周囲の電波環境によってスマートエントリー＆スタートシステムが正常に働かないおそれがある場合。※

    ※詳しくは、別冊GS350/GS250/GS F取扱説明書またはGS450h/GS300h取扱説明書をご覧ください。
- 道路交通法により、駐車時にハザードランプ（非常点滅灯）の点滅が必要な場合がありますので、ご注意ください。

警告

- リモート操作をお使いになる前に
  - ・リモート操作を過信しないでください。車を離れるときは、施錠、ハザードランプ（非常点滅灯）などを必ずご確認ください。
- リモート操作をするときは
  - ・車内に人がいる場合や他の人が車を使っている場合には、リモート操作をしないでください。人が車内に閉じ込められたり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

リモート操作を元に戻す操作

リモート操作をおこなってから24時間以内であれば、元に戻す操作ができます。

- 元に戻す操作結果通知は、サポートアドレスに連絡されます。
- 24 時間以内であっても、お車で操作があった場合は、以降の元に戻す操作はできません。
- 施錠の操作を元に戻したときは、「解錠操作のセキュリティ機能」（自動ロック機能）は働きません。
- 施錠の操作を元に戻したときは、操作前の状態にかかわらず全席解錠されます。
- 元に戻す操作は、以下のとき正しく作動しないことがあります。
  - ・お車が電波状態の悪い所にあるとき
  - ・12V バッテリーの電圧が低下しているとき

車両の位置追跡

お客様の要請により、レクサスケアコミュニケーターが盗難車両の位置を追跡します。

ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→ P.504）

警備員の派遣

お車が盗難にあったり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→ P.504）

- 警備員が出動してから 1 時間以内は無料です。1 時間を超える場合は、レクサスケアコミュニケーターから延長するかどうかの確認を行います。
  延長した場合の利用料金は、レクサス販売店または http://lexus.jp でご確認ください。
- 警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。
- 警備員の派遣を依頼するときには、警察への被害届けが必要となります。

カーファインダー

リモート操作で、ハザードランプ（非常点滅灯）を点滅させ、お車の位置を確認することができます。

- ハザードランプ（非常点滅灯）は約 1 分間点滅します。ハザードランプ（非常点滅灯）が点滅しているときにドアを開けるなどするとハザードランプ（非常点滅灯）は消灯します。

3. e ケア

e ケアについて

お車の状態に関する情報を G-Link センターで取得し、カーライフに役立つ情報を提供するサービスです。

リモートメンテナンスメール

走行距離や使用期間に応じて、定期点検やオイル交換・タイヤ交換などのメンテナンス内容を、お車にメールでご連絡します。

また、電話や本機の画面から、その場でレクサス販売店への入庫予約をおこなうことができます。

ウォーニング通知

お車のエンジン／ハイブリッドシステム・ブレーキ関係・オイルなどの項目について、メーター内の警告灯が点灯し G-Link センターが異常を検知すると、その内容を本機にてお客様にご連絡します。

また、電話や本機の画面から、レッカー車の手配やレクサス販売店への入庫予約をおこなうことができます。

- すべての警告灯の点灯に対し、ウォーニング通知を送信するわけではありません。

ウォーニング通知受信時の操作

■電話をかけて入庫予約する

1 内容表示 を選択し、ウォーニング内容表示画面を表示させる。

2 TEL を選択し、連絡先選択画面を表示する。

3 連絡先を選びハンズフリー通話する。

■本機の画面から入庫予約する

1 内容表示 を選択し、ウォーニング内容表示画面を表示させる。

2 予約 を選択し、入庫予約を行う。

診断サービス

万一、警告灯が点灯した場合にも、お客様からのお問い合わせに応じ、お車の状態情報をレクサス販売店で取得することにより、適切なアドバイスを提供することが可能です。

ヘルスチェックレポート

お車のバッテリーの状態、エンジンオイルやウォッシャー液の量低下など、メンテナンスについて、G-Link ユーザーサイトにて確認することができます。

4. G- カスタマイズ

G- カスタマイズについて

車両カスタマイズ項目の一部を遠隔で設定変更するサービスです。

- G-Link ユーザーサイトのご利用、またはレクサス販売店へのご依頼により、設定変更ができます。

5. レクサス緊急サポート 24

レクサス緊急サポート 24 について

- ガス欠などのトラブルが路上で発生した場合、現場での応急サービスを24時間365日無料で提供しています。
- お車が自力走行不能な場合には、レッカー車による移動を無料で実施いたします。
- さらに故障の場合は、目的地までの交通費・宿泊費なども一定条件で補償いたします。

サービス内容

内容		概要	備考
ロードサービス	レッカーサポート	レクサス販売店までの搬送手配と費用を負担	事故・故障を問わず
	現場緊急修理サポート	現場での 30 分程度の応急修理の手配と費用を負担	JAF 会員は油脂・燃料・部品代も費用負担
故障時臨時費用サポート		臨時交通費・臨時宿泊費・修理後搬送費用をサポート	故障時のみ
保険会社取り次ぎサービス		保険会社への事故報告のサポート（転送・番号案内など）	—
緊急伝言サービス		ご家族・勤務先等にメッセージを伝言	—

知識

- 自力走行不能とは、物理的に走行不可能なとき、または法令上走行が禁止されるとき（例：夜間でライトが作動しないときなど）、およびオーナーズデスクが自力走行不能と判断した場合をいいます。
- 一部有料となる作業や手配を行えない場合があります。
- G-Link 利用契約を解約した場合、レクサス緊急サポート 24 を利用できません。

6. マップオンデマンド（地図差分更新）

マップオンデマンドとは

G-Link センターでは、新しい道路情報が準備でき次第、順次地図データを更新しています。

マップオンデマンドは、通信モジュール（DCM）・Wi-Fi® の通信またはパソコン（インターネット）を経由して新しい道路情報をダウンロードし、地図を更新するサービスです。

Wi-Fi® での更新は Wi-Fi®（au Wi-Fi® 以外）利用時と G-Stasion（au Wi-Fi®）利用時の 2 種類あります。

マップオンデマンド（地図差分更新）と全更新	更新にかかる費用
地図更新は、新しい道路データ（差分）を通信モジュール（DCM）・Wi-Fi® やパソコンで更新していく「マップオンデマンド（地図差分更新）」と、「最新版地図ソフト」を購入いただき全ての地図データを更新する「全更新」があります。「全更新」を行う際、マップオンデマンドで更新済みの差分データが「全更新」データより新しい部分はそのまま保存されます。	更新方法により、更新時に次の費用がかかります。 ［通信で更新］ **▶通信モジュール（DCM）利用時※** ・基本利用料に含む **▶Wi-Fi® 利用時** ・Wi-Fi® テザリング契約料 ・Wi-Fi® 通信費 ［パソコンで更新］ ・パソコンのインターネット通信費 ・CD-R/DVD-R 代 ・USB メモリー代 地図更新 DVD を注文して更新 ・地図更新 DVD は有料です。料金については、レクサス販売店または http://lexus.jp でご確認ください。

※ G-Link 契約時

6. マップオンデマンド（地図差分更新）

サービス期間

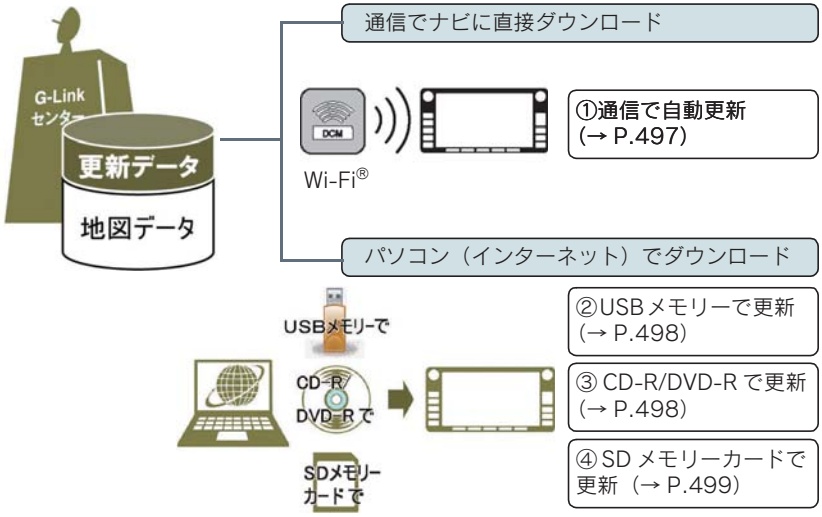
マップオンデマンドは、初度登録日をサービス利用開始日とし、利用開始日より 3 年間ご利用いただけます。

また、最新版地図ソフトをご購入いただき更新されることで更新日から 2 年間ご利用いただけます。

（なお、利用開始日より 3 年未満で最新版地図ソフトに更新された場合であっても、ご利用期間は更新日から 2 年間となりますので、ご注意ください。ただし、登録初年度に最新版地図ソフトを更新された場合のみ利用開始日より 3 年間はご利用いただけます。）

更新方法

更新方法は 4 種類あります。



■通信で更新

- 自動更新
  下記のタイミングで、自動的に更新データをダウンロードします。
  ・エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッションONモード／ON モード時、ナビゲーションで登録した自宅周辺 80km（細街路は 10km）ならびに全国配信道路に更新情報がある場合
  ・目的地設定時、目的地周辺 10km 四方ならびに全国配信道路に更新情報がある場合

■パソコン経由で更新

- 更新したい都道府県を選択すると、全国配信道路の更新データもあわせてダウンロードします。
- G-Link を利用していないお客様もご利用いただけます。

6. マップオンデマンド（地図差分更新）

■地図更新 DVD を注文して更新

- レクサスオーナーズデスクに地図更新 DVD を電話注文して、更新することができます。G-Link 契約のないお客様につきましては、マップオンデマンド・サポートデスクにてご対応させていただきます。
  その際、以下の情報が必要となりますのでご確認ください。
  ・車種名
  ・終了日（年／月／日）※
  ・地図のタイプ※
  ・ナビバージョン※
  ※ 地図更新画面で確認できます。（→ P.496）
- 地図更新 DVD は有料です。料金については、レクサス販売店または http://lexus.jp でご確認ください。
- G-Link を利用していないお客様もご利用いただけます。

マップオンデマンド・サポートデスク
0561-57-6814
受付時間　9：00 ～ 18：00
（年中無休）

■更新データ配信の目安

- 高速道路は供用開始後、最短 7 日で更新します。ただし、年末年始などの長期休暇、開通道路状況、天候不良、システム保守などにより、配信までの期間に遅延が生じる場合があります。地図更新データの収集・整備状況によっては、配信までに 3 カ月ほどかかる場合もあります。
- 一般道路は、開通後（変更後）、地図データとして収集・整備を行った後、順次配信します。

6. マップオンデマンド（地図差分更新）

更新対象

	全国配信	指定エリア※配信
道路データ	高速道路・有料道路、主要国道	一部国道、主要道、都道府県道、 その他道路、道幅 5.5m 未満の道路
施設情報	高速道路・有料道路施設	立体ランドマーク相当の著名な施設など
市街図	更新対象外	更新対象外
音声案内	更新対象外	更新対象外

※ 指定エリア
［通信で更新時］：
自宅周辺 80km（細街路は 10km）四方、目的地周辺 10km 四方
・ 指定エリア配信を通信で更新する場合、事前に自宅登録もしくは目的地設定が必要です。
［パソコンで更新時］：
選択した都道府県

知 識

- 施設の情報は、マップオンデマンドで更新されません。ただし、一部の施設マーク（コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード店、駐車場）の表示は更新されます。
- マップオンデマンドでは、音声案内データは更新されませんので、交差点、路線、方面名称、施設名称、目印などが更新された場合、固有の音声案内は出力されません。

6. マップオンデマンド（地図差分更新）

地図更新のステップ

更新データのナビゲーションへのダウンロード（またはコピー）後、地図の更新が完了するまで 2 つのステップがあります。

（1） 地図の更新準備

地図データを書き換えるための準備を行います。

ご利用の地図データや更新頻度により異なりますが、更新データが多い場合、数時間かかることがあります。自動更新以外でご利用の場合、定期的に更新することをお勧めします。

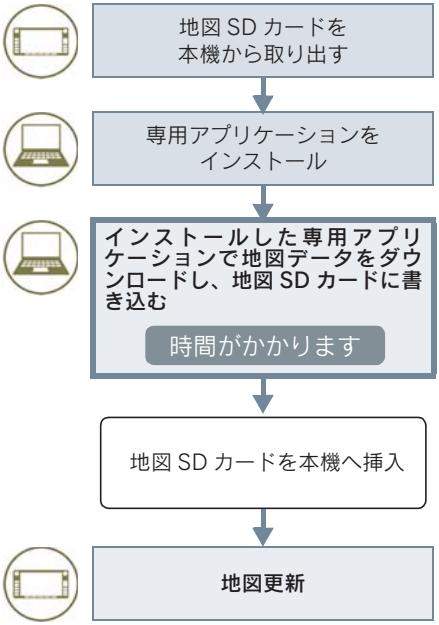
（2） 地図更新

本機の地図データを書き換える処理です。

更新準備が完了後、現在地画面の 地図更新 を選択した後、20 ～ 30 秒程度で完了します。ただし、更新データが多い場合は数分程度かかることがあります。

6. マップオンデマンド（地図差分更新）

▶SD メモリーカードを使用する場合



※ 地図更新 を選択しなかった場合、次回エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ ON モード時に地図更新を行います。

知 識

●「地図の更新準備」および「地図更新」中にオーディオなどの操作を行った場合は、さらに時間がかかることがあります。

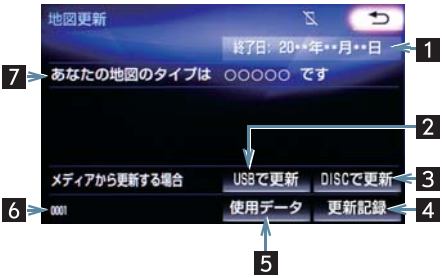
6. マップオンデマンド（地図差分更新）

地図更新画面の使い方

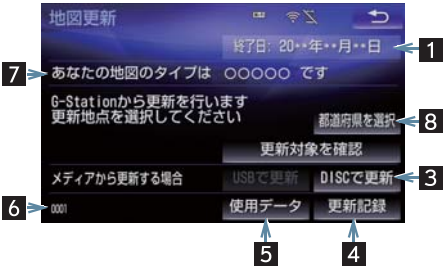
地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

1 MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新

▶通信モジュール（DCM）・Wi-Fi® （au Wi-Fi® 以外）利用時



▶G-Station（au Wi-Fi®）利用時



番号	機能
1	更新サービス終了日を表示する。
2	USB メモリーで更新する。
3	CD-R/DVD-R で更新する。
4	最新の更新日を確認する。
5	使用データ画面を表示する。 • 地図 SD カードに収録されているデータベースなどの情報を確認できます。
6	ナビバージョンを表示する。
7	地図のタイプを表示する。
8	更新する都道府県を選択する。

知 識

● G-Station で更新する場合、Wi-Fi® 設定をしてください。（→ P.530）

地図を更新する

通信モジュール（DCM）・Wi-Fi®（au Wi-Fi® 以外）で更新する

差分データがあると自動でダウンロードし、更新準備まで行います。

1 G-Link センターに接続し、差分データがあると、データがダウンロードされる。

- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

2 現在地画面の 地図更新 を選択。

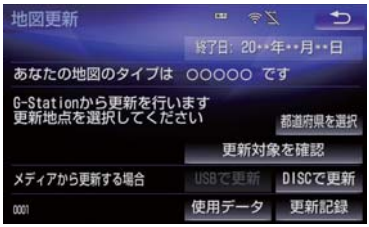
3 地図が更新される。

- 地図更新中画面が表示されている間は、ナビの操作はできません。

G-Station （au Wi-Fi®）で更新する

1 MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新

2 都道府県を選択 を選択。



3 都道府県を選択。

➡ 更新する都道府県を選択し、 開始 を選択。（選択できる都道府県は最大 3 つです。）

4 データがダウンロードされ、地図更新の準備をする。

- ダウンロードが完了すると、G-Station エリアから離れることができます。
- 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

5 現在地画面の 地図更新 を選択。

6 地図が更新される。

- 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。
- 地図のダウンロードに 20 分以上かかる場合があります。

6. マップオンデマンド（地図差分更新）

パソコン（USB メモリー）で更新する

■地図データを用意する

1 レクサスオーナーズサイト（http://lexus.g-book.com/）にログイン後、マップオンデマンドを選択する。

2 マップオンデマンドのダウンロードサイトからデータをダウンロードする。

3 データを USB メモリーにコピーする。

> ⚠ 注意
>
> ● ダウンロードした地図データのファイル名および拡張子を変更しないでください。
> ● 地図データの入っているフォルダ（diff）には、地図データ以外の情報を入れないでください。

■地図を更新する

1 本機に USB メモリーを接続する。（→P.183）

2 更新する都道府県を 3 つまで選択し、開始 を選択。

● 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

3 データがコピーされる。

● コピーが完了したら、USB メモリーを取りはずすことができます。

4 地図更新の準備をする。

● 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

5 現在地画面の 地図更新 を選択。

6 地図が更新される。

● 地図更新情報画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。

（知 識）

● 詳しい操作方法は、マップオンデマンドのダウンロードサイトの「使い方ガイド」にてご確認ください。
● USB メモリー内のファイルが極端に多い場合、地図データの認識に時間がかかることがあります。

パソコン（CD-R/DVD-R）で更新する

1 レクサスオーナーズサイト（http://lexus.g-book.com/）にログイン後、マップオンデマンドを選択する。

2 マップオンデマンドのダウンロードサイトからデータをダウンロードする。

3 データをCD-R/DVD-Rにコピーする。

> ⚠ 注意
>
> ● CD-R/DVD-R には地図データ以外の情報を入れないでください。
> ● ダウンロードした地図データのファイル名および拡張子を変更しないでください。
> 変更すると地図更新できません。

■地図を更新する

1 回の更新で 3 都道府県まで更新できます。

1 CD-R/DVD-R を本機に挿入する。

2 CD-R/DVD-R に差分データがある場合は、開始 を選択。

➡ 更新する都道府県を 3 つまで選択し、開始 を選択。

● 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

3 データがコピーされ、地図更新の準備をする。

● コピーが完了したら、CD-R/DVD-R を取り出すことができます。
● 更新準備が完了すると、音声案内が出力されます。

4 現在地画面の 地図更新 を選択。

5 地図が更新される。

知 識

● 詳しい操作方法は、マップオンデマンドのダウンロードサイトの「使い方ガイド」にてご確認ください。
● 地図更新情報画面が表示されている間は、ナビの操作はできません。

パソコン（SD メモリーカード）で更新する

■更新方法について

レクサスオーナーズサイト（http://lexus.g-book.com/）にログイン後、マップオンデマンドダウンロードサイトより、インストールした専用アプリケーションで地図データをダウンロードし、地図 SD カードに書き込みます。

※ SD メモリーカードで地図を更新するには、専用のアプリケーションをパソコンにインストールする必要があります。

■差分更新の手順について

地図データの差分更新は、以下の手順で行ってください。

1 地図 SD カードを本機から取り出す。（→ P.212）

2 パソコンに専用アプリケーションをインストールする。

3 インストールした専用アプリケーションで地図データをダウンロードし、地図 SD カードに書き込む。

4 地図 SD カードを本機へ挿入する。（→ P.212）

6. マップオンデマンド（地図差分更新）

専用のアプリケーションについて

専用のアプリケーションをパソコンにインストールすることで、地図データの差分更新や、使用中の専用アプリケーションのバージョンアップなどができます。

■専用のアプリケーションの動作環境

▶動作環境

- OS・・・
  Windows Vista（IE7.0 以上）
  Windows 7（IE8.0 以上※）
  Windows 8（IE10※）
  ※画面の一部が正しく表示されない場合があります。
- HDD・・・1ユーザーあたり約10GB以上の空き容量

▶必要なもの

- SDHC メモリーカードリーダー／ライター
- microSD アダプター（製品同梱）
- 地図 SD カード（製品同梱）
- インターネット接続可能な環境
- レクサスオーナーズカード ID または レクサスサービスカードIDと、パスワード

（知 識）

- Microsoft、Windows、Windows Media は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標および商標です。

地図更新 DVD を注文する（有料）

地図更新 DVD は、レクサスオーナーズデスク（→ P.504）に電話で注文して購入することも可能です。

G-Link 契約のないお客様につきましては、マップオンデマンド・サポートデスクへ注文してください。

その際、以下の情報が必要になりますので、確認しておいてください。

- 車種名
- 終了日（年／月／日）※
- 地図のタイプ※
- ナビバージョン※

※地図更新画面で確認できます。（→ P.496）

マップオンデマンド・サポートデスク
0561－57－6814
受付時間　9:00 ～ 18:00
（年中無休）

故障とお考えになる前に

症状	考えられること	処置
地図更新画面の終了日が「＊」になっている。	サービス有効期間の設定前であるためです。	サービス有効期間は自動で設定されます。 サービス有効期間設定前でも地図の更新は可能です。
いつまでたっても地図データが更新される気配がない。	通信で更新する場合、通信状態によってはダウンロードが中断することがあります。	しばらくしてから、通信状態が良好な場所で再度確認してください。
	お客様がお住まいの地域で実際に道路更新がなかった。	レクサス販売店で点検を受けてください。
	ダウンロード中、コピー中、または更新準備中である。	MENU ▶ 設定・編集 → 地図更新 の順に選択し、表示された画面で状態を確認してください。
USBメモリーでの地図更新時、データ認識に時間がかかる。	USB メモリーの空き容量が不足している。	USB メモリーの空き容量を増やしてから更新を行うようにしてください。

7. G ルート探索（プローブ情報付）

G ルート探索をする（プローブ情報付）

G-Link センターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探索し、ご案内します。

全ルート図表示画面と再探索画面で使用することができます。

知 識

- レクサスオーナーズデスクにナビの目的地設定を依頼すると、G ルート探索による最適なルート案内を行います。
- 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- G ルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。

目的地設定時に手動で取得する

目的地設定後に表示される全ルート図表示画面から、G ルート探索することができます。

1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で G ルート を選択。

- G-Link センターに接続し、G ルート探索を行います。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。
- 通常のルート探索をしたルートに戻すとき
  ➡ 元ルート を選択。
- Gルート探索で取得した情報が本機に保存されていれば、元ルート を選択したあとに G ルート を選択しても、G-Link センターに接続されません。

知 識

- Gルート探索後にIC指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。

7. G ルート探索（プローブ情報付）

ルート案内中に手動で取得する

ルート案内中に手動で、G ルート探索することができます。

現在地画面表示中

1 再探索 を選択。

2 G ルート探索 を選択。

- G-Linkセンターに接続し、Gルート探索を行います。
- G ルート探索情報の取得を中止するとき
  ➡ 取得中止 を選択。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。

G ルート探索を自動で取得する

プローブ交通情報を自動取得に設定すると、次のタイミングで自動的に G ルート情報を取得できます。
(1) ルート案内開始時と、案内開始以降約 20 分ごと
(2) JCT 手前や高速道路に乗る手前

1 MENU ▶ 設定・編集 → ナビ詳細設定 → ルート系設定

2 プローブ交通情報自動取得 を選択。

3 する を選択。

- 解除するとき
  ➡ しない を選択。

8. レクサスオーナーズデスク

レクサスオーナーズデスクについて

レクサスオーナー専用のコールセンターです。フリーダイヤルにお電話していただくと、レクサスケアコミュニケーター（レクサス専用オペレーター）が 24 時間 365 日さまざまなご要望にお答えします。

- 詳しいサービス内容については、http://lexus.jpのトータルケアをご覧ください。

（知 識）

- 本機の時刻データが更新されていないと、レクサスオーナーズデスクを利用できません。
  この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、MAP を押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。
- ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、レクサスオーナーズデスクを利用できません。
- レクサスオーナーズデスク接続中は、ヘルプネットおよびセキュリティ以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、レクサスオーナーズデスク接続を終了してからご使用ください。
- 電話機接続で携帯電話が選択されていても、オーナーズデスク接続中は一時的に Bluetooth 接続が切断／中断されます。
- G-Link 利用契約を解除した場合、レクサスオーナーズデスクのサービスが一部利用できません。
- お問い合わせ内容により、ご希望に沿えない場合があります。

本機からレクサスオーナーズデスクへ接続する

レクサスオーナーズデスクは、ハンズフリー電話の設定不要で簡単に発信ができます。（通話料無料）

- レクサスオーナーズデスクへの発信のみ可能です。
  着信やレクサスオーナーズデスク以外への発信はできません。※

※ 本機でレクサスオーナーズデスクからの着信や任意の番号への電話をご利用になるには、「自動車専用ハンズフリー電話」のオプション契約の申し込みが必要です。

レクサスオーナーズデスクを使う

車内よりハンズフリーを利用する場合の使用例を紹介します。

1 MENU ▶ 情報・G → （G-Link）

2 オーナーズデスク を選択。

3 レクサスオーナーズデスクに接続する。

- 中止するとき
  ➡ 中止 を選択。

4 レクサスケアコミュニケーターと通話する。

- 「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をレクサスケアコミュニケーターにお伝えください。
- レクサスケアコミュニケーターが調べた情報を通話中に表示することが可能です。※

※ 停車中にご利用ください。

5 画面の指示にしたがって操作する。

- 「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、G-Link センターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。

携帯電話・固定電話から利用する

- いつもご利用の携帯電話、自宅やオフィスの電話からも利用できます。

1 レクサスオーナーズデスクに電話をかける。

2 利用したい内容を伝える。

- ドライブサポート
- トラブルサポート

3 本機を使用して、手動で受信する。

- 携帯電話や固定電話から利用すると、次回エンジン／パワースイッチをアクセサリーモードまたはイグニッション ON モード／ON モードにしたときに、情報の受信をお知らせするメッセージが本機に表示されます。画面の指示にしたがって、操作してください。
  表示されない場合は、手動で情報を取得してください。（→ P.506）

知 識

- ご利用の際は、お申し込み時にサポートアドレスとして登録した番号から、発信者番号通知でかけていただくと、スムーズにご利用いただけます。
- 次の場合、レクサスケアコミュニケーターがご本人であることを確認させていただくことがあります。
  - G-Link 利用契約を解除した場合
  - ご利用の携帯電話や固定電話が、番号非通知設定になっている場合
  - ご利用の携帯電話や固定電話が、サポートアドレスに登録されていない場合

8. レクサスオーナーズデスク

手動で情報を取得する

- 自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

1 MENU ▶ 情報・G → （G-Link）

2 情報確認 を選択。

3 メッセージが表示されたら、はい を選択。

- メッセージが表示されないときは
  ➡ 受信一覧 を選択。
- 過去に依頼した情報が表示されます。

9. 渋滞予測

渋滞予測情報を表示する

G-Link センターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。

高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。

今後の旅行の計画を立てるときに利用すると便利です。

● 渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表示	名称	内容
	渋滞	渋滞の区間を示しています。
	混雑	混雑の区間を示しています。
	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※ 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。
交通情報提供区間の距離が短い場合は、矢じりを表示しません。

渋滞予測情報を提供する路線について

● 都市間高速道路
● 都市高速道路
● 主な有料道路
● 一部の一般道路
・松永道路、名阪国道、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

※ 情報提供路線は随時更新されます。

9. 渋滞予測

渋滞予測情報を表示する

1 MENU ▶ 情報・G → （情報）

2 高速渋滞予測 を選択。

3 G-Link センターに接続し、渋滞予測情報を取得する。

- 情報の表示および読み上げを行います。
- 中止するとき
  ➡ 中止 を選択。

知 識

- 渋滞予測情報の読み上げは、ブラウザの自動読上げ設定（→ P.458）に関係なく、常に読み上げられます。
- 以前に取得した渋滞予測情報が本機に保存されているときは、G-Link センターに接続しないことがあります。
- 極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着予想時刻を含む）は、表示されないことがあります。
- 新規開通道路については、VICS 情報の配信状況により正しく表示されないことがあります。

渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

1 次のいずれかを選択。

＋: 渋滞予測時間を進める

－: 渋滞予測時間をもどす

現在: 現在の渋滞状況を表示する

知 識

- G-Link センターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。
- その時間の渋滞予測情報を取得していない場合のみ、G-Link センターに接続して渋滞予測情報を取得します。

渋滞増減予測を表示する

渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。

また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。

渋滞増減予測アイコンの ON（表示する）／ OFF（表示しない）を選択できます。

1 MENU ▶ 情報・G → （情報） → 高速渋滞予測

2 渋滞増減予測表示 を選択。

作動表示灯

- アイコン表示が ON のときは、作動表示灯が点灯します。
- アイコンを表示しないとき
  ➡ 再度 渋滞増減予測表示 を選択。

3 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンを選択。

- 渋滞情報を読み上げます。

アイコン	内 容
＋	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
－	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
■	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

知 識

- 渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によっては、表示されないものもあります。
- 渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

渋滞予測地図の縮尺を切り替える

渋滞予測画面の地図は、通常の地図と同様に地図の縮尺を切り替えることができます。

1 － または ＋ を選択または ∧ ・ ∨ を押す。

到着予想時刻

- ルートが設定されているときは、もっとも詳細な縮尺に切り替えると、地図上に IC 毎の到着予想時刻が表示されます。
  ・もっとも詳細な縮尺で表示される到着予想時刻は、3 時間先以降は到着予想時刻設定（→ P.127）で設定した車速から計算されます。
  そのため、渋滞予測情報から計算される到着予想時刻にくらべると、誤差が広がることがあります。

9. 渋滞予測

区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。

ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。

▶区間所要時間予測表示

1 MENU ▶ 情報・G → （情報） → 高速渋滞予測

2 所要時間 を選択。

- G-Linkセンターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。

3 区間所要時間予測表示を解除するときは、終了 または ■ を選択。

知 識

- 出口ICまでの距離が遠い場合は、出口ICまで表示されないことがあります。
- 渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。
- 新規開通道路については、VICS情報の配信状況により正しく表示されないことがあります。

10. WEB 検索

WEB 検索で目的地を設定する

本機からインターネットの検索エンジンを使用して施設を検索し、目的地に設定することができます。

1 MENU ▶ 目的地 → WEB

2 ソフトウェアキーボードを使用してキーワードを入力し、検索 を選択。

- ソフトウェアキーボードの使用方法は、「ソフトウェアキーボードを使う」（→ P.19）をご覧ください。
- エリア を選択すると、検索エリアを変更することができます。

- 検索結果の地図画面が表示され、施設アイコンが表示されます。

3 アイコンを選択し、情報 を選択。

- 情報 を選択すると、施設情報を表示することができます。
- リスト表示 を選択すると、検索結果の一覧を表示することができます。一覧に表示されている項目を選択すると、施設情報を表示することができます。

4 施設情報を確認する。

- 施設情報画面の 詳細情報 を選択すると、検索エンジンから提供されている施設の詳細な情報を表示することができます。
- 地点登録 を選択すると、メモリ地点に登録できます。

5 目的地セット を選択。

- 目的地を設定する画面が表示されます。（→ P.84）

6 目的地セット を選択。

知 識

- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 検索された施設の情報は、検索エンジンに依存します。詳細は利用案内をご確認ください。
- 検索エンジンは、予告なしにサポートを終了する場合があります。
- 検索条件によっては、検索結果が取得できない場合があります。
- 検索エンジン側のメンテナンス作業などにより、サービスが利用できない場合があります。
- 検索エンジンからの取得結果によっては、実際の位置と異なる場所が表示される場合があります。
- メモリ地点の登録数には制限があります。登録できない場合は、不要なメモリ地点を削除してから、登録してください。

11. エージェント

エージェントのサービス内容について

音声認識用マイクに向かって話かけることにより、目的地設定の操作や、天気予報などの情報を音声とテキスト表示でご案内します。

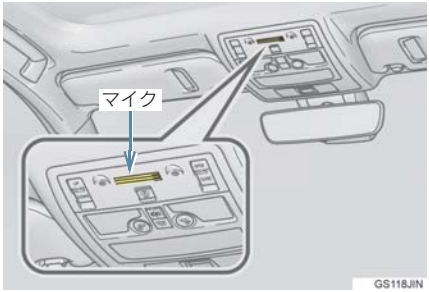
主なサービス	機能概要
日常会話	エージェントとの日常会話を行う。 発話例：「おはよう」
ニュース	提携コンテンツから取得したニュースのテキスト表示・読み上げをする。 発話例：「スポーツニュースは？」
天気予報	提携コンテンツから取得した天気予報のテキスト表示・読み上げをする。 発話例：「横浜の天気は？」
目的地検索	提携コンテンツで検索した施設を目的地に設定したり、施設情報の確認、施設への電話発信や G メモリ地点への登録をする。 発話例：「名古屋駅周辺のイタリアン」
ヘルプ	エージェントで実行可能な機能や発話例をガイドする。 発話例：「ヘルプ」
閲覧履歴	閲覧履歴を表示し、履歴から目的地を選択したり履歴の編集（削除）ができる。 発話例：「閲覧履歴」
レクサスオーナーズデスク	レクサスオーナーズデスクに接続し、レクサスコミュニケーターによる情報検索やナビ設定ができる。 発話例：「レクサスオーナーズデスク」
交通情報	提携コンテンツから取得した交通情報（渋滞情報）のテキスト表示・読み上げする。 発話例：「この辺の渋滞情報を教えて」
自宅に帰る	自宅が登録されている場合、自宅に目的地を設定する。 発話例：「自宅に帰りたい」

※サービス内容は順次変更されます。

（知 識）

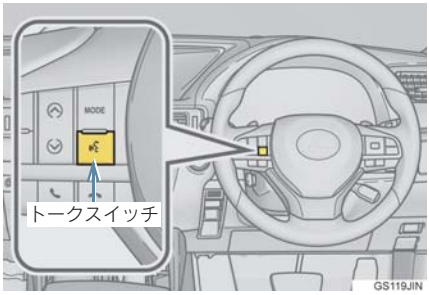
- 話かける際は、大きめな声でゆっくり、はっきりとお話ください。
- エアコンの風量が強いと認識しづらい場合があります。
- 認識しづらい場合は条件を 2 回に分けるなど、短い文章でお話ください。
  例）「駐車場付きの名古屋のレストラン」
  ・発話 1 回目：「名古屋のレストラン」　→　名古屋のレストランを検索
  ・発話 2 回目：「駐車場付き」　→　駐車場付きの名古屋のレストランを検索

音声認識用マイク

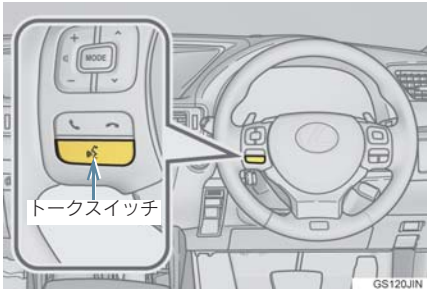


ステアリングスイッチ

▶GS450h/GS300h/GS350/GS250



▶GS F



エージェントを開始する

ステアリングスイッチで操作する

基本的な操作の流れを見ながら、エージェントを開始する方法と、音声対話中の基本操作を覚えましょう。以下は、目的地設定の例です。

1 ステアリングスイッチのトークスイッチを押し続ける。

2 マイクスイッチが緑色になったら、発声する。

- <ピッ>と音がしてから約 5 秒以内に発声してください。
- 発声後、1 つ前のエージェント画面に戻りたいときは、「戻る」と発声します。

3 画面の案内に従って、発声する。

4 リストが表示された場合は、目的の番号（「○番目」）を発声する。

11. エージェント

- 音声が認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。
- リストを選択して操作することもできます。
- 「○番目を目的地セット」と続けて発声すると、目的地の設定まで完了させることができます。

5 地図が表示された後、「目的地セット」と発声する、または 目的地セット を選択。

- ルート案内が開始されます。
- 情報 を選択すると、検索地点の情報を確認することができます。
- 情報画面表示後、「地図」と発声する、または 地図 を選択すると、地図画面が表示されます。

知 識

- エージェント開始から終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。

本機のスイッチで操作する

基本的な操作の流れを見ながら、エージェントを開始する方法と、音声対話中の基本操作を覚えましょう。以下は、目的地設定の例です。

1 MENU ▶ 情報・G → （G-Link）

2 エージェント を選択。

3 マイクスイッチ が緑色になったら、発声する。

マイクスイッチ

- ＜ピッ＞と音がしてから約 5 秒以内に発声してください。
- 発声後、1 つ前のエージェント画面に戻りたいときは、「戻る」と発声します。

4 画面の案内に従って、発声する。

5 リストが表示された場合は、目的の番号（「○番目」）を発声する。

- 音声が認識されると、音声ガイドが出力され、実行されます。
- リストを選択して操作することもできます。
- 「○番目を目的地セット」と続けて発声すると、目的地の設定まで完了させることができます。

6 地図が表示された後、「目的地セット」と発声する、または 目的地セット を選択。

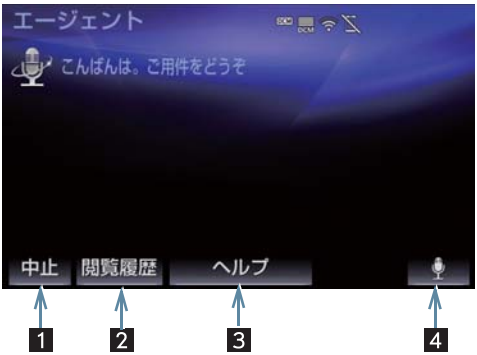
- ルート案内が開始されます。
- 情報 を選択すると、検索地点の情報を確認することができます。
- 情報画面表示後、「地図」と発声する、または 地図 を選択すると、地図画面が表示されます。

知 識

- エージェント開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。

11. エージェント

エージェント画面の使い方



番号	スイッチ	機　能
1	中止	エージェントを終了する。
2	閲覧履歴	閲覧履歴を表示する。
3	ヘルプ	エージェントの使い方を表示する。
4	マイクスイッチ	ユーザーの発話受付を開始する。 • 音声受付中はスイッチが緑色に変化します。 • 音声ガイド出力時に選択すると、音声ガイドがスキップされ、音声受付中の状態になります。

エージェント（地図）画面の使い方

番号	スイッチ	機能
1	中止	エージェントを終了する。
2	最初に戻る	エージェント操作開始画面に戻る。
3	電話	検索した地点（施設）に電話をかける。
4	G メモリ	検索した地点情報を G メモリに登録する。
5	目的地セット	検索した地点を目的地に設定する。
6	マイクスイッチ	ユーザーの発話受付を開始する。 • 音声受付中はスイッチが緑色に変化します。 • 音声ガイド出力時に選択すると、音声ガイドがスキップされ、音声受付中の状態になります。
7	情報	検索した地点の施設情報を表示する。 • 呼び出した地図の地点により、表示される画面が異なります。 • 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

11. エージェント

音声対話を中断する

次のような場合は、音声対話を中断します。

- 通信中、または認識中に キャンセル を選択。
- 音声を 3 回連続で認識できなかったとき。

音声対話を再開する

次のいずれかの操作をします。

- ステアリングスイッチのトークスイッチを押す。
- を選択。

最初に戻る

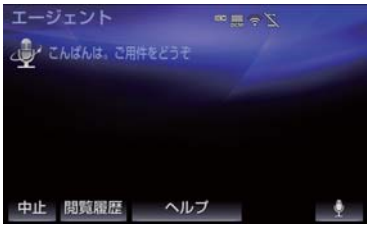
次のいずれかの操作をします。

- 最初に戻る を選択。
- 「最初に戻る」と発声する。

ヘルプ機能を使用する

詳しい操作方法を確認することができます。

1 「ヘルプ」と発声する、または ヘルプ を選択。



- ヘルプ機能を終了するとき
  ➡ ヘルプを閉じる を選択。

音声ガイドを省略する

音声ガイド出力時にステアリングスイッチのトークスイッチを押す、または を選択すると、音声ガイドが途中でも次の動作に移ることができます。

エージェントを終了する

ステアリングスイッチで操作する

1 ステアリングスイッチのトークスイッチを押し続ける。

本機のスイッチで操作する

次のいずれかの操作をする。

- 中止 を選択。
- 「中止」と発声する。

知 識

- 次の条件でもエージェントは終了します。
  - ・エージェントの検索結果を実行したとき（目的地設定画面に移行したときなど）
  - ・ハンズフリーの着信が入ったとき

12. LEXUS Apps

LEXUS Apps について

LEXUS Apps は多彩なアプリを本機にダウンロードし、ご利用いただけるサービスです。
LEXUS Apps を利用するには、G-Link の契約が必要です。レクサス販売店へお問い合わせください。

■アプリについて

有料アプリのご利用にはレクサス販売店で次の手続きが必要です。

● クレジットカード情報の登録

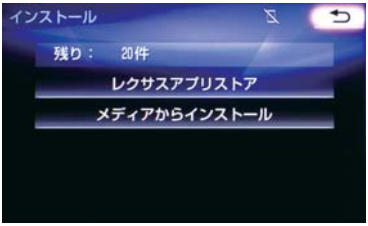
アプリの詳細については、http://lexus.jp のレクサスオーナーズ G-Link サイトをご覧ください。

アプリを購入する

1 MENU ▶ 情報・G → （Apps）

2 インストール を選択。

3 レクサスアプリストア を選択。



● メディアからインストール は表示されますが、使用できません。（現在サービス開始時期は未定です）

4 アプリを選択し、サービス内容・価格を確認して、購入 を選択。

5 レクサスオーナーズカード ID、パスワードを入力する。

6 完了 を選択。

7 規約を確認後、同意する を選択。

8 はい を選択。

知 識

● 走行中はアプリの購入ができません。安全な場所に車を停止させて実施ください。
● アプリの購入履歴は、http://lexus.jp のレクサスオーナーズ G-Link サイトより確認ができます。

Apps 画面の使い方

番号	スイッチ	機能
1	インストール済みアプリ（アイコン）	選択すると該当のアプリを起動する。
2	インストール	インストール画面を表示する。
3	配置編集	1 のアプリアイコンの表示位置の入れ替えをする。 • アプリアイコンを入れ替えたいときは、入れ替えたいアプリアイコンを選択し、入れ替え先のアプリアイコンを選択します。
4	マイアプリ管理	インストールした各アプリの動作やアップデート等の詳細を確認する。
5	アップデート状態取得	最新のアップデート状態を取得する。
6	詳細	インストール、アップデート失敗時の対処方法を表示する。
7	アップデート	アプリをアップデートする。
8	一括アップデート	アップデートができるアプリを一括でアップデートする。
9	停止	起動中のアプリを停止する。
10	アンインストール	アプリをアンインストールする。 起動中のアプリをアンインストールする場合は、停止 を選択後、アンインストールできます。

知 識

● アプリは同時に 3 つまで起動可能です。
● 音楽系のアプリを同時に 2 つ以上起動することはできません。

12. LEXUS Apps

アプリの割込み表示について

次のような場合、地図画面上にアプリ画面が表示されます。

(1) 地図画面上の Apps を選択したとき

(2) アプリが自動で割込み表示をしたとき

現在地画面表示中

1 Apps を選択。

2 アプリ画面が表示されます。

- 消すとき
  ➡ >> を選択。
- 割込み表示されたアプリを切り替えるとき
  ➡ < または > を選択。
- Apps を選択しなくても、アプリ画面が自動で表示されることがあります。

(知 識)

- ITS スポットエリア内で ETC2.0 ブラウザを表示後、割り込みアプリ画面にエラーメッセージが表示される場合があります。

マイアプリ管理について

アプリをアップデートする

1 MENU ▶ 情報・G → (Apps)

2 マイアプリ管理 を選択。

3 アップデート を選択。

- 複数のアプリをまとめてアップデートしたいとき
  ➡ 一括アップデート を選択。

4 アップデート確認画面が表示される。

- ユーザ認証画面がでたとき
  ➡ レクサスオーナーズカード ID、パスワードを入力し、完了 を選択。

5 はい を選択。

Apps 設定を変更する

アプリのアップデート設定を変更することができます。

アプリのアップデート方法を設定する

1 MENU ▶ 設定・編集 → Apps → Apps 設定

2 アップデート確認 を選択。

3 自動 または 手動 を選択。

自動：アップデート可能なアプリがあると、マイアプリ管理画面の対象アプリにアップデートスイッチが自動的に表示されます。

手動：マイアプリ管理画面の アップデート状態取得 を選択すると、アップデート可能なアプリにアップデートスイッチが表示されます。（→ P.521）

13. CD タイトル情報取得

タイトル情報を取得する

音楽 CD から音楽用 SD メモリーカードへ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名、アーティスト名、ジャンル名など）を、地図SDカードに収録されているデータベースから取得することができます。
ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。G-Link を利用すると、最新の CD タイトル情報を G-Link センター経由で Gracenote メディアデータベースから取得することができます。

● データベースの検索について
➡「タイトル情報を再取得する」（→ P.230）

アルバム修正画面（→ P.229）

1 G で検索 を選択。

2 表示された画面の指示にしたがって、希望のタイトルを選択・登録する。

知 識

● 該当する CD タイトル情報が見つからなかった場合は、メッセージが表示されたあとにアルバム修正画面に戻ります。
● ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CD タイトル情報の取得を中止します。

1. G-Link 詳細設定

サポートアドレスについて

サポートアドレスは、G-Security やレクサス緊急サポート 24 などのコンテンツ利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。

G-Link 利用申込書に記入いただいた連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。

連絡先に変更があった場合は下記操作で変更してください。

サポートアドレスを確認・変更する

1 MENU ▶ 情報・G → （G-Link） → G-BOOK.com

2 サポートアドレスの登録・変更 を選択。

※ 表示されているメニューは一例です。この画面に表示されていないときは ユーザー を選択し、ユーザーページにて操作してください。

3 G 暗証番号を入力。

- G 暗証番号が未設定の場合、オーナーズカード ID またはサービスカード ID とパスワードを入力し、G 暗証番号を設定してください。

4 表示される電話番号を確認した後、メール を選択。

- 電話番号を変更するとき
  ➡ 変更する電話番号を選択し、入力する。

5 メールアドレスを確認する。

- メールアドレスを変更するとき
  ➡ 変更するメールアドレスを選択し、入力する。

知 識

- サポートアドレスの確認・変更は、パソコンや携帯電話の G-Link ユーザーサイト（http://lexus.g-book.com/）でも行うことができます。
- 携帯電話で迷惑メールの拒否設定などをされている場合は、以下の発信元メールを受信できるようにご登録ください。
  ［登録する発信元メールアドレス］g-book.info@03-003.mail.g-book.com

G-Link 詳細設定を変更する

G-Link に関する各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link

2 G-Link 詳細設定 を選択。

3 各項目を設定する。

項目	ページ
契約の解除手続き	450
G-BOOK Viewer の自動読上げ	458
単語の編集	21
定型文の修正	22
入力履歴の削除	22
予測変換候補の表示設定	22

1. G-Link 詳細設定

通信ロックを使う

通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。
他人に車を貸す場合など、G-Link を触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

○：利用できます
×：利用できません

機能		動作
ヘルプネット		○
マップオンデマンド（地図更新）		×（Wi-Fi® テザリング対応機器または通信モジュール（DCM）で更新するとき）
G-BOOK.com		×
閲覧履歴		×
ブックマーク		×
レクサスオーナーズデスク		×
LEXUS Apps		○（通信を使用するアプリを除く）
レクサスアプリストア		×
CD タイトル情報取得		×
G-Link とナビの連携機能	WEB 検索	×
	周辺情報	×
	Harmonious Driving Navigator	○（エコレベル、毎分燃費のみ）
	G ルート探索	×（プローブコミュニケーション交通情報を含む）
	G メモリ地点情報	○（保存済みデータのみ）
	G で設定	×
	施設情報表示	×
リモートメンテナンスサービス	リモートメンテナンスメール	×
	ウォーニング通知	○（ウォーニング通知の送信のみ）
	e ケア（診断サービス）	○（DCM による通話を除く）
	e ケア（ヘルスチェックレポート）	○
	G- カスタマイズ	○（画面表示を除く）

ロックする

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → プライバシー設定

2 通信ロック を選択。

3 はい を選択。

解除する

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → プライバシー設定

2 通信ロック解除 を選択。

3 暗証番号を入力し、完了 を選択。

- 間違えたとき
  ➡ 修正 を選択。

知 識

- 通信ロックを解除するときは、暗証番号が必要になります。暗証番号については、「暗証番号を変更する」をご覧ください。（→ P.527）

暗証番号を変更する

暗証番号は、通信ロック（→ P.526）したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

⚠ 注意

- 完了 を選択して設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
  - ・エンジン／パワースイッチを OFF にする。
  - ・エンジン／ハイブリッドシステムを始動しなおす。

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → プライバシー設定

2 暗証番号変更 を選択。

3 現在の暗証番号を入力し、完了 を選択。

- はじめて設定するとき
  ➡「0000」を入力する。
- 変更するとき
  ➡ 設定してある暗証番号を入力する。
- 間違えたとき
  ➡ 修正 を選択。
- 暗証番号を忘れたとき
  ➡「暗証番号を忘れた場合」（→ P.528）

4 新しく設定したい暗証番号を入力し、完了 を選択。

5 新しい暗証番号の確認のため、再度新しく設定したい暗証番号を入力し、完了 を選択。

1. G-Link 詳細設定

6 質問 、 回答 を選択して、それぞれ入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力する。

7 完了 を選択。

知 識

- 暗証番号は 4 桁の数字です。初期設定は「0000」になっています。
  暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。
- 質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。(→ P.528)
  質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。

暗証番号を忘れた場合

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → プライバシー設定

2 暗証番号を忘れた場合 を選択。

3 回答 を選択。

4 回答を入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力する。

5 完了 を選択。

6 暗証番号を確認したら、 了解 を選択。

2. プライバシー設定

設定・編集画面を表示する

G-Link を利用するときの各種設定は、設定・編集画面から行います。

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link

● 設定・編集画面で、次の項目を設定することができます。

項目	ページ
Wi-Fi® 設定	530
通信設定	536
プライバシー設定	529
リモートセキュリティ設定	537
G-Link 詳細設定	525

プライバシー設定を変更する

プライバシーに関する各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link

2 プライバシー設定 を選択。

3 各項目を設定する。

項目	ページ
通信ロックを使う	526
暗証番号を変更する	527
暗証番号を確認する	528
G-BOOK Viewer の閲覧履歴を削除する	—
G-BOOK Viewer のブックマークを削除する	—

3. Wi-Fi® 設定

Wi-Fi® について

Wi-Fi® を使用するサービスを利用するには、Wi-Fi® 通信設定が必要です。

● Wi-Fi は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

知 識

● 本機能はベストエフォート型の機能です。
● 本機能は持ち込み機器との接続にてご利用ください。持ち込み機器以外の接続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。
● Wi-Fi® や無線 LAN 圏内から出た場合は、通信は切断されます。
● お客様のご利用環境（住宅構造、家具の配置、無線アンテナの設置場所、近隣での各種無線機器利用など）により、通信速度が低下したり、通信ができないことがあります。
● Wi-Fi®、WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™ は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

表示			
レベル	圏外／未接続	弱 ←→	強

知 識

● Wi-Fi® の受信レベルが弱い場合、使用できないことがあります。

■対応 Wi-Fi® 通信方式

● 802.11b/g/n

■対応セキュリティ方式

● WEP
● WPA™
● WPA2™
● Wi-Fi Protected Setup™

Wi-Fi® 機器使用上の注意事項について

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式としてDS-SS変調方式、OFDM変調方式を採用しています。想定与干渉距離は 40m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi® 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

警告

- Wi-Fi® 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

知 識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

Wi-Fi® と Bluetooth を同時に使用するとき

- ハンズフリーと Wi-Fi®、Bluetooth Audio と Wi-Fi® など、Bluetooth 機能と Wi-Fi® を同時に利用すると動作が遅くなることがあります。

3. Wi-Fi® 設定

Wi-Fi® 通信設定をする

Wi-Fi® 通信に関する各種設定をすることができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link

2 Wi-Fi 設定 を選択。

3 各項目を設定する。

項目	ページ
Wi-Fi® 通信を接続／切断する	532
利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する	532
簡単設定から Wi-Fi® 接続する	533
Wi-Fi® 詳細設定を変更する	534

Wi-Fi® を ON ／ OFF する

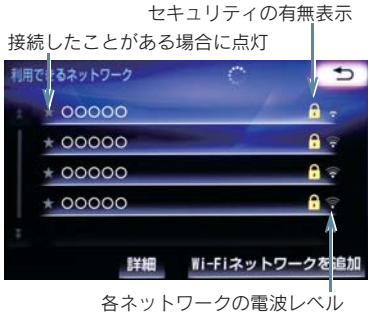
1 Wi-Fi Power を選択。

- 選択するたびに、ON ／ OFF が切り替わります。

利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する

1 利用できるネットワーク を選択。

2 利用するネットワークを選択。



- ネットワークの詳細を確認したいとき
  ➡ 詳細 →詳細を確認したいネットワークの順に選択。
- リストにないネットワークに接続したいとき
  ➡ Wi-Fi ネットワークを追加 を選択し、ネットワーク SSID（アクセスポイントの識別子）を入力。

- 接続にセキュリティを設定するときは、セキュリティ方法（WPA、WEP など）を選択するとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し 完了 を選択すると、ネットワークへの接続を開始します。
- G-Station（EV/PHV 用充電器）および au Wi-Fi® SPOT で接続する場合は、利用するネットワーク SSID を「au Wi-Fi®」に設定してください。その場合はパスワードなしで接続できます。

※ au Wi-Fi® SPOT 機能のない G-Station もあります。

簡単設定から Wi-Fi® 接続する

簡単設定に対応している Wi-Fi® テザリング対応機器では、より簡単に Wi-Fi® 接続することができます。

1 簡単設定 を選択。

2 PIN コード または プッシュボタン を選択。

- PIN コード を選択したとき
  ➡ 画面に表示されている PIN コード（パスキー）を Wi-Fi® テザリング対応機器に入力する。（時間内に設定できない場合、簡単設定画面に戻ります。）
- プッシュボタン を選択したとき
  ➡ Wi-Fi® テザリング対応機器のプッシュボタンを押す。（時間内に設定できない場合、簡単設定画面に戻ります。）

3 Wi-Fi® テザリング対応機器を操作し、ネットワークへ接続する。

知 識

- Wi-Fi® テザリング対応機器側の操作については、Wi-Fi® テザリング対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Wi-Fi® テザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® 接続を行う場合

Wi-Fi® テザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® 接続を行う場合、下記の操作例を参考に接続してください。
※テザリング設定の詳細はスマートフォンの取扱説明書などをご覧ください。

知 識

- スマートフォンの機種によっては、毎回接続が必要な場合があります。

利用できるネットワークから接続する

1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。

2 スマートフォンの Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。

3 スマートフォンを「Wi-Fi® アクセスポイント設定」に切り替える。

4 スマートフォンに表示されているネットワーク名、パスワードを確認する。

5 本機の 利用できるネットワーク を選択。

6 利用できるネットワーク画面（→ P.532）でスマートフォンに表示されている （ネットワーク名） を選択。

7 スマートフォンに表示されているパスワードを本機に入力する。

3. Wi-Fi® 設定

簡単設定（PIN コード）で接続する

1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。

2 スマートフォンの Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。

3 スマートフォンを「Wi-Fi® 簡単登録」の「PIN 入力」を選択する。

4 本機の 簡単設定 → PIN コード の順に選択。

5 簡単設定画面に表示されている PIN コードをスマートフォンに入力する。

簡単設定（プッシュボタン）で接続する

1 スマートフォンを「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。

2 スマートフォンの Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。

3 スマートフォンを「Wi-Fi® 簡単登録」の「プッシュボタン」を選択する。

4 本機の 簡単設定 → プッシュボタン の順に選択。

5 簡単設定画面が表示された後、スマートフォンのプッシュボタンを選択する。

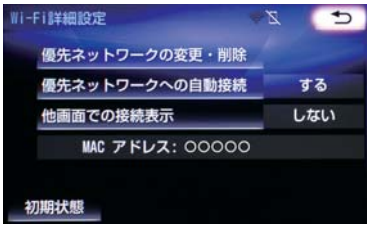
知 識

● 本書に記載されている接続方法は一例であり、簡単設定（PIN コード、プッシュボタン）に対応しているスマートフォンなどの機器に関する内容は、各通信事業者にお問い合わせください。

Wi-Fi® 詳細設定を変更する

1 Wi-Fi 詳細設定 を選択。

2 各項目を設定する。



● 初期設定の状態に戻すとき
➡ 初期状態 を選択。

項目	ページ
優先ネットワークの変更／削除	535
優先ネットワークへの自動接続	535
他画面での接続表示	535

優先ネットワークを変更／削除する

1 優先ネットワークの変更・削除 を選択。

2 優先順位を変更、または削除したいネットワークを選択。

- 優先順位を変更するとき
  ➡ 上へ または 下へ を選択し、順位を変更。
- ネットワークを削除するとき
  ➡ 削除 → はい の順に選択。

知 識

- 優先ネットワークへの登録は Wi-Fi® 接続すると自動的に登録されます。最大 20 個まで登録可能です。21 個以上登録する場合は古いものより上書きされます。（既に登録済みの au Wi-Fi® を除く）
- セキュリティ保護されていないネットワークは、優先ネットワークには登録されません。

自動で優先ネットワークへ接続する

1 優先ネットワークへの自動接続 を選択し、する を選択。

- 解除するとき
  ➡ しない を選択。

Wi-Fi® の接続確認を表示する

1 他画面での接続表示 を選択し、する を選択。

- 解除するとき
  ➡ しない を選択。

4. 通信設定

通信接続機器を選択する

通信に使用する機器を選択することができます。

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link → 通信設定

2 通信接続機器 を選択。

3 通信に使用する機器を選択。

知 識

- 本機がWi-Fi® 接続状態であっても、通信接続機器側が「Wi-Fi® 設定」になっていない場合、Wi-Fi® によるデータ通信は行われません。
- 次の項目は携帯電話毎に設定が保持されます。
  - ・使用する携帯電話の設定
  - ・通信接続時の確認

警告

- 完了 を選択して設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
  - ・エンジン／パワースイッチを OFF にする。
  - ・エンジン／ハイブリッドシステムを始動しなおす。

5. リモートセキュリティ設定

リモートイモビライザーの設定を確認する

リモートイモビライザー（→ P.484）の設定は、設定・編集画面から確認できます。

- ご利用の際はレクサスオーナーズデスクにご連絡ください。（→ P.504）

1 MENU ▶ 設定・編集 → G-Link

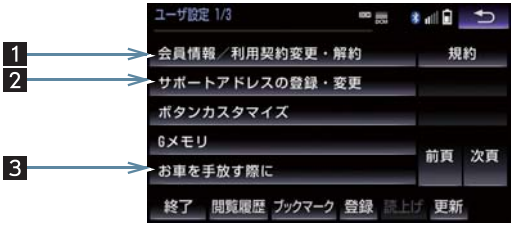
2 リモートセキュリティ設定 を選択。

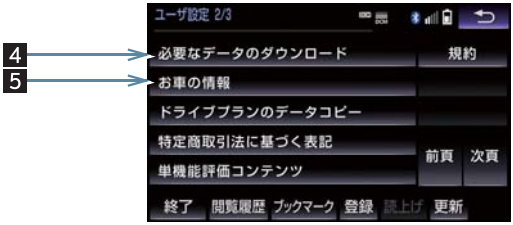
- リモートイモビライザーが設定されている場合は、エンジン／ハイブリッドシステムが始動できない旨の画面が表示されます。
- リモートイモビライザーが設定されていない場合は、リモートイモビライザーが利用できる旨の画面が表示されます。

6. 契約内容・契約者情報の確認・変更

登録内容や契約者情報の確認・変更、G 暗証番号の変更などを行えます。

1 MENU ▶ 情報・G → （G-Link）→ G-BOOK.com → ユーザー





● この画面から、次の操作をすることができます。

番号	スイッチ	機能
1	会員情報／利用契約変更・解約	登録しているユーザーの情報や利用契約内容を確認・変更できます。
2	サポートアドレスの登録・変更	サポートアドレス（電話番号やメールアドレス）の登録を追加・変更できます。
3	お車を手放す際に	利用契約を解約することができます。
4	必要なデータのダウンロード	必要なデータのダウンロードができます。
5	お車の情報	車両登録番号の変更ができます。

1. こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示されたときは、処置内容や画面の指示にしたがって操作してください。

メッセージ	原因	処置
G-Link の利用手続きが必要です 情報・G の G-Link から手続きできます	G-Link の利用手続きがされていない。	利用手続きを行ってください。 (→ P.448)
緊急通報中です このサービスはご利用できません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用ください。 • 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。
オペレーターと通話中です 終了してからご利用ください	レクサスオーナーズデスクを利用中のため。	レクサスオーナーズデスクが終了してからご利用ください。
電話機が使用中です 通話を終了してからご利用ください	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
通話中は操作できません		
これ以上登録できません 設定・編集の G-Link のプライバシー設定で削除してください	ブックマークの最大登録数を超過したため。	不要なブックマークを削除してください。(→ P.529)
これ以上Gメモリ地点を登録できません 設定・編集のナビから不要なGメモリ地点情報を削除してください	G メモリ地点情報の最大保存数を超過したため。	不要な G メモリ地点情報を削除してください。(→ P.113)
通信ロック中です ロックを解除してからご利用ください	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で暗証番号の 忘れた場合 を選択して確認してください。
回線が混みあっている等により表示できませんでした しばらく待ってから再度操作してください	サービスエリア圏外にいる。 • 認証に失敗した。 • 通信環境が悪い。 • 通信機器の接続状態に異常がある。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。

1. こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原因	処置
時刻データが古いため 通信できません 移動して GPS を受信してください	GPS が受信できていない。	GPS が受信できる場所に移動してください。
回線が混雑しています しばらく待ってご利用ください	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用ください	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
回線が混み合っている等により情報を取得できませんでした しばらく待ってから再度操作してください	• サービスエリア圏外にいる。 • 認証に失敗した。 • 通信環境が悪い。 • 通信機器の接続状態に異常がある。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
e ケア･G- カスタマイズの契約を完了できませんでした 再度エンジンをかけなおしてください	• 電波状況や基地局が混雑している。 • 通信環境が悪い。	一度、エンジン / パワースイッチを OFF にし、再度イグニッション ON モード/ONモードにしてください。再度、e ケア・G- カスタマイズ契約の開始メッセージが表示されますので、画面の指示に従って、再度、e ケア・G- カスタマイズ利用手続きを行ってください。

10

12.3 インチディスプレイ

1 12.3インチディスプレイの操作

1. 12.3インチディスプレイについて 542
画面表示について 542
12.3 インチディスプレイの操作..... 543

2. メニュー画面について.....544
メニュー画面..... 544

3. サイド画面 545
サイド画面について 545
ナビの操作..... 545
オーディオの操作 546
ハンズフリーの操作 547

4. 割り込み画面 548
割り込み画面について 548
ハンズフリーの操作 548

1. 12.3 インチディスプレイについて

画面表示について

全画面表示

オープニング画面やメニュー画面は、表示エリアの全てに一画面で表示します。

分割画面表示

異なる情報を左右に並べて表示します。たとえば地図画面を表示したまま、オーディオやエアコン、燃費情報などの画面を並べて表示したり操作することができます。

画面左側の広い表示エリアをメイン画面、右側の狭い表示エリアをサイド画面と呼びます。

メイン画面　　サイド画面

1. 12.3 インチディスプレイについて

12.3 インチディスプレイの操作

この章では、12.3 インチディスプレイ特有の操作、主にサイド画面での操作についてのみ説明しています。

メイン画面の表示や操作、および各機能の詳細については、それぞれの項目をご覧ください。

サイド画面について

サイド画面に表示される機能には、次のものがあります。

▶基本画面

機能	ページ
ナビ	545
オーディオ	546
ハンズフリー	547
車両情報	–※
エアコン	–※

▶割り込み画面

機能	ページ
クリアランスソナー	346
ハンズフリー	548
オーナーズデスク	504
ドライブモード	–※

※ 詳細は、別冊 GS350/GS250/GS F 取扱説明書またはGS450h/GS300h取扱説明書をご覧ください。

分割画面特有の操作について

分割画面を表示しているときは、操作したい画面（メイン画面またはサイド画面）を選択する必要があります。

■操作したい画面を選択する

1 リモートタッチのノブを左右に操作。

- メイン画面を選択するとき
  ➡ 左に操作。
- サイド画面を選択するとき
  ➡ 右に操作。
- メイン画面のみを全画面表示させたいとき
  ➡ を選択する。再び全画面表示を選択すると、分割画面に戻ります。

2. メニュー画面について

メニュー画面

目的地設定、エアコン／オーディオなどはメニュー画面を表示させてから操作します。

● メニュー画面の機能や操作については「メニュー画面の操作」（→ P.18）をご覧ください。

知 識

● 割り込み画面がサイド画面に表示されたとき、メニュー画面はメイン画面に表示されます。

3. サイド画面

サイド画面について

オーディオ操作画面、エアコン操作画面、車両情報画面などをサイド画面に表示し操作することができます。

サイド画面を切り替える

1 希望する画面を選択。

スイッチ	内容
	ナビ操作画面を表示
	オーディオ操作画面を表示
	ハンズフリー操作画面を表示
	車両情報画面を表示
	エアコン操作画面を表示
	メイン画面のみを表示

ナビの操作

1 ⊕ または ⊖ を選択し、地図の縮尺を切り替える。

知 識

- N を押すごとに、視点を切り替えることができます。
- 地図画面を選択すると、周辺施設表示のする／しないが選択できます。

3. サイド画面

オーディオの操作

モードを切り替える

1 < または > を選択。

放送局を選ぶ

ラジオ受信時に、プリセットスイッチに登録されている放送局を選択することができます。

1 放送局を選択。

選曲する

各モード再生時に、聞きたい曲（ファイル、トラック）を選択することができます。

1 ⏮ または ⏭ を選択。

- 後ろにあるとき
  ➡ ⏮ を選択。
- 前にあるとき
  ➡ ⏭ を選択。

見たい場所を選ぶ

BD/DVD 再生時に、見たいチャプター／トラックなどを選択することができます。

1 ⏮ または ⏭ を選択。

- 後ろにあるとき
  ➡ ⏮ を選択。
- 前にあるとき
  ➡ ⏭ を選択。

デジタルテレビの操作

■放送局を選ぶ

選択した放送局の映像を画面表示します。

1 放送局を選択。

知 識

● 電波の受信状況によっては、放送局名が表示されないことがあります。

ハンズフリーの操作

ワンタッチで電話をかけることができます。

1 希望の通話相手を選択。

知 識

● ワンタッチダイヤルの登録は、メイン画面から行ってください。（→ P.422）

4. 割り込み画面

割り込み画面について

以下の各画面が状況に応じて自動的に表示されます。

機能	ページ
クリアランスソナー	346
ハンズフリー	548
オーナーズデスク	504
ドライブモード	–※

※ 詳細は、別冊 GS350/GS250/GS F 取扱説明書またはGS450h/GS300h 取扱説明書をご覧ください。

ハンズフリーの操作

発信中画面での操作

メイン画面で以下の発信操作を行った時にサイド画面に発信中画面を表示します。

- 電話画面で を選択する、または ステアリングスイッチの スイッチを押したとき
- ワンタッチダイヤルで発信先を選択したとき

■発信を中止する

1 を選択。

着信中画面での操作

着信時にサイド画面に着信画面を表示します。

■電話を受ける

1 を選択。

■電話を保留する

1 を選択。

- 応答保留を解除して通話するとき
  ➡ を選択。
- 応答保留中に音量を調整するとき
  ➡ − または ＋ を選択。
- 応答保留中に電話を切るとき
  ➡ を選択。

■着信音量を調整する

1 − または ＋ を選択。

■着信拒否する

1 を選択し続ける。

知 識

- 着信時、着信画面をメイン画面に表示するように設定することもできます。(→ P.415)

通話中画面での操作

■通話を終了する

1 を選択。

■受話音量を調整する

1 − または ＋ を選択。

■送話音をミュートする

1 ミュート を選択。

- ミュートを解除するとき
  ➡ 再度 ミュート を選択。

■通話を転送する

- 携帯電話本体での通話からハンズフリー通話に切り替えるとき
  ➡ 通話中画面で、ハンズフリー通話 を選択。

知 識

- ハンズフリー通話のときは、作動表示灯が点灯します。

4. 割り込み画面

メイン画面に表示する

サイド画面では操作できない 10 キー入力などを行なう場合にはメイン画面に表示します。

1 を選択。

知 識

- 電話画面が他の割り込み画面の背後に隠れているときでも、ステアリングスイッチの電話スイッチで操作することができます。ステアリングスイッチの電話スイッチを操作すると電話画面は自動的に前面に表示されます。
  ステアリングスイッチの操作やメイン画面での操作については、「ハンズフリー」（→ P.389）をご覧ください。

索　引

あ

アラーム通知 482
暗証番号 ..... 203、527
安全・快適走行の設定をする 134

い

インターネット接続サービス 378

う

迂回 ..... 109、113

え

エージェント 512

お

オーディオ＆ビジュアル 171
オーディオスイッチ 177
お車を手放すとき 393
音の設定を変更する 180
　音設定画面を表示する 180
音声操作システム 293
音声操作の使用例 298
　色々な方法で目的地を設定する 299
　サウンドライブラリの楽曲を
　　検索する 304
　自宅を目的地に設定する 298
　使用例の見方 298
　その他の方法で検索する 300
　電話をかける 306
　メモリ地点を使う 305
　My リクエストを使う 303
音声について 393
音声認識コマンド一覧 308
音声認識の設定をする 312
音量調整ツマミ 177

か

画面の調整・設定を変更する 34
　画質調整画面を表示する 34
　画面を消す 35
簡易画面について 412

き

緊急警報放送（EWS）..... 240
緊急通報 468

く

クリアランスソナー 344
クリアランスソナーが
　作動したとき 347
　音声案内 350
　距離表示・ブザー 347
　障害物を感知する範囲 351
クリアランスソナーの設定 352
　モニター表示・ブザーの設定 352

け

契約内容・
　契約者情報の確認・変更 538
現在地の修正 119
検索した地図を操作する 81
　施設の内容を表示する 81
　住所で絞り込む 82
　地図の位置を変更する 81
　提携駐車場を検索する 82
　ピンポイント検索 81

こ

高速道路・
　都市高速道路の表示 65
　高速分岐案内の表示 67
　ハイウェイモード 65
交通情報スイッチ 185
交通ナビ関連情報 169
個人情報初期化 36

さ

サーキットモード 41

し

自車位置マークがずれているとき..... 119
　距離を補正する 119
　現在地を修正する 119
自宅を目的地に設定する 85
12.3 インチディスプレイ 541
縦列駐車をする 332
　車の動きの流れ 332
　駐車する 333
情報画面 314
　情報画面を表示する 314
初期設定をする 26
　音声案内の音量を設定する 27
　自宅を登録する 26
　車両情報の設定をする 27

す

ステアリングスイッチで操作する
　（オーディオ）..... 279
ステアリングスイッチで操作する
　（ハンズフリー）..... 400

せ

設定・編集（運転支援）..... 134、352
設定・編集（オーディオ）
　..... 218、226、263
設定・編集（音声認識）..... 312
設定・編集（電話）..... 413
設定・編集（ナビ）..... 124
設定・編集（メンテナンス）..... 28
設定・編集（Apps）..... 523
設定・編集（Bluetooth）..... 270、424
設定・編集（ETC）..... 374
設定・編集（G-Link）..... 525
設定を変更する 36
　オープンソフトウェア情報 36
　決定音通知 36
　言語設定 36
　個人情報初期化 36
　失敗音通知 36
　スタートアップサウンド 36
　スタートアップサウンド音量 36
　選択音通知 36
　操作音音量設定 36
　操作画面継続表示 36
　操作反力設定 36
　テーマカラー切替 36
　時計設定 36

そ

走行軌跡 63
ソフトウェアキーボードの
設定を変更する 21
単語を編集する 21
定型文を修正する 22
入力履歴を削除する 22
予測変換候補の
表示設定を変更する 22
ソフトウェアキーボードを使う 19
ソフトウェア更新 316
ソフトウェア更新設定を
変更する 322
本機の通信機能（DCM）を
使って更新する 318
USB メモリーを使って更新する 317

ち

地上デジタルテレビの
操作について 234
エリアスイッチ 235
各種切替画面について 244
拡大スイッチ／映像 235
機能設定画面について 245
緊急警報放送（EWS）について 240
初回起動時の設定 234
設定画面について 241
地デジ・ワンセグ受信設定 241
データ放送の操作について 238
プリセットスイッチ 235
放送局からのお知らせについて 240
メニュースイッチ 235
AUTO.P スイッチ 235
CH ・TRACK スイッチ 235
EPG（ 電子番組表）を見る 237
TUNE ツマミ 235
TV スイッチ 235
TV メニュー画面について 241
地図画面を操作してみましょう 49
地図に現在の車の位置を表示する 49
地図を動かす 49
地図を拡大／縮小する 49
地図更新 148
地図について 147
地図記号・表示 56
地図データ 147
地図データの更新 148
地図データベースについて 148
地図のスケール表示 56
データベースの情報を見る 147
地図の表示 54
現在地を表示する 54
市街図を表示する 59
地図縮尺を切り替える 55
地図の向きを切り替える 58
地図を動かす 55
地図表示画面を設定する 60
施設記号を表示する 60
走行した経路を表示する
（走行軌跡）..... 63
近くの施設を検索する 60
立体ランドマークの施設情報を
表示する 61
DSSS
（Driving Safety Support Systems）
運転支援機能を使用する 62
ITS スポットで受けられる
割込情報について 154

地図を呼び出す 68
施設で地図を検索する 77
ジャンルで地図を検索する 78
住所で地図を検索する 76
地図を検索する 68
電話番号で地図を検索する 77
マップコードで地図を検索する 79
名称で地図を検索する 73
履歴で地図を検索する 80
着信中画面の操作 402
着信を拒否する 408
電話を保留する（応答保留）..... 408

つ

通信設定 536
通話中の操作 409
受話音量を調整する 409
送話音をミュート（消音）する 409
通話を転送する 410
割込通話を操作する 410
10 キー入力する 411
通信モジュール（DCM）について 442

て

ディスクの出し入れ 189
ディスプレイと操作スイッチの操作 14
デジタルテレビ 234
デジタルテレビ用アンテナ 176
電子番組表（EPG）..... 237
電話帳を編集する 417
携帯電話の電話帳データを転送する 418
電話帳に新規データを追加する 420
電話帳について 417
電話帳のデータを削除する 422
電話帳のデータを修正する 421
電話帳を編集する 417
履歴のデータを削除する 423
ワンタッチダイヤルを削除する 423
ワンタッチダイヤルを登録する 422
電話を受ける 402
電話をかける 401
音声認識で発信する 405
携帯電話本体から発信する 407
電話帳から発信する 403
ナビ画面から発信する 406
フルブラウザ画面から発信する 406
履歴から発信する 404
ワンタッチで発信する 405
電話を切る 402

と

到着予想時刻 98
時計を調整する..... 39
取り出しスイッチ 189

な

ナビゲーション用アンテナ
（GPS アンテナ）..... 48
ナビゲーションを操作する 49
ナビの詳細を設定する 124
案内表示設定をする 127
音声設定をする 131
自動表示切替設定をする 130
その他の設定をする 132
地図表示設定をする 125
ルート系設定をする 128
ナビの設定を記憶して使う
（ユーザーカズタマイズ）..... 121
ナビ設定を記憶する 121
ナビ設定を呼び出す 121

に

入力端子 183
AUX 183
USB 183

は

バックガイドモニター 324
ガイド画面を表示する 325
縦列駐車時に使用する 327
駐車モード画面を切り替える 327
並列駐車（車庫入れ）時に
使用する 326
ハンズフリーについて 390
ハンズフリーが
使用できないとき 392
Bluetooth 携帯電話について 392
ハンズフリーの準備をする 397
携帯電話を接続する 397
携帯電話を登録する 397
通信モジュール（DCM）の
使用について 399
ハンズフリーの設定をする 397
Bluetooth 接続の再接続について ... 399
ハンズフリーの詳細設定を
変更する 415

ふ

プライバシー設定 529
設定・編集画面を表示する 529
プライバシー設定を変更する 529
フルブラウザ 381

へ

並列駐車をする（進路表示モード）.... 328
画面の見方 328
駐車する 329
並列駐車をする
（駐車ガイド線表示モード）..... 330
画面の見方 330
駐車する 331
ヘルプネット
（エアバッグ連動タイプ）..... 464
各部の名称とはたらき 464
緊急通報できない場合 478
緊急通報をする 468
故障とお考えになる前に 479
サービス開始操作をする 467
表示灯について 476
保守点検をする 473

ほ

ポータブルオーディオ ..... 257、264

ま

マップオンデマンド
（地図差分更新）..... 490
故障とお考えになる前に 501
地図を更新する 497
マップコード 79

め

メニュー画面の操作 18
メモリ地点を登録する 110
迂回メモリを登録する 113
グループで絞り込む 117
自宅を登録する 111
地図画面から登録する 110
地点の登録について 110
特別メモリを修正する 112
特別メモリを消去する 112
特別メモリを登録する 111
メモリ地点の情報を修正する 115
メモリ地点を修正する 113
メモリ地点を消去する 113
メモリ地点を登録する 112
メンテナンス時期を案内する 28
販売店の設定をする 30
メンテナンスの項目を設定する 28

も

目的地案内中の現在地画面の
見方について 52
目的地案内の開始 91
目的地案内を中止する 91
目的地への案内 92
音声案内について 92
交差点案内 94
到着予想時刻について 98
目的地案内を開始する 91
料金案内について 98
目的地までの案内 84
目的地を設定してルートを
探索する 84
自宅を目的地に設定する 85
目的地の設定 84
ルート探索 85
ルート探索後の全ルート図表示 86
文字の入力方法 19

ら

ラジオの操作 185
エリアスイッチ 185
交通情報スイッチ 185
プリセットスイッチ 185
AUTO.P スイッチ 185
CH・TRACK スイッチ 185
TUNE ツマミ 185
ラジオ用アンテナ 176

り

リスト画面 23
複数の候補から項目を選ぶ 23
文字の表示範囲を変更する 25
リモートタッチの操作 16
利用手続きをする（G-Link） 447
お車を手放す際にすること 451
解約手続きについて 450
解約手続きをする 451
利用開始操作をする 448
利用手続きの手順 447
e ケア・G- カスタマイズの
利用開始操作をする 449
履歴発信 404

る

ルート案内中の操作 99
全ルート図を表示する 99
到着予想時刻・
残距離表示を切り替える 99
ルート案内をさせてみましょう 50
目的地を決める 50
目的地を消去する 51
ルート案内を中止する 51
ルートを再探索する 100
ルートの再探索方法を選ぶ 100
ルートを自動で再探索する 100
ルートを変更する 103
探索条件を変更する 104
通過する道路を設定する 107
出入口 IC（インターチェンジ）を
指定する 107
目的地の順番を並び替える 105
目的地を消去する 105
目的地を追加する 104
ルート変更画面を表示する 103

れ

レクサスオーナーズデスク 504
レクサス緊急サポート 24 489

ろ

録音する 217

A

AAC について 288
AM ラジオ 185
ASL 180
AUDIO スイッチ 177
AUX について 250

B

B-CAS カード 234
Bluetooth オーディオの操作 264
Bluetooth オーディオについて 264
各種表示について 264
Bluetooth 機器使用上の
注意事項について 265
Bluetooth オーディオ再生中の操作 ... 267
アルバム名スイッチ 267
一時停止スイッチ 267
再生スイッチ 267
接続 267
トラック名スイッチ 267
早送りスイッチ 267
早戻しスイッチ 267
CH・TRACK スイッチ 267
RAND（ランダム）..... 267
RPT（リピート）..... 267
SCROLL ツマミ 267
Bluetooth オーディオを設定する 270
使用するポータブル機を
選択する 272
ポータブル機の詳細情報を
表示する 273
ポータブル機を接続する 270
ポータブル機の登録を削除する 276
本機の Bluetooth 設定を
変更する 274
Blu-ray プレーヤーの操作 188
ディスクの出し入れ 189
Blu-ray プレーヤーの操作
（映像再生中の操作）..... 194
暗証番号入力スイッチ 194
一時停止／再生スイッチ 194
各種切替画面について 197
拡大／映像スイッチ 194
設定画面について 197
停止／再生スイッチ 194
トップメニュースイッチ 194
早送りスイッチ 194
早戻しスイッチ 194
ポップアップメニュースイッチ 194
メニュースイッチ 194
CH・TRACK スイッチ 194
Blu-ray プレーヤーの操作
（音楽再生中の操作）..... 190
一時停止／再生スイッチ 190
早送り／早戻しスイッチ 190
ファイル／トラック名スイッチ 190
フォルダ名スイッチ 190
録音開始スイッチ 190
CH・TRACK スイッチ 190
RAND（ランダム）スイッチ 190
RPT（リピート）スイッチ 190
SCROLL ツマミ 190

C

CD タイトル情報取得 230

D

DSSS（Driving Safety
Support Systems）..... 62

E

e ケア 487
ウォーニング通知 487
診断サービス 487
ヘルスチェックレポート 487
リモートメンテナンスメール 487
EPG 237
ETC2.0 システム 358
ETC2.0 ユニットの操作 364
音量調整 370
セットアップ情報の確認 371
表示と音声案内 368
有効期限切れ通知 367
利用履歴の確認 370
ETC2.0 ユニットについて 364
ETC カードについて 365
ETC カードを挿入する 365
ETC カードを抜く 367
ETC 画面の操作 372
統一エラーコードの表示 373
履歴表示 373
ETC 画面の表示 372
ETC 登録情報の表示 373
ETC の通知設定 374
ETC マーク表示 373
ETC 割込表示 372
ETC サービスについて 360
ETC を利用する前に 360

F

FM ラジオ 185

G

G- カスタマイズ 488
G 情報マーク 462
施設の情報を表示する 462
G 情報マークを非表示にする 462
G 情報マークを表示する 462
G メモリ地点情報 454
G メモリ地点情報を登録する 454
G メモリ地点情報を表示する 454
G ルート探索（プローブ情報付）..... 502
G-BOOK Viewer 455
G-BOOK Viewer 画面で操作する ... 455
G-Link 437
G-Link 詳細設定 525
G-Link 詳細設定を変更する 525
暗証番号を変更する 527
継続手続きについて 449
サポートアドレス 525
通信ロックを使う 526
G-Link トップ画面 452
G-Link 画面の使い方 452
G-Link について 445
サービス内容について 446
GPS 140
システムの特性上、
避けられないズレ 140
GPS 情報を利用できないとき 140
G-Security 480
アラーム通知 482
うっかり通知 483
エンジン始動通知 483
警備員の派遣 486
車両の位置追跡 486
初期設定の確認・変更 481
リモート確認 484

I

iPod の設定をする 263
ビデオ音声入力の設定を
変更する 263
iPod カバーアートを表示する 263
iPod の操作 257
iPod の操作
（音楽ファイル再生中の操作）..... 258
一時停止／再生スイッチ 258
カバーアートスイッチ 258
選曲スイッチ..... 258
早送りスイッチ..... 258
早戻しスイッチ..... 258
ファイル名スイッチ 258
CH・TRACK スイッチ 258
RAND（ランダム）スイッチ..... 258
RPT（リピート）スイッチ 258
SCROLL ツマミ 258
iPod の操作
（動画ファイルを再生する）..... 261
一時停止／再生スイッチ 261
拡大／映像スイッチ 261
早送りスイッチ..... 261
早戻しスイッチ..... 261
ビデオ名スイッチ 261
フォルダ名スイッチ 261
CH・TRACK スイッチ 261
SCROLL ツマミ 261

L

LEXUS Apps 520

M

MAP スイッチ 16
microSD アダプター 213
MP3 について 288

N

NAVI・AI-SHIFT 122

P

Photo 機能を操作する..... 277
PWR・VOL ツマミ ..... 177、459

S

SD メモリーカードに録音する 215
データベースについて 215
録音する 217
録音についての注意 217
録音の設定を変更する 218
録音を中止する 218
SD メモリーカードの
初期化について 233
SD メモリーカードの操作 210
パソコンで記録した
音楽ファイルを
再生する ..... 210、219
SD メモリーカードについて 210
SD メモリーカードの操作
（音楽ファイル再生中の操作） 219
一時停止／再生スイッチ 219
早送り／早戻しスイッチ 219
ファイル／トラック名スイッチ..... 219
フォルダ／アルバム名スイッチ..... 219
CH・TRACK スイッチ 219
RAND（ランダム）スイッチ..... 219
RPT（リピート）スイッチ 219
SCROLL ツマミ 219
SD メモリーカードの操作
（動画ファイル再生中の操作）..... 223
一時停止／再生スイッチ 223
拡大／映像スイッチ 223
詳細表示／番組情報表示スイッチ.... 223
停止スイッチ..... 223
早送りスイッチ..... 223
早戻しスイッチ..... 223
ファイル／番組名スイッチ 223
CH・TRACK スイッチ 223
SCROLL ツマミ 223
SD メモリーカードの操作
（本機で記録したデータを
編集する ）..... 226
アルバム情報を編集する 229
アルバムを削除する 231
お気に入りの楽曲集（マイベスト）
を作成する 226
サウンドライブラリ
編集メニュー画面について 226
マイベストを編集する 227
SD 空き容量を確認する
（詳細情報の表示）..... 232
SD メモリーカードの出し入れ 212
SD メモリーカードを入れる 213
SD メモリーカードを取り出す 213

U

USB メモリーの操作 251
USB メモリーについて 251
USB メモリーの操作
（音楽ファイル再生中の操作） 252
一時停止／再生スイッチ 252
早送り／早戻しスイッチ 252
ファイル名スイッチ 252
フォルダ名スイッチ 252
CH・TRACK スイッチ 252
RAND（ランダム）スイッチ 252
RPT（リピート）スイッチ 252
SCROLL ツマミ 252
USB メモリーの操作
（動画ファイル再生中の操作） 254
一時停止／再生スイッチ 254
拡大／映像スイッチ 254
詳細表示スイッチ 254
停止スイッチ 254
早送りスイッチ 254
早戻しスイッチ 254
ファイル名スイッチ 254
CH・TRACK スイッチ 254
SCROLL ツマミ 254

V

VICS・交通情報の表示 149
タイムスタンプ 150
VICS 記号の内容を表示する 150
VICS・交通情報について 149
VICS・交通情報の表示設定 151
VICS・交通情報を活用する 152
渋滞・規制音声案内 152
新旧ルートを比較して表示する 157
割込情報（ビーコン即時案内）を
表示する 154
VICS について 160
知っておいていただきたいこと 161
VICS 記号・表示 167
VICS センター著作権 162
VICS の用語 162
VICS・ETC2.0（ITS スポット）・
DSSS の問い合わせ先 163
VICS 放送局を選択する 159
自動で放送局を選択する 159
手動で放送局を選択する 159
VICS/ETC2.0 設定 ..... 156、159

W

WEB 検索 511
WEB 検索で目的地を設定する 511
Wi-Fi® 設定 530
WMA について 288

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICS サービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章　料金

（料金の支払い義務）

第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第 15 条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章　雑則

（利用に係る加入者の義務 ）

第 16 条　加入者は、当センターが提供するVICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第 17 条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］

視聴料金 300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

B-CAS カード使用許諾契約約款（ＫＢ ０００７ Ｄ）（取り交わし済み文章）

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するための IC カード（B-CAS（ビーキャス）カード）（以下「カード」といいます）が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」といいます）が受信機器メーカーと契約し、受信機器メーカーにおいて、放送番組の著作権保護等に対応したデジタル放送の受信機器（一般社団法人電波産業会（ＡＲＩＢ）の技術的基準に適合した受信機器）に内蔵されます。

当社は、このカードを、この約款の契約に基づいてお客様に貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。

この約款は「特別内蔵用 B-CAS カード」と「特別内蔵用 mini B-CAS カード」に適用されます。

第１条（カードの使用目的）

このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

第２条（カードの所有権と使用許諾）

このカードの所有権は、当社に帰属します。

2. この約款の契約に基づき、お客様およびお客様と同一世帯の方がこのカードを使用できます。

第３条（カードの故障交換等）

カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店（以下「メーカー等」といいます）に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。

2.当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第１条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第４条（カードの交換依頼）

カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第５条（契約の終了）

当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第６条（禁止事項）

第 1 条のカードの使用目的に反する機器（例えば著作権保護に対応していない機器）に、このカードを使用することはできません。

2.このカードを使用して、BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。

3.カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。

4.カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第７条（損害賠償）

お客様が第６条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。

第８条（約款の変更）

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）に掲載します。

「個人情報保護方針」については、http://lexus.jp にて掲載しております。

ア-25

M30F11
01999-30F11
II-2015 年 11 月 19 日
2015 年 11 月 26 日 初版

GS450h / GS300h / GS350 / GS250 / GS F